

船員保険(健康づくり等)
に関する意識調査
報 告 書(被保険者健康づくり版調査)

令和6年(2024年)5月
全国健康保険協会 船員保険部

目 次

第1章 調査の概要

I 調査の概要	3
1. 調査の目的	3
2. 調査の項目	3
3. 調査の設計	3
4. 標本抽出方法	3
5. 回収結果	4
6. 回答者の属性	4
II 報告書の見方	7

第2章 調査結果の分析

I 待遇・環境について(問8～問 17)	11
1. 勤め先の勤続年数	11
2. 転職経験・回数	12
3. 船員になろうと思った理由	13
4. 勤め先を選んだ理由	16
5. 勤め先に対する各項目の満足度	18
6. 勤め先に対する総合的な満足度	36
7. 船内環境の満足度	38
8. 海上での通信利用状況	48
9. インターネットの利用場面	50
10. 海上でのインターネットの接続状況	53
II 食事について(問 18～問 24)	55
1. 船上での食事機会	55
2. 食事の準備担当	56
3. 栄養バランスの配慮	58
4. 間食の頻度	60
5. 間食の種類	61
6. 飲酒の頻度	63
7. 飲酒量	65
III 労働実態について(問 25～問 29)	67
1. 1日あたりの労働時間	67
2. 労働による身体不調での通院有無	69
3. 不調の原因の部位	71
4. 睡眠時間	73
5. 乗船期間	75
IV 休暇について(問 30～問 35)	77
1. まとまった休暇の取得期間	77
2. 休暇予定を計画する時	79
3. 休暇中の過ごし方	81
4. 出かける目的	84
5. 宿泊補助のサービスの周知度	86
6. 宿泊補助のサービスの利用状況	88
V 健康確保に関する取り組みについて(問 36～問 38)	89
1. 健康確保に関する制度開始の周知度	89

2.	勤め先の環境変化	91
3.	よくなった事項	92
VI	健康への取り組み(問 39～問 47)	94
1.	勤め先の健康づくりの取り組み状況	94
2.	勤め先の健康づくりの取り組み希望	97
3.	勤め先の健康づくりで求めるもの	99
4.	健康づくり宣言の周知度	101
5.	支援メニューの周知度	102
6.	普段の健康意識	103
7.	健康のために心がけていること	105
8.	健康増進を図る上で苦勞する点	107
9.	船員保険部からの必要な支援	110
第3章	意見・要望(自由回答)	
I	健康づくりに関するご意見、ご要望	115
1.	運動に関する支援	115
2.	仕事に関する意見	119
3.	食事に関する支援	122
4.	宿泊施設・保養所などに関する意見	125
5.	禁煙・禁酒について	126
6.	健診内容の充実	128
7.	ストレス	129
8.	船員不足・高齢化	130
9.	保険料(保険)について	131
10.	歯科について	131
11.	健診場所・機関を増やして欲しい	132
12.	資料等が欲しい	133
13.	健診の「事前予約」による受診が難しい	133
14.	病院・病気に関する意見	134
15.	船舶所有者への支援	134
16.	家族の健康診断について	135
17.	その他	135
第4章	調査票	

第1章 調査の概要

I 調査の概要

1. 調査の目的

船員保険加入者が生活習慣病予防等を図り、将来にわたって健康に暮らすことができるよう、第2期船員保険データヘルス計画に基づいて健診等の実施体制の拡充や費用負担の軽減等、健康づくりを支援する取り組みを総合的に推進してきた。

今後、船員保険加入者及び船舶所有者の健康意識を高め、行動変容に繋げるための施策として、船舶所有者と協働した船員保険加入者の健康づくりを積極的に推進していくこととしており、そのためには加入者等の理解や協力が不可欠であることから、加入者等が船員保険に求める保健事業のニーズや、健康づくりに関する意識、船員保険に求める支援等を把握し、健診事業の推進やコラボヘルスへの取り組みに向けた施策を検討することを目的として実施する。

また、船員保険で実施する保健事業の認知状況や健康意識の醸成度合を把握することで第3期船員保険データヘルス計画の見直し等に反映させる。

2. 調査の項目

- ① 待遇・環境について
- ② 食事について
- ③ 労働実態について
- ④ 休暇について
- ⑤ 健康確保に関する取り組みについて
- ⑥ 健康への取り組みについて

3. 調査の設計

- ・調査対象：15歳～74歳までの被保険者
(令和6年能登半島地震で被災された4県を除く)
- ・調査対象数：10,000人
- ・調査方法：郵送による調査票配布-郵送回収
(督促はがきを1回送付)
- ・調査期間：令和6年2月2日(金)～2月22日(木)
(調査票の回答締切は、令和6年2月16日(金))

4. 標本抽出方法

標本の抽出は、まず、調査対象者の年齢階層と性別で層化し、被保険者全体の標本数である20,000標本を母集団構成比に沿って比例配分し、各層のサンプル数を決定した。

調査対象者は、各階層の母集団数÷各階層別に配分されたサンプル数により求められた抽出間隔を算出した。そして、層毎に住所の昇順及び年齢の昇順にデータを並び替えた上で、算出した抽出間隔をデータの先頭行から数え、抽出間隔の数字に該当した人を順次対象者として決定した(等間隔抽出)。本調査は被保険者を対象とした調査票が2種あることから、20,000標本を抽出後、10,000標本への配分はデータの先頭行から、調査種別1または2のいずれかを繰り返し割り振り決定した。

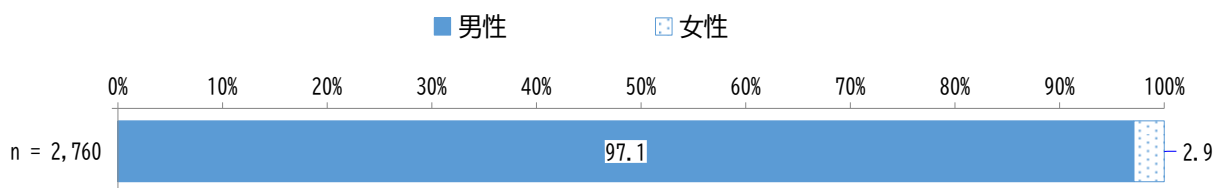
5. 回収結果

回収結果	件数	率
調査対象数	10,000	
有効回収数	2,760	27.6%

6. 回答者の属性

(1) 性別

図表 1-6-1 回答者の性別



回答者の性別は、「男性」が97.1%、「女性」が2.9%となっている。

(2) 年齢別区分

図表 1-6-2 回答者の年齢別区分

	調査数	15歳以下	20歳以下	25歳以下	30歳以下	35歳以下	40歳以下	45歳以下	50歳以下	55歳以下	60歳以下	65歳以下	70歳以上
全体	2760	0.9	7.6	9.6	8.8	8.5	8.2	9.5	9.9	10.2	11.8	9.0	6.1

回答者の年齢区分は、「60歳～64歳」11.8%が最も高く、以下「55歳～59歳」10.2%、「50歳～54歳」9.9%となっている。

母集団構成比に近い割合で回収をすることができている。

(3) 居住地域

図表 1-6-3 回答者の居住地域

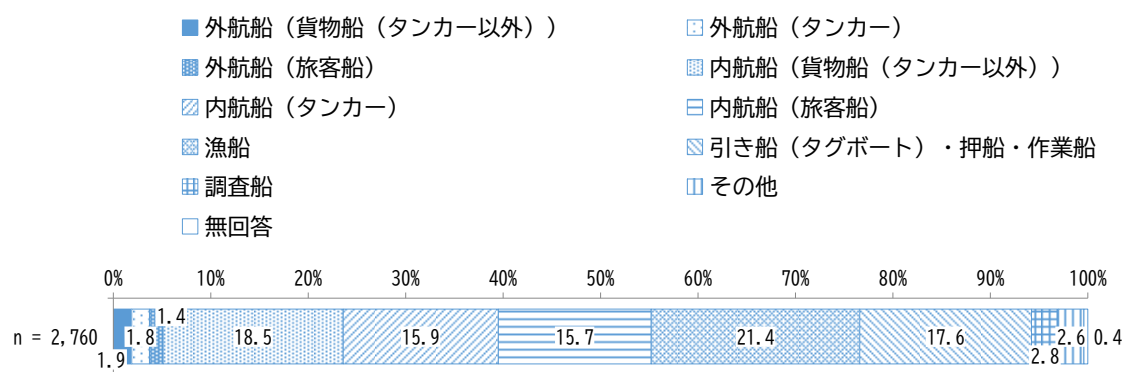
	調査数	北海道	東北地方	関東地方	中部地方	近畿地方	中国地方	四国地方	九州地方
	2760	6.7	12.0	13.7	4.7	10.4	12.9	8.0	31.6

回答者の居住地域は、「九州地方」31.6%が最も高く、以下「関東地方」13.7%、「中国地方」12.9%となっている。

母集団構成比に近い割合で回収をすることができている。

(4) 乗船している船舶の事業内容

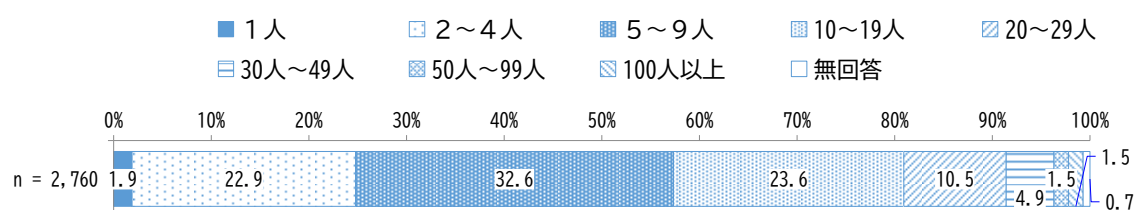
図表 1-6-4 回答者が乗船している船舶の事業内容



回答者が乗船している船舶の事業内容では、「漁船」21.4%が最も高く、以下「内航船（貨物船（タンカー以外）」18.5%、「引き船（タグボート）・押船・作業船」17.6%、「内航船（タンカー）」15.9%、「内航船（旅客船）」15.7%、となっている。

(5) 乗船している船に乗り組む船員の人数

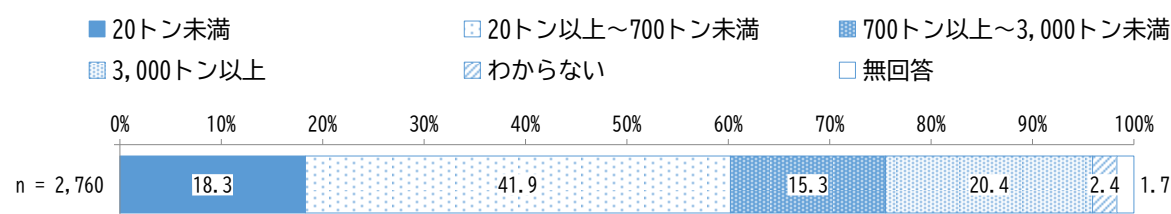
図表 1-6-5 船に乗り組む船員の人数



乗船船員人数では、「5～9人」32.6%が最も高く、以下「10～19人」23.6%、「2～4人」22.9%となっている。

(6) 乗船している船の総トン数

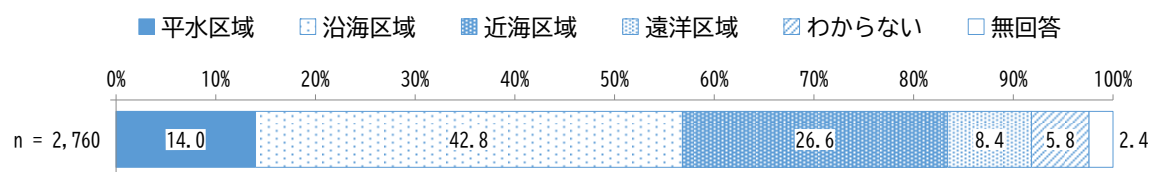
図表 1-6-6 船の総トン数



総トン数クラスでは、「20トン以上～700トン未満」41.9%が最も高く、以下「3,000トン以上」20.4%、「20トン未満」18.3%となっている。

(7) 乗船している船の航行区域

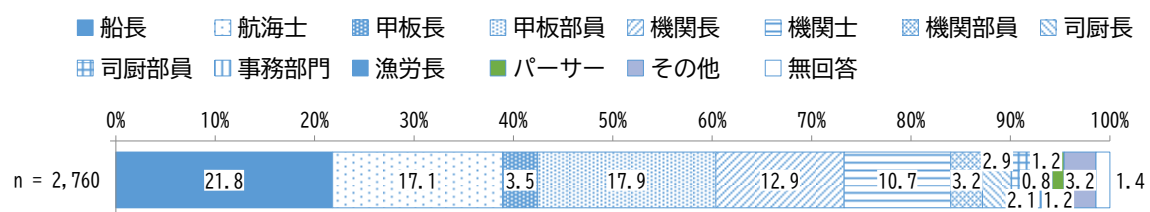
図表 1 - 6 - 7 船の航行区域



航行区域では、「沿海区域」42.8%が最も高く、以下「近海区域」26.6%、「平水区域」14.0%となっている。

(8) 職種

図表 1 - 6 - 8 回答者の職種



職種では、「船長」21.8%が最も高く、以下「甲板部員」17.9%、「航海士」17.1%、「機関長」12.9%、「機関士」10.7%となっている。

Ⅱ 報告書の見方

- 図表中の「n」とは、その質問への回答者数を表す。
- 調査結果の比率は、その質問の回答者数を基数（100.0%）として、小数点第2位を四捨五入して算出している。なお、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある。
- 図表中、回答のなかった選択肢は「-」として表記している。なお、帯グラフについては、グラフの見やすさの点から、「-」を表記していない場合がある。
- 複数回答形式の場合、回答比率の合計が100%を超える。
- クロス集計の表側では、表側とした質問の「無回答」は表示していないため、各回答選択肢の回答者数の合計が全体の回答者数と一致しない。
- 回答選択肢の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いていることがある。
- 調査数 n = 50 未満は数が少ないため、結果の傾向については本文に記載せず、参考数値として取り扱う。ただし、全体回答数が少ない設問は、調査数 n = 50 未満でも結果の傾向を本文に記載している。（なお、調査数 n = 50 以上でも結果の傾向について記載していないものもある。）
- この調査で言う、漁船以外の船舶と漁船及びその他の区分定義は次の通りである。

【漁船以外の船舶】

外航船（貨物船（タンカー以外））、外航船（タンカー）、外航船（旅客船）、内航船（貨物船（タンカー以外））、内航船（タンカー）、内航船（旅客船）、引き船（タグボート）・押船・作業船、調査船

【漁船】

漁船

【その他】

その他（具体的に： ）と回答し、既存の選択肢に振り分けられなかったもの。

—— 第2章 調査結果の分析 ——

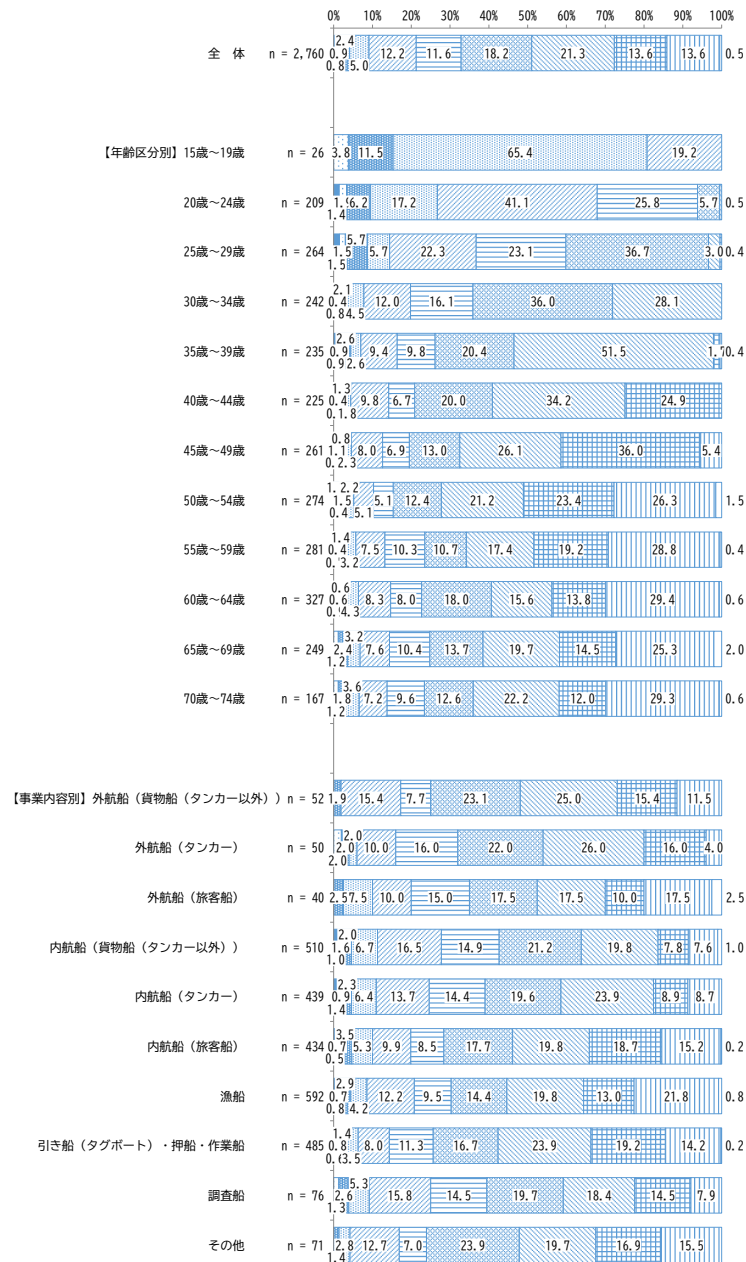
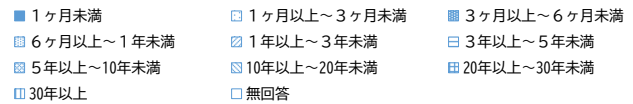
I 待遇・環境について（問8～問17）

1. 勤め先の勤続年数

◆勤続年数は、「10年以上～20年未満」21.3%で最も高い

問8. あなたが現在所属する勤め先の勤続年数について教えてください。（○は1つだけ）

図表2-1-1 勤め先の勤続年数



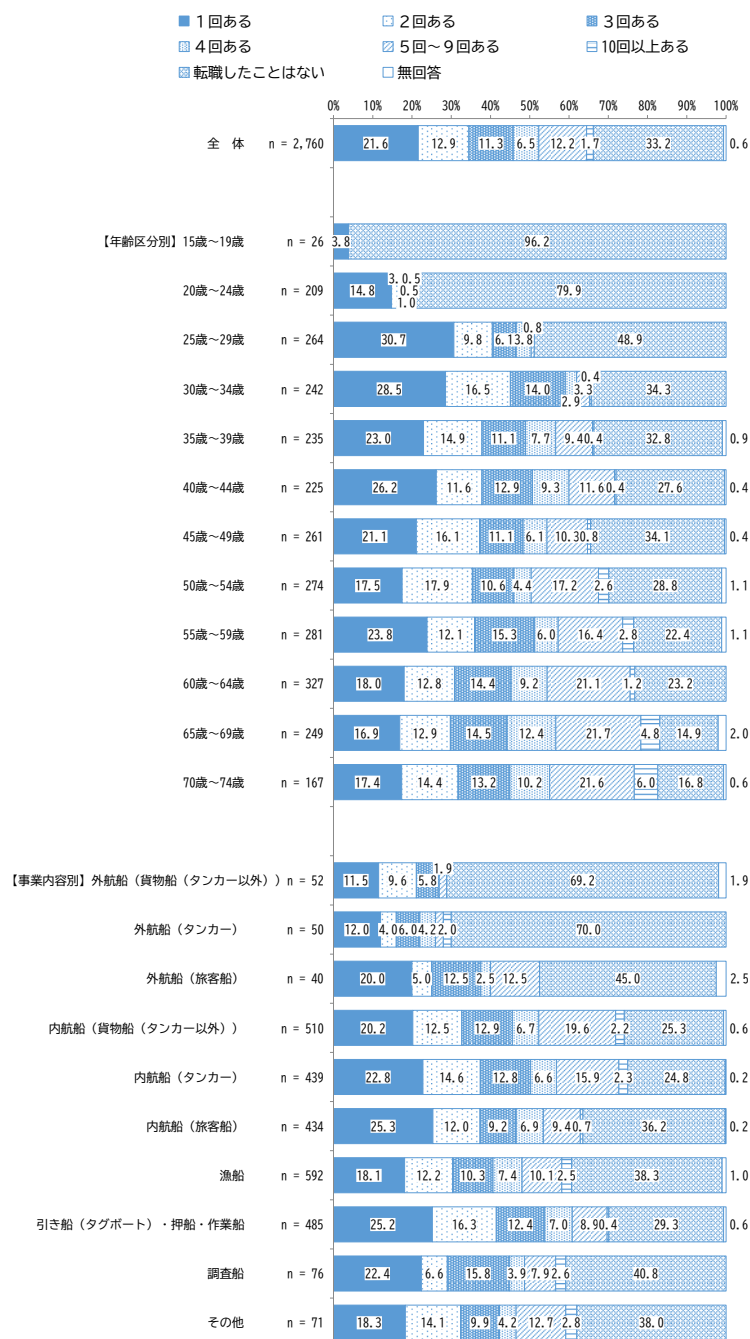
勤め先の勤続年数について、「10年以上～20年未満」21.3%が最も高く、以下「5年以上～10年未満」18.2%、「20年以上～30年未満」13.6%、「30年以上」13.6%となっている。（図表2-1-1）

2. 転職経験・回数

◆「転職したことがある」は、全体で66.2%と6割強

問9. あなたは、これまでに転職した（勤め先を変えた）ことがありますか。（○は1つだけ）

図表2-1-2 転職経験・回数



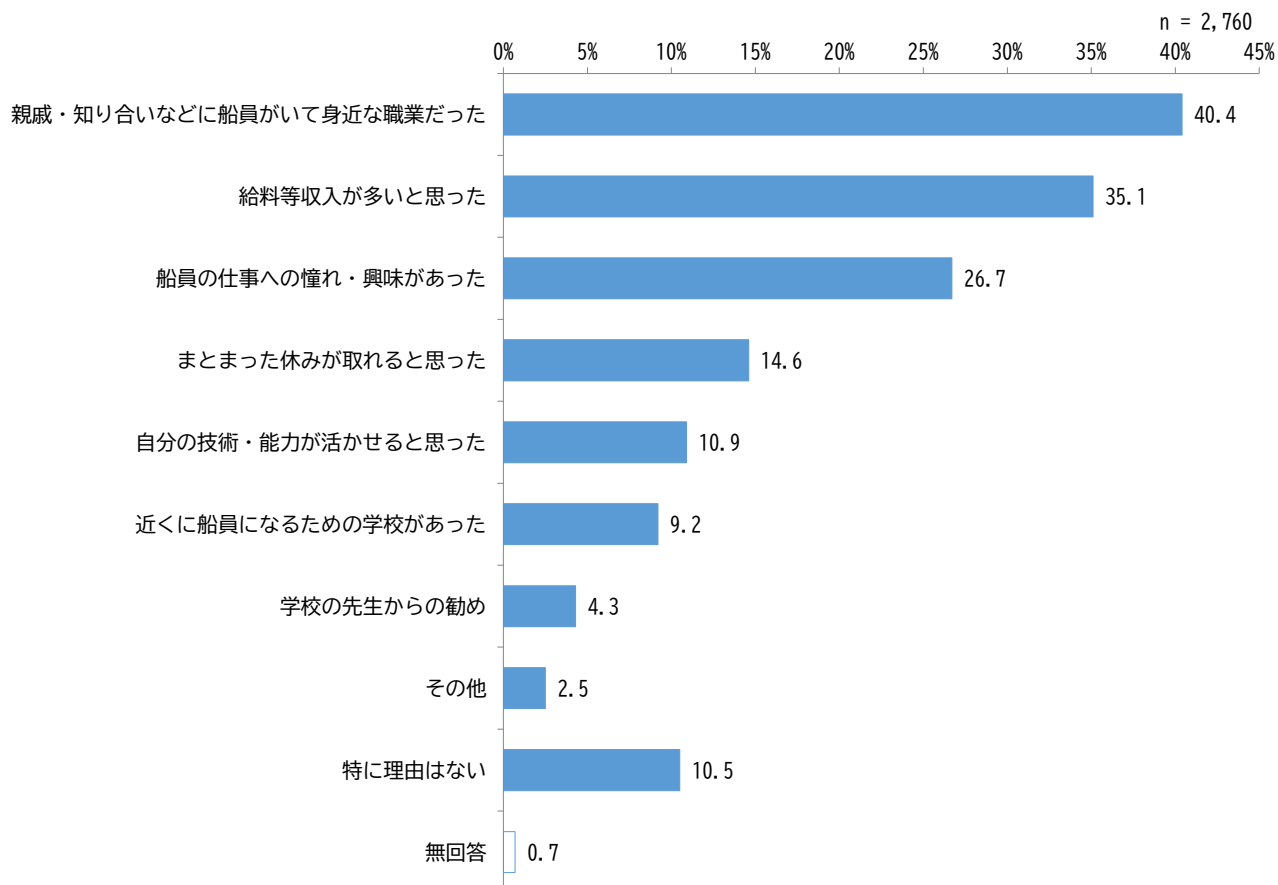
「転職したことがある」割合は、全体の6割強である。【事業内容別】に見る「転職したことがある」割合は、「内航船（タンカー）」が75.0%で最も高く、次いで「内航船（貨物船（タンカー以外）」74.1%、「引き船（タグボート）・押船・作業船」70.2%、「内航船（旅客船）」63.5%となっている。「漁船」は、60.6%と全体平均より下回っている（図表2-1-2）

3. 船員になろうと思った理由

◆「親戚・知り合いなどに船員がいて身近な職業だった」が40.4%で最も高い

問 10. あなたが、船員になろうと思った主な理由を教えてください。(○は3つまで)

図表 2－1－3 船員になろうと思った理由



船員になろうと思った理由について、全体では「親戚・知り合いなどに船員がいて身近な職業だった」40.4%が最も高く、以下「給料等収入が多いと思った」35.1%、「船員の仕事への憧れ・興味があった」26.7%、「まとまった休みが取れると思った」14.6%となっている。(図表 2－1－3)

図表 2-1-4 年齢区分別・事業内容別 船員になろうと思った理由

		調査数	船員の仕事への憧れ・興味があった	給料等収入が多いと思った	まとまった休みが取れると思った	自分の技術・能力が活かせると思った	親戚・知り合いなどに船員がいて身近な職業だった	近くに船員になるための学校があった	学校の先生からの勧め	その他	特に理由はない	無回答
全 体		2760	26.7	35.1	14.6	10.9	40.4	9.2	4.3	2.5	10.5	0.7
【年齢区分別】	15歳～19歳	26	61.5	34.6	23.1	7.7	26.9	19.2	7.7	-	3.8	-
	20歳～24歳	209	35.9	39.2	19.6	7.2	23.9	16.7	9.6	2.4	9.6	-
	25歳～29歳	264	30.7	45.5	26.9	8.0	25.8	12.5	6.4	1.9	9.1	0.4
	30歳～34歳	242	28.9	48.8	23.1	7.0	31.8	9.5	7.0	2.1	5.4	0.4
	35歳～39歳	235	28.1	42.1	18.3	10.2	34.5	8.9	4.7	1.3	11.1	0.4
	40歳～44歳	225	25.3	36.9	16.9	10.2	34.7	8.4	4.9	1.8	12.9	0.9
	45歳～49歳	261	31.4	28.7	13.0	13.4	40.2	5.4	4.2	3.1	12.3	0.8
	50歳～54歳	274	26.6	32.5	12.4	9.5	41.6	7.7	2.2	6.2	11.3	1.1
	55歳～59歳	281	22.1	31.3	11.0	15.3	43.8	4.3	3.6	3.2	11.4	0.7
	60歳～64歳	327	19.3	30.0	5.5	12.8	55.4	11.0	1.5	1.5	12.5	0.9
	65歳～69歳	249	21.7	23.7	9.2	11.2	55.0	10.8	3.2	2.4	11.2	1.6
	70歳～74歳	167	23.4	29.3	4.2	15.0	56.3	5.4	1.2	1.2	7.8	0.6
【事業内容別】	外航船（貨物船（タンカー以外））	52	48.1	48.1	42.3	9.6	13.5	1.9	5.8	1.9	-	-
	外航船（タンカー）	50	32.0	52.0	44.0	20.0	24.0	6.0	2.0	6.0	2.0	2.0
	外航船（旅客船）	40	50.0	25.0	22.5	17.5	15.0	7.5	5.0	10.0	7.5	2.5
	内航船（貨物船（タンカー以外））	510	22.7	36.3	17.3	10.0	50.6	8.6	3.9	2.0	7.3	0.6
	内航船（タンカー）	439	22.1	41.9	23.7	9.8	40.8	10.5	4.1	1.8	7.1	0.9
	内航船（旅客船）	434	30.4	35.3	15.4	9.2	29.5	12.2	7.4	3.2	13.8	0.2
	漁船	592	22.8	29.7	4.1	7.1	53.5	6.6	2.9	1.5	11.3	1.2
	引き船（タグボート）・押船・作業船	485	27.6	32.2	7.8	15.9	34.4	10.9	4.1	2.3	15.7	0.2
	調査船	76	39.5	34.2	15.8	15.8	23.7	10.5	5.3	5.3	10.5	-
	その他	71	42.3	33.8	21.1	16.9	26.8	7.0	4.2	7.0	7.0	2.8

【年齢区分】別にみると、

- ・「親戚・知り合いなどに船員がいて身近な職業だった」割合は、60 歳以上の 3 区分（60 歳～64 歳、65 歳～69 歳、70 歳～74 歳）で比較的高い。
- ・「船員の仕事への憧れ・興味があった」割合は、n の数の観点で参考数値ではあるものの、15 歳～19 歳が極めてたかく、年齢階級が高い区分では、割合がやや小さくなっている。

【事業内容】別にみると、

- ・「親戚・知り合いなどに船員がいて身近な職業だった」割合は、内航船（貨物船（タンカー以外））及び漁船で比較的高い。
- ・外航船の 3 区分については、「船員の仕事への憧れ・興味があった」「まとまった休みが取れると思った」の 2 項目の回答割合が、他の事業内容と比べて比較的高くなっている。
- ・外航船の 2 区分については、「給料等収入が多いと思った」の回答割合が、他の事業内容と比べて比較的高くなっている。

（図表 2-1-4）

図表2－1－5 漁船以外の船舶と漁船別 船員になろうと思った理由

		調査数	た 船員の仕事への憧れ・興味があった	給料等収入が多いと思った	まとまった休みが取れると思った	自分の技術・能力が活かせると思った	親戚・知り合いなどに船員がいて身近な職業だった	近くに船員になるための学校があった	学校の先生からの勧め	その他	特に理由はない	無回答
全 体		2760	26.7	35.1	14.6	10.9	40.4	9.2	4.3	2.5	10.5	0.7
漁船以外の船舶と漁船別	漁船以外の船舶	2086	27.3	36.7	17.4	11.7	37.2	10.1	4.8	2.6	10.4	0.5
	漁船	592	22.8	29.7	4.1	7.1	53.5	6.6	2.9	1.5	11.3	1.2
	その他	71	42.3	33.8	21.1	16.9	26.8	7.0	4.2	7.0	7.0	2.8

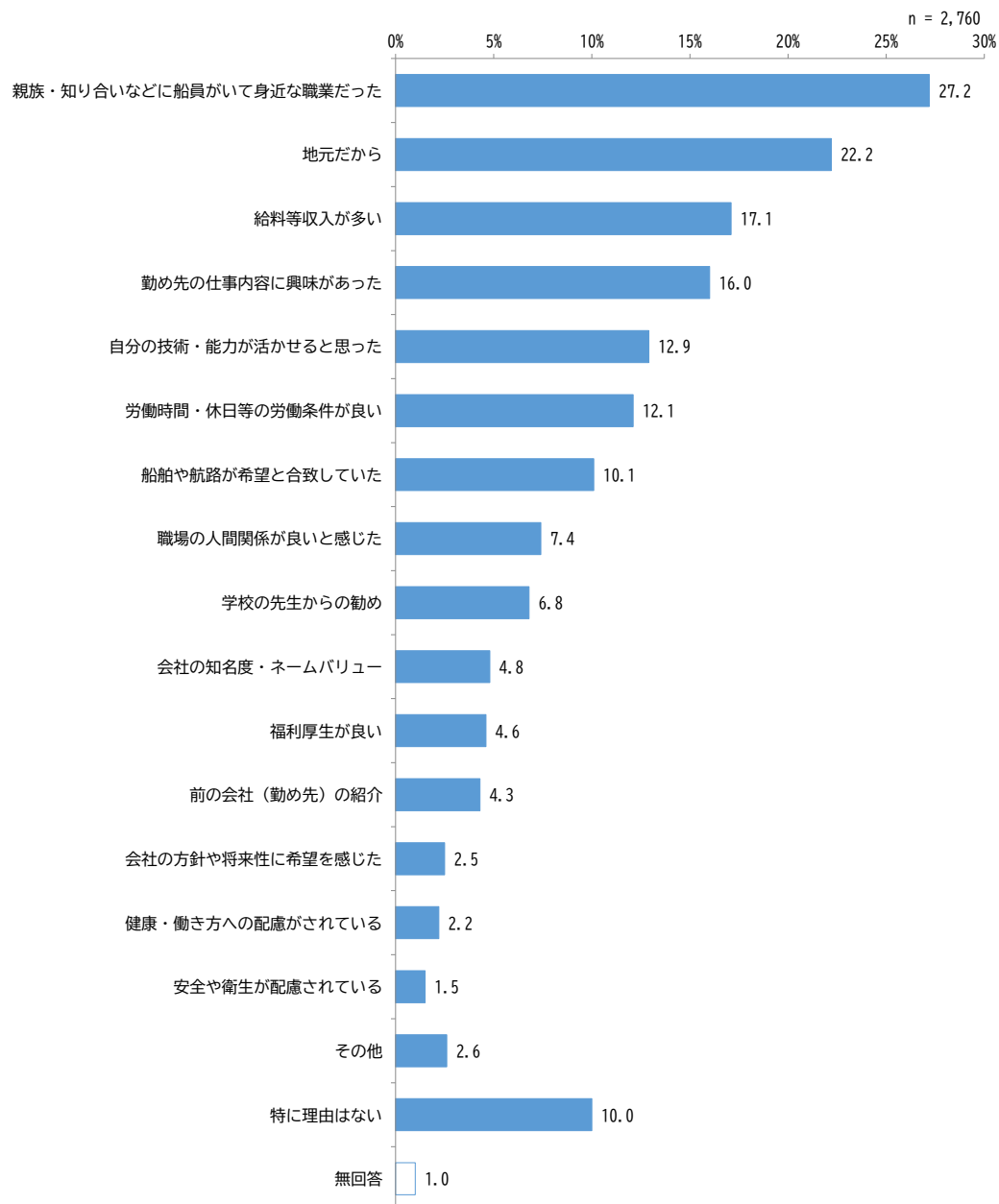
【漁船以外の船舶と漁船】別にみると、「親戚・知り合いなどに船員がいて身近な職業だった」割合は、漁船で53.5%と比較的高くなっている。(図表2－1－5)

4. 勤め先を選んだ理由

◆「親族・知り合いなどに船員がいて身近な職業だった」が27.2%で最も高い

問 11. あなたが、現在所属する勤め先を選んだ主な理由を教えてください。(○は3つまで)

図表 2－1－6 勤め先を選んだ理由



勤め先を選んだ理由について、「親族・知り合いなどに船員がいて身近な職業だった」27.2%が最も高く、以下「地元だから」22.2%、「給料等収入が多い」17.1%、「勤め先の仕事内容に興味があった」16.0%、「自分の技術・能力が活かせると思った」12.9%となっている。(図表 2－1－6)

図表２－１－７ 年齢区分別・事業内容別 勤め先を選んだ理由

		調査数	勤め先の仕事内容に興味があった	健康・働き方への配慮がされている	福利厚生が良い	労働時間・休日等の労働条件が良い	安全や衛生が配慮されている	自分の技術・能力が活かされると思った	給料等収入が多い	船舶や航路が希望と合致していた	地元だから	職場の人間関係が良いと感じた	会社の知名度・ネームバリュー	会社の方針や将来性に希望を感じた	親族・知り合いなどに船員がいて身近な職業だった	前の会社（勤め先）の紹介	学校の先生からの勧め	その他	その他理由	無回答
全 体		2760	16.0	2.2	4.6	12.1	1.5	12.9	17.1	10.1	22.2	7.4	4.8	2.5	27.2	4.3	6.8	2.6	10.0	1.0
年齢区分別	15歳～19歳	26	34.6	3.8	11.5	15.4	-	3.8	11.5	11.5	11.5	11.5	-	7.7	23.1	-	26.9	-	-	-
	20歳～24歳	209	23.0	2.4	10.5	7.2	1.4	4.8	21.1	8.6	11.0	7.7	9.1	2.4	13.4	0.5	23.9	1.4	13.9	0.5
	25歳～29歳	264	22.0	3.4	6.1	15.5	1.5	6.8	20.1	8.7	15.9	10.6	8.7	3.0	23.9	2.3	11.0	1.9	6.8	-
	30歳～34歳	242	15.3	1.7	4.1	14.9	2.5	8.3	22.3	12.0	19.4	9.1	7.9	2.1	23.1	2.1	9.5	2.1	7.4	1.2
	35歳～39歳	235	21.3	1.7	4.7	15.3	-	8.9	21.7	9.8	23.0	6.4	6.4	2.1	25.1	2.1	7.7	2.1	9.4	0.9
	40歳～44歳	225	13.8	2.7	4.0	12.4	1.3	10.7	19.1	11.6	28.0	6.7	4.0	2.2	32.0	4.0	5.3	1.3	8.0	-
	45歳～49歳	261	15.7	1.9	3.4	12.3	0.8	16.1	18.8	9.6	23.4	5.0	5.7	1.1	31.4	3.8	5.0	3.4	10.0	1.9
	50歳～54歳	274	16.4	1.5	4.4	12.8	1.8	11.7	18.2	8.4	23.7	4.4	3.6	3.6	26.6	4.4	6.2	3.6	10.9	1.5
	55歳～59歳	281	16.4	1.1	3.9	10.7	2.1	18.9	13.2	13.5	22.1	5.0	3.6	3.9	28.5	6.4	3.2	3.6	9.3	1.1
	60歳～64歳	327	12.8	1.2	4.0	8.3	1.2	16.8	14.1	8.3	29.4	5.5	2.8	2.1	32.7	5.8	1.2	3.4	11.6	0.6
	65歳～69歳	249	9.6	3.2	3.2	13.7	1.6	17.3	10.4	10.8	25.3	11.6	0.8	1.2	30.1	7.2	2.0	2.0	11.2	2.0
	70歳～74歳	167	6.6	4.8	2.4	9.0	2.4	21.6	10.2	10.8	21.0	10.8	1.2	2.4	29.3	9.0	0.6	4.2	13.8	1.2
事業内容別	外航船（貨物船（タンカー以外））	52	34.6	5.8	9.6	1.9	1.9	15.4	23.1	21.2	7.7	25.0	26.9	9.6	5.8	-	7.7	-	3.8	-
	外航船（タンカー）	50	22.0	2.0	10.0	6.0	4.0	8.0	32.0	16.0	-	14.0	30.0	10.0	10.0	6.0	4.0	2.0	10.0	2.0
	外航船（旅客船）	40	45.0	2.5	-	10.0	2.5	15.0	7.5	22.5	17.5	-	30.0	2.5	5.0	5.0	10.0	5.0	-	5.0
	内航船（貨物船（タンカー以外））	510	9.6	3.9	4.7	12.7	1.8	11.2	17.3	14.9	11.2	10.6	3.5	2.5	30.4	5.5	5.7	3.9	11.8	1.4
	内航船（タンカー）	439	12.1	3.4	5.5	13.7	1.8	14.1	17.1	13.0	13.2	9.1	3.6	3.0	28.2	6.4	8.2	2.5	11.2	0.9
	内航船（旅客船）	434	16.8	0.5	5.5	19.6	0.9	10.4	16.1	13.4	34.6	4.4	6.0	0.9	20.7	3.0	8.1	2.5	7.1	0.2
	漁船	592	11.1	1.2	2.0	3.0	0.8	11.5	18.8	2.0	30.6	6.8	2.4	1.4	42.2	1.7	4.9	1.7	11.5	1.5
	引き船（タグボート）・押船・作業船	485	20.4	2.1	4.1	13.0	1.6	15.7	16.5	7.2	28.0	4.5	2.7	2.1	20.0	4.7	6.6	3.1	9.9	0.4
	調査船	76	38.2	1.3	6.6	23.7	2.6	15.8	13.2	13.2	7.9	3.9	2.6	2.6	11.8	7.9	11.8	1.3	9.2	-
	その他	71	36.6	1.4	11.3	21.1	1.4	21.1	8.5	5.6	18.3	4.2	2.8	8.5	18.3	5.6	11.3	2.8	2.8	1.4

【年齢区分】別にみると、

- ・「親族・知り合いなどに船員がいて身近な職業だった」割合は、年齢階級が高い区分では、割合がやや高くなっており、60歳～64歳の区分では32.7%と高くなっている。

【事業内容】別にみると、

- ・「親戚・知り合いなどに船員がいて身近な職業だった」割合は、漁船で比較的高い。
- ・「地元だから」の割合は、内航船（旅客船）・漁船・引き船（タグボート）・押船・作業船の3区分の回答割合が、他の事業内容と比べて比較的高くなっている。

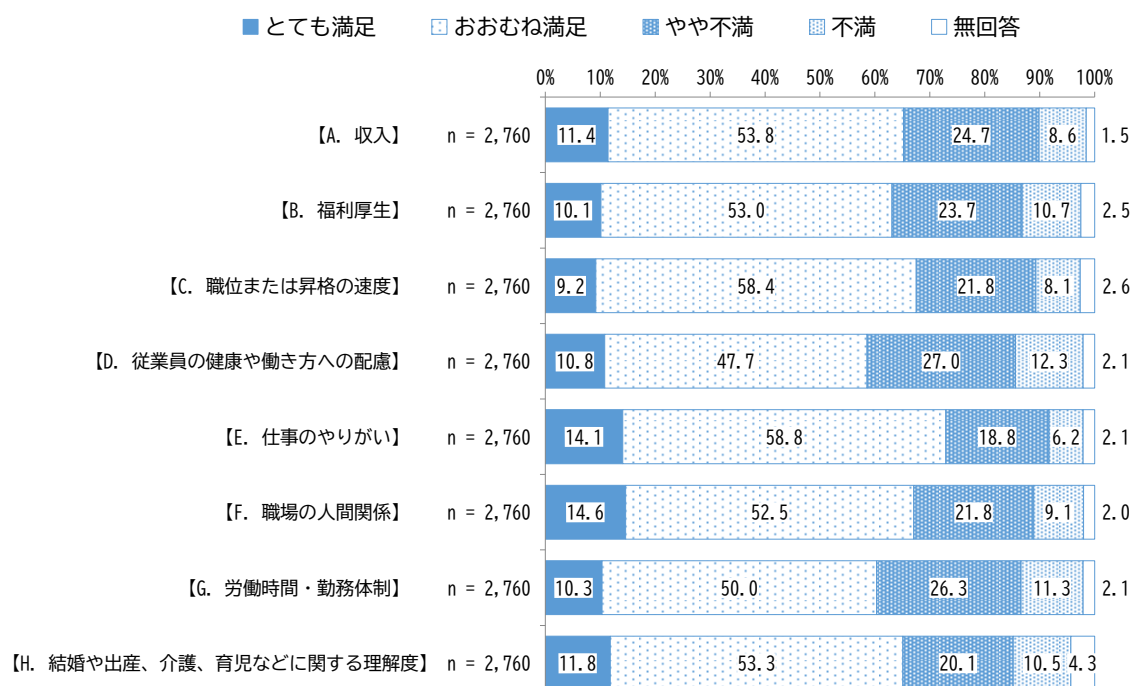
（図表２－１－７）

5. 勤め先に対する各項目の満足度

◆【E. 仕事のやりがい】の《満足》（「とても満足」＋「おおむね満足」）の割合が72.9%と高い

問 12. あなたが現在所属する勤め先に対する満足度について、次の A～H について、それぞれお答えください。（○はそれぞれ1つ）

図表 2－1－8 勤め先に対する各項目の満足度 全体比較



勤め先に対する満足度について、A～H を見比べると、【D. 従業員の健康や働き方への配慮】の「やや不満」が27.0%と8項目の中では、比較的高くなっている。【E. 仕事のやりがい】の《満足》（「とても満足」＋「おおむね満足」）の割合は72.9%と8項目の中では、比較的高くなっている。（図表2－1－8）

図表 2 - 1 - 9 漁船以外の船舶と漁船別 勤め先に対する各項目の満足度

	漁船以外の船舶						漁船						その他					
	調査数	とても満足	おおむね満足	やや不満	不満	無回答	調査数	とても満足	おおむね満足	やや不満	不満	無回答	調査数	とても満足	おおむね満足	やや不満	不満	無回答
汽船																		
【A. 収入】	2086	10.5	54.3	25.9	8.1	1.1	592	15.2	51.7	21.1	9.3	2.7	71	5.6	56.3	19.7	15.5	2.8
【B. 福利厚生】	2086	9.3	52.5	25.3	11.2	1.8	592	12.0	54.1	19.4	9.5	5.1	71	15.5	60.6	14.1	7.0	2.8
【C. 職位または昇格の速度】	2086	8.6	57.9	23.2	8.4	1.9	592	11.1	60.3	17.1	6.6	4.9	71	5.6	60.6	21.1	9.9	2.8
【D. 従業員の健康や働き方への配慮】	2086	10.3	46.4	28.6	13.3	1.5	592	11.7	52.0	23.0	9.5	3.9	71	18.3	53.5	15.5	8.5	4.2
【E. 仕事のやりがい】	2086	13.1	59.7	19.3	6.4	1.4	592	16.6	56.4	18.1	5.1	3.9	71	19.7	54.9	14.1	7.0	4.2
【F. 職場の人間関係】	2086	13.7	51.9	23.3	9.6	1.5	592	17.6	53.9	17.7	7.1	3.7	71	14.1	59.2	9.9	14.1	2.8
【G. 労働時間・勤務体制】	2086	10.1	49.7	27.0	11.6	1.6	592	9.5	51.0	26.0	10.0	3.5	71	21.1	54.9	9.9	11.3	2.8
【H. 結婚や出産、介護、育児などに関する理解度】	2086	11.4	53.8	20.8	10.6	3.4	592	11.3	52.2	18.8	10.6	7.1	71	26.8	50.7	12.7	5.6	4.2

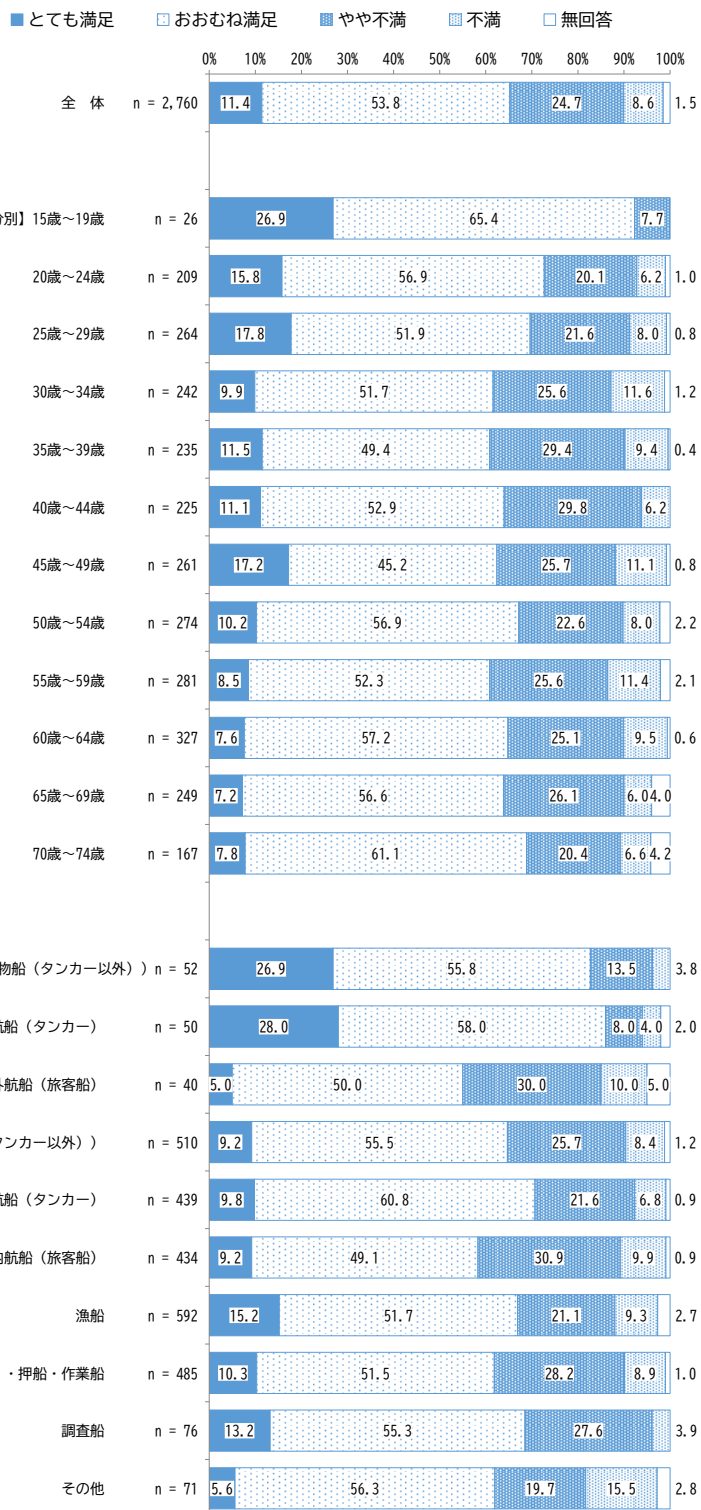
【漁船以外の船舶と漁船】別にみると、

- ・【A. 収入】漁船以外の船舶は、「やや不満」が 25.9%と比較的高くなっている。漁船は、「とても満足」が 15.2%と比較的高くなっている。
- ・【B. 福利厚生】漁船以外の船舶は、「やや不満」が 25.3%と比較的高くなっている。漁船は、「とても満足」が 12.0%と比較的高くなっている。
- ・【C. 職位または昇格の速度】漁船以外の船舶は、「やや不満」が 23.2%と比較的高くなっている。漁船は、「とても満足」が 11.1%、「おおむね満足」が 60.3%と比較的高くなっている。
- ・【D. 従業員の健康や働き方への配慮】漁船以外の船舶は、「不満」が 13.3%と比較的高くなっている。漁船は、「とても満足」が 11.7%、「おおむね満足」が 52.0%と比較的高くなっている。
- ・【E. 仕事のやりがい】漁船以外の船舶は、「おおむね満足」が 59.7%、「やや不満」が 19.3%と比較的高くなっている。漁船は、「とても満足」が 16.6%と比較的高くなっている。
- ・【F. 職場の人間関係】漁船以外の船舶は、「やや不満」が 23.3%と比較的高くなっている。漁船は、「とても満足」が 17.6%と比較的高くなっている。
- ・【G. 労働時間・勤務体制】漁船以外の船舶は、「やや不満」が 27.0%、「不満」が 11.6%と比較的高くなっている。漁船は、「おおむね満足」が 51.0%と比較的高くなっている。
- ・【H. 結婚や出産、介護、育児などに関する理解度】において、漁船以外の船舶は、「おおむね満足」が 53.8%、「やや不満」が 20.8%、「不満」が 10.6%と比較的高くなっている。漁船は、「不満」が 10.6%と比較的高くなっている。

(図表 2 - 1 - 9)

◆【A. 収入】の「満足」の割合は、65.2%と6割強

図表2-1-10 勤め先に対する各項目の満足度【A. 収入】



勤め先に対する各項目の満足度のうち、【A. 収入】では、「満足」（「とても満足」＋「おおむね満足」）の割合は、65.2%となっている。【年齢区分】別にみると、「とても満足」の割合が、30歳未満の3区分では比較的高くなっている。（図表2-1-10）

図表 2-1-11 勤続年数別 勤め先に対する各項目の満足度【A. 収入】

		調査数	とても満足	おおむね満足	やや不満	不満	無回答
全 体		2760	11.4	53.8	24.7	8.6	1.5
勤続年数別	1ヶ月未満	22	4.5	68.2	13.6	9.1	4.5
	1ヶ月以上～3ヶ月未満	25	16.0	72.0	8.0	4.0	-
	3ヶ月以上～6ヶ月未満	66	18.2	56.1	16.7	6.1	3.0
	6ヶ月以上～1年未満	138	11.6	55.8	21.0	8.7	2.9
	1年以上～3年未満	337	13.6	53.7	22.3	9.2	1.2
	3年以上～5年未満	321	14.0	49.5	28.0	8.4	-
	5年以上～10年未満	501	9.4	53.1	26.5	10.2	0.8
	10年以上～20年未満	587	10.6	54.7	26.1	8.3	0.3
	20年以上～30年未満	374	10.2	52.4	26.5	9.6	1.3
	30年以上	375	12.0	56.8	22.7	6.7	1.9

【勤続年数】別にみると、全体と大きな差は見られない。(図表 2-1-11)

図表 2-1-12 転職経験・勤続年数別 勤め先に対する各項目の満足度【A. 収入】

転職経験が3回未満		調査数	とても満足	おおむね満足	やや不満	不満	無回答
全 体		952	9.3	53.8	27.8	8.7	0.3
勤続年数別	1ヶ月未満	7	-	42.9	42.9	-	14.3
	1ヶ月以上～3ヶ月未満	8	-	87.5	12.5	-	-
	3ヶ月以上～6ヶ月未満	24	-	70.8	16.7	8.3	4.2
	6ヶ月以上～1年未満	36	13.9	55.6	25.0	5.6	-
	1年以上～3年未満	111	9.9	55.0	23.4	11.7	-
	3年以上～5年未満	113	15.9	45.1	29.2	9.7	-
	5年以上～10年未満	187	5.9	52.4	30.5	11.2	-
	10年以上～20年未満	201	7.0	58.2	26.9	8.0	-
	20年以上～30年未満	148	10.8	52.0	28.4	8.1	0.7
	30年以上	116	12.1	51.7	31.0	5.2	-

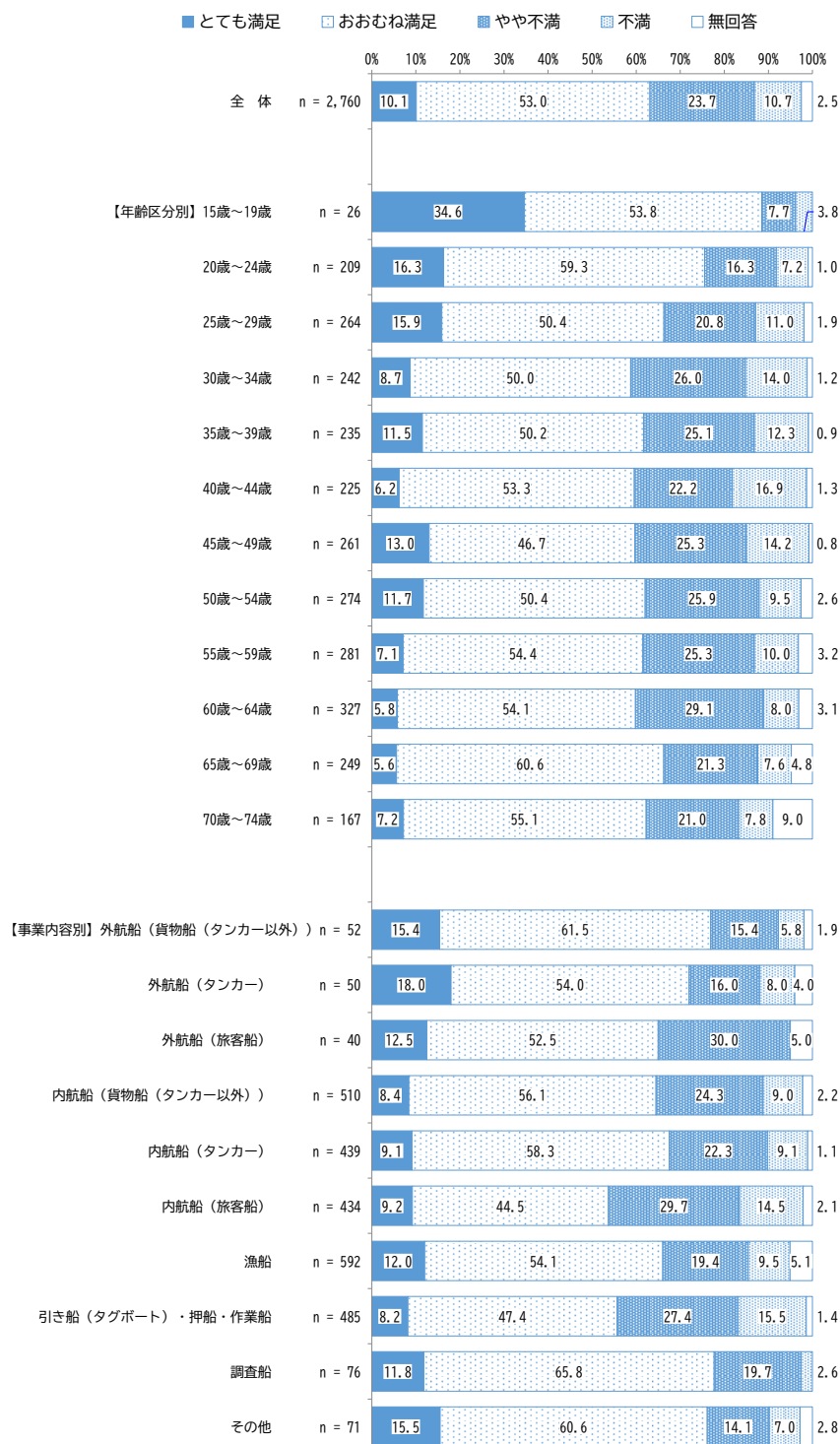
転職経験が3回以上		調査数	とても満足	おおむね満足	やや不満	不満	無回答
全 体		877	8.9	52.9	25.7	10.7	1.8
勤続年数別	1ヶ月未満	12	8.3	75.0	-	16.7	-
	1ヶ月以上～3ヶ月未満	12	25.0	58.3	8.3	8.3	-
	3ヶ月以上～6ヶ月未満	27	18.5	55.6	14.8	7.4	3.7
	6ヶ月以上～1年未満	56	7.1	50.0	23.2	16.1	3.6
	1年以上～3年未満	126	10.3	54.8	23.8	9.5	1.6
	3年以上～5年未満	123	8.9	51.2	32.5	7.3	-
	5年以上～10年未満	185	8.1	52.4	25.9	11.9	1.6
	10年以上～20年未満	217	9.7	50.2	29.0	10.6	0.5
	20年以上～30年未満	78	3.8	52.6	25.6	15.4	2.6
	30年以上	38	5.3	68.4	13.2	5.3	7.9

転職経験なし		調査数	とても満足	おおむね満足	やや不満	不満	無回答
全 体		915	16.1	55.3	20.8	6.4	1.4
勤続年数別	1ヶ月未満	3	-	100.0	-	-	-
	1ヶ月以上～3ヶ月未満	5	20.0	80.0	-	-	-
	3ヶ月以上～6ヶ月未満	15	46.7	33.3	20.0	-	-
	6ヶ月以上～1年未満	45	15.6	64.4	15.6	2.2	2.2
	1年以上～3年未満	98	20.4	52.0	19.4	6.1	2.0
	3年以上～5年未満	83	19.3	53.0	20.5	7.2	-
	5年以上～10年未満	129	16.3	55.0	21.7	6.2	0.8
	10年以上～20年未満	168	16.1	56.5	21.4	5.4	0.6
	20年以上～30年未満	147	12.9	52.4	25.2	8.2	1.4
	30年以上	220	13.2	57.7	19.5	7.7	1.8

【転職経験・勤続年数】別にみると、転職経験が3回未満かつ勤続年数が30年以上の場合、「やや不満」が31.0%と比較的高くなっている。転職経験が3回以上かつ勤続年数が20年以上～30年未満の場合、「不満」が15.4%と比較的高くなっている。転職経験なしかつ勤続年数が1年以上～3年未満の場合、「とても満足」が20.4%と比較的高くなっている。(図表 2-1-12)

◆【B. 福利厚生】の《満足》の割合は、63.1%

図表 2-1-13 勤め先に対する各項目の満足度【B. 福利厚生】



勤め先に対する各項目の満足度について【B. 福利厚生】では、《満足》（「とても満足」+「おおむね満足」）の割合は、63.1%となっている。【事業内容】別にみると、《満足》の割合は、「内航船（旅客船）」53.7%と他の事業内容と比べて低くなっている。（図表 2-1-13）

図表 2-1-14 勤続年数別 勤め先に対する各項目の満足度【B. 福利厚生】

		調査数	とても満足	おおむね満足	やや不満	不満	無回答
全 体		2760	10.1	53.0	23.7	10.7	2.5
勤続年数別	1ヶ月未満	22	18.2	40.9	27.3	9.1	4.5
	1ヶ月以上～3ヶ月未満	25	24.0	40.0	24.0	12.0	-
	3ヶ月以上～6ヶ月未満	66	12.1	54.5	21.2	9.1	3.0
	6ヶ月以上～1年未満	138	15.2	51.4	22.5	7.2	3.6
	1年以上～3年未満	337	12.2	52.8	20.2	12.5	2.4
	3年以上～5年未満	321	14.3	54.5	20.9	10.0	0.3
	5年以上～10年未満	501	9.0	49.5	26.7	12.8	2.0
	10年以上～20年未満	587	8.2	55.4	24.9	10.1	1.5
	20年以上～30年未満	374	7.2	50.8	24.3	15.2	2.4
	30年以上	375	8.3	58.9	24.0	5.3	3.5

【勤続年数】別にみると、「とても満足」の割合は、6ヶ月以上～1年未満区分と、3年以上～5年未満区分の2つの区分で比較的高くなっている。(図表 2-1-14)

図表 2-1-15 転職経験・勤続年数別 勤め先に対する各項目の満足度【B. 福利厚生】

3回未満							調査 数	とても 満足	おおむ ね満足	やや 不満	不満	無回 答
全 体							952	8.4	53.5	24.9	11.9	1.4
勤続年 数別	1ヶ月未満	7	42.9	28.6	14.3	-	14.3					
	1ヶ月以上～3ヶ月未満	8	12.5	37.5	37.5	12.5	-					
	3ヶ月以上～6ヶ月未満	24	-	58.3	25.0	12.5	4.2					
	6ヶ月以上～1年未満	36	13.9	66.7	11.1	5.6	2.8					
	1年以上～3年未満	111	11.7	48.6	18.9	19.8	0.9					
	3年以上～5年未満	113	16.8	53.1	19.5	10.6	-					
	5年以上～10年未満	187	5.3	49.7	32.1	12.3	0.5					
	10年以上～20年未満	201	6.5	57.2	25.9	8.5	2.0					
	20年以上～30年未満	148	6.8	50.0	24.3	16.9	2.0					
	30年以上	116	4.3	60.3	27.6	6.9	0.9					

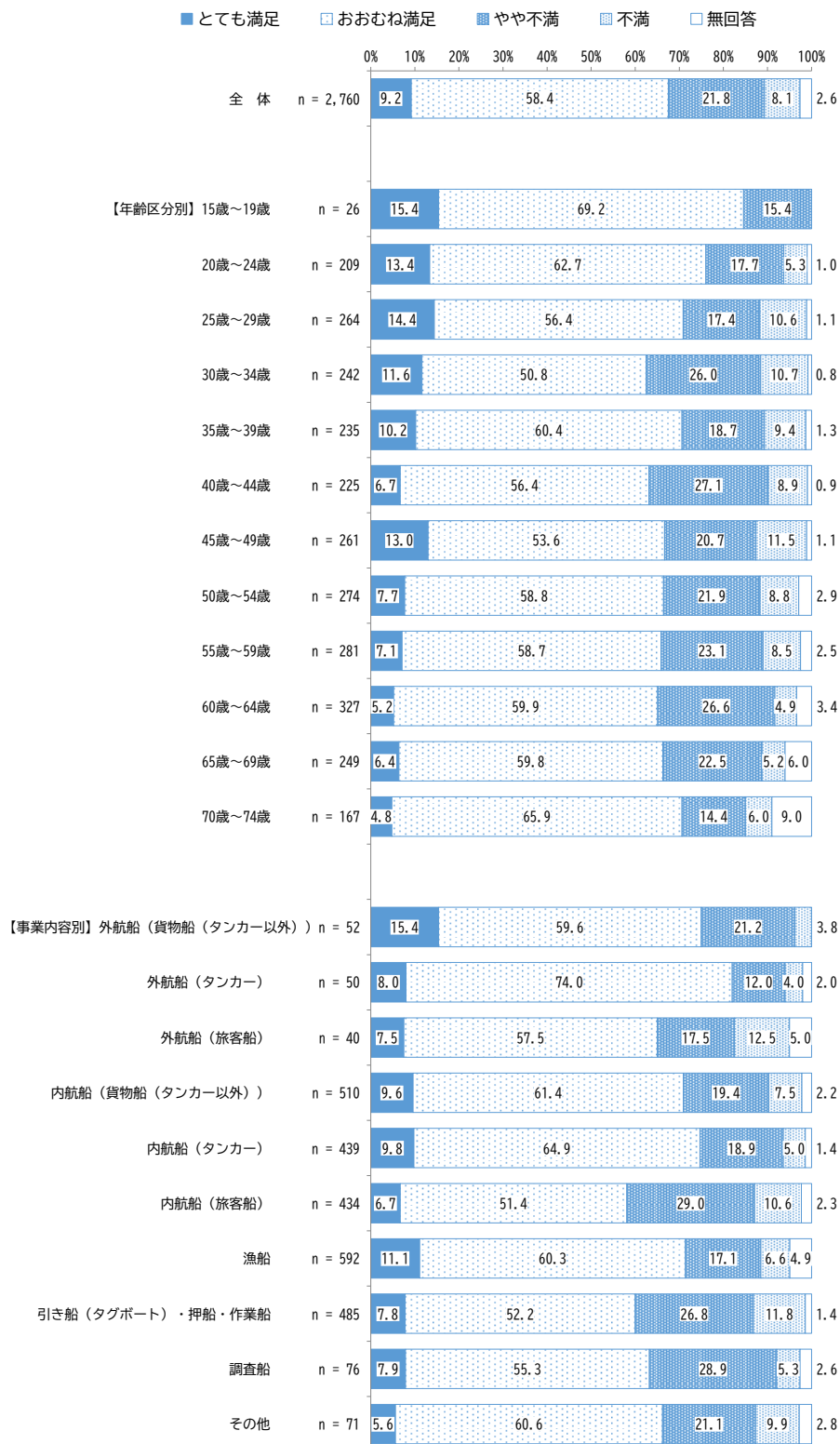
3回以上							調査 数	とても 満足	おおむ ね満足	やや 不満	不満	無回 答
全 体							877	8.8	50.6	26.1	11.4	3.1
勤続年 数別	1ヶ月未満	12	8.3	41.7	33.3	16.7	-					
	1ヶ月以上～3ヶ月未満	12	25.0	33.3	25.0	16.7	-					
	3ヶ月以上～6ヶ月未満	27	7.4	59.3	18.5	11.1	3.7					
	6ヶ月以上～1年未満	56	12.5	41.1	32.1	10.7	3.6					
	1年以上～3年未満	126	8.7	54.0	24.6	9.5	3.2					
	3年以上～5年未満	123	9.8	52.8	26.8	10.6	-					
	5年以上～10年未満	185	8.6	50.3	21.1	16.2	3.8					
	10年以上～20年未満	217	9.2	50.2	30.0	8.8	1.8					
	20年以上～30年未満	78	5.1	50.0	25.6	15.4	3.8					
	30年以上	38	2.6	57.9	26.3	2.6	10.5					

転職経験なし							調査 数	とても 満足	おおむ ね満足	やや 不満	不満	無回 答
全 体							915	13.1	55.5	20.4	8.7	2.2
勤続年 数別	1ヶ月未満	3	-	66.7	33.3	-	-					
	1ヶ月以上～3ヶ月未満	5	40.0	60.0	-	-	-					
	3ヶ月以上～6ヶ月未満	15	40.0	40.0	20.0	-	-					
	6ヶ月以上～1年未満	45	20.0	53.3	20.0	4.4	2.2					
	1年以上～3年未満	98	16.3	57.1	16.3	8.2	2.0					
	3年以上～5年未満	83	18.1	59.0	14.5	7.2	1.2					
	5年以上～10年未満	129	14.7	48.1	27.1	8.5	1.6					
	10年以上～20年未満	168	8.9	60.1	17.3	13.1	0.6					
	20年以上～30年未満	147	8.8	51.7	23.8	13.6	2.0					
	30年以上	220	11.4	58.6	21.4	5.0	3.6					

【転職経験・勤続年数】別にみると、転職経験が3回未満かつ勤続年数が3年以上～5年未満の場合、「とても満足」が16.8%と比較的高くなっている。転職経験が3回以上かつ勤続年数が5年以上～10年未満の場合、「不満」が16.2%と比較的高くなっている。(図表 2-1-15)

◆【C. 職位または昇格の速度】の《満足》の割合は、67.6%

図表 2-1-16 勤め先に対する各項目の満足度【C. 職位または昇格の速度】



勤め先に対する満足度について【C. 職位または昇格の速度】では、《満足》（「とても満足」+「おおむね満足」）の割合は、67.6%となっている。【事業内容】別にみると、《満足》の割合は、「内航船（旅客船）」58.1%と他の事業内容と比べて低くなっている。（図表 2-1-16）

図表 2-1-17 勤続年数別 勤め先に対する各項目の満足度【C. 職位または昇格の速度】

		調査数	とても満足	おおむね満足	やや不満	不満	無回答
全 体		2760	9.2	58.4	21.8	8.1	2.6
勤続年数別	1ヶ月未満	22	18.2	50.0	18.2	9.1	4.5
	1ヶ月以上～3ヶ月未満	25	24.0	32.0	28.0	12.0	4.0
	3ヶ月以上～6ヶ月未満	66	10.6	62.1	16.7	6.1	4.5
	6ヶ月以上～1年未満	138	10.9	61.6	16.7	7.2	3.6
	1年以上～3年未満	337	10.4	59.3	20.2	7.1	3.0
	3年以上～5年未満	321	12.5	58.3	22.7	5.9	0.6
	5年以上～10年未満	501	9.4	58.1	19.2	11.8	1.6
	10年以上～20年未満	587	7.0	59.8	23.9	8.3	1.0
	20年以上～30年未満	374	8.0	52.9	24.9	11.5	2.7
	30年以上	375	7.5	63.2	22.9	2.9	3.5

【勤続年数】別にみると、5年以上～10年未満は、「不満」が11.8%と比較的高くなっている。20年以上～30年未満は、「不満」が11.5%と比較的高くなっている。(図表2-1-17)

図表 2-1-18 転職経験・勤続年数別 勤め先に対する各項目の満足度【C. 職位または昇格の速度】

3回未満		調査数	とても満足	おおむね満足	やや不満	不満	無回答
全 体		952	8.6	59.0	23.4	7.8	1.2
勤続年数別	1ヶ月未満	7	28.6	57.1	-	-	14.3
	1ヶ月以上～3ヶ月未満	8	12.5	37.5	25.0	25.0	-
	3ヶ月以上～6ヶ月未満	24	4.2	66.7	12.5	12.5	4.2
	6ヶ月以上～1年未満	36	5.6	75.0	13.9	2.8	2.8
	1年以上～3年未満	111	9.0	56.8	21.6	11.7	0.9
	3年以上～5年未満	113	18.6	49.6	26.5	4.4	0.9
	5年以上～10年未満	187	7.0	59.9	23.5	8.6	1.1
	10年以上～20年未満	201	5.5	62.2	22.4	9.5	0.5
	20年以上～30年未満	148	8.8	53.4	27.7	8.1	2.0
	30年以上	116	6.9	65.5	25.0	2.6	-

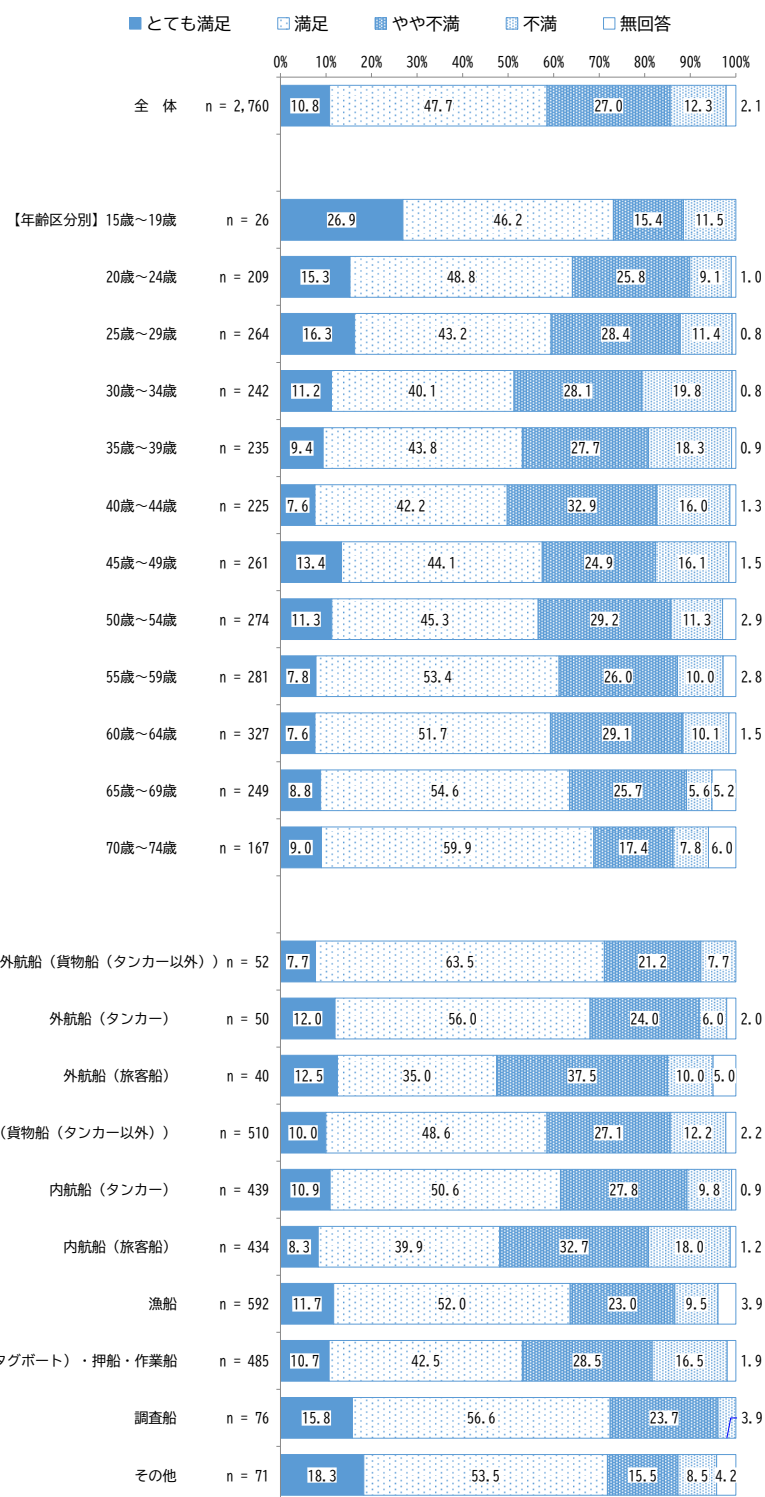
3回以上		調査数	とても満足	おおむね満足	やや不満	不満	無回答
全 体		877	8.1	57.8	22.2	8.8	3.1
勤続年数別	1ヶ月未満	12	16.7	50.0	16.7	16.7	-
	1ヶ月以上～3ヶ月未満	12	33.3	25.0	25.0	8.3	8.3
	3ヶ月以上～6ヶ月未満	27	7.4	59.3	22.2	3.7	7.4
	6ヶ月以上～1年未満	56	10.7	55.4	16.1	14.3	3.6
	1年以上～3年未満	126	7.1	58.7	24.6	5.6	4.0
	3年以上～5年未満	123	8.9	62.6	23.6	4.9	-
	5年以上～10年未満	185	8.6	57.3	17.3	14.1	2.7
	10年以上～20年未満	217	6.5	58.5	26.7	6.9	1.4
	20年以上～30年未満	78	6.4	51.3	23.1	14.1	5.1
	30年以上	38	5.3	68.4	18.4	-	7.9

転職経験なし		調査数	とても満足	おおむね満足	やや不満	不満	無回答
全 体		915	10.8	59.0	19.9	7.8	2.5
勤続年数別	1ヶ月未満	3	-	33.3	66.7	-	-
	1ヶ月以上～3ヶ月未満	5	20.0	40.0	40.0	-	-
	3ヶ月以上～6ヶ月未満	15	26.7	60.0	13.3	-	-
	6ヶ月以上～1年未満	45	15.6	60.0	20.0	2.2	2.2
	1年以上～3年未満	98	15.3	64.3	13.3	4.1	3.1
	3年以上～5年未満	83	9.6	63.9	16.9	8.4	1.2
	5年以上～10年未満	129	14.0	56.6	15.5	13.2	0.8
	10年以上～20年未満	168	9.5	58.9	22.0	8.3	1.2
	20年以上～30年未満	147	8.2	53.1	23.1	13.6	2.0
	30年以上	220	8.2	61.4	22.3	3.6	4.5

【転職経験・勤続年数】別にみると、転職経験が3回未満かつ勤続年数が3年以上～5年未満の場合、「とても満足」が18.6%と比較的高くなっている。転職経験が3回以上かつ勤続年数が5年以上～10年未満の場合、「不満」が14.1%、20年以上～30年未満は「不満」が14.1%と比較的高くなっている。(図表2-1-18)

◆【D. 働き方への配慮】の《満足》の割合は、58.5%

図表 2-1-19 勤め先に対する各項目の満足度【D. 従業員の健康や働き方への配慮】



勤め先に対する満足度について【D. 従業員の健康や働き方への配慮】では、《満足》（「とても満足」＋「おおむね満足」）の割合は、58.5%となっている。各項目と比較すると、唯一 60%を下回る結果となった。【事業内容】別にみると、《満足》の割合は、「内航船（旅客船）」48.2%と他の事業内容と比べて低くなっている。（図表 2-1-19）

図表 2-1-20 勤続年数別 勤め先に対する各項目の満足度【D. 従業員の健康や働き方への配慮】

		調査数	とても満足	満足	やや不満	不満	無回答
全 体		2760	10.8	47.7	27.0	12.3	2.1
勤続年数別	1ヶ月未満	22	22.7	50.0	18.2	-	9.1
	1ヶ月以上～3ヶ月未満	25	24.0	40.0	28.0	8.0	-
	3ヶ月以上～6ヶ月未満	66	21.2	45.5	16.7	13.6	3.0
	6ヶ月以上～1年未満	138	15.2	41.3	28.3	11.6	3.6
	1年以上～3年未満	337	13.4	46.3	25.5	13.4	1.5
	3年以上～5年未満	321	12.5	46.7	29.9	10.6	0.3
	5年以上～10年未満	501	8.6	46.1	28.1	15.2	2.0
	10年以上～20年未満	587	8.9	50.3	27.6	12.8	0.5
	20年以上～30年未満	374	7.2	44.7	30.5	14.7	2.9
	30年以上	375	12.0	55.5	22.9	7.5	2.1

【勤続年数】別にみると、全体と大きな差は見られない。(図表 2-1-20)

図表 2-1-21 転職経験・勤続年数別 勤め先に対する各項目の満足度【D. 従業員の健康や働き方への配慮】

3回未満		調査数	とても満足	満足	やや不満	不満	無回答
全 体		952	10.5	45.9	28.4	14.1	1.2
勤続年数別	1ヶ月未満	7	28.6	42.9	14.3	-	14.3
	1ヶ月以上～3ヶ月未満	8	12.5	25.0	37.5	25.0	-
	3ヶ月以上～6ヶ月未満	24	12.5	37.5	20.8	25.0	4.2
	6ヶ月以上～1年未満	36	13.9	50.0	25.0	8.3	2.8
	1年以上～3年未満	111	14.4	39.6	29.7	16.2	-
	3年以上～5年未満	113	16.8	38.9	30.1	14.2	-
	5年以上～10年未満	187	7.5	43.9	32.1	13.9	2.7
	10年以上～20年未満	201	7.0	51.7	27.4	13.9	-
	20年以上～30年未満	148	9.5	45.3	27.0	16.2	2.0
	30年以上	116	10.3	54.3	25.9	9.5	-

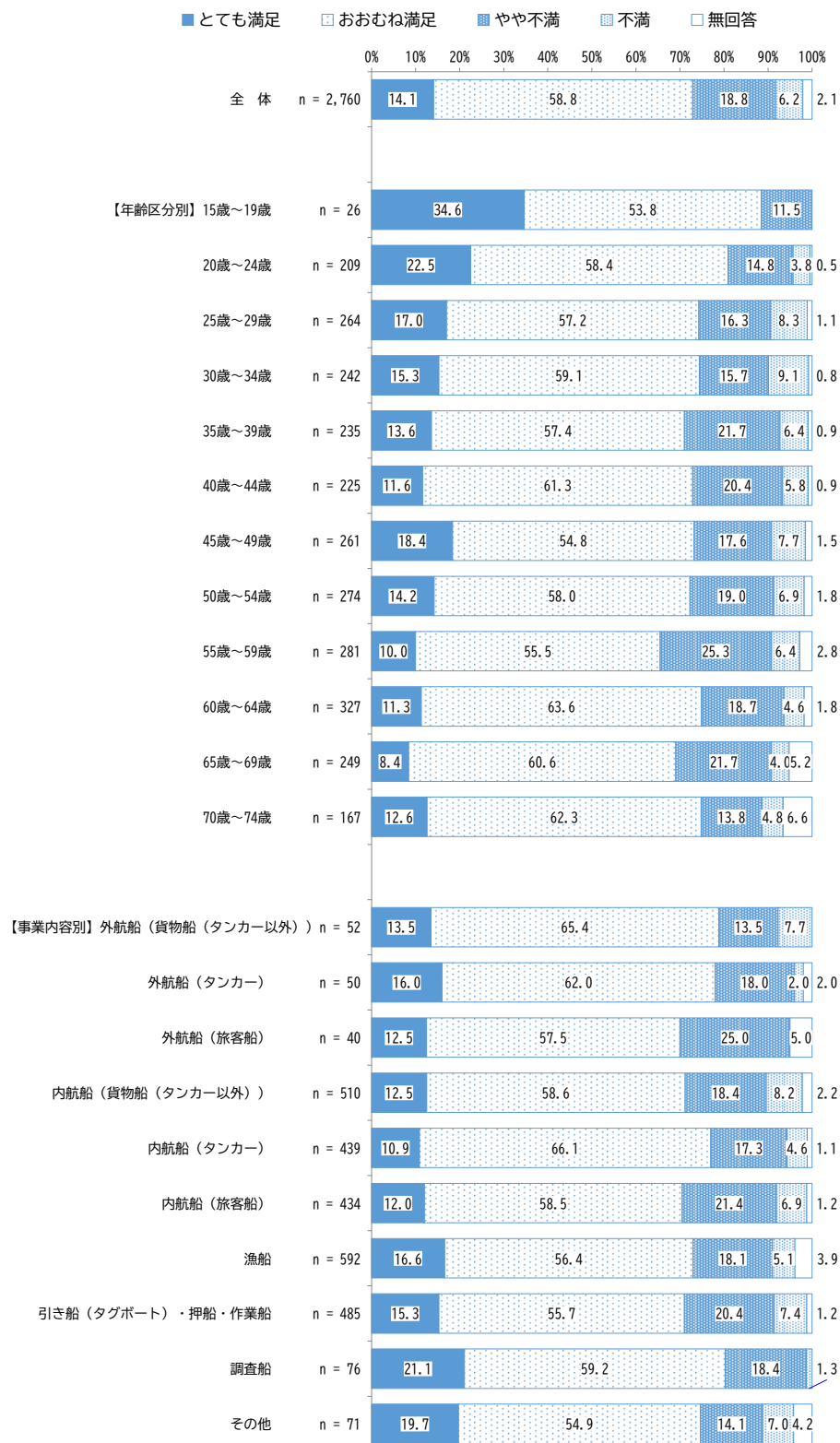
3回以上		調査数	とても満足	満足	やや不満	不満	無回答
全 体		877	8.9	49.1	27.7	11.6	2.6
勤続年数別	1ヶ月未満	12	25.0	58.3	8.3	-	8.3
	1ヶ月以上～3ヶ月未満	12	25.0	50.0	25.0	-	-
	3ヶ月以上～6ヶ月未満	27	18.5	55.6	14.8	7.4	3.7
	6ヶ月以上～1年未満	56	17.9	35.7	28.6	14.3	3.6
	1年以上～3年未満	126	11.9	48.4	25.4	11.9	2.4
	3年以上～5年未満	123	5.7	57.7	27.6	8.1	0.8
	5年以上～10年未満	185	8.6	46.5	24.9	17.8	2.2
	10年以上～20年未満	217	6.9	49.8	31.8	10.6	0.9
	20年以上～30年未満	78	1.3	46.2	35.9	11.5	5.1
	30年以上	38	7.9	52.6	26.3	5.3	7.9

転職経験なし		調査数	とても満足	満足	やや不満	不満	無回答
全 体		915	13.0	49.0	25.2	11.1	1.6
勤続年数別	1ヶ月未満	3	-	33.3	66.7	-	-
	1ヶ月以上～3ヶ月未満	5	40.0	40.0	20.0	-	-
	3ヶ月以上～6ヶ月未満	15	40.0	40.0	13.3	6.7	-
	6ヶ月以上～1年未満	45	13.3	42.2	31.1	11.1	2.2
	1年以上～3年未満	98	13.3	52.0	21.4	12.2	1.0
	3年以上～5年未満	83	16.9	41.0	33.7	8.4	-
	5年以上～10年未満	129	10.1	48.8	27.1	13.2	0.8
	10年以上～20年未満	168	13.7	49.4	22.0	14.3	0.6
	20年以上～30年未満	147	8.2	43.5	30.6	15.0	2.7
	30年以上	220	13.6	56.8	20.9	6.4	2.3

【転職経験・勤続年数】別にみると、転職経験が3回未満かつ勤続年数が1年以上～3年未満の場合、「とても満足」が14.4%、3年以上～5年未満の場合、「とても満足」が16.8%と比較的高くなっている。転職経験が3回以上かつ勤続年数が1年以上～3年未満の場合、「とても満足」が11.9%と比較的高くなっている。転職経験なしかつ3年以上～5年未満の場合、「やや不満」が33.7%と比較的高くなっている。(図表 2-1-21)

◆【E. 仕事のやりがい】の《満足》の割合は、72.9%

図表 2-1-22 勤め先に対する各項目の満足度【E. 仕事のやりがい】



勤め先に対する満足度について【E. 仕事のやりがい】では、《満足》（「とても満足」＋「おおむね満足」）の割合は、72.9%となっている。各項目と比較すると、唯一70%を上回った。船員という仕事に誇りをもっていることがこの結果からも知ることができる。（図表 2-1-22）

図表 2-1-23 勤続年数別 勤め先に対する各項目の満足度【E. 仕事のやりがい】

		調査数	とても満足	おおむね満足	やや不満	不満	無回答
全 体		2760	14.1	58.8	18.8	6.2	2.1
勤続年数別	1ヶ月未満	22	22.7	68.2	-	4.5	4.5
	1ヶ月以上～3ヶ月未満	25	20.0	44.0	32.0	4.0	-
	3ヶ月以上～6ヶ月未満	66	25.8	42.4	22.7	4.5	4.5
	6ヶ月以上～1年未満	138	20.3	52.9	15.2	7.2	4.3
	1年以上～3年未満	337	17.5	58.8	15.1	7.7	0.9
	3年以上～5年未満	321	14.3	62.6	18.4	4.4	0.3
	5年以上～10年未満	501	13.6	56.9	20.8	7.2	1.6
	10年以上～20年未満	587	10.9	61.0	20.3	6.6	1.2
	20年以上～30年未満	374	10.2	63.6	16.8	7.2	2.1
	30年以上	375	16.0	57.3	21.1	3.5	2.1

【勤続年数】別にみると、全体と大きな差は見られない。(図表 2-1-23)

図表 2-1-24 転職経験・勤続年数別 勤め先に対する各項目の満足度【E. 仕事のやりがい】

		調査数	とても満足	おおむね満足	やや不満	不満	無回答
3回未満							
全 体		952	14.8	57.9	19.6	6.5	1.2
勤続年数別	1ヶ月未満	7	14.3	71.4	-	-	14.3
	1ヶ月以上～3ヶ月未満	8	12.5	62.5	12.5	12.5	-
	3ヶ月以上～6ヶ月未満	24	29.2	33.3	25.0	8.3	4.2
	6ヶ月以上～1年未満	36	13.9	66.7	5.6	11.1	2.8
	1年以上～3年未満	111	19.8	55.0	13.5	11.7	-
	3年以上～5年未満	113	15.9	58.4	19.5	6.2	-
	5年以上～10年未満	187	15.5	57.8	20.9	4.3	1.6
	10年以上～20年未満	201	11.4	60.2	20.9	6.5	1.0
	20年以上～30年未満	148	10.8	62.2	18.2	7.4	1.4
	30年以上	116	16.4	51.7	28.4	2.6	0.9

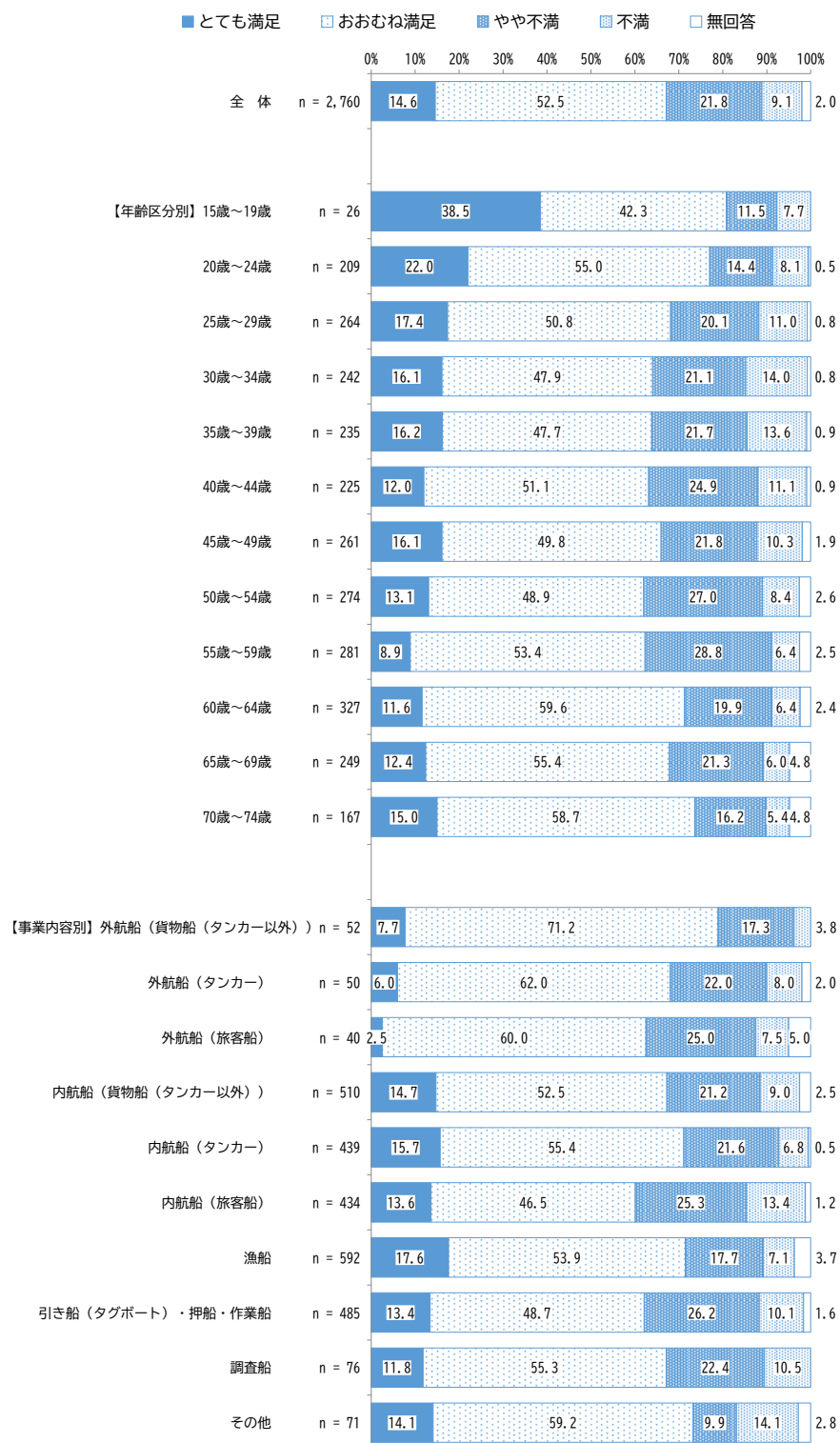
		調査数	とても満足	おおむね満足	やや不満	不満	無回答
3回以上							
全 体		877	11.1	59.3	20.5	6.6	2.5
勤続年数別	1ヶ月未満	12	33.3	58.3	-	8.3	-
	1ヶ月以上～3ヶ月未満	12	16.7	33.3	50.0	-	-
	3ヶ月以上～6ヶ月未満	27	25.9	48.1	18.5	-	7.4
	6ヶ月以上～1年未満	56	19.6	44.6	21.4	8.9	5.4
	1年以上～3年未満	126	14.3	58.7	18.3	7.1	1.6
	3年以上～5年未満	123	8.9	68.3	18.7	3.3	0.8
	5年以上～10年未満	185	11.4	55.7	22.7	8.1	2.2
	10年以上～20年未満	217	6.5	60.4	23.5	7.8	1.8
	20年以上～30年未満	78	5.1	67.9	15.4	9.0	2.6
	30年以上	38	13.2	65.8	15.8	-	5.3

		調査数	とても満足	おおむね満足	やや不満	不満	無回答
転職経験なし							
全 体		915	16.3	60.3	16.4	5.4	1.6
勤続年数別	1ヶ月未満	3	-	100.0	-	-	-
	1ヶ月以上～3ヶ月未満	5	40.0	40.0	20.0	-	-
	3ヶ月以上～6ヶ月未満	15	20.0	46.7	26.7	6.7	-
	6ヶ月以上～1年未満	45	26.7	53.3	15.6	2.2	2.2
	1年以上～3年未満	98	17.3	64.3	13.3	4.1	1.0
	3年以上～5年未満	83	20.5	60.2	15.7	3.6	-
	5年以上～10年未満	129	14.0	57.4	17.8	10.1	0.8
	10年以上～20年未満	168	16.1	63.1	14.9	5.4	0.6
	20年以上～30年未満	147	11.6	63.3	16.3	6.1	2.7
	30年以上	220	16.4	59.1	18.2	4.1	2.3

【転職経験・勤続年数】別にみると、転職経験が3回未満かつ勤続年数が30年以上の場合、「やや不満」が28.4%と比較的高くなっている。(図表 2-1-24)

◆【F. 職場の人間関係】の《満足》の割合は、67.1%

図表 2 - 1 - 25 勤め先に対する各項目の満足度【F. 職場の人間関係】



勤め先に対する満足度について【F. 職場の人間関係】では、《満足》（「とても満足」＋「おおむね満足」）の割合は、67.1%となっている。【年齢区分】別にみると、30歳～34歳は、「不満」が14.0%、35歳～39歳は、「不満」が13.6%と比較的高くなっている。（図表 2 - 1 - 25）

図表 2-1-26 勤続年数別 勤め先に対する各項目の満足度【F. 職場の人間関係】

		調査数	とても満足	おおむね満足	やや不満	不満	無回答
全 体		2760	14.6	52.5	21.8	9.1	2.0
勤続年数別	1ヶ月未満	22	22.7	54.5	9.1	4.5	9.1
	1ヶ月以上～3ヶ月未満	25	32.0	24.0	24.0	20.0	—
	3ヶ月以上～6ヶ月未満	66	24.2	42.4	21.2	7.6	4.5
	6ヶ月以上～1年未満	138	22.5	48.6	16.7	9.4	2.9
	1年以上～3年未満	337	18.1	51.6	16.9	11.6	1.8
	3年以上～5年未満	321	16.8	48.3	23.4	10.6	0.9
	5年以上～10年未満	501	14.6	52.7	21.4	10.4	1.0
	10年以上～20年未満	587	10.2	55.4	23.7	9.7	1.0
	20年以上～30年未満	374	10.4	56.1	23.5	8.3	1.6
	30年以上	375	14.9	54.7	24.0	4.0	2.4

【勤続年数】別にみると、全体と大きな差は見られない。(図表 2-1-26)

図表 2-1-27 転職経験・勤続年数別 勤め先に対する各項目の満足度【F. 職場の人間関係】

3回未満		調査数	とても満足	おおむね満足	やや不満	不満	無回答
全 体		952	15.3	53.5	21.3	8.9	0.9
勤続年数別	1ヶ月未満	7	28.6	57.1	—	—	14.3
	1ヶ月以上～3ヶ月未満	8	25.0	25.0	25.0	25.0	—
	3ヶ月以上～6ヶ月未満	24	16.7	41.7	25.0	12.5	4.2
	6ヶ月以上～1年未満	36	22.2	58.3	8.3	8.3	2.8
	1年以上～3年未満	111	17.1	50.5	17.1	15.3	—
	3年以上～5年未満	113	19.5	46.0	23.0	10.6	0.9
	5年以上～10年未満	187	17.6	53.5	19.3	8.6	1.1
	10年以上～20年未満	201	13.4	53.7	23.9	8.5	0.5
	20年以上～30年未満	148	10.8	61.5	18.9	8.1	0.7
	30年以上	116	11.2	55.2	30.2	2.6	0.9

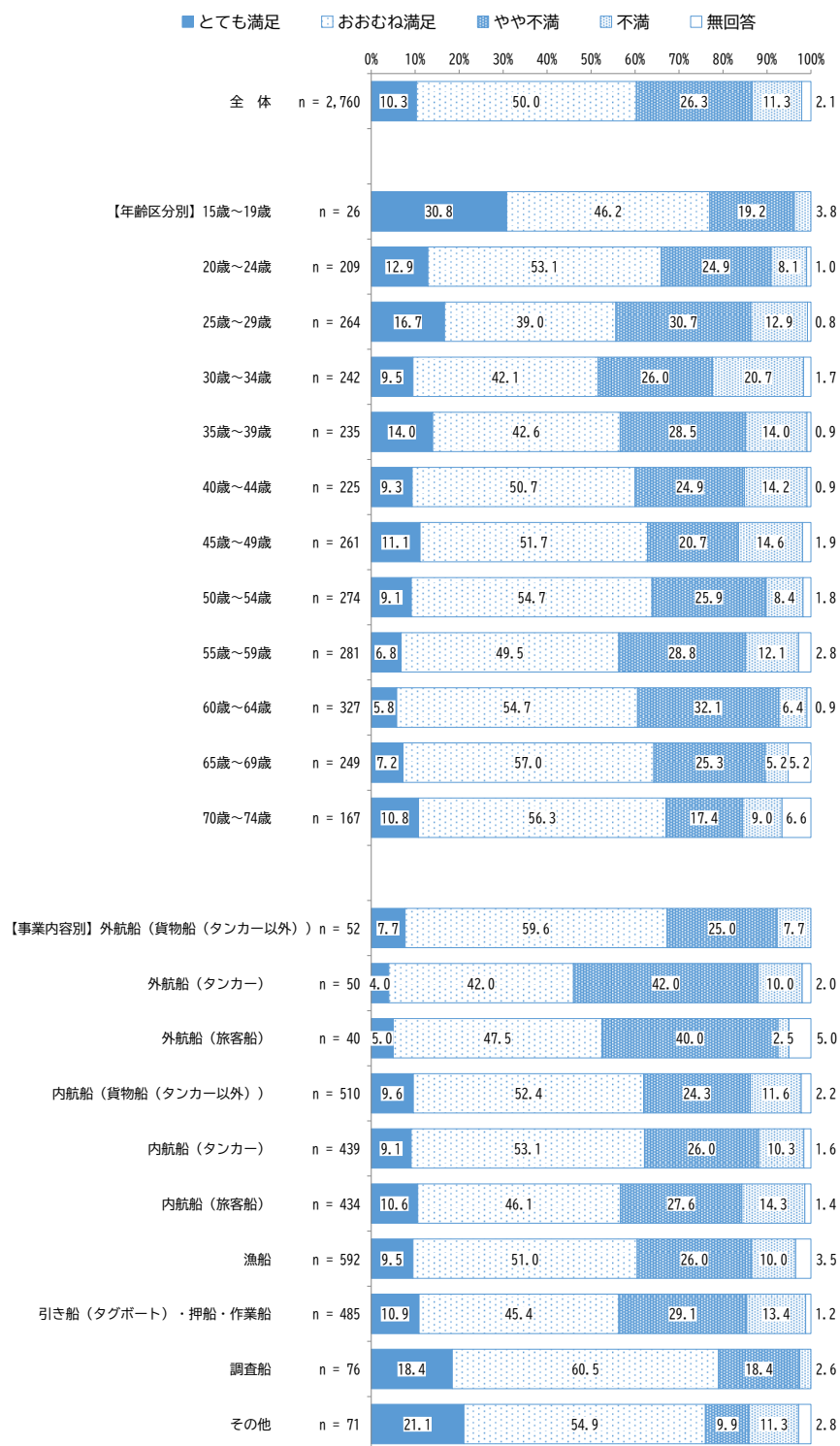
3回以上		調査数	とても満足	おおむね満足	やや不満	不満	無回答
全 体		877	12.3	51.5	23.4	10.4	2.4
勤続年数別	1ヶ月未満	12	16.7	50.0	16.7	8.3	8.3
	1ヶ月以上～3ヶ月未満	12	25.0	25.0	25.0	25.0	—
	3ヶ月以上～6ヶ月未満	27	22.2	44.4	22.2	3.7	7.4
	6ヶ月以上～1年未満	56	17.9	44.6	25.0	10.7	1.8
	1年以上～3年未満	126	15.9	46.8	20.6	13.5	3.2
	3年以上～5年未満	123	16.3	48.0	23.6	10.6	1.6
	5年以上～10年未満	185	9.2	53.5	24.9	11.4	1.1
	10年以上～20年未満	217	6.5	57.1	25.3	9.7	1.4
	20年以上～30年未満	78	12.8	53.8	23.1	9.0	1.3
	30年以上	38	15.8	57.9	15.8	2.6	7.9

転職経験なし		調査数	とても満足	おおむね満足	やや不満	不満	無回答
全 体		915	16.2	53.0	20.9	8.2	1.7
勤続年数別	1ヶ月未満	3	33.3	66.7	—	—	—
	1ヶ月以上～3ヶ月未満	5	60.0	20.0	20.0	—	—
	3ヶ月以上～6ヶ月未満	15	40.0	40.0	13.3	6.7	—
	6ヶ月以上～1年未満	45	28.9	46.7	13.3	8.9	2.2
	1年以上～3年未満	98	21.4	60.2	12.2	5.1	1.0
	3年以上～5年未満	83	14.5	53.0	21.7	10.8	—
	5年以上～10年未満	129	17.8	50.4	19.4	11.6	0.8
	10年以上～20年未満	168	11.3	55.4	21.4	10.7	1.2
	20年以上～30年未満	147	8.8	51.7	28.6	8.2	2.7
	30年以上	220	16.8	53.6	22.3	5.0	2.3

【転職経験・勤続年数】別にみると、転職経験が3回未満かつ勤続年数が30年以上の場合、「やや不満」が30.2%と比較的高くなっている。転職経験なしかつ勤続年数が20年以上～30年未満の場合、「やや不満」が28.6%と比較的高くなっている。(図表 2-1-27)

◆【G. 労働時間・勤務体制】の「満足」の割合は、60.3%

図表 2-1-28 勤め先に対する各項目の満足度【G. 労働時間・勤務体制】



勤め先に対する満足度について【G. 労働時間・勤務体制】では、「満足」（「とても満足」＋「おおむね満足」）の割合は、60.3%となっている。（図表 2-1-28）

図表 2-1-29 勤続年数別 勤め先に対する各項目の満足度【G. 労働時間・勤務体制】

		調査数	とても満足	おおむね満足	やや不満	不満	無回答
全 体		2760	10.3	50.0	26.3	11.3	2.1
勤続年数別	1ヶ月未満	22	9.1	54.5	31.8	-	4.5
	1ヶ月以上～3ヶ月未満	25	20.0	36.0	32.0	12.0	-
	3ヶ月以上～6ヶ月未満	66	9.1	50.0	22.7	13.6	4.5
	6ヶ月以上～1年未満	138	16.7	49.3	18.8	11.6	3.6
	1年以上～3年未満	337	15.1	47.8	22.8	12.8	1.5
	3年以上～5年未満	321	13.1	46.4	27.4	12.5	0.6
	5年以上～10年未満	501	10.4	48.3	26.3	13.4	1.6
	10年以上～20年未満	587	7.0	50.6	30.3	10.9	1.2
	20年以上～30年未満	374	6.4	54.8	25.1	11.8	1.9
	30年以上	375	10.1	54.4	26.9	6.7	1.9

【勤続年数】別にみると、1年以上～3年未満は、「とても満足」が15.1%、3年以上～5年未満は、「とても満足」が13.1%と比較的高くなっている。(図表 2-1-29)

図表 2-1-30 転職経験・勤続年数別 勤め先に対する各項目の満足度【G. 労働時間・勤務体制】

3回未満		調査数	とても満足	おおむね満足	やや不満	不満	無回答
全 体		952	9.9	50.1	27.6	11.4	0.9
勤続年数別	1ヶ月未満	7	14.3	42.9	28.6	-	14.3
	1ヶ月以上～3ヶ月未満	8	-	37.5	37.5	25.0	-
	3ヶ月以上～6ヶ月未満	24	4.2	41.7	33.3	16.7	4.2
	6ヶ月以上～1年未満	36	16.7	50.0	16.7	13.9	2.8
	1年以上～3年未満	111	15.3	45.9	21.6	17.1	-
	3年以上～5年未満	113	19.5	39.8	23.9	15.9	0.9
	5年以上～10年未満	187	8.6	50.8	29.4	10.2	1.1
	10年以上～20年未満	201	6.5	52.2	32.3	8.5	0.5
	20年以上～30年未満	148	7.4	53.4	26.4	11.5	1.4
	30年以上	116	6.0	57.8	29.3	6.9	-

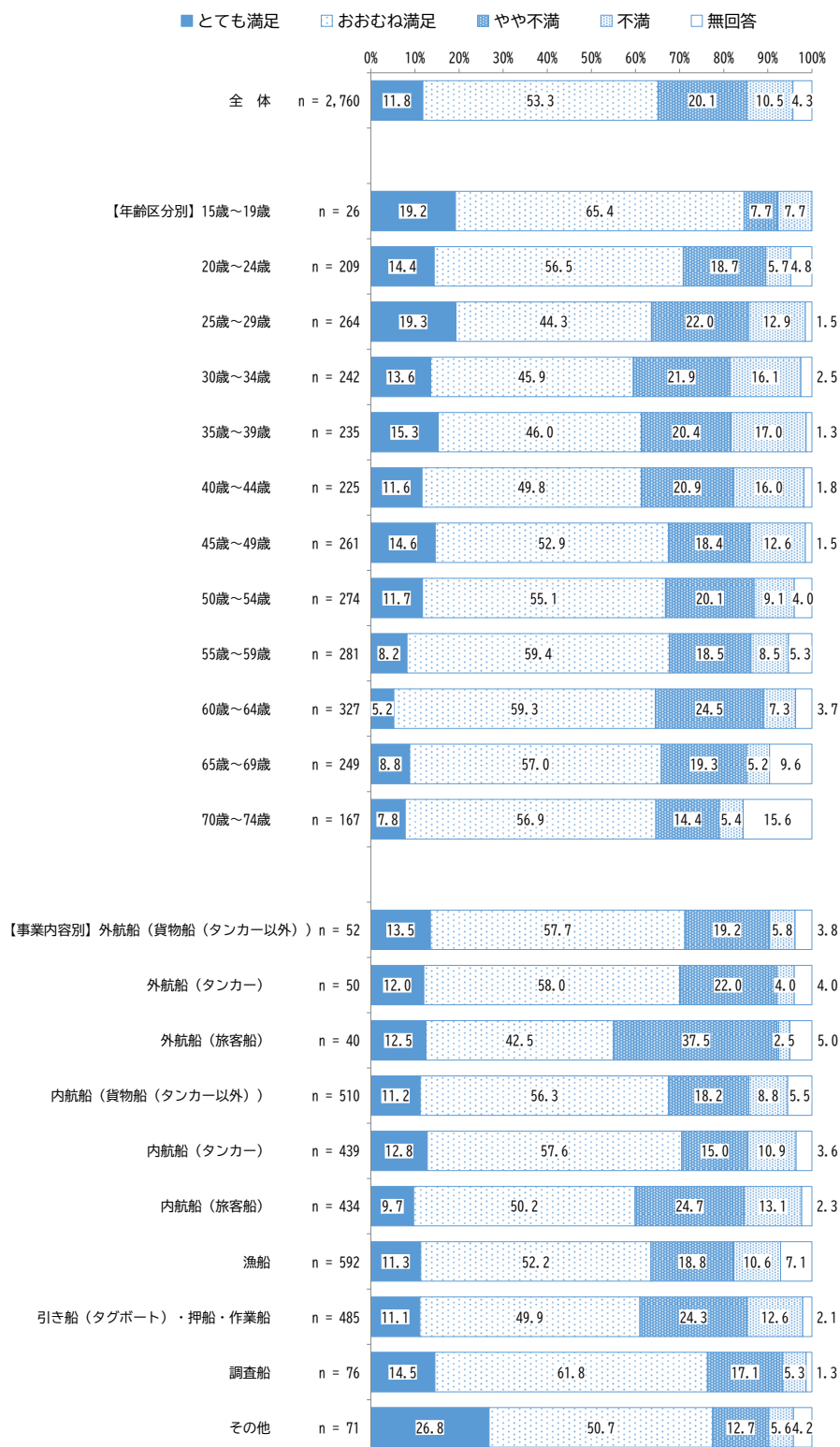
3回以上		調査数	とても満足	おおむね満足	やや不満	不満	無回答
全 体		877	9.7	49.6	25.8	12.4	2.5
勤続年数別	1ヶ月未満	12	8.3	66.7	25.0	-	-
	1ヶ月以上～3ヶ月未満	12	25.0	33.3	33.3	8.3	-
	3ヶ月以上～6ヶ月未満	27	7.4	55.6	11.1	18.5	7.4
	6ヶ月以上～1年未満	56	17.9	48.2	17.9	12.5	3.6
	1年以上～3年未満	126	15.1	45.2	26.2	11.9	1.6
	3年以上～5年未満	123	10.6	52.8	25.2	10.6	0.8
	5年以上～10年未満	185	9.7	49.7	21.6	16.8	2.2
	10年以上～20年未満	217	6.5	47.0	32.7	12.0	1.8
	20年以上～30年未満	78	3.8	56.4	25.6	11.5	2.6
	30年以上	38	5.3	55.3	26.3	5.3	7.9

転職経験なし		調査数	とても満足	おおむね満足	やや不満	不満	無回答
全 体		915	11.4	51.1	25.8	9.9	1.7
勤続年数別	1ヶ月未満	3	-	33.3	66.7	-	-
	1ヶ月以上～3ヶ月未満	5	40.0	40.0	20.0	-	-
	3ヶ月以上～6ヶ月未満	15	20.0	53.3	26.7	-	-
	6ヶ月以上～1年未満	45	15.6	51.1	22.2	8.9	2.2
	1年以上～3年未満	98	14.3	54.1	20.4	9.2	2.0
	3年以上～5年未満	83	8.4	47.0	34.9	9.6	-
	5年以上～10年未満	129	14.0	42.6	28.7	13.2	1.6
	10年以上～20年未満	168	8.3	53.6	25.0	11.9	1.2
	20年以上～30年未満	147	6.8	55.1	23.8	12.2	2.0
	30年以上	220	13.2	52.7	25.5	6.8	1.8

【転職経験・勤続年数】別にみると、転職経験が3回未満かつ勤続年数が1年以上～3年未満の場合、「とても満足」で15.3%となっているが、「不満」でも17.1%と比較的高くなっている。3年以上～5年未満の場合、「とても満足」が19.5%と比較的高くなっている。転職経験が3回以上かつ勤続年数が1年以上～3年未満の場合、「とても満足」が15.1%と比較的高くなっている。(図表 2-1-30)

◆【H. 結婚や出産、介護、育児などに関する理解度】の「満足」の割合は、65.1%

図表 2-1-31 勤め先に対する各項目の満足度【H. 結婚や出産、介護、育児などに関する理解度】



勤め先に対する満足度について【H. 結婚や出産、介護、育児などに関する理解度】では、「満足」（「とても満足」＋「おおむね満足」）の割合は、65.1%となっている。【年齢区分】別にみると、年齢階級が上がるにつれ、「満足」の割合は小さくなっている。（図表 2-1-31）

図表 2-1-32 勤続年数別 勤め先に対する各項目の満足度【H. 結婚や出産、介護、育児などに関する理解度】

		調査数	とても満足	おおむね満足	やや不満	不満	無回答
全 体		2760	11.8	53.3	20.1	10.5	4.3
勤続年数別	1ヶ月未満	22	9.1	59.1	13.6	4.5	13.6
	1ヶ月以上～3ヶ月未満	25	20.0	40.0	28.0	4.0	8.0
	3ヶ月以上～6ヶ月未満	66	18.2	50.0	22.7	6.1	3.0
	6ヶ月以上～1年未満	138	17.4	52.9	15.2	8.7	5.8
	1年以上～3年未満	337	13.4	50.7	19.3	11.6	5.0
	3年以上～5年未満	321	15.6	51.1	19.0	11.2	3.1
	5年以上～10年未満	501	9.8	50.3	22.2	13.6	4.2
	10年以上～20年未満	587	10.6	55.7	19.8	10.9	3.1
	20年以上～30年未満	374	8.8	52.7	23.5	11.5	3.5
	30年以上	375	11.7	60.8	17.9	6.1	3.5

【勤続年数】別にみると、3年以上～5年未満は、「とても満足」が15.6%と比較的高くなっている。(図表2-1-32)

図表 2-1-33 転職経験・勤続年数別 勤め先に対する各項目の満足度【H. 結婚や出産、介護、育児などに関する理解度】

3回未満		調査数	とても満足	おおむね満足	やや不満	不満	無回答
全 体		952	11.6	52.5	21.8	11.6	2.5
勤続年数別	1ヶ月未満	7	14.3	57.1	-	14.3	14.3
	1ヶ月以上～3ヶ月未満	8	-	50.0	37.5	12.5	-
	3ヶ月以上～6ヶ月未満	24	-	54.2	25.0	16.7	4.2
	6ヶ月以上～1年未満	36	19.4	58.3	8.3	8.3	5.6
	1年以上～3年未満	111	15.3	45.9	20.7	16.2	1.8
	3年以上～5年未満	113	17.7	46.9	21.2	13.3	0.9
	5年以上～10年未満	187	11.8	48.7	21.9	12.8	4.8
	10年以上～20年未満	201	10.0	55.7	22.4	10.0	2.0
	20年以上～30年未満	148	6.8	54.7	23.0	12.8	2.7
	30年以上	116	11.2	59.5	25.0	4.3	-

3回以上		調査数	とても満足	おおむね満足	やや不満	不満	無回答
全 体		877	9.5	53.2	20.5	11.1	5.7
勤続年数別	1ヶ月未満	12	8.3	50.0	25.0	-	16.7
	1ヶ月以上～3ヶ月未満	12	16.7	33.3	33.3	-	16.7
	3ヶ月以上～6ヶ月未満	27	22.2	51.9	22.2	-	3.7
	6ヶ月以上～1年未満	56	14.3	48.2	17.9	14.3	5.4
	1年以上～3年未満	126	11.9	52.4	19.0	10.3	6.3
	3年以上～5年未満	123	13.0	54.5	17.9	10.6	4.1
	5年以上～10年未満	185	5.9	53.0	19.5	17.3	4.3
	10年以上～20年未満	217	7.4	56.2	20.7	10.6	5.1
	20年以上～30年未満	78	7.7	50.0	29.5	6.4	6.4
	30年以上	38	5.3	60.5	18.4	7.9	7.9

転職経験なし		調査数	とても満足	おおむね満足	やや不満	不満	無回答
全 体		915	14.4	54.8	17.9	9.1	3.8
勤続年数別	1ヶ月未満	3	-	100.0	-	-	-
	1ヶ月以上～3ヶ月未満	5	60.0	40.0	-	-	-
	3ヶ月以上～6ヶ月未満	15	40.0	40.0	20.0	-	-
	6ヶ月以上～1年未満	45	20.0	55.6	17.8	2.2	4.4
	1年以上～3年未満	98	12.2	55.1	18.4	8.2	6.1
	3年以上～5年未満	83	16.9	51.8	16.9	9.6	4.8
	5年以上～10年未満	129	12.4	48.8	26.4	9.3	3.1
	10年以上～20年未満	168	15.5	55.4	14.9	12.5	1.8
	20年以上～30年未満	147	11.6	51.7	21.1	12.9	2.7
	30年以上	220	13.2	61.8	14.1	6.4	4.5

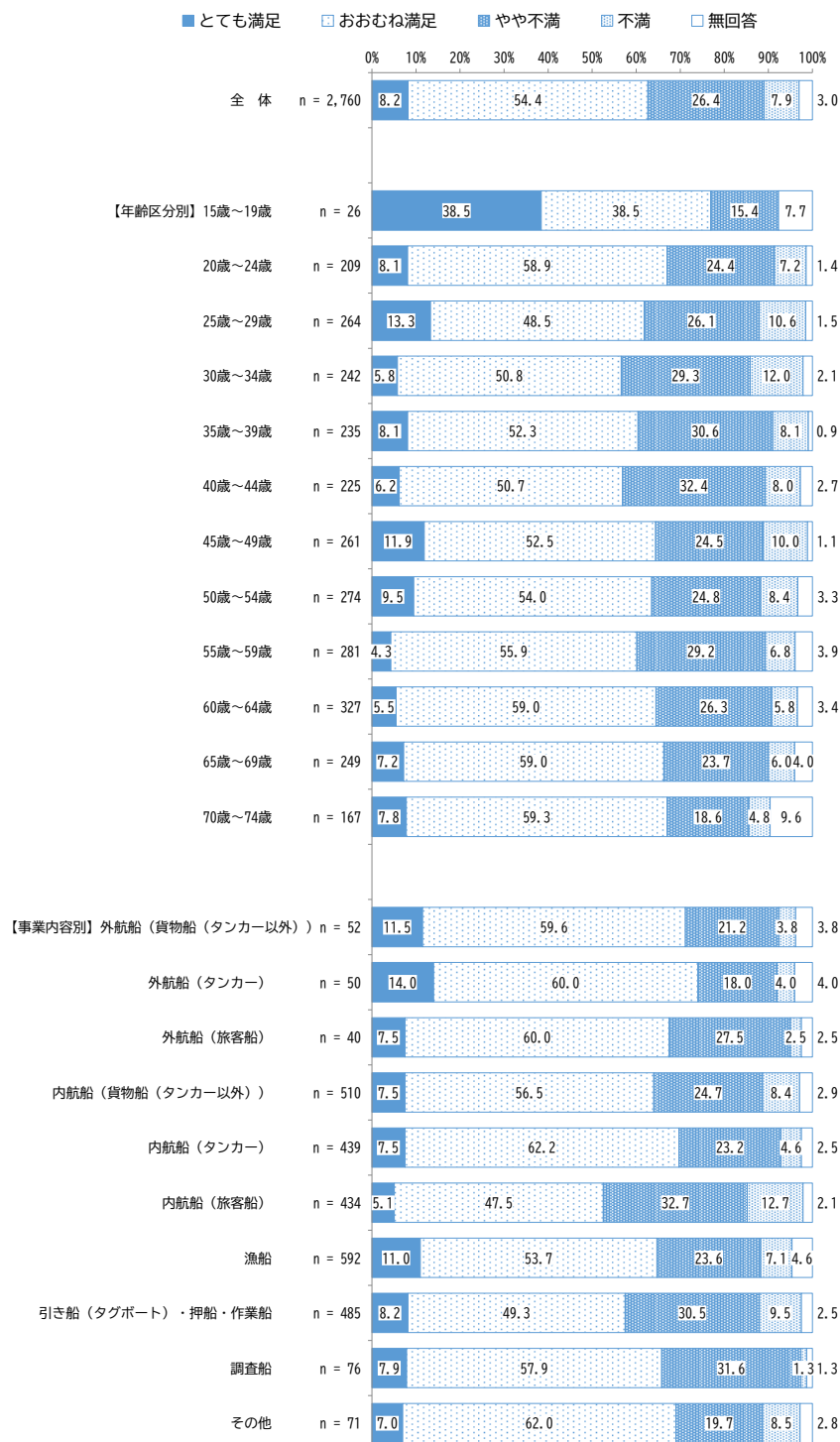
【転職経験・勤続年数】別にみると、転職経験が3回未満かつ勤続年数が1年以上～3年未満の場合、「不満」が16.2%と比較的高くなっている。(図表2-1-33)

6. 勤め先に対する総合的な満足度

◆「満足」（「とても満足」＋「おおむね満足」）の割合は、62.6%

問 13. あなたが現在所属する勤め先の総合的な満足度についてお答えください。（○は1つだけ）

図表 2－1－34 勤め先に対する総合的な満足度



勤め先に対する総合的な満足度について、「満足」（「とても満足」＋「おおむね満足」）の割合は、62.6%となっている。（図表 2－1－34）

図表 2 - 1 - 35 漁船以外の船舶と漁船別・勤続年数別 勤め先に対する総合的な満足度

		調査数	とても満足	おおむね満足	やや不満	不満	無回答
全 体		2760	8.2	54.4	26.4	7.9	3.0
船舶と漁船別【漁船以外の船舶と漁船別】	漁船以外の船舶	2086	7.4	54.4	27.5	8.1	2.5
	漁船	592	11.0	53.7	23.6	7.1	4.6
	その他	71	7.0	62.0	19.7	8.5	2.8
勤続年数別【勤続年数別】	1ヶ月未満	22	-	68.2	22.7	4.5	4.5
	1ヶ月以上～3ヶ月未満	25	20.0	44.0	28.0	4.0	4.0
	3ヶ月以上～6ヶ月未満	66	12.1	50.0	27.3	7.6	3.0
	6ヶ月以上～1年未満	138	11.6	55.8	21.7	7.2	3.6
	1年以上～3年未満	337	11.0	50.7	26.1	9.5	2.7
	3年以上～5年未満	321	9.0	54.2	28.3	5.9	2.5
	5年以上～10年未満	501	6.6	54.5	26.3	11.8	0.8
	10年以上～20年未満	587	7.3	54.3	29.3	7.2	1.9
	20年以上～30年未満	374	7.5	50.8	30.2	8.0	3.5
	30年以上	375	7.2	62.1	18.9	5.3	6.4

【漁船以外の船舶と漁船】別でみると、《満足》（「とても満足」＋「おおむね満足」）の割合は、漁船以外の船舶 61.8%、漁船 64.7%、その他 69.0%となっている。

【勤続年数】別でみると、《満足》（「とても満足」＋「おおむね満足」）の割合は 60%前後となっており、勤続年数に関わらず、満足度に大きな差はない。

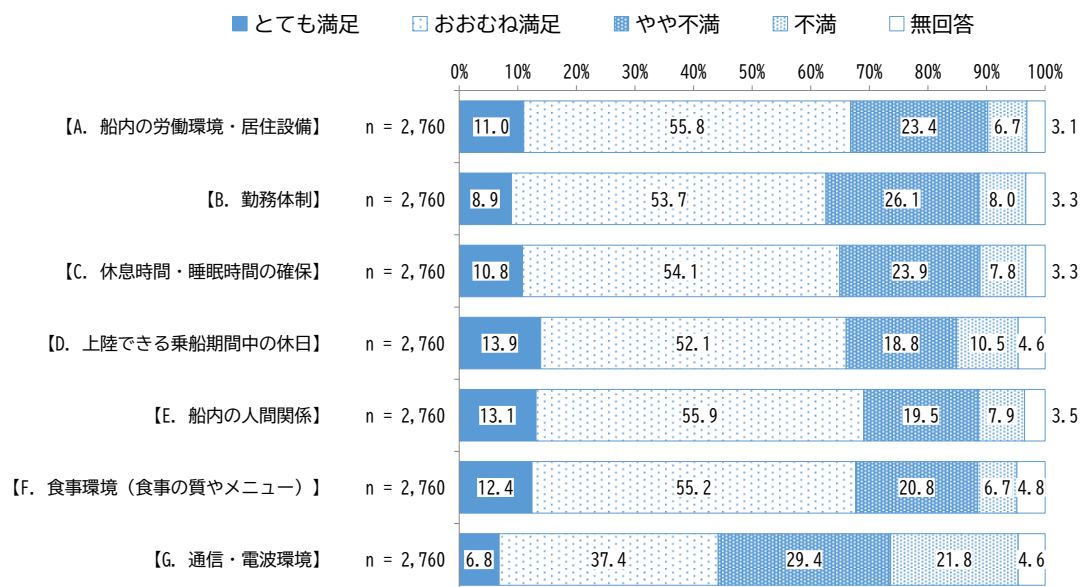
（図表 2 - 1 - 35）

7. 船内環境の満足度

◆全体では【G. 通信・電波環境】項目における《満足》の割合が、44.2%と低い

問 14. あなたが現在乗船している時（直近で乗船していた時）の船内環境の満足度について、次のA～Gのそれぞれをお答えください。（○はそれぞれ1つ）

図表 2－1－36 船内環境の満足度 全体比較



船内環境の満足度について、【E. 船内の人間関係】の《満足》（「とても満足」＋「おおむね満足」）の割合が69.0%と最も高くなっている。一方で、【G. 通信・電波環境】の《満足》（「とても満足」＋「おおむね満足」）の割合が44.2%と低くなっており、唯一40%台となっている。（図表2－1－36）

図表 2－1－37 漁船以外の船舶と漁船別 船内環境の満足度 全体比較

	漁船以外の船舶						漁船						その他					
	調査数	とても満足	おおむね満足	やや不満	不満	無回答	調査数	とても満足	おおむね満足	やや不満	不満	無回答	調査数	とても満足	おおむね満足	やや不満	不満	無回答
【A. 船内の労働環境・居住設備】	2086	11.2	56.0	23.4	6.6	2.7	592	10.0	55.7	23.5	6.6	4.2	71	12.7	49.3	22.5	9.9	5.6
【B. 勤務体制】	2086	8.9	52.7	27.1	8.4	2.8	592	7.4	57.1	24.2	6.8	4.6	71	19.7	53.5	15.5	5.6	5.6
【C. 休息時間・睡眠時間の確保】	2086	11.1	53.5	24.9	7.6	2.8	592	8.3	56.3	22.0	8.6	4.9	71	22.5	53.5	14.1	4.2	5.6
【D. 上陸できる乗船期間中の休日】	2086	13.8	50.2	19.9	11.8	4.3	592	12.5	59.3	15.5	6.9	5.7	71	26.8	47.9	15.5	4.2	5.6
【E. 船内の人間関係】	2086	12.6	55.8	20.3	8.2	3.0	592	14.5	55.9	17.9	6.6	5.1	71	14.1	60.6	9.9	9.9	5.6
【F. 食事環境（食事の質やメニュー）】	2086	12.5	55.9	20.7	6.5	4.4	592	10.8	53.7	22.3	6.9	6.3	71	21.1	46.5	14.1	11.3	7.0
【G. 通信・電波環境】	2086	7.0	37.7	29.7	21.7	3.9	592	5.6	36.0	29.2	22.8	6.4	71	12.7	39.4	22.5	16.9	8.5

【漁船以外の船舶と漁船】別にみると、割合は全体結果と大きな差はない。
（図表 2－1－37）

図表 2－1－38 総合満足度別・項目別 全体比較

		調査数	【A. 船内の労働環境・居住設備】					【B. 勤務体制】					【C. 休息時間・睡眠時間の確保】					【D. 上陸できる乗船期間中の休日】				
			とても満足	おおむね満足	やや不満	不満	無回答	とても満足	おおむね満足	やや不満	不満	無回答	とても満足	おおむね満足	やや不満	不満	無回答	とても満足	おおむね満足	やや不満	不満	無回答
全 体		2760	11.0	55.8	23.4	6.7	3.1	8.9	53.7	26.1	8.0	3.3	10.8	54.1	23.9	7.8	3.3	13.9	52.1	18.8	10.5	4.6
総合【勤め先に対する満足度】	とても満足	227	56.4	39.6	3.1	—	0.9	50.7	44.9	2.6	—	1.8	50.7	43.6	4.0	—	1.8	51.1	38.8	5.3	1.3	3.5
	おおむね満足	1502	9.4	71.6	16.3	1.5	1.1	7.5	69.2	20.8	1.3	1.3	10.2	67.8	18.8	1.8	1.3	12.3	62.5	16.4	6.4	2.5
	やや不満	730	4.0	42.9	42.1	10.0	1.1	2.2	39.5	45.1	12.3	1.0	3.4	43.0	39.3	12.9	1.4	8.1	46.3	27.8	15.1	2.7
	不満	219	1.4	21.0	37.4	39.3	0.9	1.4	16.9	29.7	50.7	1.4	2.7	20.5	35.2	41.1	0.5	9.6	27.4	25.1	36.1	1.8
		調査数	【E. 船内の人間関係】					【F. 食事環境（食事の質やメニュー）】					【G. 通信・電波環境】									
			とても満足	おおむね満足	やや不満	不満	無回答	とても満足	おおむね満足	やや不満	不満	無回答	とても満足	おおむね満足	やや不満	不満	無回答					
全 体		2760	13.1	55.9	19.5	7.9	3.5	12.4	55.2	20.8	6.7	4.8	6.8	37.4	29.4	21.8	4.6					
総合【勤め先に対する満足度】	とても満足	227	54.6	40.1	3.5	0.4	1.3	44.9	45.8	5.3	0.4	3.5	30.4	38.8	17.6	8.4	4.8					
	おおむね満足	1502	12.2	69.3	14.2	2.7	1.6	11.2	65.8	17.9	2.3	2.8	6.1	45.2	30.4	16.1	2.3					
	やや不満	730	5.6	44.7	36.4	11.9	1.4	7.0	47.1	31.6	11.4	2.9	2.9	30.0	34.2	29.9	3.0					
	不満	219	5.5	31.5	21.9	39.7	1.4	8.2	34.7	26.0	29.2	1.8	3.2	16.0	26.9	52.5	1.4					

【勤め先に対する総合的な満足度】別でみると、

【A. 船内の労働環境・居住設備】を「とても満足」と回答した層で、総合的な満足度も「とても満足」としている割合は56.4%となっている。

【B. 勤務体制】を「とても満足」と回答した層で、総合的な満足度も「とても満足」としている割合は50.7%となっている。

【C. 休息時間・睡眠時間の確保】を「とても満足」と回答した層で、総合的な満足度も「とても満足」としている割合は50.7%となっている。

【D. 上陸できる乗船期間中の休日】を「とても満足」と回答した層で、総合的な満足度も「とても満足」としている割合は51.1%となっている。

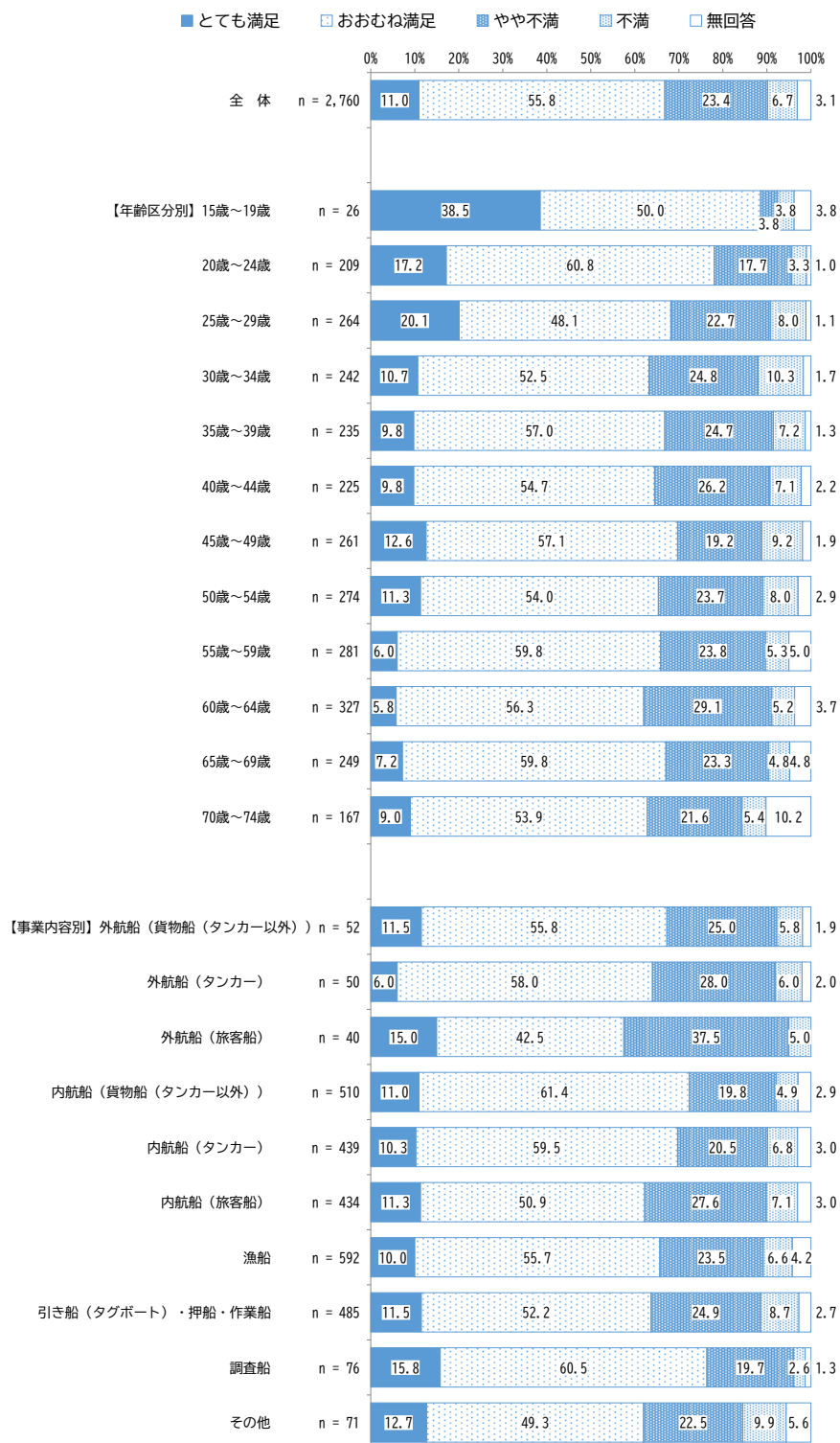
【E. 船内の人間関係】を「とても満足」と回答した層で、総合的な満足度も「とても満足」としている割合は54.6%となっている。

【F. 食事環境（食事の質やメニュー）】を「とても満足」と回答した層で、総合的な満足度も「とても満足」としている割合は44.9%となっている。

【G. 通信・電波環境】を「とても満足」と回答した層で、総合的な満足度も「とても満足」としている割合は30.4%となっている。（図表 2－1－38）

◆【A. 船内の労働環境・居住設備】の《満足》割合は、66.8%

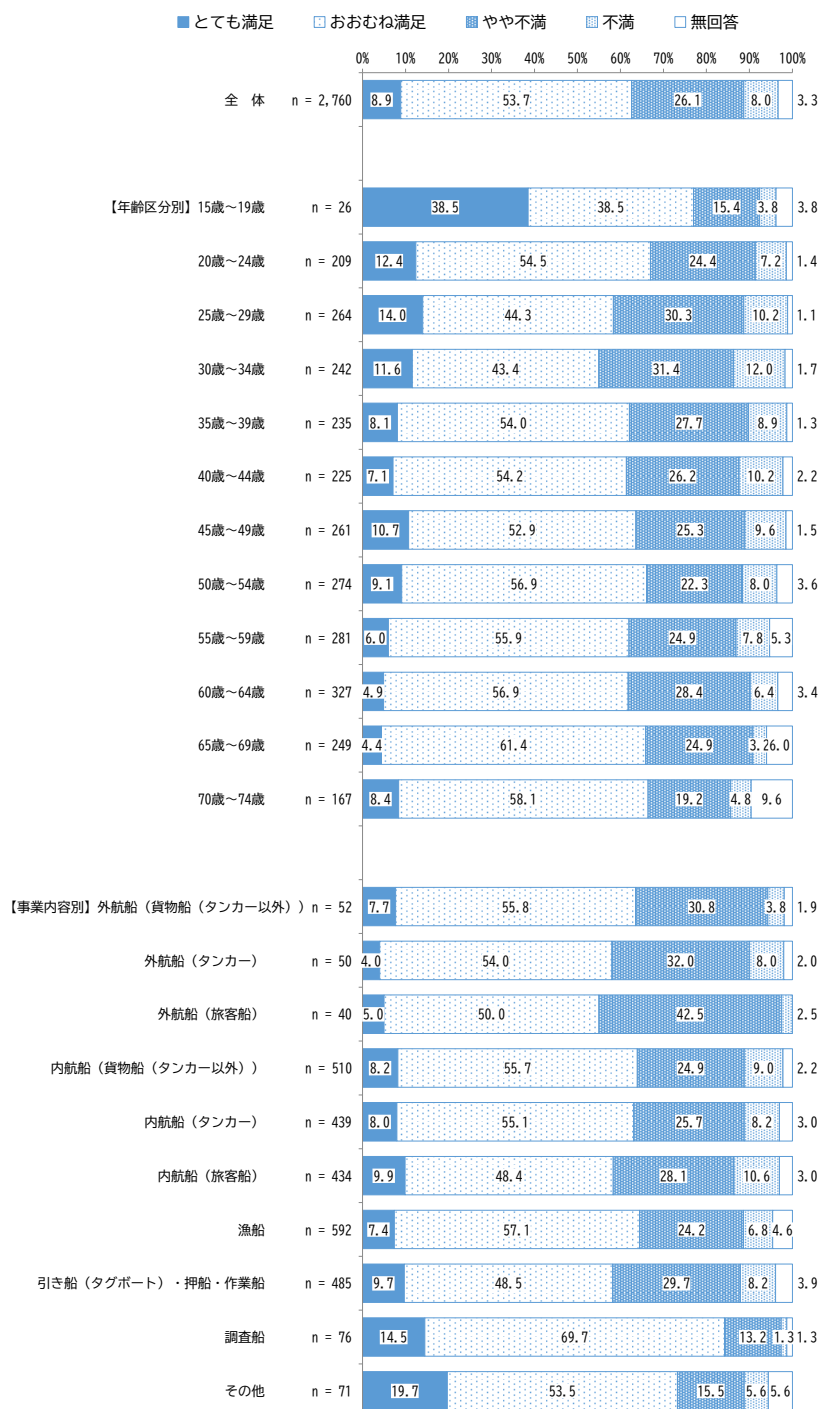
図表 2－1－39 船内環境の満足度【A. 船内の労働環境・居住設備】



船内環境の満足度について【A. 船内の労働環境・居住設備】では、《満足》（「とても満足」+「おおむね満足」）の割合は、66.8%となっている。（図表 2－1－39）

◆【B. 勤務体制】《満足》の割合は、62.6%

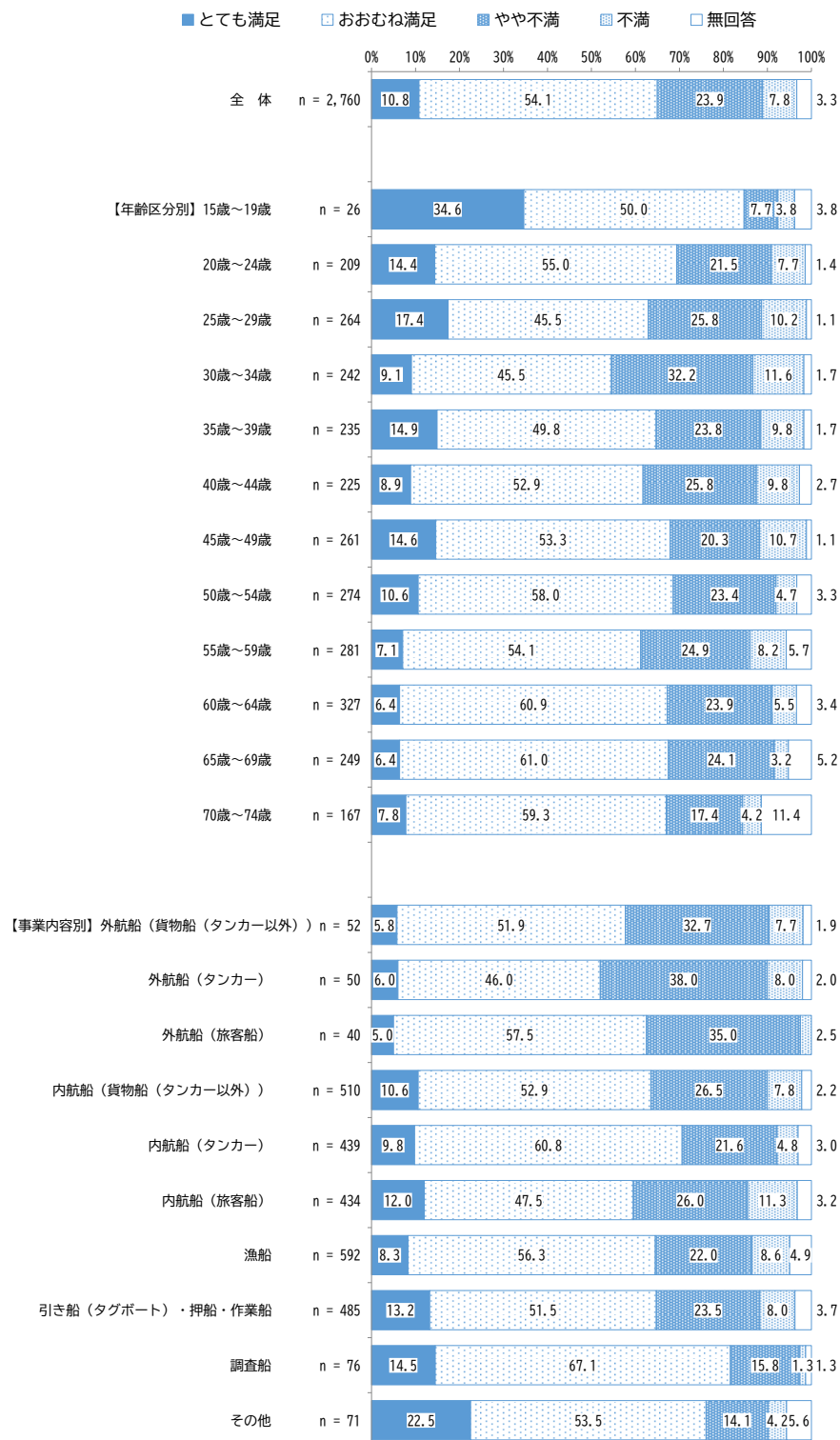
図表 2 - 1 - 40 船内環境の満足度【B. 勤務体制】



船内環境の満足度について【B. 勤務体制】では、《満足》（「とても満足」＋「おおむね満足」）の割合は、62.6%となっている。【年齢区分別】にみると、年齢階級が高い区分では、「とても満足」の割合がやや小さくなっている。（図表 2 - 1 - 40）

◆【C. 休息時間・睡眠時間の確保】《満足》の割合は、64.9%

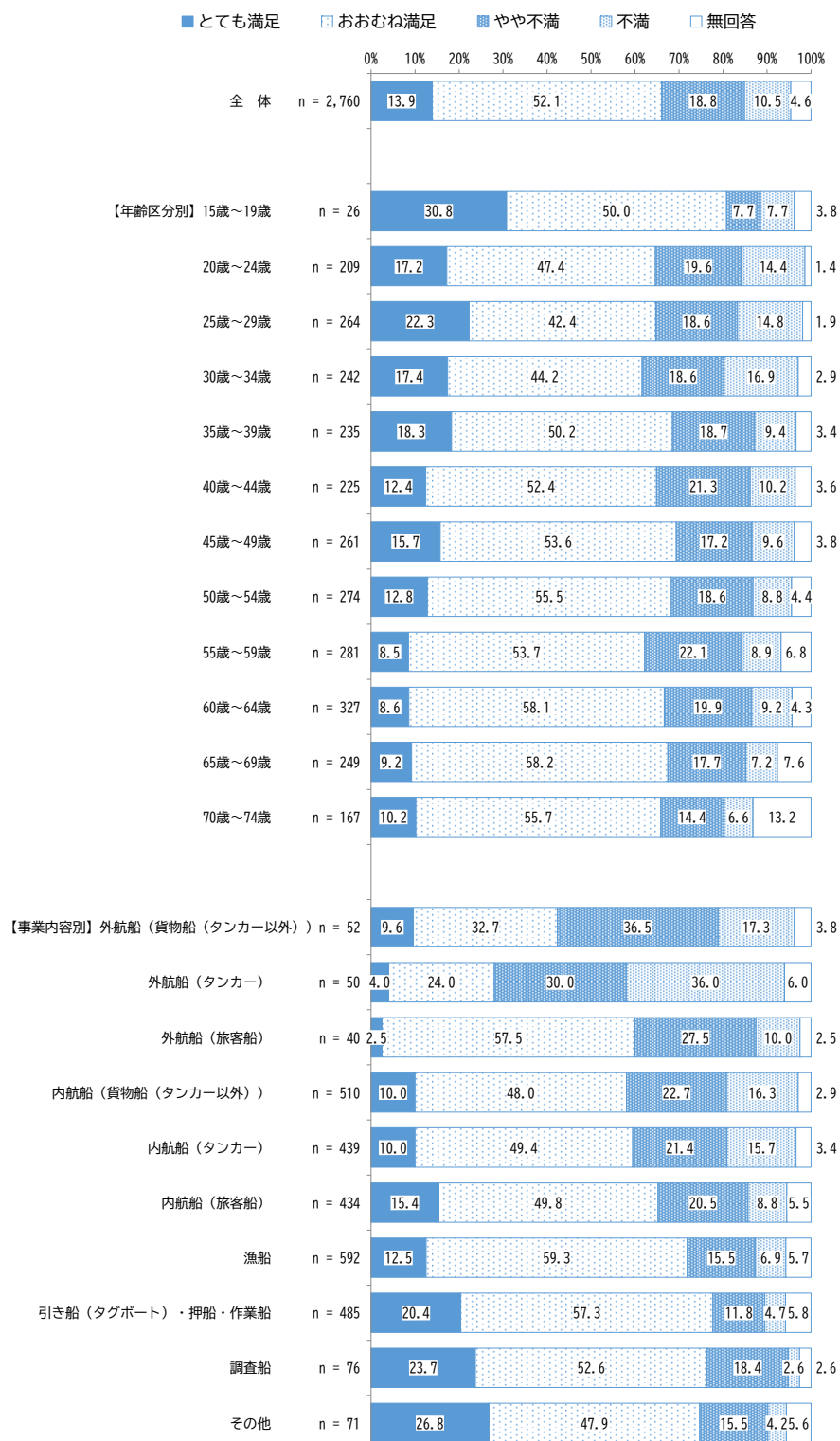
図表 2-1-41 船内環境の満足度【C. 休息時間・睡眠時間の確保】



船内環境の満足度について【C. 休息時間・睡眠時間の確保】では、《満足》（「とても満足」+「おおむね満足」）の割合は、64.9%となっている。【事業内容】別にみると、内航船（旅客船）は、「不満」が11.3%と比較的高くなっている。（図表 2-1-41）

◆【D. 上陸できる乗船期間中の休日】《満足》の割合は、66.0%

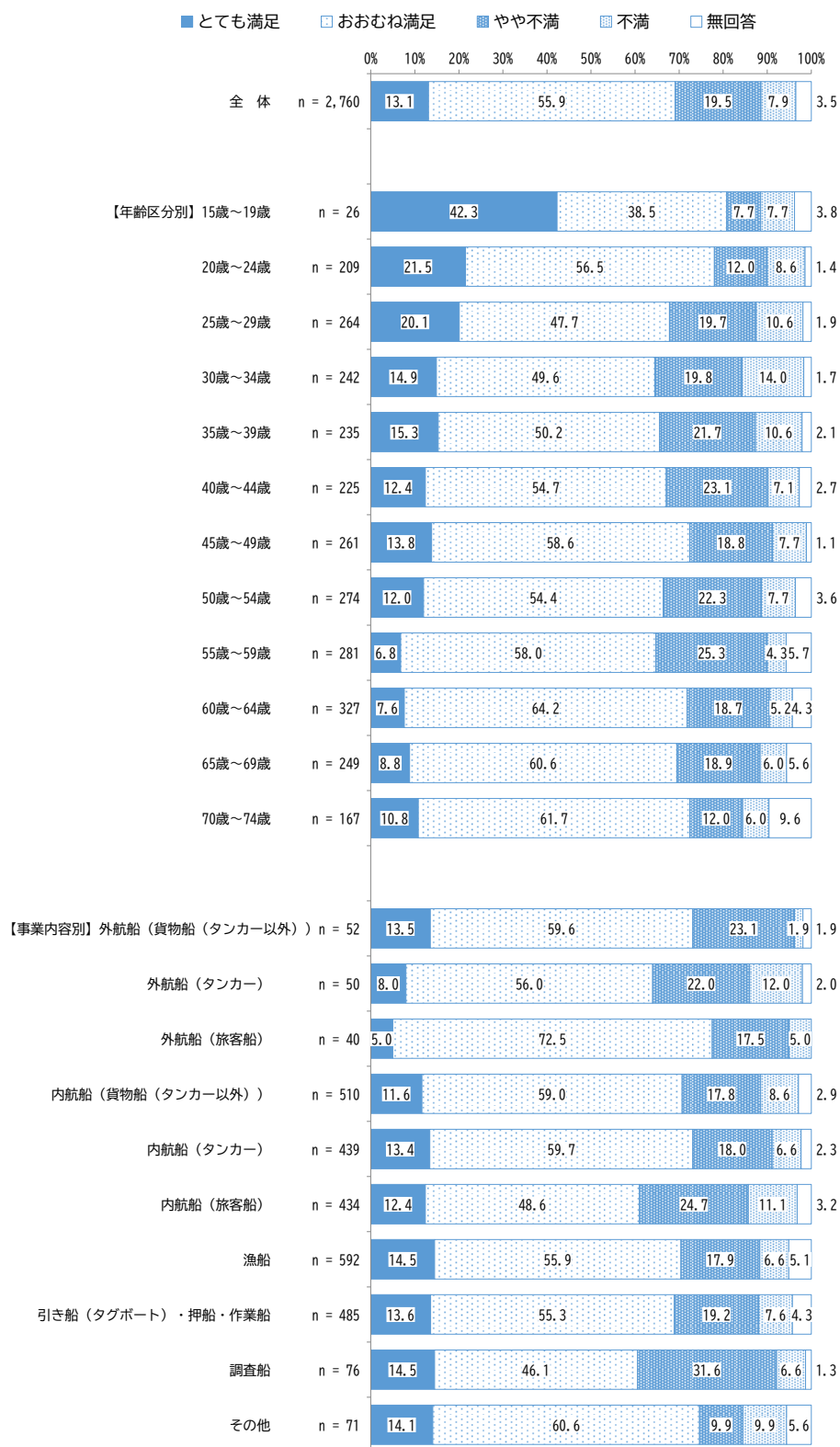
図表 2 - 1 - 42 船内環境の満足度【D. 上陸できる乗船期間中の休日】



船内環境の満足度について【D. 上陸できる乗船期間中の休日】では、《満足》（「とても満足」＋「おおむね満足」）の割合は、66.0%となっている。【事業内容】別にみると、「不満」が内航船（貨物船（タンカー以外））が16.3%、内航船（タンカー）が15.7%と比較的高くなっている。（図表 2 - 1 - 42）

◆【E. 船内の人間関係】《満足》の割合は、69.0%

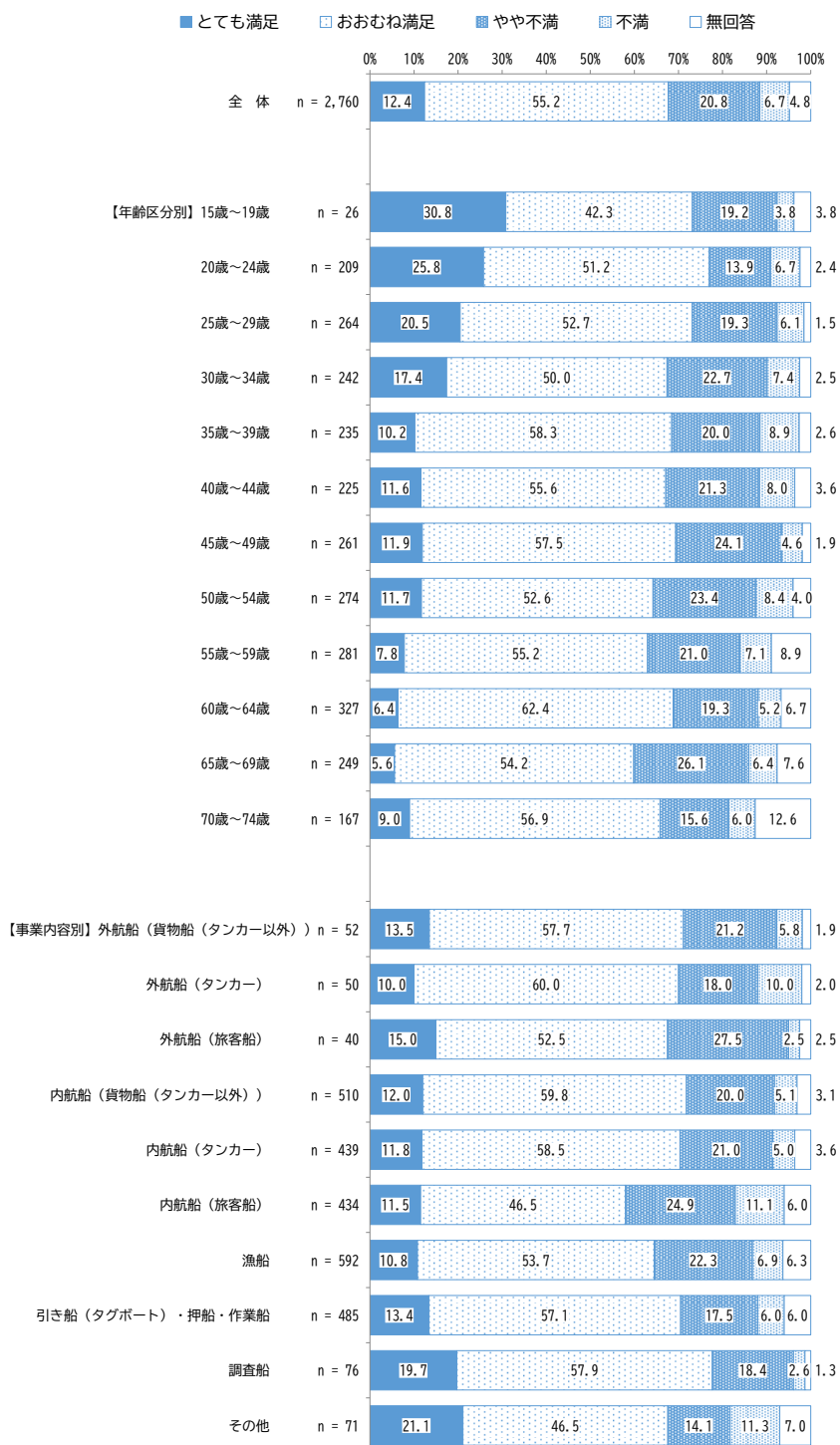
図表 2-1-43 船内環境の満足度【E. 船内の人間関係】



船内環境の満足度について【E. 船内の人間関係】では、《満足》（「とても満足」＋「おおむね満足」）の割合は、69.0%となっている。【事業内容】別にみると、内航船（旅客船）は、「不満」が11.1%と比較的高くなっている。（図表 2-1-43）

◆【F. 食事環境（食事の質やメニュー）】《満足》の割合は、67.6%

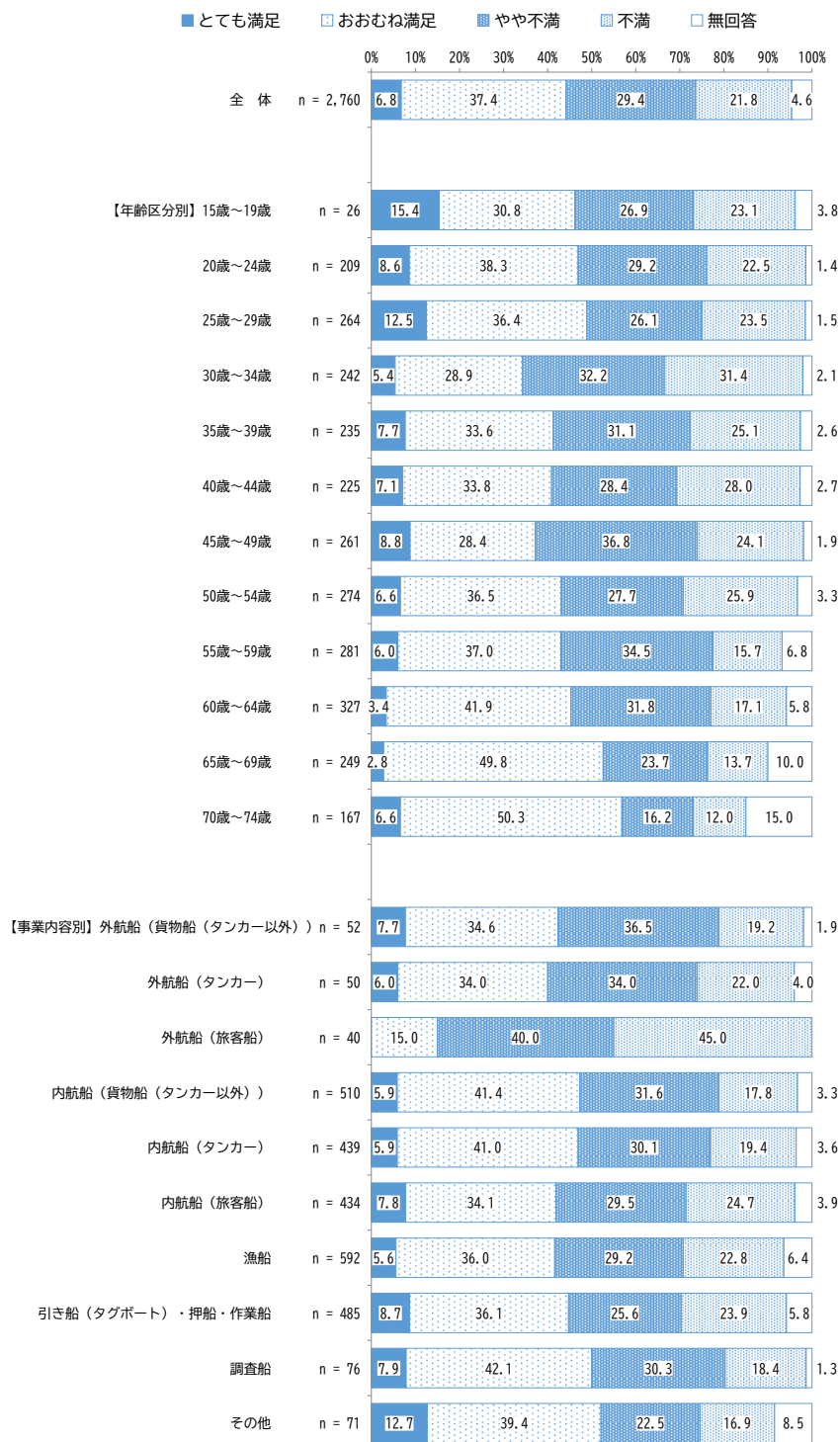
図表 2 - 1 - 44 船内環境の満足度【F. 食事環境（食事の質やメニュー）】



船内環境の満足度について【F. 食事環境（食事の質やメニュー）】では、《満足》（「とても満足」＋「おおむね満足」）の割合は、67.6%となっている。【年齢区分】別にみると、年齢階級が低い区分では「とても満足」の割合が比較的高くなっている。（図表 2 - 1 - 44）

◆【G. 通信・電波環境】《満足》の割合は、44.2%

図表2-1-45 船内環境の満足度【G. 通信・電波環境】



船内環境の満足度について【G. 通信・電波環境】では、《満足》（「とても満足」＋「おおむね満足」）の割合は、44.2%となっている。（図表2-1-45）

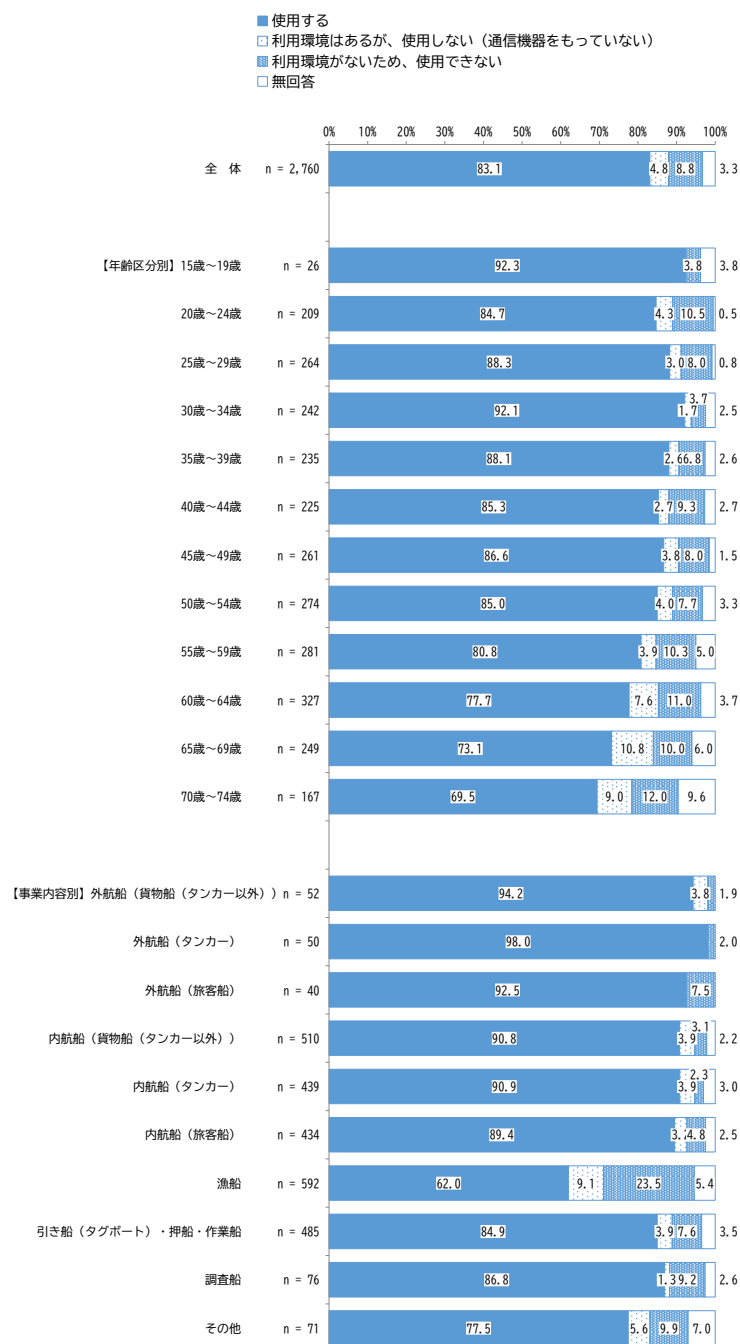
8. 海上での通信利用状況

◆海上での通信利用状況は、「使用する」が83.1%と最も高い

問 15. 海上でのインターネットの通信・電波環境についておたずねします。

乗船している時に、携帯電話・スマートフォン・タブレット端末・パソコンなどの、インターネットを利用できる機器は使用しますか。(○は1つだけ)

図表 2 - 1 - 46 海上での通信利用状況



海上での通信利用状況について、「使用する」が83.1%となっている。(図表 2 - 1 - 46)

図表 2－1－47 航行区域別 海上での通信利用状況

	調査数	使用する	利用環境はあるが、 （通信機器をもっていないし ない）	利用環境がないため、 使用できない	無回答
全 体	2760	83.1	4.8	8.8	3.3
平水区域	387	85.0	4.4	7.8	2.8
沿海区域	1180	87.8	4.1	5.4	2.7
近海区域	733	76.8	6.5	13.1	3.5
遠洋区域	232	83.6	1.7	12.5	2.2
わからない	161	75.8	6.2	9.9	8.1

【航行区域】別でみると「利用環境がないため、使用できない」割合は、近海区域 13.1%、遠洋区域 12.5%と他の区域と比べても比較的高くなっているものの、使用割合はどの区分でも 7 割以上となっている。（図表 2－1－47）

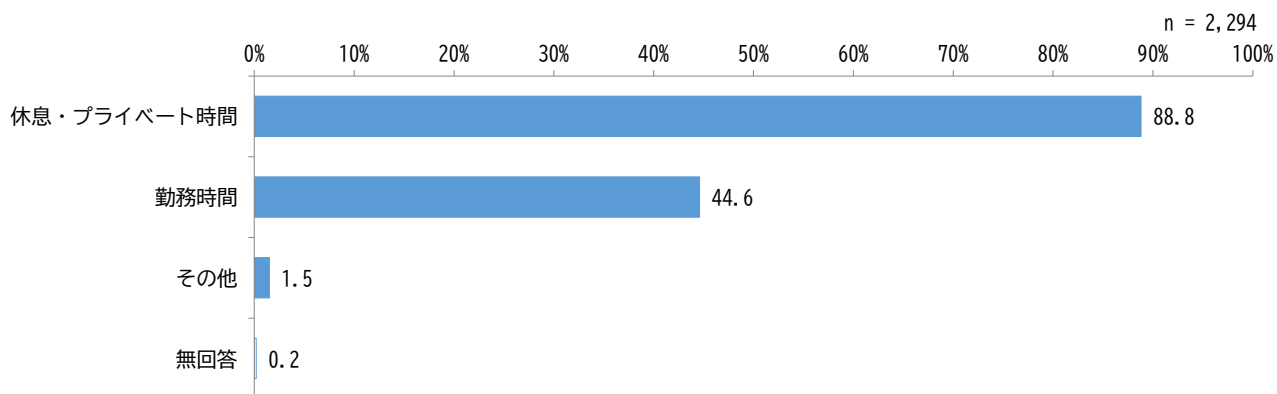
9. インターネットの利用場面

◆「休息・プライベート時間」の利用が88.8%

(問15. で「1. 使用する」とお答えの方へ)

問16. どのような場面で、インターネットを利用しますか。(○はいくつでも)

図表2-1-48 インターネットの利用場面



インターネットの利用場面について、「休息・プライベート時間」88.8%となっており、「勤務時間」においても、利用は44.6%となっている。(図表2-1-48)

図表 2-1-49 年齢区分別・事業内容別 インターネットの利用場面

		調査数	勤務時間	休息・プライベート時間	その他	無回答
全 体		2294	44.6	88.8	1.5	0.2
【年齢区分別】	15歳～19歳	24	20.8	100.0	-	-
	20歳～24歳	177	24.9	97.2	0.6	-
	25歳～29歳	233	39.9	95.3	0.4	0.4
	30歳～34歳	223	47.1	95.1	-	-
	35歳～39歳	207	47.8	93.2	-	-
	40歳～44歳	192	49.5	92.7	0.5	-
	45歳～49歳	226	54.4	83.2	3.1	-
	50歳～54歳	233	52.8	88.8	1.7	-
	55歳～59歳	227	43.6	89.4	2.6	-
	60歳～64歳	254	42.5	84.6	3.1	0.8
	65歳～69歳	182	44.5	76.9	1.1	-
	70歳～74歳	116	42.2	71.6	3.4	1.7
【事業内容別】	外航船(貨物船(タンカー以外))	49	32.7	98.0	-	-
	外航船(タンカー)	49	38.8	98.0	-	-
	外航船(旅客船)	37	51.4	89.2	-	-
	内航船(貨物船(タンカー以外))	463	43.8	92.4	0.6	0.2
	内航船(タンカー)	399	40.6	91.5	1.3	0.5
	内航船(旅客船)	388	41.0	91.8	2.6	-
	漁船	367	37.1	82.0	1.9	-
	引き船(タグボート)・押船・作業船	412	57.3	84.2	1.2	0.5
	調査船	66	59.1	87.9	-	-
	その他	55	52.7	83.6	7.3	-

【年齢区分】別にみると、

- ・「勤務時間」における利用の割合は、45歳～49歳の区分で54.4%と比較的高くなっている。
- ・「休息・プライベート時間」における利用の割合は、年齢階級が低い区分では、高くなっている。

【事業内容】別にみると、

- ・「勤務時間」における利用の割合は、漁船では他の事業内容と比べて低くなっている。

(図表 2-1-49)

図表２－１－50 航行区域別 インターネットの利用場面

	調査数	勤務時間	休息・プライベート時間	その他	無回答
全 体	2294	44.6	88.8	1.5	0.2
平水区域	329	57.8	83.3	1.8	－
沿海区域	1036	48.5	88.2	1.4	0.4
近海区域	563	35.2	90.6	1.8	0.2
遠洋区域	194	41.2	92.3	0.5	－
わからない	122	21.3	95.9	0.8	－

【航行区域】別でみると、区域によって「勤務時間」におけるインターネット利用割合の高低が見られる。他方「休息・プライベート時間」におけるインターネットの利用割合は区域の違いによる大きな差は見られない。（図表２－１－50）

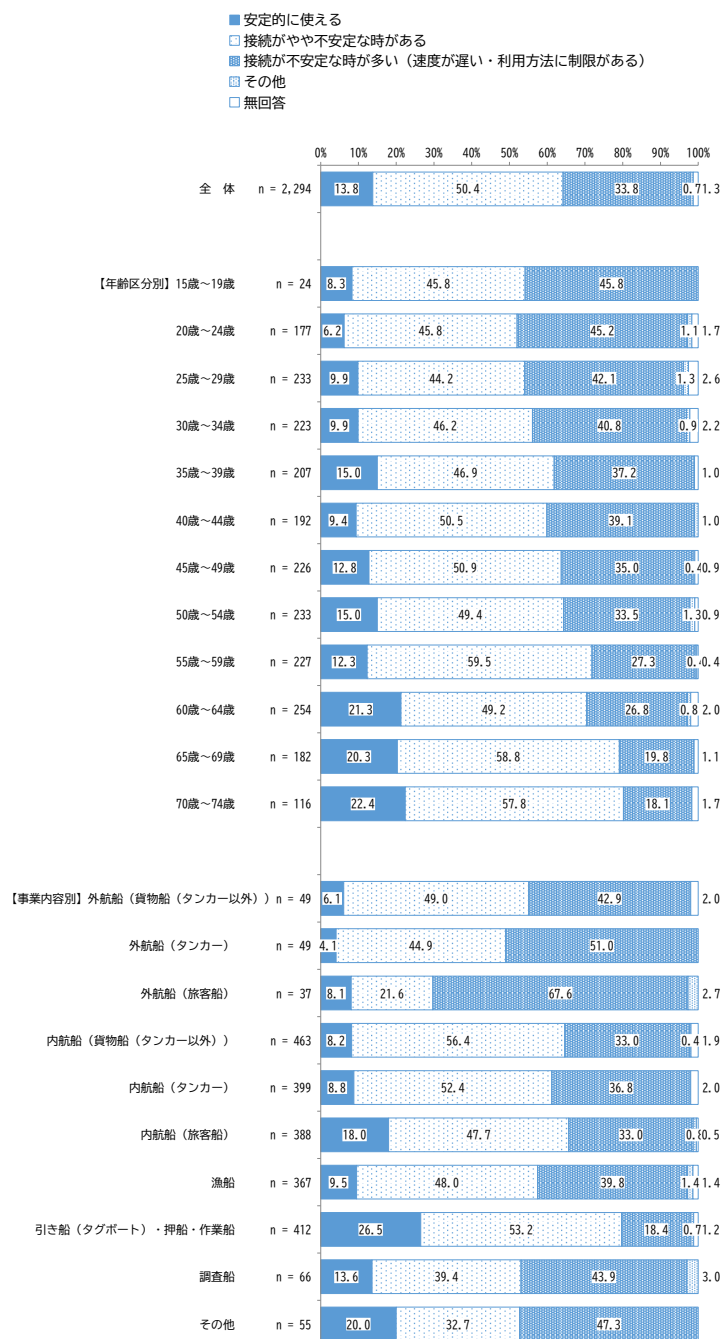
10. 海上でのインターネットの接続状況

◆「安定的に使える」割合は、13.8%と2割未満

(問16. をお答えの方へ)

問17. 乗船している時に、携帯電話・スマートフォン・タブレット端末・パソコンなどを使う場合、どのくらい電波が入りますか。(○は1つだけ)

図表2-1-51 海上でのインターネットの接続状況



海上でのインターネット接続状況について、「接続がやや不安定な時がある」50.4%が最も高くなっている。「安定的に使える」割合は、13.8%と2割未満となっている。（図表2-1-51）

図表 2－1－52 航行区域別 海上でのインターネットの接続状況

	調査数	安定的に使える	接続がやや不安定な時がある	遅い・接続が不安定な時が多い（制限がある（速度が遅い））	その他	無回答
全 体	2294	13.8	50.4	33.8	0.7	1.3
平水区域	329	32.5	52.3	13.1	0.6	1.5
沿海区域	1036	13.5	54.4	30.2	0.5	1.4
近海区域	563	6.4	48.3	43.3	0.7	1.2
遠洋区域	194	8.8	35.6	53.6	1.5	0.5
わからない	122	8.2	45.1	43.4	1.6	1.6

【航行区域】別でみると、近海区域・遠洋区域では「接続が不安定な時が多い（速度が遅い・利用方法に制限がある）」が4割以上となっている。（図表 2－1－52）

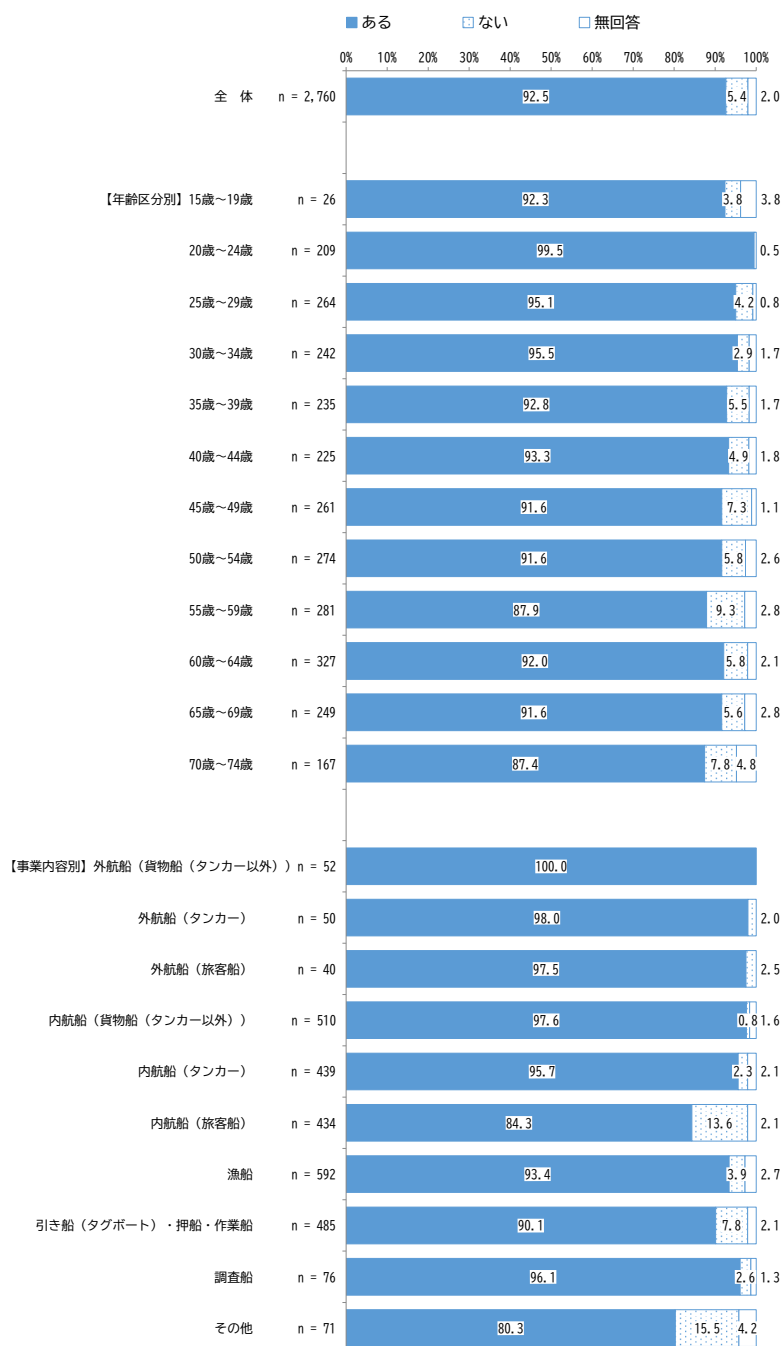
Ⅱ 食事について（問 18～問 24）

1. 船上での食事機会

◆食事機会は、「ある」が 92.5%

問 18. 船上で食事をする機会がありますか。（○は 1 つだけ）

図表 2-2-1 船上での食事機会



船上での食事機会について、「ある」が 92.5%、となっている。【事業内容】別にみると、内航船（旅客船）は、「ない」が 13.6%と比較的高くなっている。（図表 2-2-1）

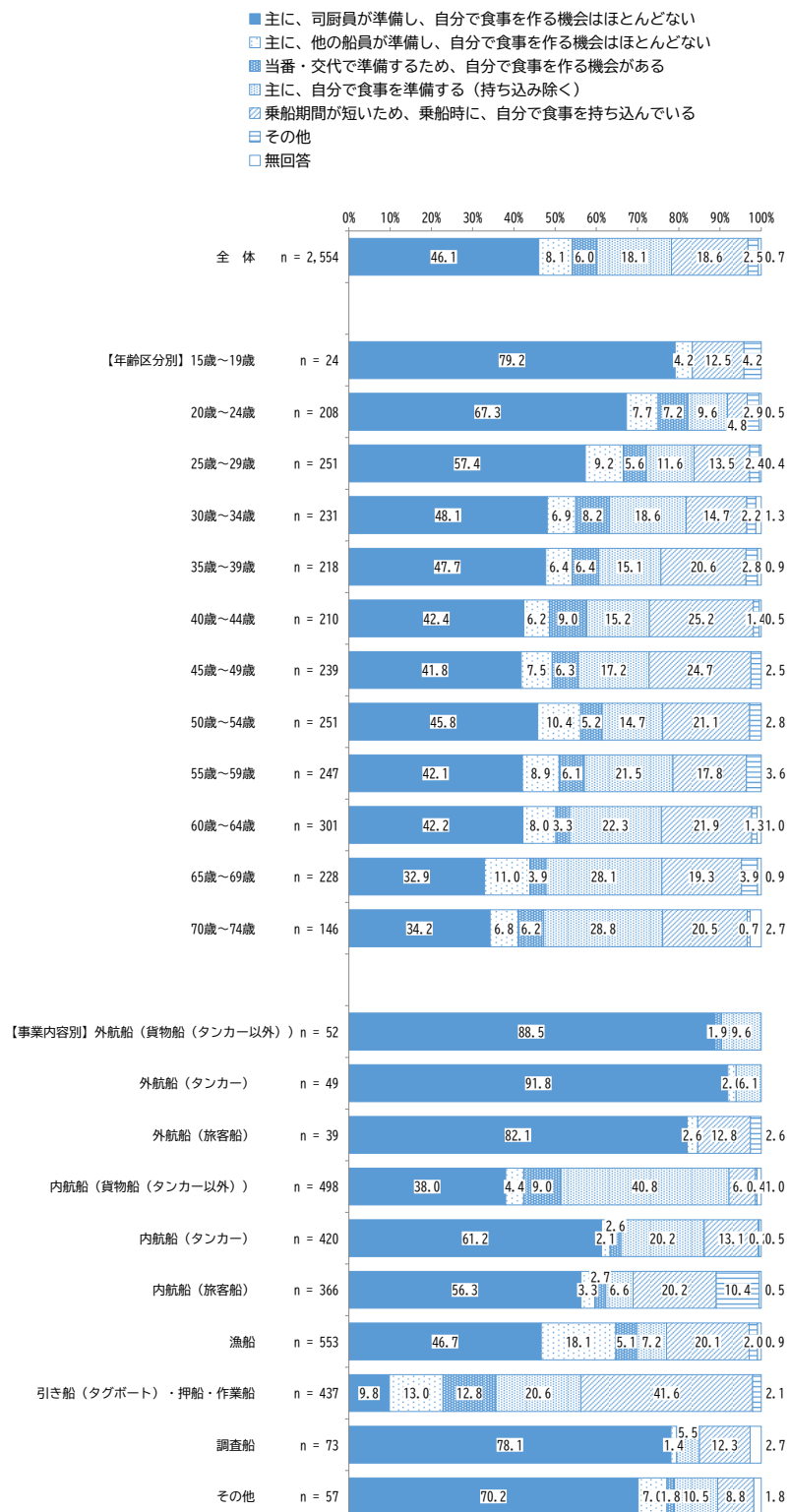
2. 食事の準備担当

◆「主に、司厨員が準備し、自分で食事を作る機会はほとんどない」が46.1%と最も高い

問18. で「1. ある」とお答えの方へ

問19. 船上での食事の準備は、どなたがされていますか。(○は1つだけ)

図表2-2-2 食事の準備担当



食事の準備担当について、「主に、司厨員が準備し、自分で食事を作る機会はほとんどない」46.1%が最も高く、以下「乗船期間が短いため、乗船時に、自分で食事を持ち込んでいる」18.6%、「主に、自分で食事を準備する（持ち込み除く）」18.1%、「主に、他の船員が準備し、自分で食事を作る機会はほとんどない」8.1%、「当番・交代で準備するため、自分で食事を作る機会がある」6.0%、となっている。【年齢区分】別にみると、「主に、自分で食事を準備する（持ち込み除く）」65歳～69歳で28.1%、70歳～74歳で28.8%と比較的高くなっている。（図表2-2-2）

図表2-2-3 乗船船員人数別・総トン数クラス別 食事の準備担当

		調査数	主に、司厨員が準備し、自分で食事はほとんどない	主に、他の船員が準備し、自分で食事を作る機会はほとんどない	当番・交代で準備するため、自分で食事を作る機会がある	主に、自分で食事（持ち込み除く）を準備する	乗船期間が短いため、乗船時に自分で食事を持ち込んでいる	その他	無回答
全 体		2554	46.1	8.1	6.0	18.1	18.6	2.5	0.7
乗船船員人数	1人	38	-	-	2.6	15.8	81.6	-	-
	2～4人	522	3.1	8.2	9.8	24.9	49.0	4.4	0.6
	5～9人	862	27.3	12.8	9.2	33.6	13.8	2.7	0.7
	10～19人	630	77.1	6.2	1.7	4.1	7.6	2.4	0.8
	20～29人	281	88.6	3.2	1.8	1.4	3.9	0.4	0.7
	30人～49人	129	85.3	3.1	2.3	1.6	7.0	-	0.8
	50人～99人	38	86.8	7.9	-	2.6	-	2.6	-
	100人以上	40	95.0	-	5.0	-	-	-	-
総トン数クラス	20トン未満	400	11.3	19.5	5.5	15.3	44.8	3.5	0.3
	20トン以上～700トン未満	1088	25.6	9.8	8.8	28.6	23.8	2.5	0.8
	700トン以上～3,000トン未満	414	66.7	3.4	5.6	14.3	4.8	4.8	0.5
	3,000トン以上	554	95.1	0.7	1.1	1.4	0.9	0.2	0.5
	わからない	62	58.1	8.1	3.2	21.0	9.7	-	-

【乗船船員人数】別にみると、5～9人の「主に、自分で食事を準備する（持ち込み除く）」が33.6%と比較的高くなっている。

【総トン数クラス】別でみると、「主に、司厨員が準備し、自分で食事を作る機会はほとんどない」の割合は、700トン以上～3,000トン未満で、66.7%、3,000トン以上で、95.1%と他と比べても高くなっている。総トン数が増えるにつれて、自分で食事を作る機会がほとんどないことが分かる。（図表2-2-3）

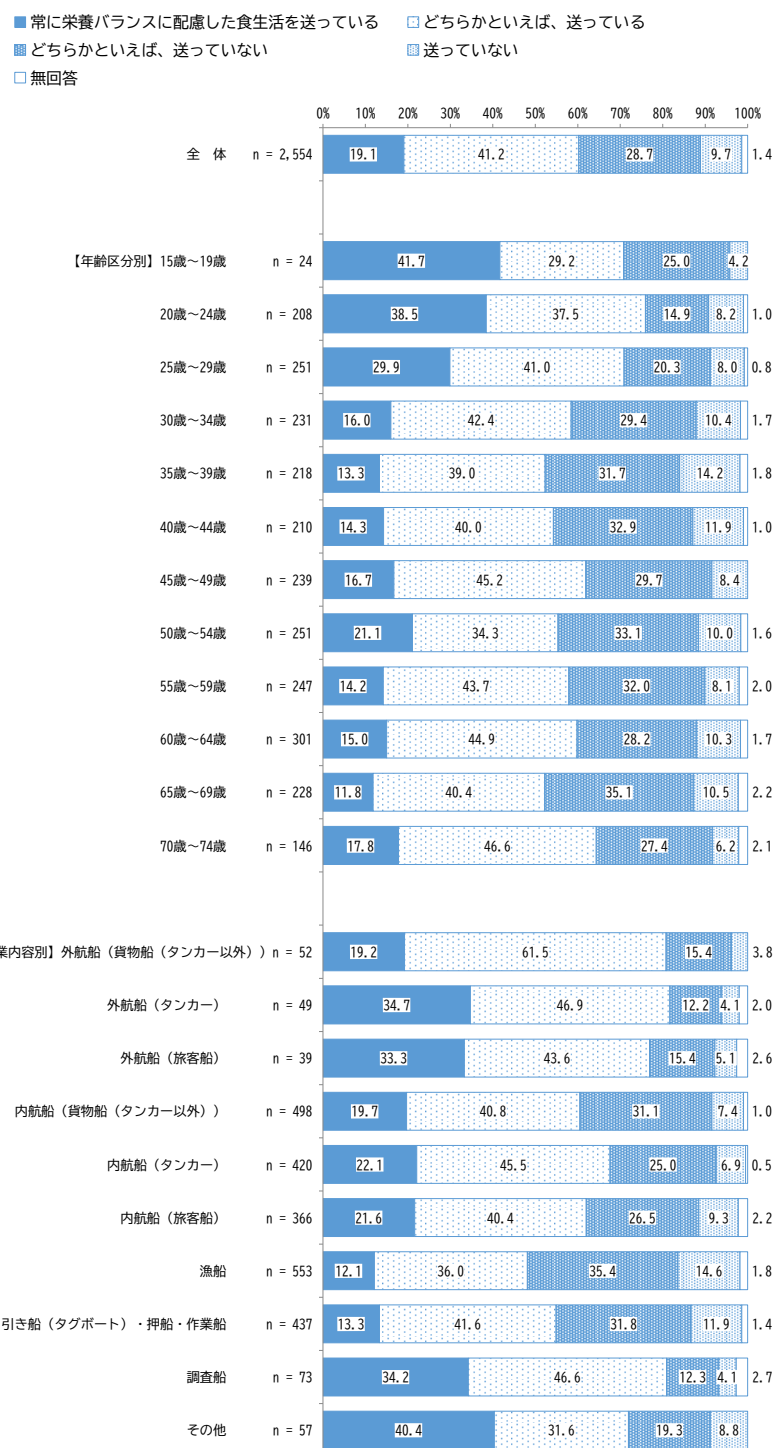
3. 栄養バランスの配慮

◆「食生活を配慮している」割合は、60.3%

(問19. をお答えの方へ)

問 20. 船上での食事は、主食・主菜・副菜を組み合わせたメニューなど、栄養バランスに配慮した食生活を送っていますか。(○は1つだけ)

図表2-2-4 栄養バランスの配慮



栄養バランスの配慮について、「食生活を配慮している」（「常に栄養バランスに配慮した食生活を送っている」＋「どちらかといえば、送っている」）割合は、60.3%となった。【年齢区分別】にみると、30歳未満の3区分が、他の年齢階級と比べて「食生活を配慮している」割合が高くなっている。（図表2-2-4）

図表2-2-5 乗船船員人数別・総トン数クラス別 栄養バランスの配慮

		調査数	常に栄養バランスに配慮した食生活を送っている	どちらかといえば、送っている	どちらかといえば、送っていない	送っていない	無回答
全 体		2554	19.1	41.2	28.7	9.7	1.4
【乗船船員人数】	1人	38	7.9	34.2	36.8	21.1	-
	2～4人	522	9.8	36.6	37.4	13.8	2.5
	5～9人	862	12.9	41.3	35.0	9.6	1.2
	10～19人	630	27.3	43.7	20.8	7.5	0.8
	20～29人	281	24.9	43.1	19.9	10.3	1.8
	30人～49人	129	32.6	43.4	17.8	4.7	1.6
	50人～99人	38	44.7	42.1	10.5	2.6	-
	100人以上	40	45.0	42.5	7.5	2.5	2.5
【総トン数クラス】	20トン未満	400	11.8	35.8	34.5	15.3	2.8
	20トン以上～700トン未満	1088	10.9	40.0	36.3	11.5	1.3
	700トン以上～3,000トン未満	414	25.4	39.6	25.6	8.9	0.5
	3,000トン以上	554	35.9	48.0	11.6	3.2	1.3
	わからない	62	22.6	41.9	25.8	8.1	1.6

【総トン数クラス】別でみると、20トン未満は、「どちらかといえば、送っていない」34.5%、「送っていない」が15.3%と比較的高くなっている。20トン以上～700トン未満は、「どちらかといえば、送っていない」が36.3%と比較的高くなっている。

「常に栄養バランスに配慮した食生活を送っている」割合は、700トン以上～3,000トン未満で、25.4%、3,000トン以上で、35.9%と比較的高くなっている。

問19の食事の準備担当の結果でみたように、自分で準備する場合は、栄養バランスに配慮できていない傾向があるが、司厨員が準備する場合、栄養バランスに配慮できている傾向にある。（図表2-2-5）

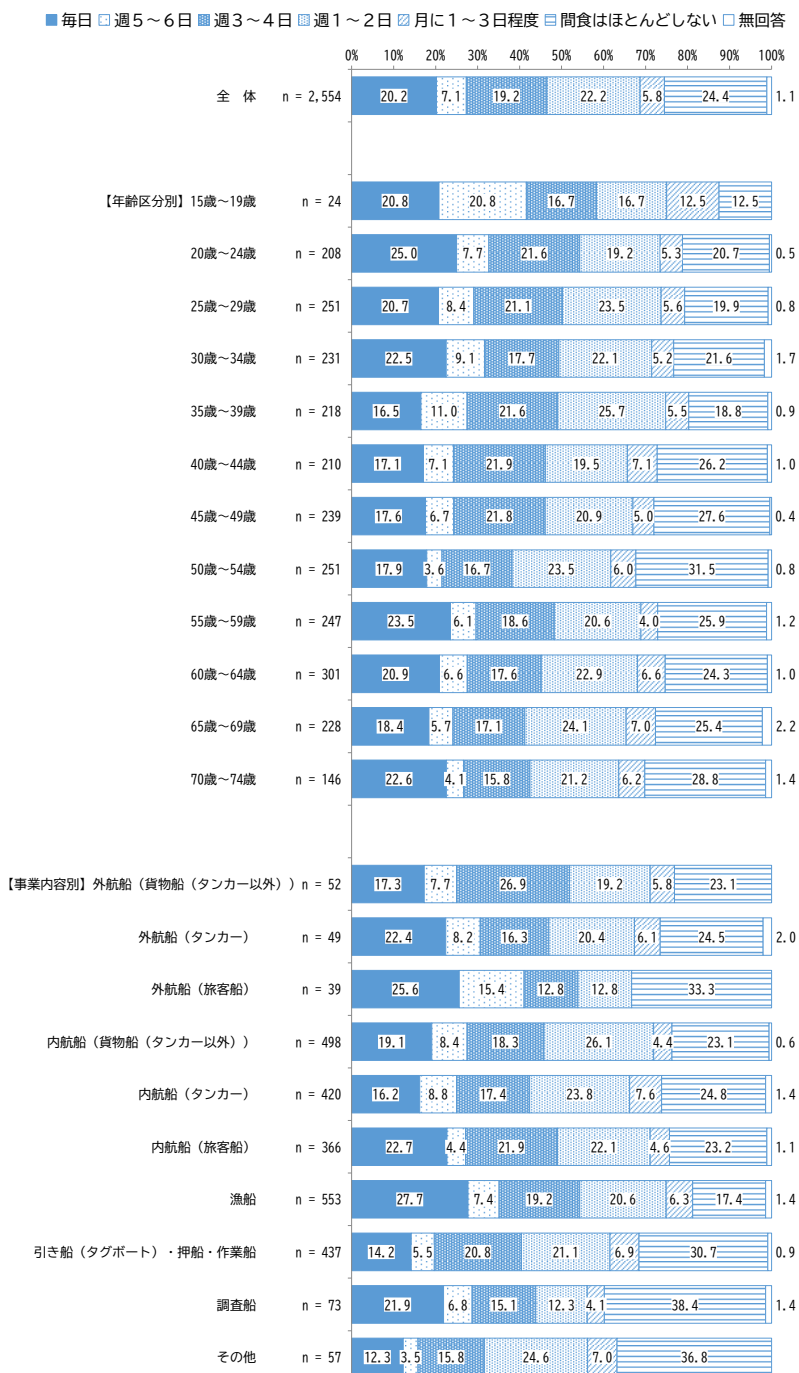
4. 間食の頻度

◆「間食はほとんどしない」割合は、3割弱

(問20. をお答えの方へ)

問 21. あなたは、毎食の食事以外に、どれくらいの頻度で間食をしますか。(○は1つだけ)

図表 2-2-6 間食の頻度



間食の頻度について、「間食はほとんどしない」割合は、24.4%と3割弱となった。(図表 2-2-

6)

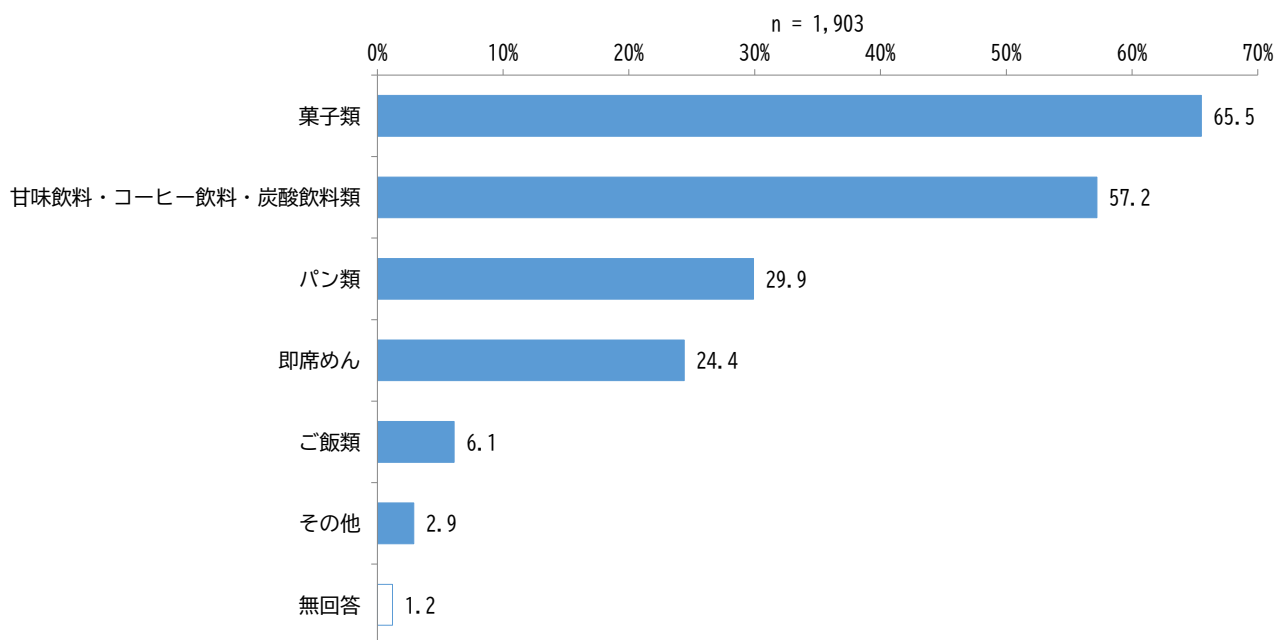
5. 間食の種類

◆「菓子類」が65.5%で最も高い

(問21. で「1. 毎日」～「5. 月に1～3日程度」とお答えの方へ)

問 22. 間食ではどんなものを食べたり飲んだりしますか。(○は3つまで)

図表 2－2－7 間食の種類



間食の種類について、「菓子類」65.5%が最も高く、以下「甘味飲料・コーヒー飲料・炭酸飲料類」57.2%、「パン類」29.9%、「即席めん」24.4%となっている。(図表 2－2－7)

図表 2-2-8 年齢区分別・事業内容別 間食の種類

		調査数	菓子類	即席めん	パン類	ご飯類	料 甘 類 味 飲料・ コーヒ ー飲料 ・炭酸 飲料	その他	無回答
全 体		1903	65.5	24.4	29.9	6.1	57.2	2.9	1.2
【年齢区分別】	15歳～19歳	21	66.7	42.9	23.8	9.5	38.1	-	-
	20歳～24歳	164	62.8	31.7	24.4	11.6	52.4	3.0	1.8
	25歳～29歳	199	64.3	30.2	22.6	10.1	53.3	4.5	2.0
	30歳～34歳	177	72.3	29.4	20.3	8.5	54.2	2.3	1.7
	35歳～39歳	175	69.7	21.1	22.9	6.3	63.4	1.1	2.3
	40歳～44歳	153	69.9	30.1	25.5	5.2	56.9	3.9	-
	45歳～49歳	172	65.7	22.1	29.1	3.5	48.8	2.9	1.7
	50歳～54歳	170	68.2	21.2	31.8	3.5	51.8	0.6	1.2
	55歳～59歳	180	73.3	21.1	37.8	4.4	58.3	2.2	1.1
	60歳～64歳	225	59.6	21.8	32.4	5.8	62.2	5.3	0.4
	65歳～69歳	165	53.9	19.4	46.7	3.0	69.7	2.4	-
	70歳～74歳	102	59.8	15.7	41.2	3.9	61.8	2.9	1.0
【事業内容別】	外航船(貨物船(タンカー以外))	40	72.5	25.0	10.0	5.0	50.0	2.5	2.5
	外航船(タンカー)	36	69.4	30.6	16.7	5.6	55.6	5.6	-
	外航船(旅客船)	26	96.2	7.7	23.1	-	46.2	3.8	-
	内航船(貨物船(タンカー以外))	380	66.3	22.9	30.8	5.5	61.1	3.9	0.5
	内航船(タンカー)	310	63.5	31.3	31.3	5.8	56.8	2.3	0.6
	内航船(旅客船)	277	69.0	23.8	27.4	7.6	48.4	2.5	1.1
	漁船	449	60.4	29.2	39.9	8.0	61.5	1.8	2.2
	引き船(タグボート)・押船・作業船	299	65.6	13.7	24.7	3.3	55.9	4.0	1.3
	調査船	44	68.2	27.3	11.4	9.1	61.4	-	2.3
	その他	36	72.2	22.2	11.1	8.3	61.1	5.6	-

【年齢区分】別にみると

- ・「菓子類」は、「30歳～34歳」72.3%、「55歳～59歳」73.3%と他の年齢階級と比べて比較的高くなっている。
- ・「パン類」は、「65歳～69歳」46.7%と他の年齢階級と比べて比較的高くなっている。
- ・「ご飯類」は、「20歳～24歳」11.6%、「25歳～29歳」10.1%と比較的高くなっている。
- ・「甘味飲料・コーヒー飲料・炭酸飲料類」は、「60歳～64歳」62.2%、「65歳～69歳」69.7%と比較的高くなっている。

【事業内容】別にみると、

- ・「パン類」は、漁船で比較的高くなっている。

(図表 2-2-8)

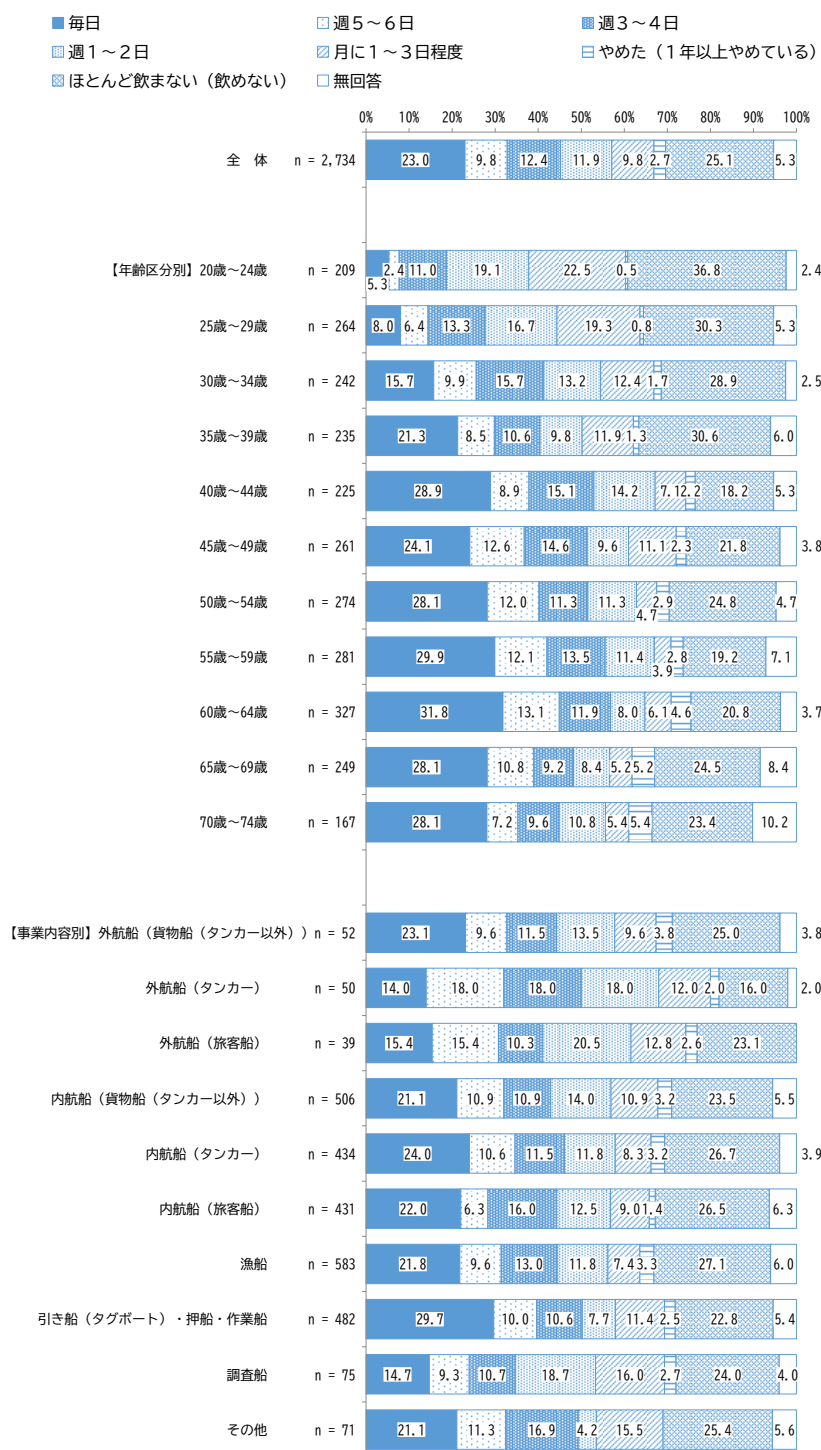
6. 飲酒の頻度

◆「ほとんど飲まない（飲めない）」が25.1%と最も高い

（20歳以上の方全員がお答えください。）

問 23. あなたは普段、どれくらいお酒（清酒、焼酎、ビール、洋酒など）を飲みますか。
（○は1つだけ）

図表 2-2-9 飲酒の頻度



飲酒の頻度について、「ほとんど飲まない（飲めない）」25.1%が最も高く、以下「毎日」23.0%、「週3～4日」12.4%、「週1～2日」11.9%、「週5～6日」9.8%、「月に1～3日程度」9.8%、となっている。

【年齢区分】別にみると、40歳～64歳の5区分では、5割以上が＜飲酒頻度が週3日以上＞となっている。（図表2－2－9）

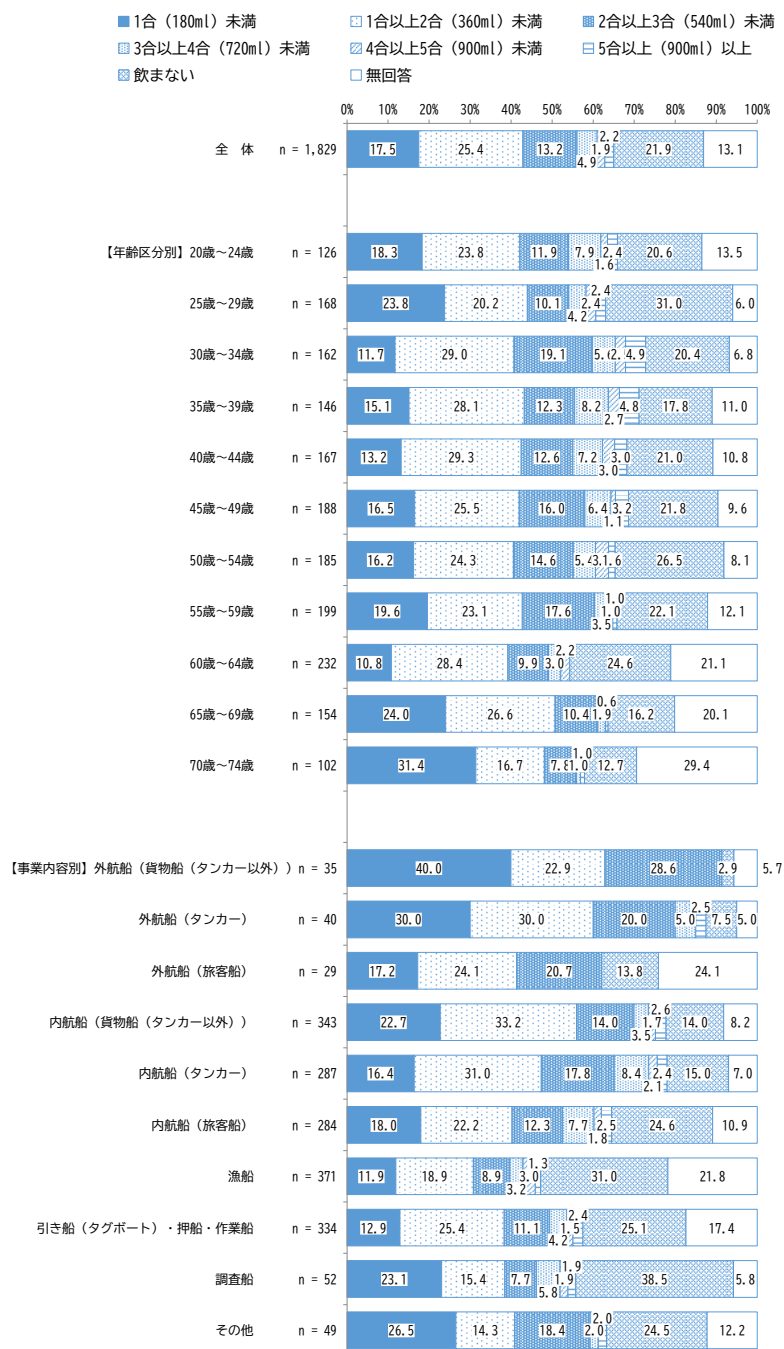
7. 飲酒量

◆【休日以外（勤務日）】の飲酒量は、≪2合（360ml）未満≫、42.9%の5割弱

（問23. で「1. 毎日」～「5. 月に1～3日程度」のいずれかをお答えの方へ）

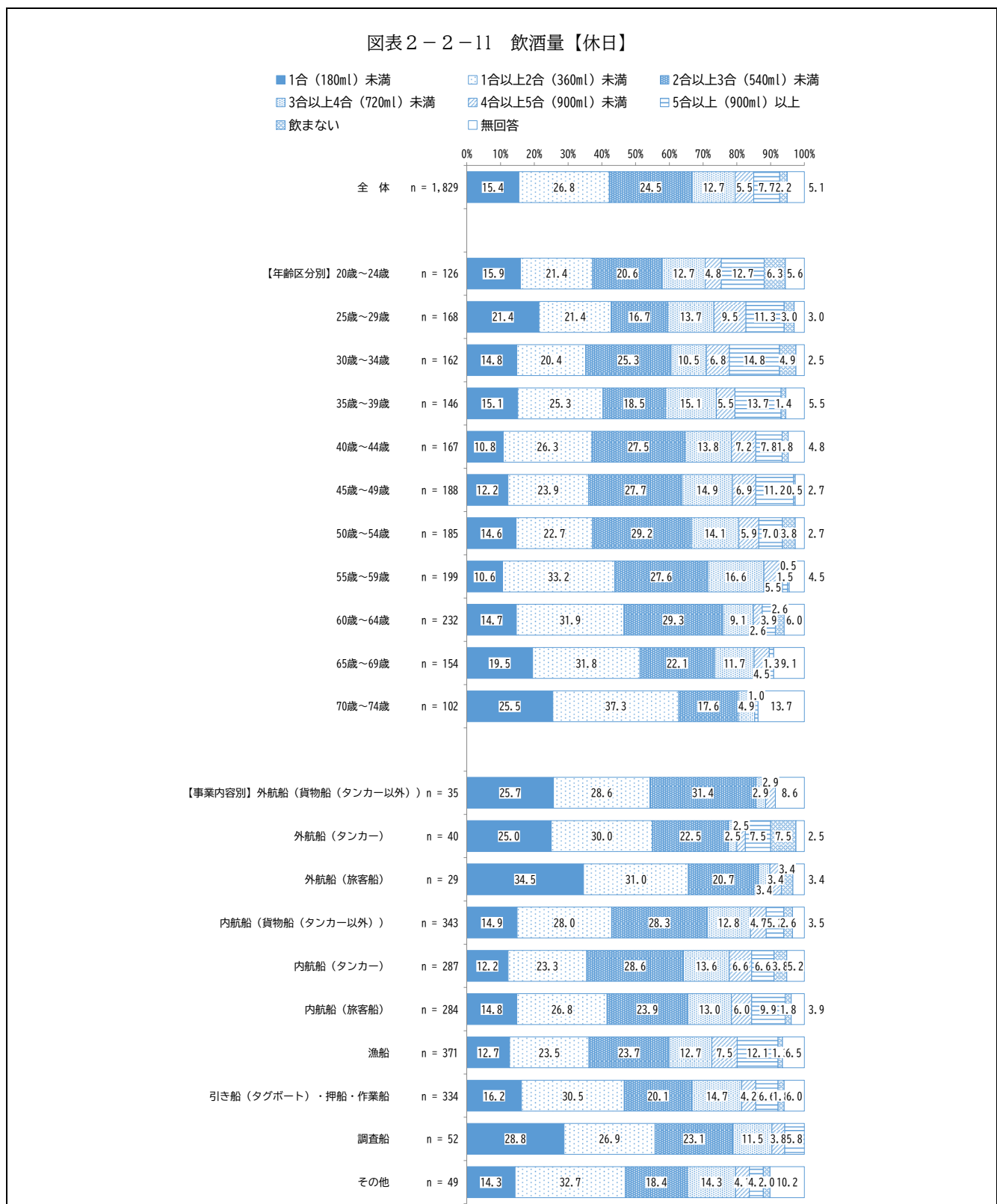
問24. お酒を飲む日は1日あたり、どれくらいの量を飲みますか。乗船中（勤務日）と休日のそれぞれについて、お答えください。（○はそれぞれ1つ）

図表2-2-10 飲酒量【休日以外（勤務日）】



飲酒量について【休日以外（勤務日）】では、≪2合（360ml）未満≫（「1合（180ml）未満」＋「1合以上2合（360ml）未満」）が5割弱となっている。（図表2-2-10）

◆【休日】では、「1 合以上 2 合（360ml）未満」が 26.8%と最も高い



飲酒量について【休日】では、「1 合以上 2 合（360ml）未満」26.8%が最も高く、以下「2 合以上 3 合（540ml）未満」24.5%、「1 合（180ml）未満」15.4%となっている。休日以外の勤務日の飲酒量と比べると（本書 65 ページ参照）、「飲まない」割合が減り、2 合～4 合の 2 区分の割合が大きくなっていることから、休日に飲酒をすることが分かる。（図表 2-2-11）

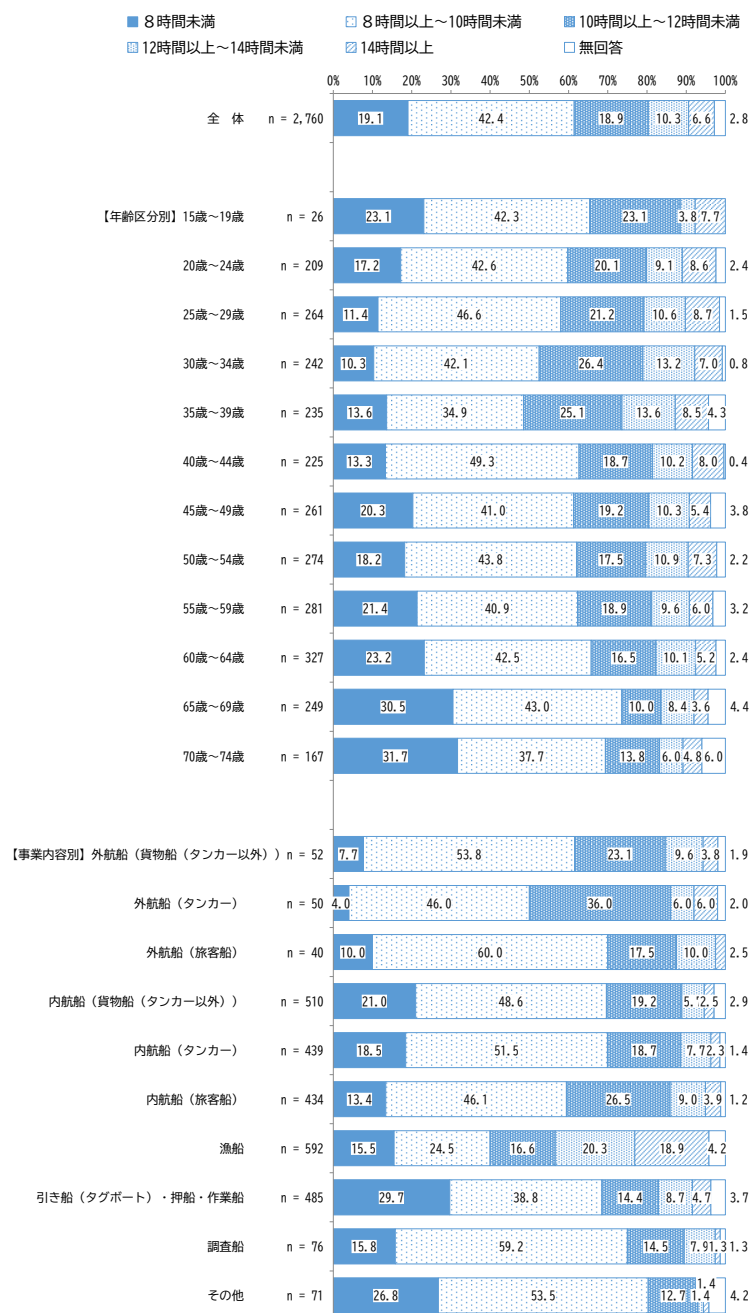
Ⅲ 労働実態について（問 25～問 29）

1. 1日あたりの労働時間

◆「8時間以上～10時間未満」が42.4%と最も高い

問 25. あなたの 1 日あたりの実際の労働時間は何時間ですか。時間外勤務が日頃からある場合には、それも含めた実態を教えてください。（○は1つだけ）

図表 2-3-1 1日あたりの労働時間



1日あたりの労働時間について、「8時間以上～10時間未満」が42.4%と最も高い。【年齢区分】別にみると、35歳～39歳の区分では、10時間未満の勤務時間である割合が比較的低くなっている。（図表 2-3-1）

図表 2-3-2 総合満足度別 1日あたりの労働時間

		調査数	8時間未満	8時間以上～10時間未満	10時間以上～12時間未満	12時間以上～14時間未満	14時間以上	無回答
全 体		2760	19.1	42.4	18.9	10.3	6.6	2.8
総合的な満足度 【勤め先の満足度】	とても満足	227	34.8	35.7	13.7	5.7	5.7	4.4
	おおむね満足	1502	21.1	46.0	17.5	8.0	5.0	2.4
	やや不満	730	13.0	39.2	23.3	13.3	8.5	2.7
	不満	219	7.8	34.7	21.5	20.1	13.7	2.3

【勤め先に対する総合的な満足度】別でみると、とても満足は、「8時間未満」が34.8%と比較的高くなっている。やや不満は、「10時間以上～12時間未満」が23.3%、「12時間以上～14時間未満」が13.3%と比較的高くなっている。不満は、「12時間以上～14時間未満」が20.1%、「14時間以上」が13.7%と比較的高くなっている。労働時間が増加するにつれ、満足度は低くなっている。

(図表 2-3-2)

図表 2-3-3 相関関係 1日あたりの労働時間と飲酒の頻度、間食の頻度¹

労働時間 飲酒の頻度			労働時間 間食の頻度		
労働時間	1		労働時間	1	
飲酒の頻度	-0.00283	1	間食の頻度	-0.0626	1

絶対値	解釈
0.0～0.2	ほとんど相関関係がない
0.2～0.4	やや相関関係がある
0.4～0.7	かなり相関関係がある
0.7～1.0	強い相関関係がある

労働時間と飲酒の頻度、労働時間と間食の頻度について、関連があるかをみるために、相関係数を算出した。上記の結果、労働時間と飲酒の頻度、労働時間と間食の頻度について、どちらもほとんど相関関係がない、ということが分かる。(図表 2-3-3)

¹ ※相関係数を算出するにあたり、選択肢同士をかけ合わせて計算するが、その際に同じ選択肢をかけ合わせると、結果は1となる。

2. 労働による身体不調での通院有無

◆通院有無は「ある」が17.7%、「ない」が80.1%

問 26. あなたは、これまでに長時間労働や連続労働等による身体の不調のため、医療機関にかかったことはありますか。(○は1つだけ)

図表 2-3-4 労働による身体不調での通院有無



労働による身体不調での通院有無について、「ある」が17.7%、「ない」が80.1%となっている。

【事業内容】別にみると漁船で、医療機関にかかったことが「ある」割合が23.3%であり、他の事業内容と比べると、比較的高くなっている。(図表2-3-4)

図表 2－3－5 労働時間別 労働による身体不調での通院有無

		調査数	ある	ない	無回答
全 体		2760	17.7	80.1	2.2
労働時間別	8時間未満	527	12.1	87.1	0.8
	8時間以上～10時間未満	1169	14.5	84.9	0.6
	10時間以上～12時間未満	522	20.9	78.9	0.2
	12時間以上～14時間未満	283	26.5	73.5	－
	14時間以上	183	32.8	66.7	0.5

【労働時間】別にみると、8時間未満は、「ない」が87.1%と比較的高くなっている。10時間以上の3区分においては、「ある」が比較的高くなっており、特に、14時間以上においては、32.8%となっている。(図表2－3－5)

3. 不調の原因の部位

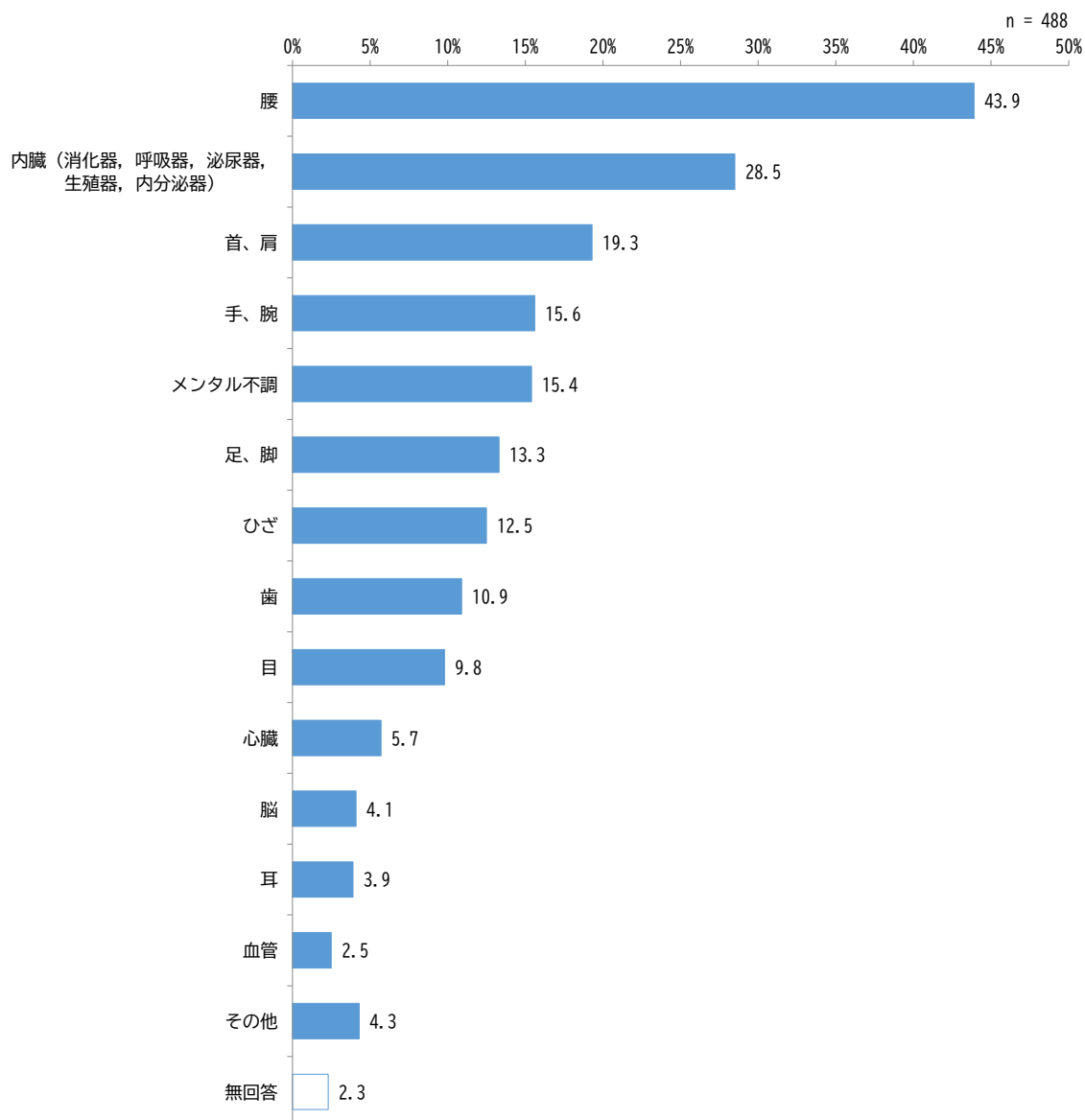
◆「腰」が43.9%と最も高い

(問26. で「1. ある」とお答えの方へ)

問 27. 医療機関にかかった時、不調の原因となる（なった）部位は主にどこですか。

(○は3つまで)

図表 2－3－6 不調の原因の部位



不調の原因の部位について、「腰」43.9%が最も高く、以下「内臓（消化器，呼吸器，泌尿器，生殖器，内分泌器）」28.5%、「首、肩」19.3%、「手、腕」15.6%、「メンタル不調」15.4%、となっている。（図表 2－3－6）

図表 2-3-7 年齢区分別・事業内容別 不調の原因の部位

		調査数	手、腕	足、脚	ひざ	首、肩	腰	脳	血管	心臓	生殖器（消化器・呼吸器・泌尿器）	歯	目	耳	メンタル不調	その他	無回答
全 体		488	15.6	13.3	12.5	19.3	43.9	4.1	2.5	5.7	28.5	10.9	9.8	3.9	15.4	4.3	2.3
【年齢区分別】	15歳～19歳	2	-	-	-	-	50.0	-	-	-	50.0	-	50.0	-	-	-	-
	20歳～24歳	22	18.2	13.6	4.5	9.1	27.3	9.1	-	-	18.2	9.1	18.2	4.5	27.3	13.6	4.5
	25歳～29歳	36	13.9	8.3	8.3	11.1	25.0	2.8	2.8	-	27.8	2.8	2.8	-	19.4	16.7	-
	30歳～34歳	39	12.8	20.5	2.6	17.9	48.7	-	-	5.1	23.1	12.8	5.1	5.1	28.2	5.1	-
	35歳～39歳	35	20.0	5.7	2.9	22.9	48.6	5.7	-	-	34.3	14.3	11.4	8.6	20.0	-	-
	40歳～44歳	45	20.0	8.9	8.9	31.1	46.7	2.2	4.4	4.4	22.2	2.2	4.4	8.9	22.2	4.4	2.2
	45歳～49歳	32	15.6	12.5	6.3	15.6	37.5	3.1	-	3.1	21.9	9.4	9.4	6.3	21.9	6.3	6.3
	50歳～54歳	49	12.2	4.1	20.4	26.5	42.9	4.1	2.0	6.1	22.4	6.1	10.2	4.1	14.3	2.0	2.0
	55歳～59歳	67	11.9	17.9	17.9	23.9	46.3	3.0	3.0	1.5	26.9	7.5	7.5	1.5	14.9	1.5	6.0
	60歳～64歳	65	16.9	10.8	15.4	24.6	49.2	4.6	3.1	13.8	36.9	13.8	12.3	3.1	10.8	3.1	1.5
	65歳～69歳	55	18.2	20.0	14.5	14.5	49.1	7.3	5.5	9.1	34.5	21.8	12.7	3.6	3.6	3.6	1.8
	70歳～74歳	41	14.6	22.0	22.0	2.4	43.9	4.9	2.4	12.2	34.1	17.1	14.6	-	2.4	-	-
【事業内容別】	外航船（貨物船（タンカー以外））	4	-	-	-	-	25.0	-	-	50.0	25.0	-	-	-	25.0	-	25.0
	外航船（タンカー）	8	-	-	-	12.5	12.5	-	12.5	-	25.0	-	12.5	12.5	12.5	25.0	-
	外航船（旅客船）	6	16.7	-	-	33.3	16.7	-	-	-	16.7	33.3	-	16.7	-	-	-
	内航船（貨物船（タンカー以外））	86	10.5	18.6	12.8	19.8	51.2	4.7	1.2	3.5	22.1	16.3	10.5	2.3	19.8	1.2	-
	内航船（タンカー）	65	10.8	12.3	20.0	18.5	44.6	1.5	3.1	6.2	35.4	10.8	4.6	1.5	16.9	1.5	-
	内航船（旅客船）	79	16.5	8.9	10.1	17.7	32.9	10.1	2.5	1.3	32.9	1.3	7.6	6.3	21.5	3.8	5.1
	漁船	138	23.2	15.9	13.8	17.4	50.7	4.3	1.4	10.9	27.5	14.5	10.9	3.6	8.0	5.8	0.7
	引き船（タグボート）・押船・作業船	79	12.7	8.9	10.1	24.1	41.8	-	5.1	3.8	27.8	7.6	13.9	5.1	12.7	6.3	6.3
	調査船	11	18.2	9.1	-	9.1	27.3	9.1	-	-	36.4	18.2	18.2	-	45.5	-	-
	その他	11	18.2	36.4	18.2	27.3	45.5	-	-	-	27.3	9.1	9.1	-	18.2	9.1	-

【事業内容】別では、

- ・ 不調部位が「腰」である割合は、内航船（貨物船（タンカー以外））51.2%、漁船 50.7%と他の事業内容と比べても比較的高くなっている。
- ・ 不調部位が「内臓（消化器，呼吸器，泌尿器，生殖器，内分泌器）」である割合は、内航船（タンカー）35.4%、内航船（旅客船）32.9%と他の事業内容と比べても比較的高くなっている。

（図表 2-3-7）

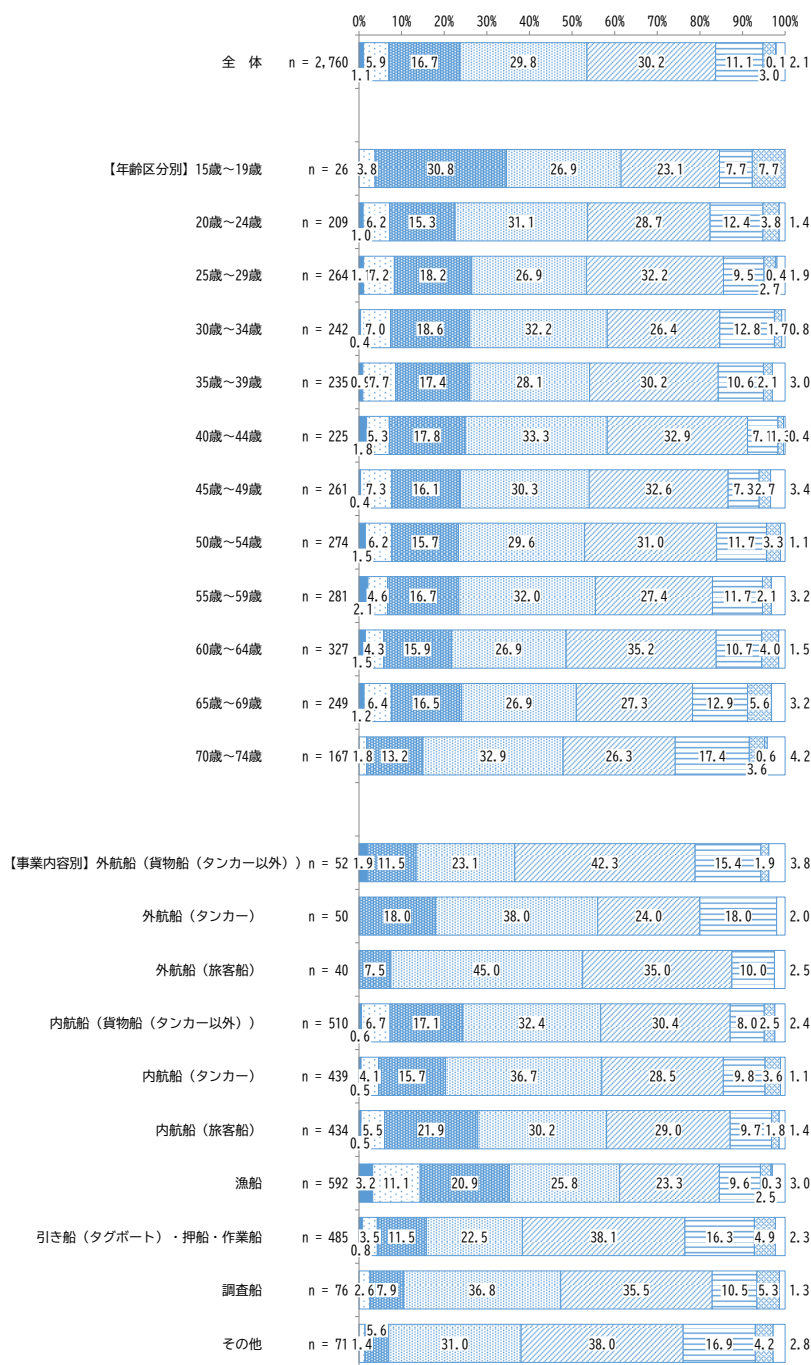
4. 睡眠時間

◆「6時間未満」は、約5割

問 28. あなたは、平均何時間くらい睡眠をとっていますか（休みの日は除く）。（○は1つだけ）

図表 2-3-8 睡眠時間

■ 3時間未満
■ 3時間以上～4時間未満
■ 4時間以上～5時間未満
■ 5時間以上～6時間未満
■ 6時間以上～7時間未満
■ 7時間以上～8時間未満
■ 8時間以上～10時間未満
■ 10時間以上
■ 無回答



睡眠時間について、「6時間以上～7時間未満」30.2%が最も高く、以下「5時間以上～6時間未満」29.8%、「4時間以上～5時間未満」16.7%、「7時間以上～8時間未満」11.1%、「3時間以上～4時間未満」5.9%、となっている。（図表 2-3-8）

図表 2－3－9 航行区域別 睡眠時間

	調査数	3時間未満	3時間以上 ～4時間未満	4時間以上 ～5時間未満	5時間以上 ～6時間未満	6時間以上 ～7時間未満	7時間以上 ～8時間未満	8時間以上 ～10時間未満	10時間以上	無回答
全 体	2760	1.1	5.9	16.7	29.8	30.2	11.1	3.0	0.1	2.1
平水区域	387	0.5	3.4	15.2	28.9	33.1	14.7	2.1	－	2.1
沿海区域	1180	0.8	5.6	16.8	31.2	29.7	10.8	3.6	0.1	1.4
近海区域	733	1.6	7.4	18.3	28.4	30.0	8.9	2.6	－	2.9
遠洋区域	232	－	4.7	15.1	30.2	34.9	10.8	2.2	－	2.2
わからない	161	3.7	6.2	18.6	29.2	24.2	9.9	3.7	0.6	3.7

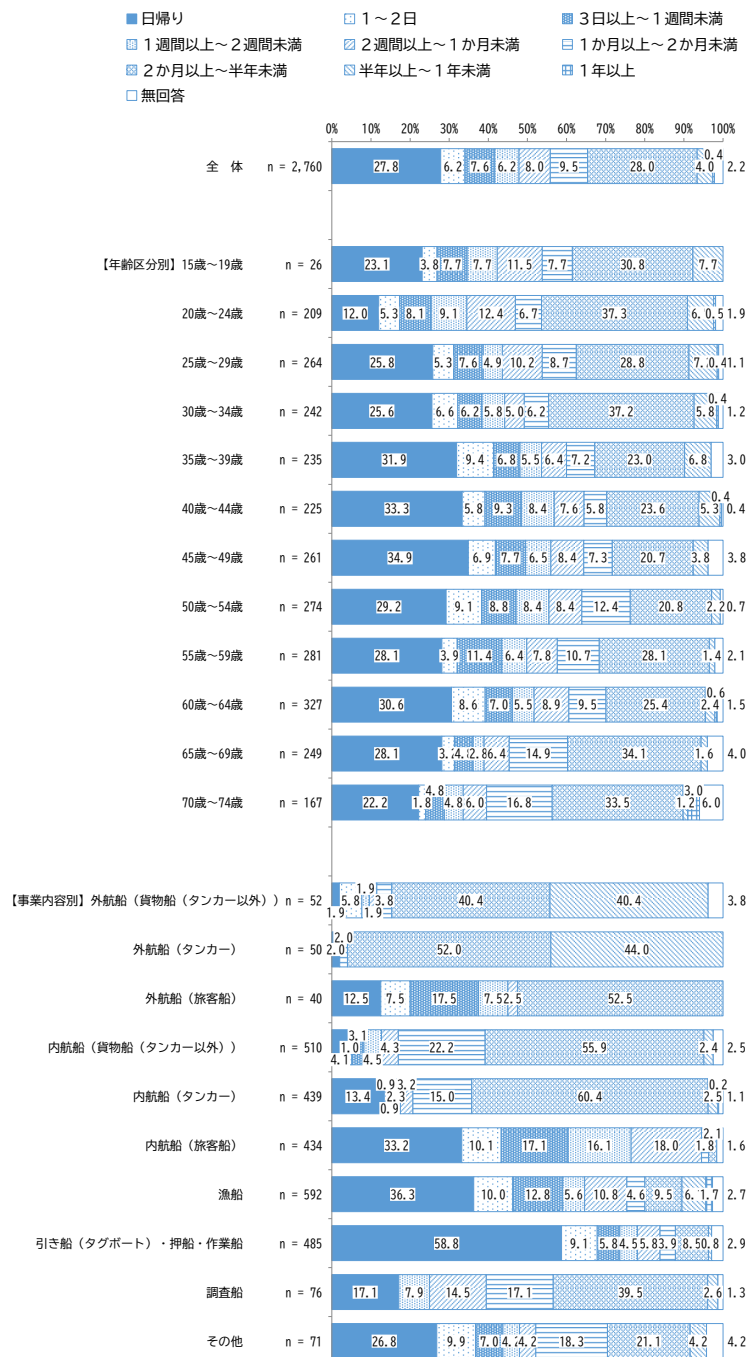
【航空区域】別では、全体の傾向と大きな差はない。（図表 2－3－9）

5. 乗船期間

◆「2か月以上～半年未満」が28.0%と最も高い

問 29. 乗船してから、自宅に戻って来るまでの期間は、おおよそどれくらいですか。(○は1つだけ)

図表2-3-10 乗船期間



帰宅までの時間について、「2か月以上～半年未満」28.0%が最も高く、以下「日帰り」27.8%、「1か月以上～2か月未満」9.5%、「2週間以上～1か月未満」8.0%、「3日以上～1週間未満」7.6%となっている。（図表2－3－10）

前回調査（2020 年）について

選択肢内容が異なっており、比較はできないが、参考として、前回の結果は、「2か月以上～半年未満」が29.1%と最も高く、次いで「日帰り」が27.1%となっていた。

IV 休暇について（問 30～問 35）

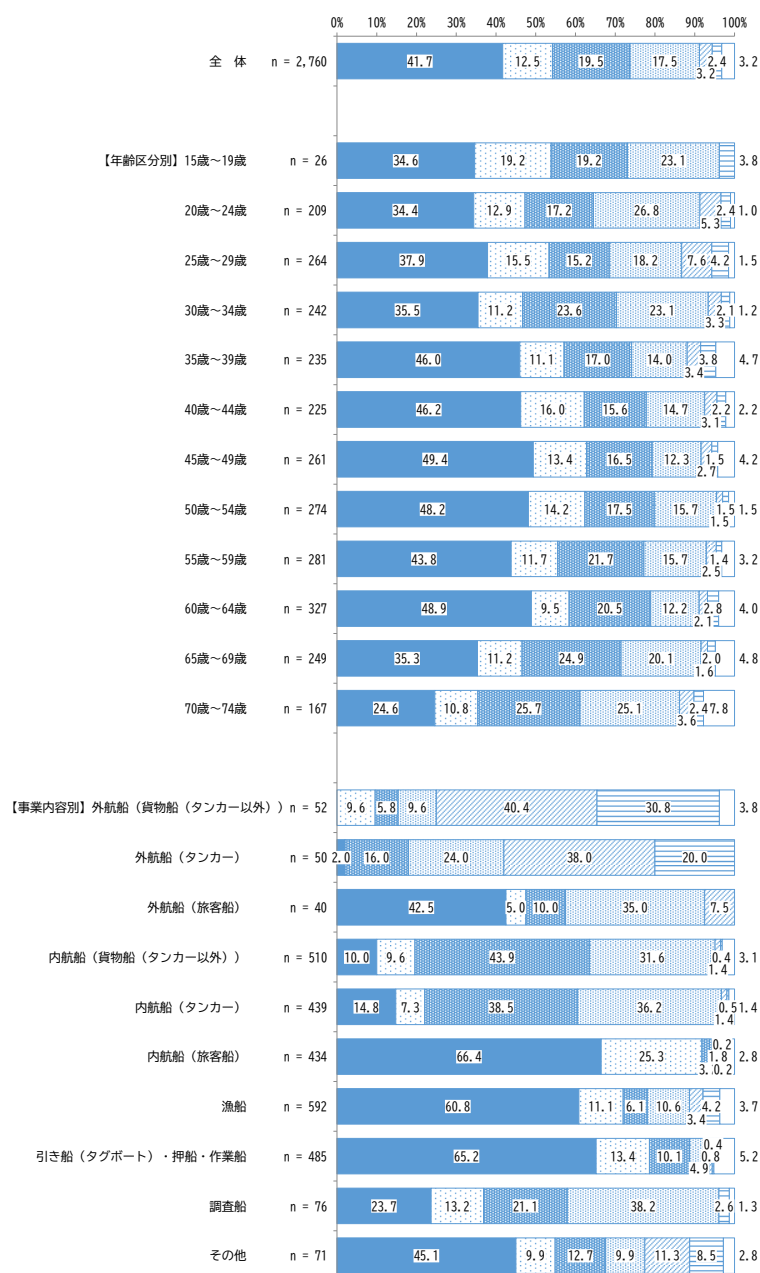
1. まとまった休暇の取得期間

◆「1週間未満」が41.7%と最も高い

問 30. 休暇についておたずねします。まとまった休暇は1回でどれくらいの期間取得できますか。
（○は1つだけ）

図表 2-4-1 まとまった休暇の取得期間

■ 1週間未満 □ 1週間～2週間未満 ■ 2週間～1か月未満 ■ 1か月～2か月未満
■ 2か月～3か月未満 ■ 3か月以上 □ 無回答



まとまった休暇の取得期間について、「1週間未満」41.7%が最も高くなっている。【事業内容】別にみると、内航船（旅客船）・漁船・引き船（タグボート）・押船・作業船の3区分において、「1週間未満」の割合が6割以上となっている。（図表 2-4-1）

図表 2-4-2 航行区域別・職種別 まとまった休暇の取得期間

		調査数	1週間未満	1週間～2週間未満	2週間～1か月未満	1か月～2か月未満	2か月～3か月未満	3か月以上	無回答
全 体		2760	41.7	12.5	19.5	17.5	3.2	2.4	3.2
【航行区域別】	平水区域	387	78.3	8.8	5.4	3.1	—	0.3	4.1
	沿海区域	1180	36.5	12.5	28.0	18.6	1.1	0.8	2.5
	近海区域	733	35.7	15.4	18.3	21.8	3.3	2.5	3.0
	遠洋区域	232	15.9	9.5	9.5	25.4	21.6	15.1	3.0
	わからない	161	56.5	14.9	9.9	11.8	1.2	0.6	5.0
【職種別】	船長	602	58.5	10.0	14.3	9.3	2.5	1.7	3.8
	航海士	472	26.5	12.1	31.6	20.3	5.1	3.0	1.5
	甲板長	96	40.6	13.5	18.8	20.8	1.0	2.1	3.1
	甲板部員	495	50.9	13.7	12.7	17.6	1.2	0.8	3.0
	機関長	357	39.2	12.9	24.9	16.0	2.0	2.2	2.8
	機関士	296	29.1	12.8	24.3	22.0	5.7	3.4	2.7
	機関部員	89	29.2	13.5	22.5	21.3	3.4	7.9	2.2
	司厨長	81	13.6	12.3	19.8	44.4	2.5	2.5	4.9
	司厨部員	57	43.9	19.3	7.0	17.5	8.8	3.5	—
	事務部門	22	54.5	45.5	—	—	—	—	—
	漁労長	34	38.2	8.8	11.8	26.5	8.8	2.9	2.9
	バーサー	33	48.5	6.1	9.1	33.3	3.0	—	—
	その他	88	45.5	14.8	8.0	13.6	5.7	5.7	6.8

【航行区域】別にみると、

- ・「1週間未満」の割合は、平水区域 78.3%と他区域と比べて極めて高くなっている。
- ・遠洋区域では、長期の休日取得の傾向がうかがえ、≪1か月以上≫（「1か月～2か月未満」「2か月～3か月未満」＋「3か月以上」）が 62.1%と6割以上となっている。

【職種】別にみると、

- ・司厨長は、全体で最も回答割合が高い「1週間未満」では 13.6%と低く、「1か月～2か月未満」では 44.4%と比較的高くなっている。
- ・「2週間～1か月未満」割合では、航海士 31.6%と他の職種と比べて比較的高くなっている。

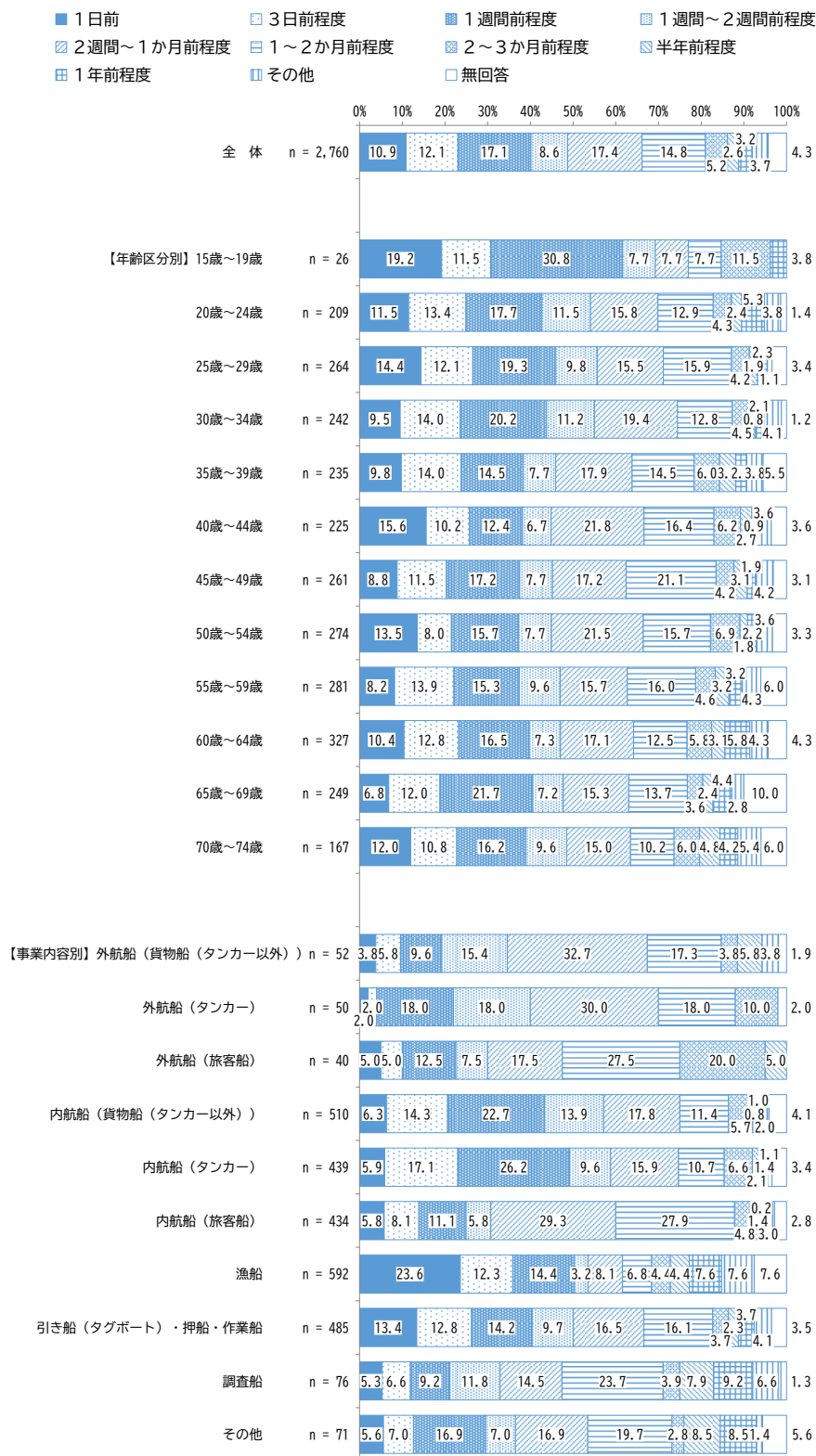
（図表 2-4-2）

2. 休暇予定を計画する時

◆「2週間～1か月前程度」が17.4%と最も高い

問 31. 休暇の予定はどのくらい前から計画されていますか。(○は1つだけ)

図表2-4-3 休暇予定を計画する時



休暇予定を計画する時について、「2週間～1か月前程度」17.4%が最も高く、以下「1週間前程度」17.1%、「1～2か月前程度」14.8%、「3日前程度」12.1%、「1日前」10.9%となっている。【事業内容】別にみると、漁船は、「1日前」が23.6%と比較的高くなっている。漁船以外の船舶では、多くが「1日前」では10%に満たない結果となっている。（図表2-4-3）

図表2-4-4 航行区域別・職種別 休暇予定を計画する時

		調査数	1日前	3日前程度	1週間前程度	1週間～2週間前程度	2週間～1か月前程度	1～2か月前程度	2～3か月前程度	半年前程度	1年前程度	その他	無回答
全 体		2760	10.9	12.1	17.1	8.6	17.4	14.8	5.2	2.6	3.2	3.7	4.3
【航行区域別】	平水区域	387	11.6	9.0	12.9	7.5	23.5	19.9	3.6	1.8	2.6	3.6	3.9
	沿海区域	1180	8.7	14.5	20.1	8.8	17.2	14.4	5.6	2.1	1.5	2.9	4.2
	近海区域	733	14.2	11.2	16.2	8.5	15.0	13.4	4.9	2.9	5.2	4.1	4.5
	遠洋区域	232	4.3	8.6	12.5	8.6	20.7	17.2	7.8	5.2	6.9	5.2	3.0
	わからない	161	21.1	11.2	17.4	10.6	9.9	9.9	3.7	3.7	2.5	6.2	3.7
【職種別】	船長	602	12.3	11.8	15.6	8.6	17.6	14.5	4.5	2.8	2.7	4.3	5.3
	航海士	472	7.0	14.2	17.8	9.3	21.0	16.7	5.7	1.7	2.3	1.9	2.3
	甲板長	96	9.4	16.7	14.6	7.3	16.7	15.6	4.2	1.0	5.2	2.1	7.3
	甲板部員	495	17.2	12.7	17.4	7.3	14.1	11.3	4.4	3.2	3.6	4.6	4.0
	機関長	357	6.7	11.5	17.1	6.2	19.6	18.8	5.3	2.5	2.0	4.2	6.2
	機関士	296	10.5	10.8	19.3	11.5	18.2	15.5	5.7	0.7	3.0	1.7	3.0
	機関部員	89	15.7	6.7	15.7	12.4	15.7	15.7	5.6	1.1	6.7	4.5	-
	司厨長	81	3.7	14.8	25.9	12.3	17.3	12.3	2.5	2.5	-	4.9	3.7
	司厨部員	57	5.3	8.8	17.5	10.5	19.3	12.3	7.0	8.8	3.5	-	7.0
	事務部門	22	4.5	13.6	13.6	4.5	18.2	22.7	22.7	-	-	-	-
	漁労長	34	5.9	11.8	20.6	8.8	5.9	-	8.8	8.8	23.5	2.9	2.9
	バーサー	33	-	-	12.1	9.1	15.2	24.2	15.2	12.1	3.0	6.1	3.0
	その他	88	21.6	10.2	14.8	6.8	11.4	12.5	2.3	4.5	5.7	8.0	2.3

比較的取得予定日の直前にあたる「1週間前程度まで」（「1日前」＋「3日前程度」＋「1週間前程度」）の割合は、全体で40.1%であるが、

【航行区域】別にみると、

- ・「遠洋区域」の「1週間前程度まで」に休暇予定を計画する割合は、25.4%と他区域に比べて低くなっている。

【職種】別にみると、

- ・「甲板部員」の「1週間前程度まで」に休暇予定を計画する割合は、47.3%と、他の職種に比べて高くなっている。
- ・同様に、「司厨長」の「1週間前程度まで」に休暇予定を計画する割合は44.4%と比較的高くなっている。

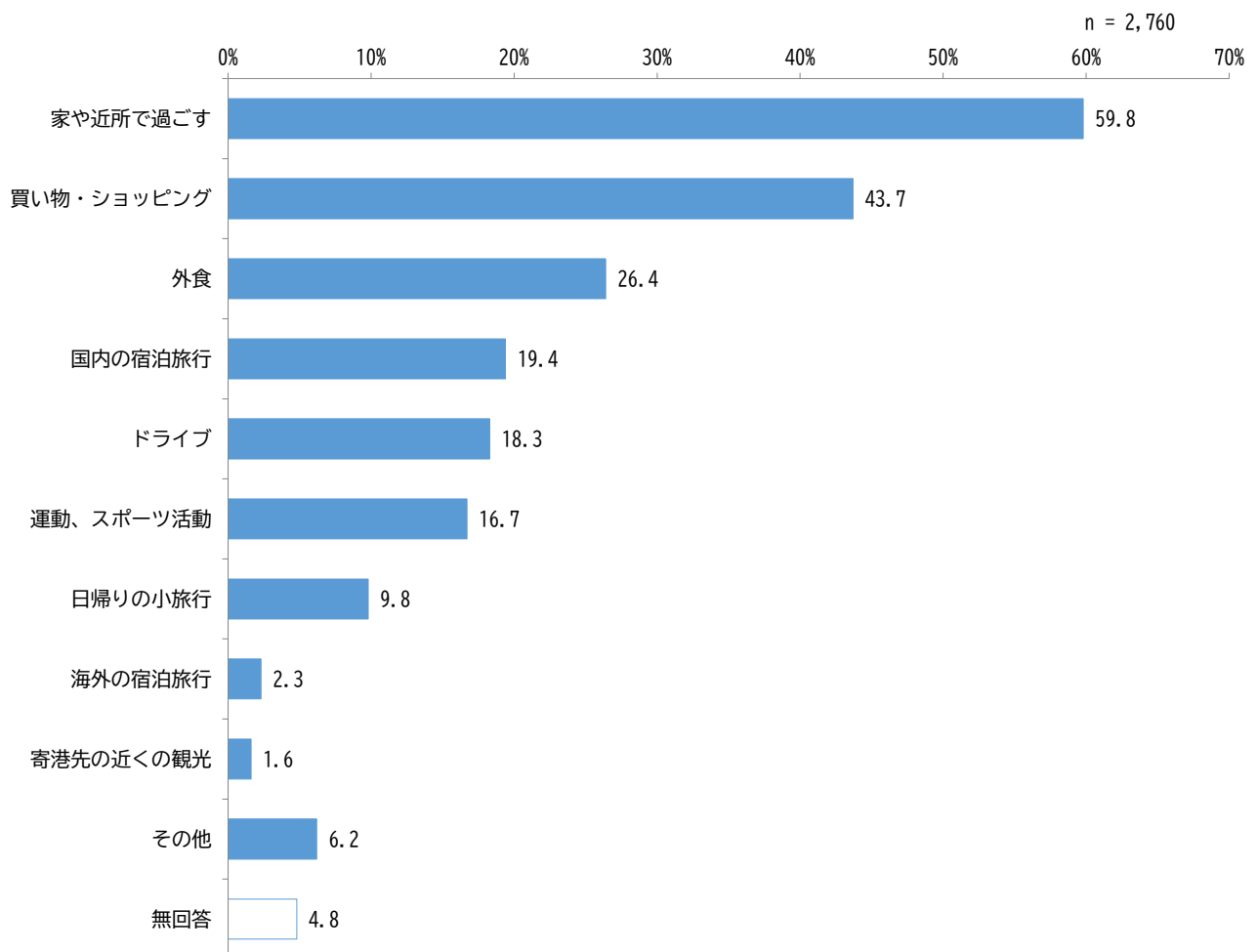
（図表2-4-4）

3. 休暇中の過ごし方

◆「家や近所で過ごす」が59.8%と最も高い

問 32. 休暇中はどんなことをして過ごすことが多いですか。(○は3つまで)

図表 2-4-5 休暇中の過ごし方



休暇中の過ごし方について、「家や近所で過ごす」59.8%が最も高く、以下「買い物・ショッピング」43.7%、「外食」26.4%、「国内の宿泊旅行」19.4%、「ドライブ」18.3%、となっている。
(図表 2-4-5)

図表 2-4-6 年齢区分別・事業内容別 休暇中の過ごし方

		調査数	国内の宿泊旅行	海外の宿泊旅行	日帰りの小旅行	ドライブ	寄港先の近くの観光	運動、スポーツ活動	外食	買い物・ショッピング	家や近所で過ごす	その他	無回答
全 体		2760	19.4	2.3	9.8	18.3	1.6	16.7	26.4	43.7	59.8	6.2	4.8
【年齢区分別】	15歳～19歳	26	15.4	—	7.7	50.0	—	15.4	65.4	73.1	42.3	—	—
	20歳～24歳	209	23.9	3.3	10.0	25.4	1.9	19.1	32.5	51.7	45.5	4.8	3.3
	25歳～29歳	264	29.5	6.8	12.1	23.5	1.5	16.7	34.8	46.6	51.9	5.3	2.7
	30歳～34歳	242	28.5	5.4	11.6	14.9	2.9	16.1	35.1	51.2	57.4	5.8	1.7
	35歳～39歳	235	26.0	3.8	13.6	15.3	1.7	22.6	27.7	42.6	58.7	5.1	7.7
	40歳～44歳	225	22.2	1.3	12.4	18.2	1.3	19.6	29.8	48.9	60.9	6.2	5.3
	45歳～49歳	261	16.1	1.5	7.7	15.7	1.1	21.8	28.0	45.6	66.7	7.7	3.8
	50歳～54歳	274	18.2	0.7	7.3	17.9	2.2	16.4	20.8	39.1	69.3	4.4	4.0
	55歳～59歳	281	14.9	0.7	9.6	19.9	1.4	12.5	19.9	43.1	63.0	5.7	6.4
	60歳～64歳	327	16.5	1.2	8.0	16.5	1.5	15.3	23.5	39.8	56.0	9.8	4.0
	65歳～69歳	249	6.4	—	8.0	12.9	1.2	11.6	17.7	34.5	66.3	8.4	8.8
	70歳～74歳	167	12.0	1.2	9.0	18.6	1.2	12.6	16.2	35.3	62.3	4.2	6.0
【事業内容別】	外航船(貨物船(タンカー以外))	52	46.2	25.0	19.2	9.6	—	34.6	25.0	36.5	36.5	1.9	3.8
	外航船(タンカー)	50	56.0	20.0	12.0	20.0	—	36.0	22.0	38.0	46.0	4.0	2.0
	外航船(旅客船)	40	42.5	10.0	15.0	10.0	7.5	20.0	25.0	55.0	57.5	2.5	—
	内航船(貨物船(タンカー以外))	510	21.4	2.4	12.2	22.2	1.0	15.7	28.2	43.5	61.4	7.3	4.5
	内航船(タンカー)	439	21.4	2.3	8.9	23.9	0.9	13.7	29.6	44.0	64.7	6.2	3.2
	内航船(旅客船)	434	16.8	0.9	10.8	16.1	0.5	24.7	27.6	48.4	60.6	4.8	3.7
	漁船	592	11.8	0.5	6.1	13.0	2.5	10.3	25.0	41.7	58.3	6.9	7.1
	引き船(タグボート)・押船・作業船	485	16.1	1.0	9.7	18.6	1.9	16.5	23.3	42.9	59.0	6.0	5.8
	調査船	76	31.6	2.6	14.5	18.4	5.3	19.7	25.0	43.4	60.5	9.2	1.3
	その他	71	25.4	1.4	7.0	18.3	4.2	16.9	22.5	40.8	59.2	8.5	5.6

【年齢区分】別にみると、

- ・「国内の宿泊旅行」の割合は、20歳～44歳の5区分で比較的高くなっている。
- ・「ドライブ」の割合は、20歳～29歳の2区分で2割以上となっている。
- ・年齢階級が高い区分では、「家や近所で過ごす」割合が高くなっている。

(図表 2-4-6)

図表２－４－７ 航行区域別・職種別 休暇中の過ごし方

		調査数	国内の宿泊旅行	海外の宿泊旅行	日帰りの小旅行	ドライブ	寄港先の近くの観光	運動、スポーツ活動	外食	買い物・ショッピング	家や近所で過ごす	その他	無回答
全 体		2760	19.4	2.3	9.8	18.3	1.6	16.7	26.4	43.7	59.8	6.2	4.8
【航行区域別】	平水区域	387	15.8	0.5	10.6	15.8	0.8	21.4	20.7	45.2	59.7	7.2	4.7
	沿海区域	1180	17.9	1.0	9.7	20.7	0.8	16.7	26.7	44.2	63.2	6.4	4.7
	近海区域	733	19.0	2.5	9.5	15.1	2.9	14.7	28.0	43.2	57.2	6.4	4.5
	遠洋区域	232	37.9	12.1	14.7	19.0	3.0	19.8	28.4	42.2	50.4	5.6	3.9
	わからない	161	16.1	1.2	5.6	21.1	1.9	11.8	30.4	44.1	59.6	3.1	4.3
【職種別】	船長	602	15.8	0.5	9.6	16.1	1.0	17.1	20.8	39.0	63.0	6.3	6.0
	航海士	472	25.6	5.7	15.0	18.2	1.7	18.0	29.2	45.8	56.1	7.6	3.2
	甲板長	96	10.4	－	7.3	16.7	1.0	7.3	26.0	47.9	67.7	6.3	7.3
	甲板部員	495	14.5	2.2	7.3	16.4	2.0	14.9	27.7	44.6	58.6	7.3	4.6
	機関長	357	17.4	0.8	7.8	21.0	1.4	19.3	23.5	42.3	63.3	7.0	4.2
	機関士	296	25.7	4.4	12.5	23.0	1.4	16.6	30.7	47.3	57.8	2.4	4.7
	機関部員	89	21.3	－	6.7	24.7	4.5	15.7	33.7	48.3	58.4	4.5	1.1
	司厨長	81	18.5	1.2	7.4	19.8	3.7	22.2	28.4	37.0	65.4	9.9	6.2
	司厨部員	57	28.1	3.5	10.5	17.5	5.3	21.1	31.6	45.6	52.6	1.8	5.3
	事務部門	22	36.4	－	4.5	13.6	－	9.1	45.5	68.2	45.5	－	4.5
	漁労長	34	26.5	－	5.9	14.7	－	14.7	17.6	44.1	76.5	2.9	2.9
	パーサー	33	57.6	12.1	15.2	9.1	－	15.2	12.1	48.5	45.5	9.1	3.0
	その他	88	11.4	－	4.5	21.6	1.1	17.0	30.7	44.3	52.3	6.8	2.3

【航行区域】別にみると、

- ・ 遠洋区域は、旅行についての回答割合（「国内の宿泊旅行」「海外の宿泊旅行」「日帰りの小旅行」）が、他の区域と比べて比較的高くなっている。

【職種】別にみると、

- ・ 航海士及び機関士の２つの職種において、「国内の宿泊旅行」「日帰りの小旅行」が、他の職種と比べて比較的高くなっている。

（図表２－４－７）

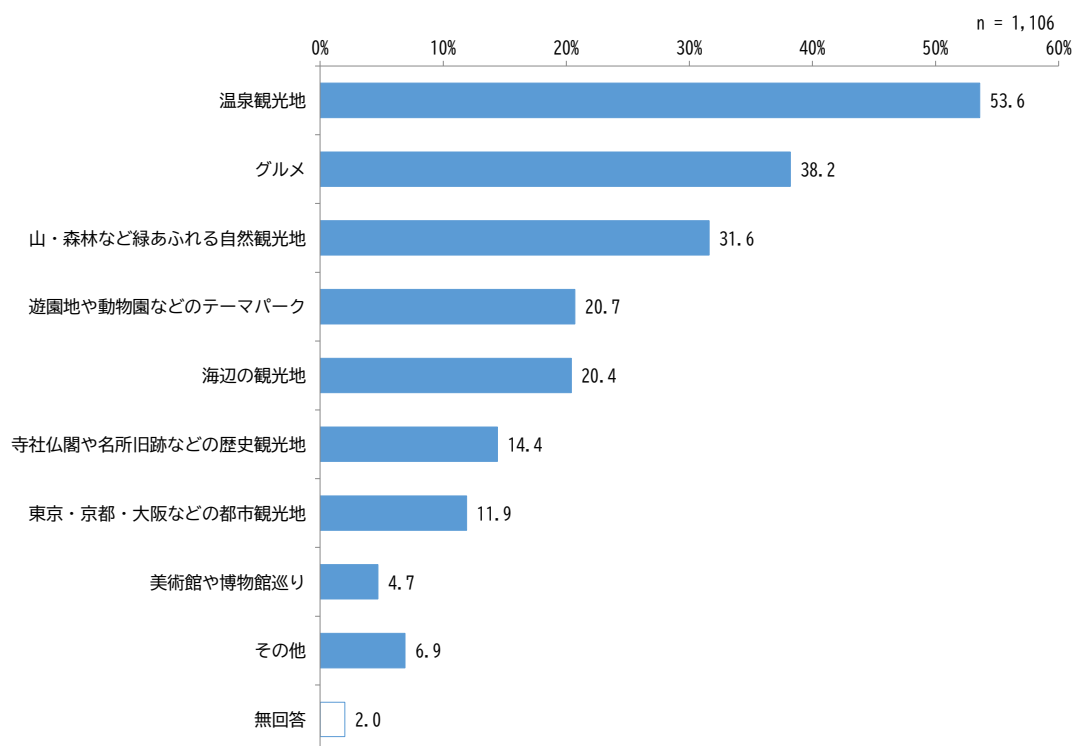
4. 出かける目的

◆「温泉観光地」が53.6%と最も高い

(問32. で「1」～「5」(国内の宿泊旅行・海外の宿泊旅行・日帰りの小旅行・ドライブ・寄港先の近くの観光)をお答えの方へ)

問 33. 旅行・おでかけの目的は何ですか。(○は3つまで)

図表 2－4－8 出かける目的



出かける目的について、「温泉観光地」53.6%が最も高く、以下「グルメ」38.2%、「山・森林など緑あふれる自然観光地」31.6%となっている。(図表 2－4－8)

図表 2-4-9 年齢区分別・事業内容別 出かける目的

		調査数	地 山・森林など緑あふれる自然観光	海辺の観光地	温泉観光地	東京・京都・大阪などの都市観光	寺社仏閣や名所旧跡などの歴史観光	グルメ	公園・遊園地や動物園などのテーマパーク	美術館や博物館巡り	その他	無回答
全 体		1106	31.6	20.4	53.6	11.9	14.4	38.2	20.7	4.7	6.9	2.0
【年齢区分別】	15歳～19歳	17	5.9	41.2	29.4	29.4	—	52.9	11.8	5.9	17.6	—
	20歳～24歳	102	34.3	28.4	38.2	22.5	3.9	52.0	18.6	4.9	9.8	2.0
	25歳～29歳	138	32.6	18.1	53.6	18.1	8.0	44.9	24.6	6.5	7.2	0.7
	30歳～34歳	119	30.3	21.8	56.3	16.8	16.0	41.2	27.7	4.2	6.7	—
	35歳～39歳	108	36.1	19.4	44.4	10.2	8.3	38.9	37.0	7.4	8.3	0.9
	40歳～44歳	93	31.2	21.5	50.5	10.8	20.4	31.2	33.3	3.2	7.5	1.1
	45歳～49歳	90	36.7	24.4	54.4	5.6	16.7	37.8	25.6	1.1	4.4	2.2
	50歳～54歳	100	39.0	19.0	56.0	14.0	21.0	36.0	11.0	5.0	4.0	1.0
	55歳～59歳	101	27.7	14.9	54.5	7.9	16.8	36.6	14.9	5.0	3.0	2.0
	60歳～64歳	118	24.6	12.7	63.6	5.1	18.6	36.4	10.2	3.4	8.5	3.4
	65歳～69歳	65	33.8	24.6	66.2	3.1	15.4	21.5	10.8	3.1	6.2	6.2
	70歳～74歳	55	25.5	20.0	63.6	5.5	21.8	25.5	3.6	7.3	7.3	7.3
【事業内容別】	外航船(貨物船(タンカー以外))	33	39.4	18.2	69.7	21.2	15.2	39.4	12.1	3.0	6.1	—
	外航船(タンカー)	33	48.5	24.2	60.6	9.1	6.1	51.5	15.2	6.1	6.1	—
	外航船(旅客船)	25	32.0	24.0	56.0	4.0	16.0	40.0	28.0	20.0	4.0	—
	内航船(貨物船(タンカー以外))	235	40.0	17.9	55.7	8.1	17.0	37.9	20.0	4.7	7.2	1.7
	内航船(タンカー)	194	28.4	20.6	48.5	12.9	15.5	37.6	23.2	3.6	7.2	4.1
	内航船(旅客船)	158	34.2	20.9	51.9	15.2	17.7	39.2	22.2	5.7	5.7	0.6
	漁船	170	16.5	24.7	52.9	10.0	10.6	36.5	20.0	1.8	7.1	2.4
	引き船(タグボート)・押船・作業船	184	34.2	17.9	52.7	13.0	9.8	39.7	21.2	2.2	5.4	2.7
	調査船	38	31.6	26.3	52.6	26.3	26.3	26.3	23.7	18.4	13.2	—
	その他	30	23.3	20.0	56.7	6.7	13.3	33.3	10.0	10.0	10.0	—

【年齢区分】別にみると、

- ・全体結果で第1位となった「温泉観光地」は、15歳～24歳、35歳～44歳の4区分の年齢階級を除き、割合が高くなっている。

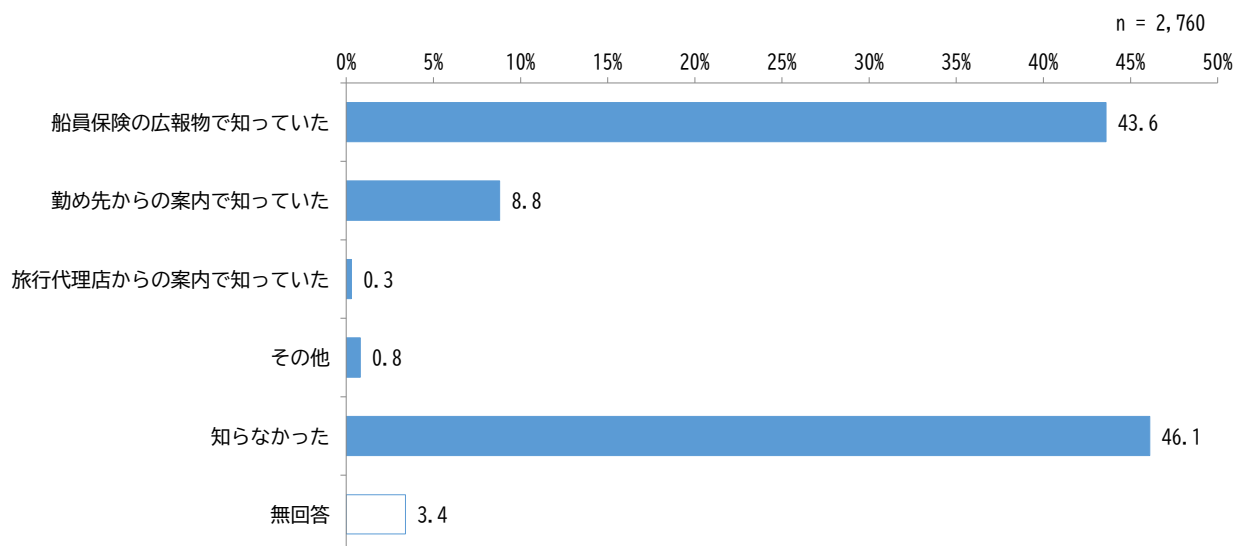
(図表 2-4-9)

5. 宿泊補助のサービスの周知度

◆「知らなかった」が46.1%と最も高い

問 34. 船員保険では、船員のみなさまの労働環境の特殊性等を踏まえて、疲労回復、静養、家族との団らんの場の提供を目的として、1泊3,000円の宿泊補助のサービスを行っておりますが、ご存じですか。（○はいくつでも）

図表 2-4-10 宿泊補助のサービスの周知度



宿泊補助サービスの周知度について、「知らなかった」46.1%が最も高く、以下「船員保険の広報物で知っていた」43.6%、「勤め先からの案内で知っていた」8.8%となっている。

（図表 2-4-10）

図表 2 - 4 - 11 年齢区分別・事業内容別 宿泊補助のサービスの周知度

		調査数	船員保険の広報物で知っていた	勤め先からの案内で知っていた	旅行代理店からの案内で知っていた	その他	知らなかった	無回答
全 体		2760	43.6	8.8	0.3	0.8	46.1	3.4
【年齢区分別】	15歳～19歳	26	3.8	11.5	-	-	84.6	-
	20歳～24歳	209	13.9	9.6	-	0.5	75.6	1.4
	25歳～29歳	264	23.5	11.7	-	0.8	63.6	2.3
	30歳～34歳	242	39.7	9.9	0.4	0.4	50.4	1.7
	35歳～39歳	235	40.0	16.2	-	-	43.8	4.7
	40歳～44歳	225	55.1	12.9	0.4	1.3	32.0	2.7
	45歳～49歳	261	55.6	8.8	0.4	0.8	36.0	1.5
	50歳～54歳	274	50.0	6.9	0.4	1.1	41.6	3.3
	55歳～59歳	281	44.8	5.0	0.7	1.4	43.1	6.4
	60歳～64歳	327	55.4	6.1	-	1.2	38.8	2.4
	65歳～69歳	249	49.4	5.6	-	-	40.6	7.2
	70歳～74歳	167	50.3	4.2	0.6	1.2	41.3	4.2
【事業内容別】	外航船(貨物船(タンカー以外))	52	40.4	13.5	-	1.9	46.2	3.8
	外航船(タンカー)	50	28.0	14.0	-	-	54.0	4.0
	外航船(旅客船)	40	47.5	17.5	-	-	37.5	2.5
	内航船(貨物船(タンカー以外))	510	45.5	8.2	-	0.2	45.5	2.9
	内航船(タンカー)	439	45.3	8.2	0.5	1.6	44.9	2.7
	内航船(旅客船)	434	44.0	11.8	-	0.9	44.0	2.8
	漁船	592	37.0	5.2	0.5	0.3	53.7	5.2
	引き船(タグボート)・押船・作業船	485	49.3	9.1	0.4	1.2	40.0	2.9
	調査船	76	42.1	10.5	-	1.3	48.7	-
	その他	71	43.7	9.9	-	-	43.7	5.6

【年齢区分】別にみると、

・「知らなかった」割合は、20歳～29歳の2区分で比較的高く、6割以上となっている。

【事業内容】別にみると、

・「船員保険の広報物で知っていた」割合は、引き船（タグボート）・押船・作業船 49.3%と他事業内容と比べても比較的高くなっている。

(図表 2 - 4 - 11)

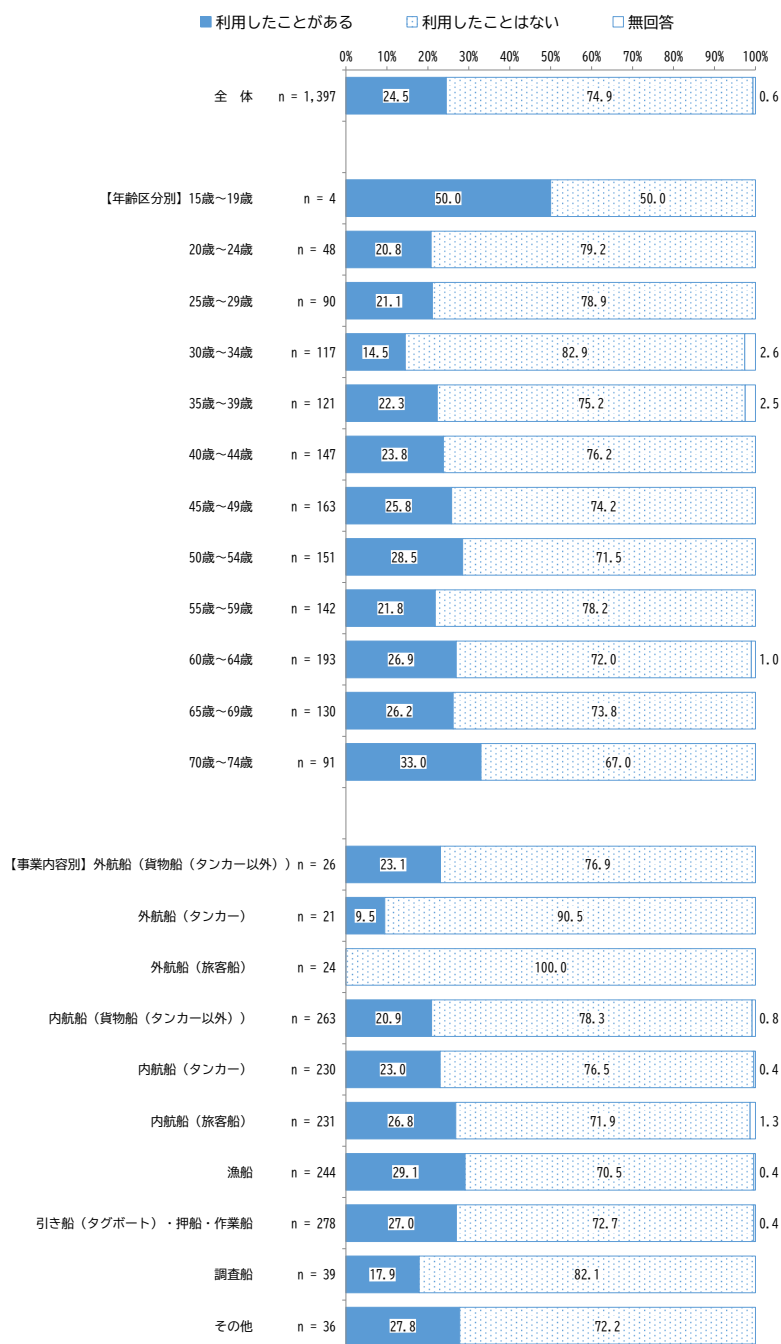
6. 宿泊補助のサービスの利用状況

◆「利用したことがある」は3割弱

(問34. で「1」～「4」のいずれか(知っていた)をお答えの方へ)

問 35. あなたは、これまでに船員保険が提供する宿泊補助のサービスを利用したことがありますか。(○は1つだけ)

図表2-4-12 宿泊補助のサービスの利用状況



宿泊補助のサービスの利用状況について、「利用したことはない」が74.9%となっており、利用状況は低くなっている。(図表2-4-12)

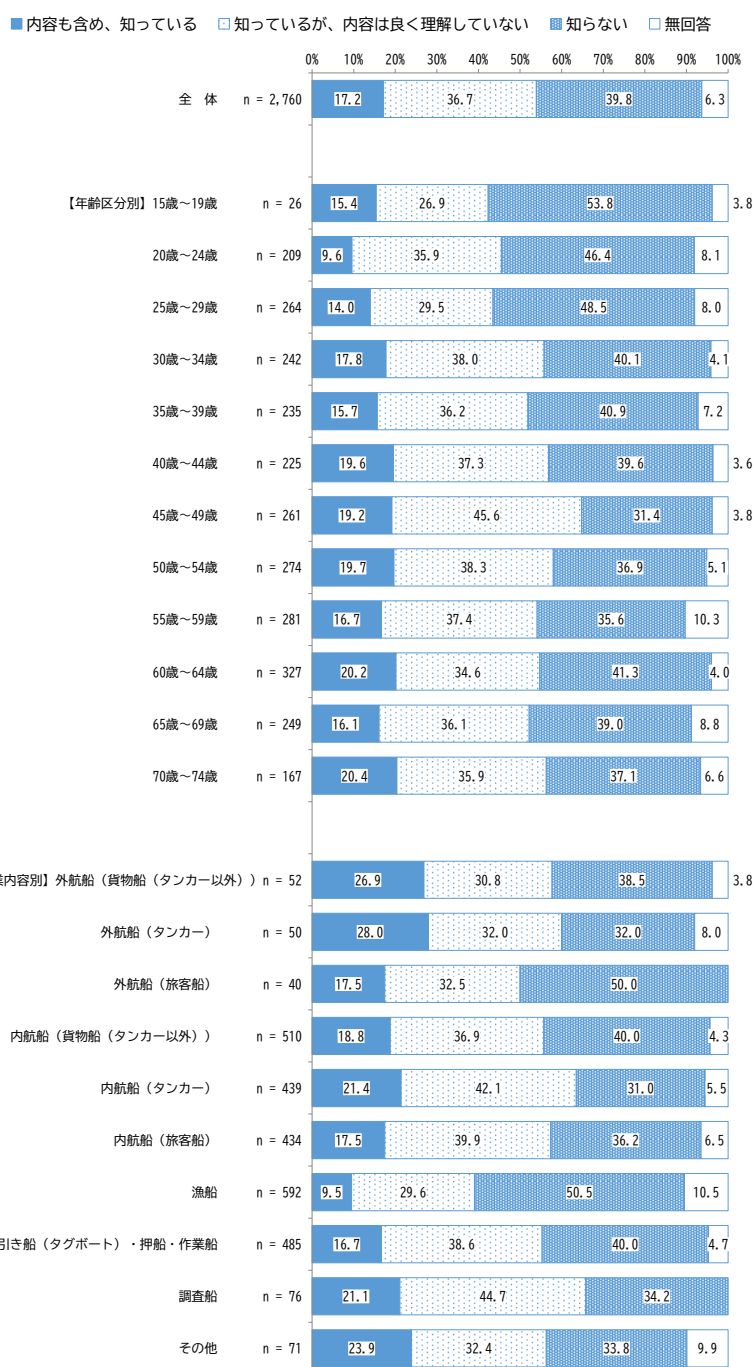
V 健康確保に関する取り組みについて（問 36～問 38）

1. 健康確保に関する制度開始の周知度

◆周知度は、53.9%

問 36. 令和 5 年 4 月から船員労働安全衛生規則に基づく船員の健康確保に関する制度が開始されたことに伴い、事業主の方に健康確保に関する次の取り組みが義務付けられ、船員のみなさまは健康検査結果の提出が必要となりました。こうした制度についてご存じですか。（○は 1 つだけ）

図表 2-5-1 健康確保に関する制度開始の周知度



健康確保に関する制度開始について、《周知度》（「内容も含め、知っている」＋「知っているが、内容は良く理解していない」）の割合は、53.9%となっている。【事業内容】別でみると、「内容も含め、知っている」が外航船（貨物船（タンカー以外））において26.9%、外航船（タンカー）は、28.0%と比較的高くなっている。漁船は、「知らない」が50.5%と比較的高くなっている。（図表2－5－1）

図表2－5－2 乗船船員人数別 健康確保に関する制度開始の周知度

		調査数	内容も含め、 知っている	知っているが、 内容は良く理 解していない	知らない	無回答
全 体		2760	17.2	36.7	39.8	6.3
乗 船 船 員 人 数 別	50人未満	2659	17.1	36.8	39.8	6.2
	50人以上	82	19.5	36.6	40.2	3.7

【乗船船員人数】別にみると、周知度について、全体との大きな差は見られない。（図表2－5－2）

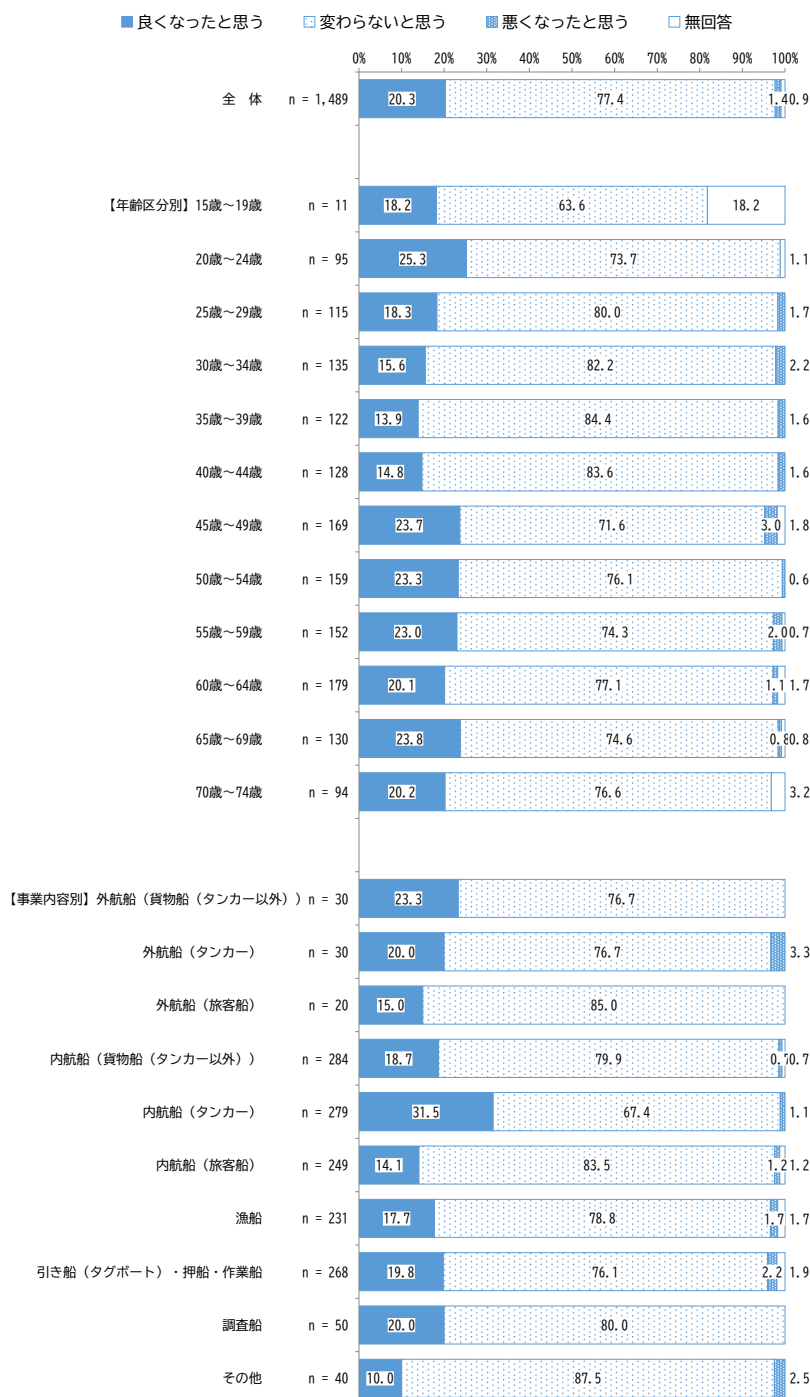
2. 勤め先の環境変化

◆「変わらないと思う」が77.4%と最も高い

(問36.で「1. 内容も含め、知っている」または「2. 知っているが、内容は良く理解していない」をお答えの方へ)

問 37. 令和5年4月からの制度開始により、勤め先の環境に変化はありましたか。(○は1つだけ)

図表2-5-3 勤め先の環境変化



勤め先の環境変化について、「変わらないと思う」が77.4%となっている。【事業内容】別にみると、内航船（タンカー）においては「良くなったと思う」割合が31.5%と比較的高くなっている。（図表2-5-3）

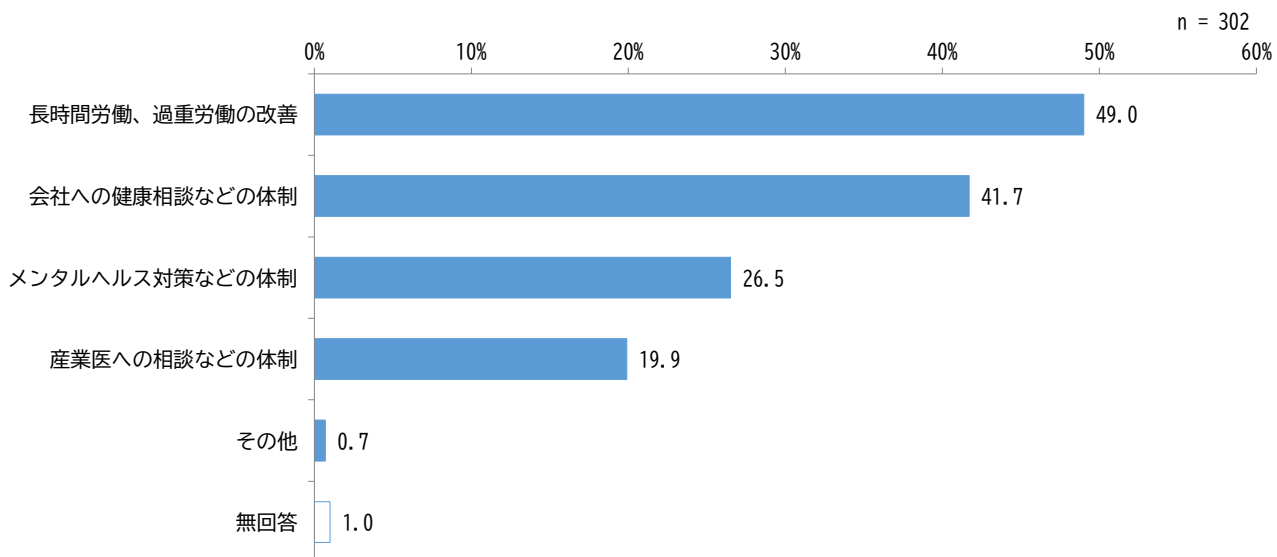
3. よくなった事項

◆「長時間労働、過重労働の改善」が49.0%と最も高い

(問37.で「1. 良くなったと思う」とお答えの方へ)

問 38. 良くなったと思うものはどれですか。(○はいくつでも)

図表2-5-4 よくなった事項



良くなった事項について、「長時間労働、過重労働の改善」49.0%が最も高く、以下「会社への健康相談などの体制」41.7%、「メンタルヘルス対策などの体制」26.5%、「産業医への相談などの体制」19.9%となっている。(図表2-5-4)

図表 2-5-5 年齢区分別・事業内容別 よくなった事項

		調査数	会社への健康相談などの体制	産業医への相談などの体制	メンタルヘルス対策などの体制	長時間労働、過重労働の改善	その他	無回答
全 体		302	41.7	19.9	26.5	49.0	0.7	1.0
【年齢区分別】	15歳～19歳	2	50.0	-	100.0	50.0	-	-
	20歳～24歳	24	37.5	16.7	29.2	50.0	-	-
	25歳～29歳	21	33.3	19.0	23.8	61.9	-	-
	30歳～34歳	21	28.6	23.8	23.8	57.1	4.8	-
	35歳～39歳	17	23.5	41.2	29.4	35.3	-	-
	40歳～44歳	19	42.1	15.8	31.6	26.3	-	-
	45歳～49歳	40	42.5	17.5	27.5	50.0	-	-
	50歳～54歳	37	29.7	21.6	29.7	59.5	-	2.7
	55歳～59歳	35	48.6	17.1	14.3	37.1	2.9	5.7
	60歳～64歳	36	52.8	25.0	19.4	50.0	-	-
	65歳～69歳	31	51.6	12.9	38.7	61.3	-	-
	70歳～74歳	19	57.9	15.8	21.1	36.8	-	-
【事業内容別】	外航船(貨物船(タンカー以外))	7	57.1	42.9	28.6	14.3	-	-
	外航船(タンカー)	6	33.3	16.7	33.3	66.7	-	-
	外航船(旅客船)	3	33.3	33.3	33.3	100.0	-	-
	内航船(貨物船(タンカー以外))	53	49.1	17.0	15.1	45.3	1.9	1.9
	内航船(タンカー)	88	27.3	18.2	26.1	71.6	1.1	-
	内航船(旅客船)	35	37.1	31.4	31.4	34.3	-	-
	漁船	41	63.4	9.8	19.5	34.1	-	-
	引き船(タグボート)・押船・作業船	53	39.6	22.6	32.1	41.5	-	1.9
	調査船	10	60.0	30.0	60.0	20.0	-	10.0
	その他	4	25.0	-	50.0	25.0	-	-

調査数 n の数が少ないため参考数値。

(図表 2-5-5)

VI 健康への取り組み（問 39～問 47）

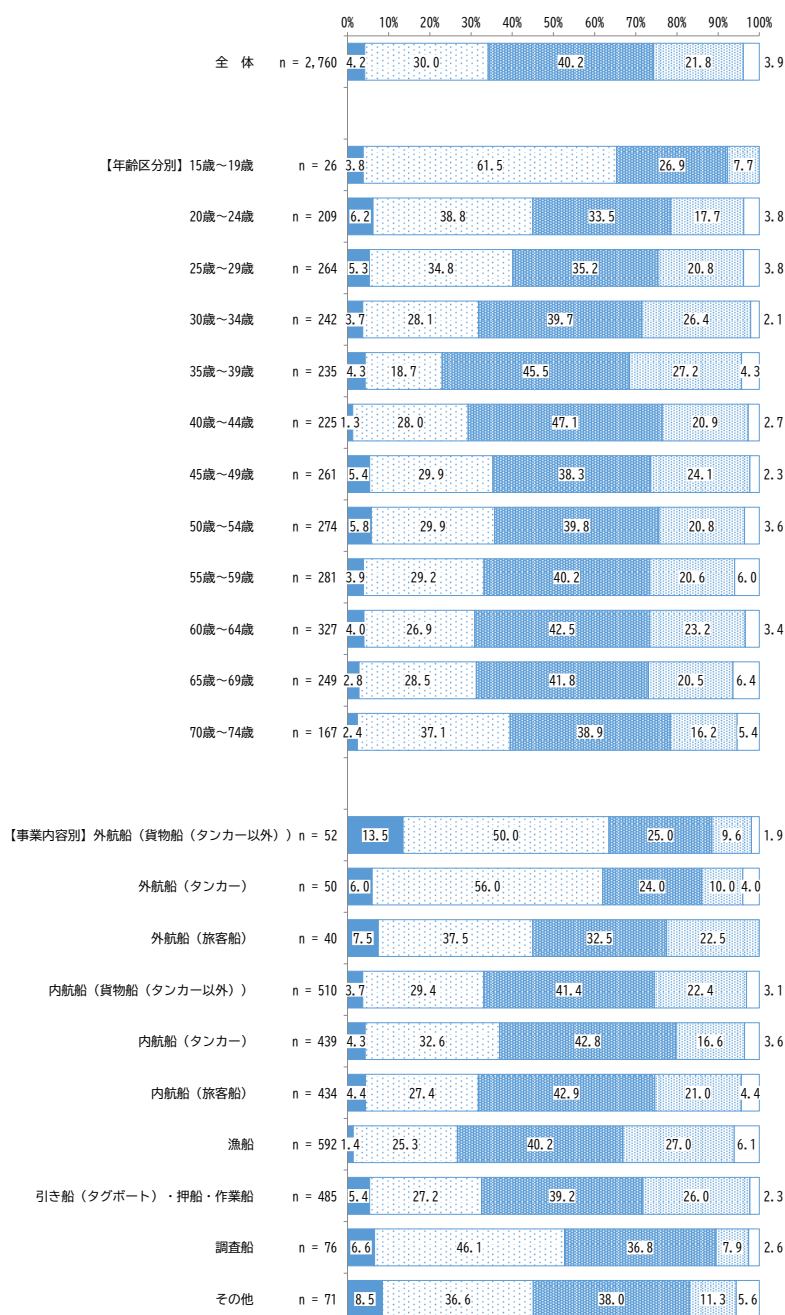
1. 勤め先の健康づくりの取り組み状況

◆「あまり取り組んでいない」が40.2%で最も高い

問 39. あなたの勤め先では、船員のみなさまの健康づくり（運動・食事・禁煙・休養・メンタルヘルス対策など）に取り組んでいると感じますか。（○は1つだけ）

図表 2－6－1 勤め先の健康づくりの取り組み状況

■ 積極的に取り組んでいる □ 取り組んでいる ■ あまり取り組んでいない
 ■ 取り組んでいない □ 無回答



勤め先の健康づくりの取り組み状況について、「あまり取り組んでいない」40.2%が最も高く、以下「取り組んでいる」30.0%、「取り組んでいない」21.8%、「積極的に取り組んでいる」4.2%、となっている。（図表2－6－1）

図表 2－6－2 漁船以外の船舶と漁船別・乗船船員人数別・総トン数クラス別・総合満足度別

勤め先の健康づくりの取り組み状況

		調査数	積極的に取り組んでいる	取り組んでいる	あまり取り組んでいない	取り組んでいない	無回答	積極的に取り組んでいる＋
全 体		2760	4.2	30.0	40.2	21.8	3.9	34.2
【漁船以外の船舶と漁船別】	漁船以外の船舶	2086	4.8	31.1	40.3	20.6	3.2	35.9
	漁船	592	1.4	25.3	40.2	27.0	6.1	26.7
	その他	71	8.5	36.6	38.0	11.3	5.6	45.1
【乗船船員人数別】	1人	53	3.8	26.4	28.3	35.8	5.7	30.2
	2～4人	631	4.6	25.7	41.0	25.2	3.5	30.3
	5～9人	899	2.9	26.4	42.6	23.7	4.4	29.3
	10～19人	651	4.0	31.0	42.1	19.7	3.2	35.0
	20～29人	291	5.2	41.2	35.4	15.1	3.1	46.4
	30人～49人	134	4.5	37.3	35.8	17.2	5.2	41.8
	50人～99人	41	14.6	43.9	29.3	7.3	4.9	58.5
	100人以上	41	9.8	53.7	22.0	14.6	－	63.5
【総トン数クラス別】	20トン未満	506	3.6	25.7	37.5	28.1	5.1	29.3
	20トン以上～700トン未満	1156	2.9	25.4	42.6	24.9	4.1	28.3
	700トン以上～3,000トン未満	423	4.7	28.1	45.9	19.1	2.1	32.8
	3,000トン以上	563	6.9	43.2	35.2	12.6	2.1	50.1
	わからない	65	3.1	43.1	35.4	13.8	4.6	46.2
【勤め先に対する総合満足度別】	とても満足	227	12.8	53.3	22.9	5.3	5.7	66.1
	おおむね満足	1502	4.6	36.8	42.1	12.8	3.7	41.4
	やや不満	730	1.5	16.0	46.7	32.9	2.9	17.5
	不満	219	0.9	5.5	24.7	66.2	2.7	6.4

【乗船船員人数】別にみると、

- ・人数規模が大きくなるにつれて「取り組んでいる」割合が高くなっており、100人以上区分では、53.7%と5割以上となっている。【総トン数クラス】別においても、同じ傾向がうかがえる。

【勤め先に対する総合満足度】別にみると、

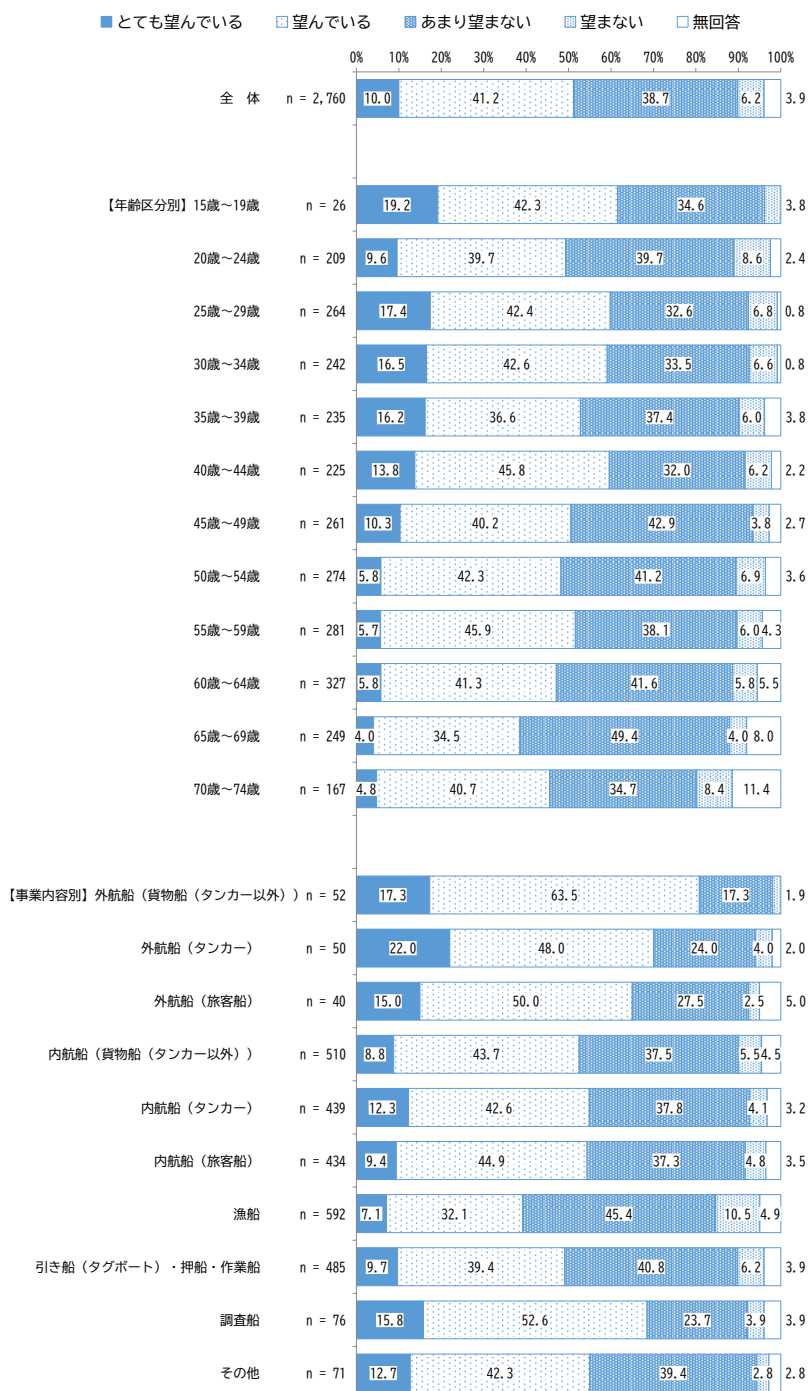
- ・「とても満足」と回答した層では、健康づくりを「取り組んでいる」割合が高くなっている。（図表 2－6－2）

2. 勤め先の健康づくりの取り組み希望

◆「望んでいる」が41.2%と最も高い

問 40. あなたは、勤め先に対して、船員のみなさまの健康づくりへの取り組みを、どれくらい求めていますか。(○は1つだけ)

図表 2-6-3 勤め先の健康づくりの取り組み希望



勤め先の健康づくりの取り組み希望度合について、「望んでいる」41.2%が最も高く、以下「あまり望まない」38.7%、「とても望んでいる」10.0%、「望まない」6.2%、となっている。【事業内容】別にみると、漁船は、「望まない」が10.5%と比較的高くなっている。(図表 2-6-3)

図表 2－6－4 漁船以外の船舶と漁船別・乗船船員人数別・総トン数クラス別・総合満足度別

勤め先の健康づくりの取り組み希望

		調査数	とても望んでいる	望んでいる	あまり望まない	望まない	無回答	とても望んでいる＋望んでいる
全 体		2760	10.0	41.2	38.7	6.2	3.9	51.2
【漁船以外の船舶と漁船別】	漁船以外の船舶	2086	10.8	43.8	36.8	5.0	3.7	54.6
	漁船	592	7.1	32.1	45.4	10.5	4.9	39.2
	その他	71	12.7	42.3	39.4	2.8	2.8	55.0
【乗船船員人数別】	1人	53	13.2	34.0	35.8	9.4	7.5	47.2
	2～4人	631	7.9	35.3	46.4	6.2	4.1	43.2
	5～9人	899	9.8	40.7	38.7	6.7	4.1	50.5
	10～19人	651	9.8	41.9	38.4	6.1	3.7	51.7
	20～29人	291	10.3	48.5	32.0	5.5	3.8	58.8
	30人～49人	134	14.9	53.7	25.4	3.7	2.2	68.6
	50人～99人	41	4.9	43.9	43.9	4.9	2.4	48.8
	100人以上	41	31.7	41.5	19.5	4.9	2.4	73.2
【総トン数クラス別】	20トン未満	506	7.3	33.8	43.5	10.3	5.1	41.1
	20トン以上～700トン未満	1156	9.0	38.0	42.6	6.6	3.8	47.0
	700トン以上～3,000トン未満	423	11.6	41.1	39.0	4.0	4.3	52.7
	3,000トン以上	563	13.3	52.2	28.6	3.9	2.0	65.5
	わからない	65	12.3	53.8	23.1	3.1	7.7	66.1
【勤め先に対する総合満足度別】	とても満足	227	11.9	46.7	30.8	7.5	3.1	58.6
	おおむね満足	1502	7.7	44.5	39.3	4.5	3.9	52.2
	やや不満	730	10.3	37.4	41.8	6.6	4.0	47.7
	不満	219	22.8	29.7	30.6	15.5	1.4	52.5

《希望する》（「とても望んでいる」＋「望んでいる」）割合は、全体で51.2%と5割である。

【漁船以外の船舶と漁船】別にみると、

・漁船の《希望する》割合は、39.2%と低くなっている。

【乗船船員人数別】及び【総トン数クラス別】にみると、

・規模が大きくなるにつれて《希望する》割合は、高くなっている。

【勤め先に対する総合満足度】別にみると、

・「やや不満」に感じる層において《希望する》割合は低くなっている。（図表2－6－4）

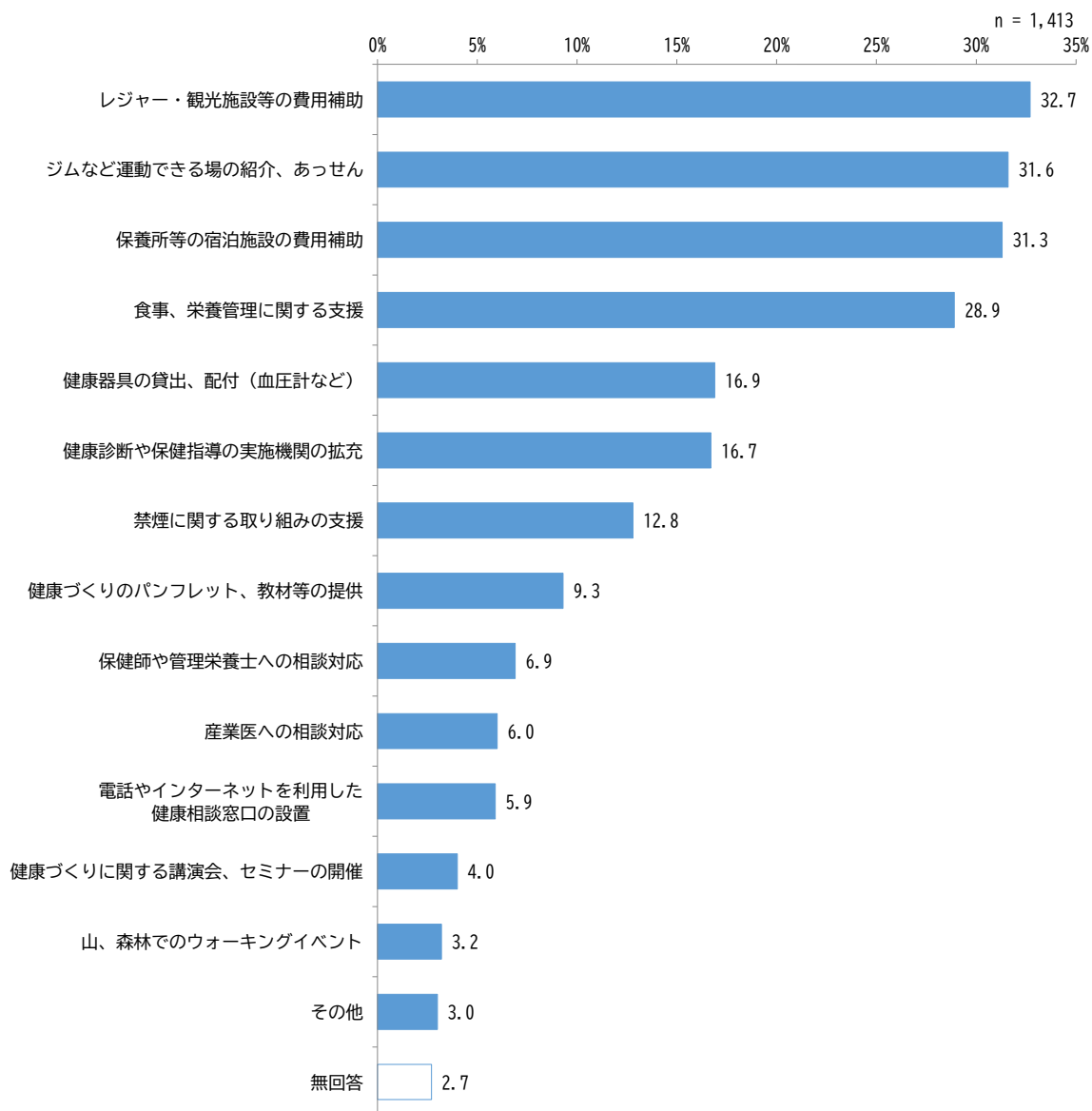
3. 勤め先の健康づくりで求めるもの

◆「レジャー・観光施設等の費用補助」が32.7%で最も高い

(問40.で「1. とても望んでいる」または「2. 望んでいる」とお答えの方へ)

問41. 船員のみなさまの健康づくりに向けた取り組みについて、あなたが勤め先に求めるものは、次のどれですか。(○は3つまで)

図表2-6-5 勤め先の健康づくりで求めるもの



勤め先の健康づくりで求めるものについて、「レジャー・観光施設等の費用補助」32.7%が最も高く、以下「ジムなど運動できる場の紹介、あっせん」31.6%、「保養所等の宿泊施設の費用補助」31.3%、「食事、栄養管理に関する支援」28.9%、「健康器具の貸出、配付（血圧計など）」16.9%、となっている。（図表2-6-5）

図表 2-6-6 年齢区分別・事業内容別 勤め先の健康づくりで求めるもの

		調査数	健康づくりに関する講演会、セミナーの開催	健康づくりのパンフレット、教材等の提供	保健師や管理栄養士への相談対応	産業医への相談対応	健康診断や保健指導の実施機関の拡充	健康器具の貸出、配付（血圧計など）	禁煙に関する取り組みの支援	電話やインターネットを利用した健康相談窓口の設置	食事、栄養管理に関する支援	ジムなど運動できる場の紹介、あつせん	保養所等の宿泊施設の費用補助	レジャー・観光施設等の費用補助	山、森林でのウォーキングイベント	その他	無回答
	全 体	1413	4.0	9.3	6.9	6.0	16.7	16.9	12.8	5.9	28.9	31.6	31.3	32.7	3.2	3.0	2.7
【年齢区分別】	15歳～19歳	16	—	6.3	6.3	6.3	12.5	18.8	6.3	6.3	37.5	56.3	12.5	18.8	—	6.3	—
	20歳～24歳	103	3.9	6.8	11.7	5.8	10.7	14.6	14.6	13.6	29.1	28.2	26.2	37.9	5.8	1.0	2.9
	25歳～29歳	158	7.0	5.7	3.8	7.0	18.4	10.1	6.3	5.7	27.8	39.2	33.5	38.0	6.3	2.5	1.3
	30歳～34歳	143	2.1	6.3	7.0	7.7	13.3	14.0	18.9	4.2	31.5	43.4	30.8	40.6	1.4	2.8	2.1
	35歳～39歳	124	3.2	0.8	7.3	3.2	17.7	12.1	13.7	1.6	31.5	46.8	35.5	39.5	2.4	5.6	2.4
	40歳～44歳	134	2.2	8.2	3.7	4.5	11.2	15.7	13.4	7.5	26.9	38.8	35.8	41.0	5.2	1.5	1.5
	45歳～49歳	132	2.3	8.3	9.1	3.0	15.2	18.2	12.9	9.8	27.3	35.6	24.2	31.8	3.0	6.1	1.5
	50歳～54歳	132	4.5	10.6	7.6	6.8	15.9	20.5	16.7	0.8	25.8	29.5	31.1	26.5	3.0	4.5	3.0
	55歳～59歳	145	3.4	13.8	6.2	10.3	13.1	19.3	6.9	6.2	26.9	22.8	35.9	31.7	2.1	3.4	4.1
	60歳～64歳	154	6.5	9.7	7.1	7.1	22.1	22.7	10.4	5.8	27.3	20.1	32.5	23.4	2.6	3.2	4.5
	65歳～69歳	96	6.3	15.6	6.3	6.3	22.9	25.0	18.8	5.2	32.3	15.6	28.1	25.0	2.1	—	1.0
	70歳～74歳	76	1.3	23.7	7.9	1.3	28.9	14.5	13.2	5.3	35.5	13.2	28.9	19.7	—	—	6.6
【事業内容別】	外航船（貨物船（タンカー以外））	42	7.1	7.1	7.1	9.5	16.7	11.9	4.8	4.8	23.8	54.8	38.1	42.9	7.1	—	—
	外航船（タンカー）	35	—	5.7	5.7	5.7	22.9	17.1	5.7	—	22.9	54.3	31.4	37.1	2.9	8.6	—
	外航船（旅客船）	26	3.8	3.8	19.2	11.5	19.2	15.4	7.7	—	30.8	46.2	38.5	34.6	3.8	—	—
	内航船（貨物船（タンカー以外））	268	2.2	13.4	4.9	3.0	15.7	18.7	13.1	6.0	34.7	26.5	28.0	30.2	2.2	2.2	3.7
	内航船（タンカー）	241	2.1	8.3	7.1	4.6	16.2	21.6	13.3	6.2	32.8	30.3	29.9	30.7	1.7	2.5	1.2
	内航船（旅客船）	236	6.8	4.7	10.2	8.5	14.0	16.1	8.1	5.9	26.3	35.2	34.3	38.1	3.4	3.4	2.5
	漁船	232	3.0	9.9	6.0	6.5	18.5	15.1	22.4	8.6	27.2	14.7	27.2	25.0	3.9	2.6	4.7
	引き船（タグボート）・押船・作業船	238	5.9	11.3	4.2	8.0	17.6	15.1	11.3	5.9	23.9	40.8	36.6	36.6	2.5	3.4	2.1
	調査船	52	3.8	5.8	13.5	5.8	15.4	11.5	11.5	1.9	26.9	42.3	32.7	46.2	9.6	1.9	1.9
	その他	39	5.1	12.8	5.1	—	23.1	17.9	7.7	2.6	33.3	28.2	25.6	17.9	2.6	12.8	5.1

【年齢区分】別にみると、

- ・「レジャー・観光施設等の費用補助」の割合が年齢階級 20 歳～44 歳の 5 区分において、比較的高くなっている。
- ・「健康診断や保健指導の実施機関の拡充」の割合が、年齢階級 60 歳以上の 3 区分で、比較的高くなっている。

【事業内容】別にみると、

- ・「ジムなど運動できる場の紹介、あつせん」は、引き船（タグボート）・押船・作業船 40.8%と他の事業内容と比べて比較的高くなっている。
- ・「レジャー・観光施設等の費用補助」の割合が、内航船（旅客船）38.1%、引き船（タグボート）・押船・作業船 36.6%と他の事業内容と比べて比較的高くなっている。（図表 2-6-6）

4. 健康づくり宣言の周知度

◆健康づくり宣言を「知っている」は11.0%

問 42. 船員の健康づくりを行う船舶所有者を、船員保険が支援メニュー等を提供しサポートを行う「船員の健康づくり宣言」を令和2年9月より実施していますが、これについてご存じですか。(○は1つだけ)

図表2-6-7 健康づくり宣言の周知度



「船員の健康づくり宣言」の周知度について、「知っている」が11.0%と低くなっている。(図表2-6-7)

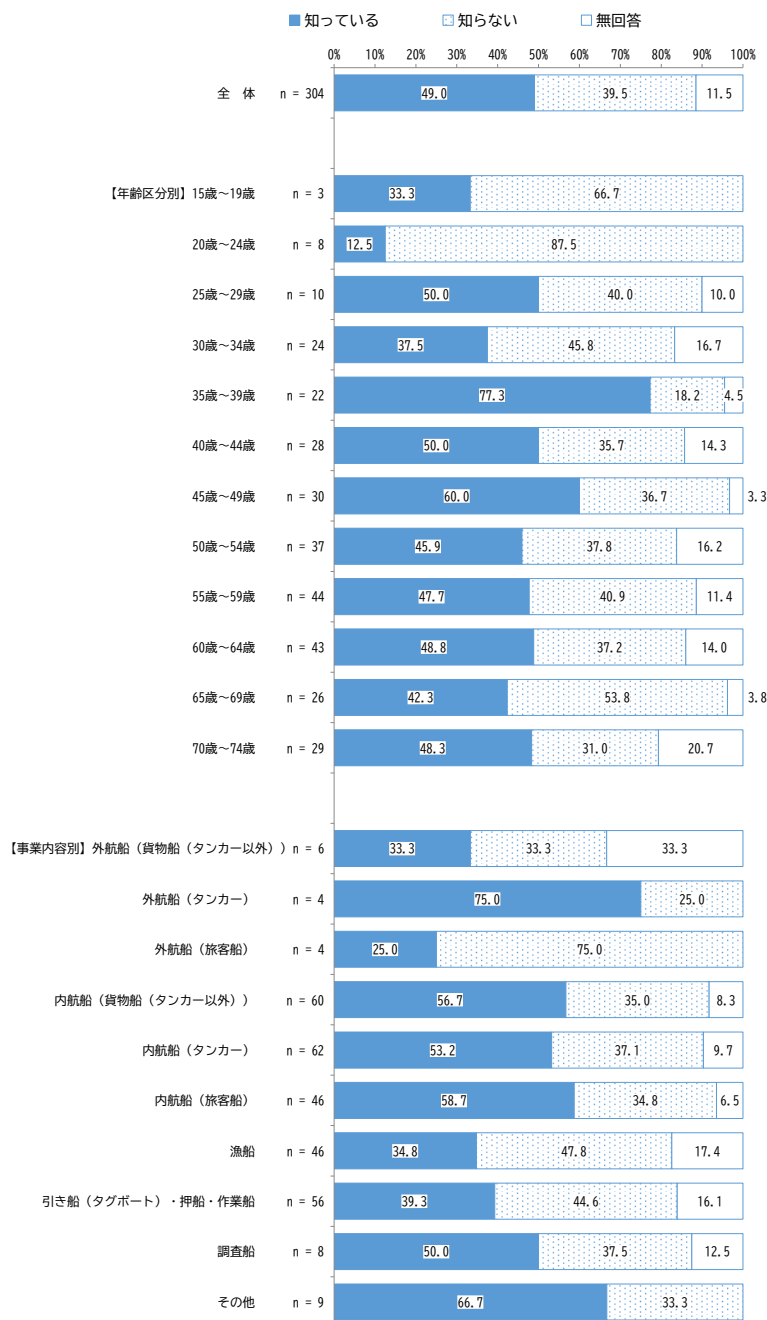
5. 支援メニューの周知度

◆「知っている」割合は約5割

(問42. で「1. 知っている」とお答えの方へ)

問 43. 勤め先にあたる船舶所有者が、「船員の健康づくり宣言」にエントリーすると、船員のみなさまが健康づくりのために、次の5つの支援メニューが無料で使うことができます。あなたは、こうした支援があることをご存じですか。(○は1つだけ)

図表2-6-8 支援メニューの周知度



支援メニューの周知度について、「知っている」49.0%が最も高く、以下「知らない」39.5%、となっている。(図表2-6-8)

6. 普段の健康意識

◆「気をつけている」が46.0%と最も高い

問 44. あなたは普段から健康に気をつけていますか。(○は1つだけ)

図表2-6-9 普段の健康意識



普段の健康意識について、「気をつけている」46.0%が最も高く、以下「どちらでもない」22.0%、「あまり気をつけていない」17.5%、「とても気をつけている」8.6%、となっている。（図表2－6－9）

前回調査（2020 年）について

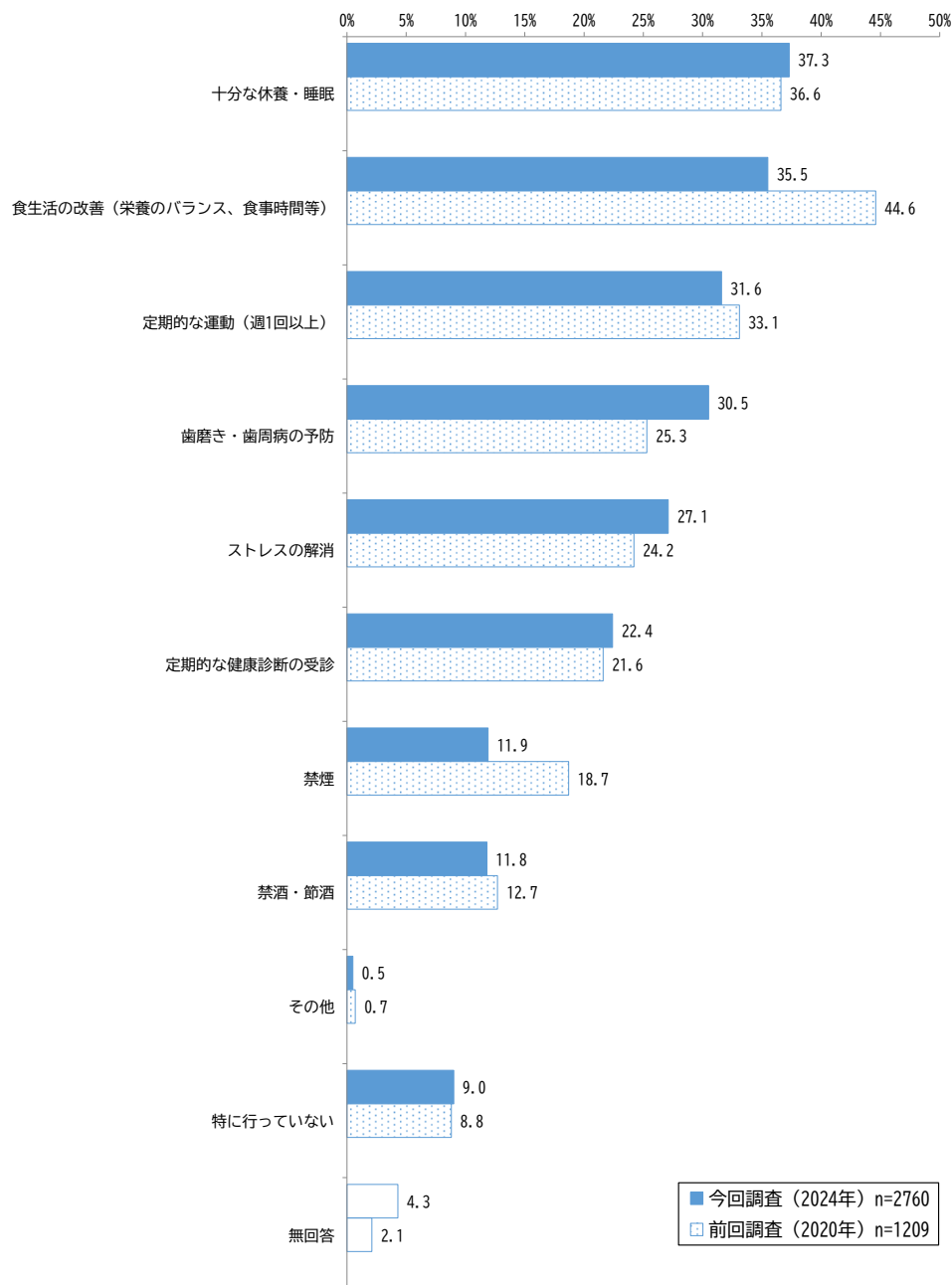
選択肢内容が異なっており、比較はできないが、参考として、前回の結果は、「時々気をつけている」が47.1%、「とても気をつけている」（20.5%）、「どちらでもない」（17.5%）、「あまり気をつけていない」（12.3%）となっていた。

7. 健康のために心がけていること

◆「十分な休養・睡眠」で37.3%が最も高い

問 45. 健康のために心がけているのは、主にどんなことですか。(○は3つまで)

図表 2－6－10 健康のために心がけていること



健康のために心がけていることについて、「十分な休養・睡眠」37.3%が最も高く、以下「食生活の改善 (栄養のバランス、食事時間等)」35.5%、「定期的な運動 (週1回以上)」31.6%、「歯磨き・歯周病の予防」30.5%となっている。(図表 2－6－10)

図表 2 - 6 - 11 年齢区分別・事業内容別 健康のために心がけていること

		調査数	食生活の改善 (栄養のバランス、食事時間等)	定期的な運動(週1回以上)	十分な休養・睡眠	ストレスの解消	禁煙	禁酒・節酒	定期的な健康診断の受診	歯磨き・歯周病の予防	その他	特に行っていない	無回答
全 体		2760	35.5	31.6	37.3	27.1	11.9	11.8	22.4	30.5	0.5	9.0	4.3
【年齢区分別】	15歳～19歳	26	15.4	26.9	61.5	30.8	11.5	7.7	3.8	38.5	-	11.5	-
	20歳～24歳	209	28.7	30.1	43.5	36.8	6.2	9.6	10.5	33.0	0.5	8.6	2.4
	25歳～29歳	264	37.9	34.8	48.1	29.2	9.5	13.3	8.3	33.7	0.4	9.5	1.1
	30歳～34歳	242	31.0	29.3	41.7	32.6	13.2	12.8	9.1	39.7	-	9.1	2.1
	35歳～39歳	235	37.0	36.2	41.3	31.9	10.2	13.2	11.9	33.2	0.4	8.9	4.7
	40歳～44歳	225	40.0	36.0	38.7	28.4	9.8	10.7	19.1	28.4	0.9	9.3	2.7
	45歳～49歳	261	40.2	38.7	33.7	22.6	13.0	11.9	21.8	30.3	0.4	7.3	3.8
	50歳～54歳	274	33.2	29.2	33.6	29.9	12.4	10.2	27.0	28.8	1.1	11.3	4.7
	55歳～59歳	281	36.3	29.9	35.6	23.8	12.8	10.3	32.0	27.4	1.1	9.3	5.0
	60歳～64歳	327	37.6	28.1	32.4	26.3	14.4	10.7	34.6	26.9	0.3	7.3	5.2
	65歳～69歳	249	32.5	24.5	27.7	18.9	13.7	14.5	34.5	27.7	0.4	11.2	8.8
	70歳～74歳	167	37.1	32.3	33.5	16.2	15.0	15.0	35.9	26.9	-	6.0	7.2
【事業内容別】	外航船(貨物船(タンカー以外))	52	50.0	34.6	51.9	23.1	13.5	11.5	21.2	40.4	-	5.8	1.9
	外航船(タンカー)	50	40.0	44.0	42.0	28.0	4.0	8.0	22.0	34.0	4.0	2.0	4.0
	外航船(旅客船)	40	45.0	35.0	40.0	47.5	5.0	15.0	15.0	22.5	-	5.0	5.0
	内航船(貨物船(タンカー以外))	510	38.6	28.0	35.5	25.3	12.7	14.5	24.5	32.9	0.4	7.8	4.5
	内航船(タンカー)	439	33.5	25.3	41.7	28.9	11.2	13.0	27.6	34.2	0.2	7.7	3.0
	内航船(旅客船)	434	36.4	40.6	40.3	29.3	12.4	11.3	15.9	28.1	1.4	6.5	4.1
	漁船	592	30.1	24.0	30.4	24.2	14.5	11.1	21.5	28.0	-	15.4	5.6
	引き船(タグボート)・押船・作業船	485	38.6	38.4	37.3	25.2	10.7	9.1	22.9	29.1	0.6	7.8	3.5
	調査船	76	28.9	39.5	47.4	36.8	5.3	15.8	25.0	25.0	-	1.3	6.6
	その他	71	35.2	33.8	38.0	36.6	9.9	9.9	22.5	38.0	-	11.3	2.8

【年齢区分】別にみると、

- ・「十分な休養・睡眠」の割合は、年齢階級が高くなるにつれて、割合が低くなる傾向がある。40歳未満の5区分では、「十分な休養・睡眠」を心がけている割合が高くなっている。
- ・「定期的な健康診断の受診」の割合は、年齢階級が高くなるにつれて、割合が高くなる傾向がある。55歳以上の4区分では、「定期的な健康診断の受診」を心がけている割合が高くなっている。

【事業内容】別にみると、

- ・「定期的な運動(週1回以上)」の割合が、内航船(旅客船)40.6%、引き船(タグボート)・押船・作業船38.4%と他の事業内容と比べて高くなっている。

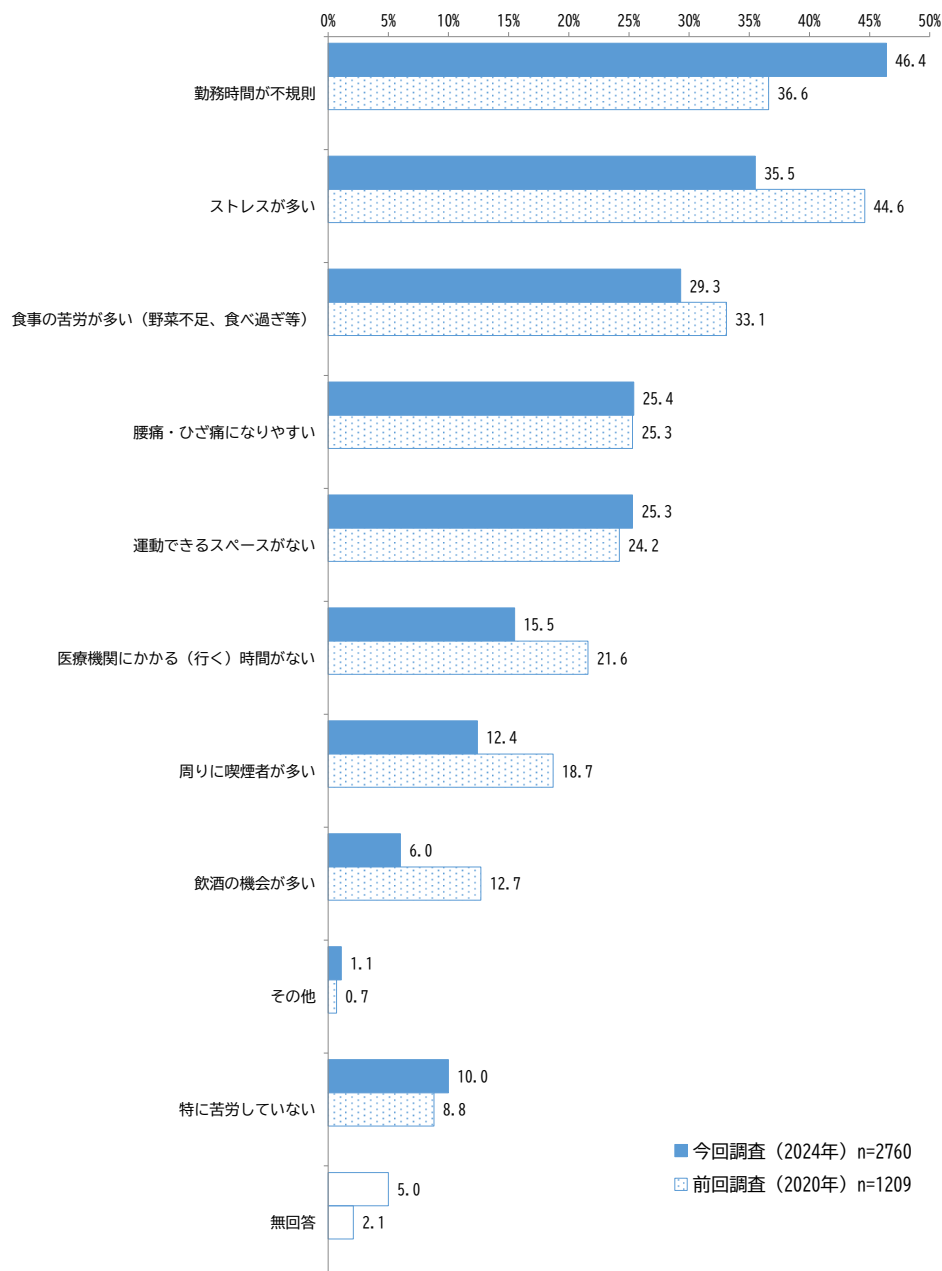
(図表 2 - 6 - 11)

8. 健康増進を図る上で苦勞する点

◆「勤務時間が不規則」が46.4%で最も高い

問 46. 船員としてお仕事をされる際、健康の保持・増進を図る上で苦勞されているのは、主にどんなことですか。(○は3つまで)

図表 2－6－12 健康増進を図る上で苦勞する点



健康増進を図る上で苦勞する点について、前回調査では「ストレスが多い」が44.6%で最も高かったが、今回調査では11ポイント差をつけて、「勤務時間が不規則」が46.4%で最も高くなっている。(図表 2－6－12)

図表 2-6-13 年齢区分別・事業内容別 健康増進を図る上で苦勞する点

		調査数	食事の苦勞が多い (野菜不足、食べ過ぎ等)	運動できるスペースがない	勤務時間が不規則	ストレスが多い	腰痛・ひざ痛になりやすい	周りに喫煙者が多い	飲酒の機会が多い	医療機関にかかる(行く)時間がない	その他	特に苦勞していない	無回答
全 体		2760	29.3	25.3	46.4	35.5	25.4	12.4	6.0	15.5	1.1	10.0	5.0
【年 齢 区 分 別 】	15歳～19歳	26	15.4	26.9	26.9	38.5	23.1	23.1	3.8	—	—	19.2	—
	20歳～24歳	209	22.0	26.8	45.0	46.4	12.4	13.9	8.1	12.4	1.0	14.4	3.8
	25歳～29歳	264	25.4	28.0	57.2	42.4	15.2	13.6	9.1	9.5	2.3	12.5	1.9
	30歳～34歳	242	32.6	27.3	57.0	47.9	17.4	17.4	5.8	17.4	1.7	5.4	2.5
	35歳～39歳	235	34.5	28.5	48.9	41.3	18.3	11.1	7.7	14.0	1.7	8.5	5.1
	40歳～44歳	225	35.1	22.2	52.0	43.1	26.2	11.6	7.6	15.1	1.3	6.7	3.1
	45歳～49歳	261	31.4	32.6	45.2	34.1	23.4	11.5	5.7	16.5	0.4	9.6	3.8
	50歳～54歳	274	26.3	19.0	39.4	35.8	30.7	13.1	4.4	18.2	1.8	9.5	6.2
	55歳～59歳	281	29.5	25.3	42.7	32.0	31.0	12.1	3.6	18.9	1.1	8.5	5.7
	60歳～64歳	327	28.4	24.2	44.3	25.4	34.9	8.6	5.5	17.4	0.6	11.6	6.4
	65歳～69歳	249	27.3	21.3	41.4	24.5	34.1	13.7	4.4	14.9	—	11.2	7.6
	70歳～74歳	167	32.9	23.4	39.5	18.6	32.9	9.6	4.8	16.2	—	12.0	9.6
【事 業 内 容 別 】	外航船(貨物船(タンカー以外))	52	57.7	30.8	51.9	44.2	5.8	17.3	5.8	19.2	5.8	3.8	—
	外航船(タンカー)	50	32.0	30.0	62.0	50.0	10.0	4.0	14.0	14.0	2.0	4.0	6.0
	外航船(旅客船)	40	22.5	30.0	42.5	37.5	22.5	7.5	7.5	20.0	5.0	7.5	5.0
	内航船(貨物船(タンカー以外))	510	31.6	30.8	50.4	34.1	22.0	13.1	6.5	22.2	0.4	5.1	6.1
	内航船(タンカー)	439	32.6	32.8	47.8	36.7	25.3	13.7	7.5	19.4	0.9	7.3	3.2
	内航船(旅客船)	434	28.3	24.7	43.3	41.5	23.3	10.8	4.6	8.5	2.5	11.5	3.9
	漁船	592	26.0	17.4	45.3	29.2	35.5	14.2	4.6	14.2	0.2	13.5	6.1
	引き船(タグボート)・押船・作業船	485	25.8	20.0	49.1	35.3	24.1	11.8	6.4	12.8	0.8	11.8	5.4
	調査船	76	31.6	30.3	31.6	39.5	27.6	10.5	5.3	15.8	—	11.8	5.3
	その他	71	33.8	33.8	26.8	35.2	16.9	7.0	5.6	12.7	1.4	18.3	4.2

【年齢区分】別にみると、

- ・「勤務時間が不規則」の割合は、20代後半～40代前半にて5割程度となっており、「25歳～29歳」57.2%、「30歳～34歳」57.0%、「40歳～44歳」52.0%と比較的高くなっている。
- ・「ストレスが多い」割合は、20歳～44歳の5区分で、4割以上と比較的高くなっている。
- ・「腰痛・ひざ痛になりやすい」割合は、50歳以上の5区分で3割以上と比較的高くなっている。

【事業内容】別にみると、

- ・「運動できるスペースがない」割合は、内航船（タンカー）32.8%と比較的高くなっている。
- ・「勤務時間が不規則」の割合は、内航船（貨物船（タンカー以外））50.4%と比較的高くなっている。
- ・「ストレスが多い」の割合は、内航船（旅客船）41.5%と比較的高くなっている。
- ・「腰痛・ひざ痛になりやすい」の割合は、漁船 35.5%と比較的高くなっている。
- ・「医療機関にかかる（行く）時間がない」の割合は、内航船（貨物船（タンカー以外））22.2%と比較的高くなっている。

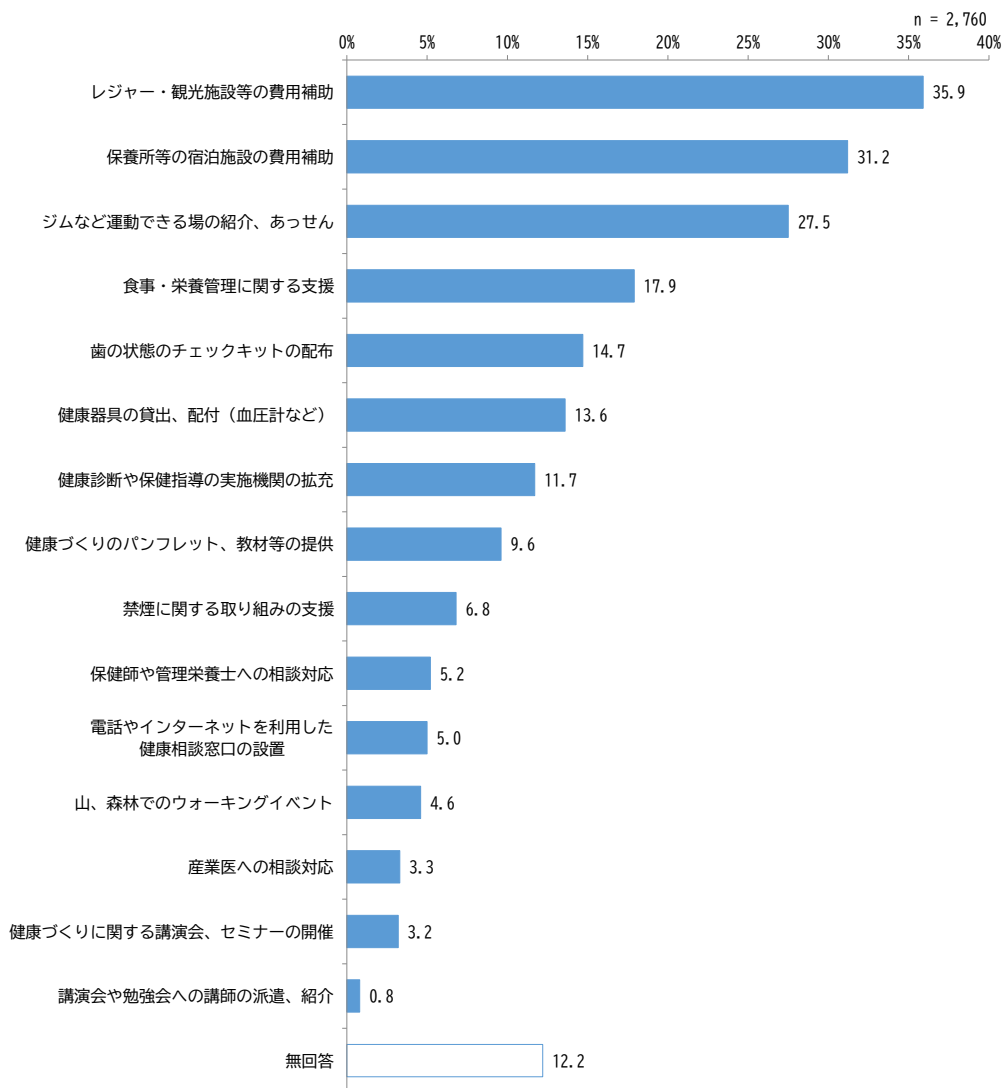
（図表2－6－13）

9. 船員保険部からの必要な支援

◆「レジャー・観光施設等の費用補助」が35.9%で最も高い

問 47. ご自身の健康づくりを考えるうえで、船員保険から、主にどのような支援があればよいと思いますか。(○は3つまで)

図表 2-6-14 船員保険部からの必要な支援



船員保険部からの必要な支援について、「レジャー・観光施設等の費用補助」35.9%が最も高く、以下「保養所等の宿泊施設の費用補助」31.2%、「ジムなど運動できる場の紹介、あっせん」27.5%、「食事・栄養管理に関する支援」17.9%、「歯の状態のチェックキットの配布」14.7%、となっている。(図表 2-6-14)

図表2-6-15 年齢区分別・事業内容船員保険部からの必要な支援

		調査数	健康づくりに関する講演会、セミナーの開催	健康づくりのパンフレット、教材等の提供	保健師や管理栄養士への相談対応	産業医への相談対応	健康診断や保健指導の実施機関の拡充	健康器具の貸出、配付（血圧計など）	禁煙に関する取り組みの支援	講演会や勉強会への講師の派遣、紹介	電話やインターネットを利用した健康相談窓口の設置	食事・栄養管理に関する支援	歯の状態のチェックキットの配布	ジムなど運動できる場の紹介、あっせん	保養所等の宿泊施設の費用補助	レジャー・観光施設等の費用補助	山、森林でのウォーキングイベント	無回答
全 体		2760	3.2	9.6	5.2	3.3	11.7	13.6	6.8	0.8	5.0	17.9	14.7	27.5	31.2	35.9	4.6	12.2
【年齢区分別】	15歳～19歳	26	3.8	11.5	7.7	-	-	7.7	15.4	-	3.8	11.5	3.8	46.2	19.2	34.6	3.8	7.7
	20歳～24歳	209	2.9	6.7	8.1	5.7	8.1	10.0	10.0	1.4	10.0	19.1	13.9	30.6	21.5	34.0	5.7	12.0
	25歳～29歳	264	3.0	4.2	3.0	2.3	11.0	8.0	4.9	-	3.4	25.0	17.8	37.5	34.8	42.4	6.8	7.6
	30歳～34歳	242	2.1	4.1	4.5	2.9	10.7	11.2	9.5	1.2	7.0	19.0	18.2	35.5	33.9	43.8	5.0	6.6
	35歳～39歳	235	0.9	5.1	4.7	2.1	10.2	12.8	7.7	1.3	3.0	19.1	18.3	36.2	33.2	39.6	4.3	11.1
	40歳～44歳	225	3.6	8.9	4.4	4.0	5.8	14.7	7.6	0.4	4.0	16.4	14.7	37.3	39.1	43.6	7.1	4.9
	45歳～49歳	261	3.1	8.4	4.6	3.4	11.5	12.6	6.1	1.5	6.5	19.2	13.4	33.0	31.0	39.8	4.2	10.7
	50歳～54歳	274	3.3	10.9	4.4	2.9	13.9	18.2	8.0	0.4	3.6	13.5	12.4	22.6	28.8	35.0	2.9	13.1
	55歳～59歳	281	3.9	11.4	5.7	3.6	13.2	15.7	4.3	0.4	5.3	15.3	16.4	23.1	33.5	37.4	3.2	13.2
	60歳～64歳	327	4.3	12.5	6.4	3.7	14.4	17.7	5.8	1.2	4.0	12.5	15.3	18.0	30.9	29.1	4.3	17.1
	65歳～69歳	249	4.0	12.0	5.6	2.8	14.9	14.9	5.6	0.8	3.2	20.5	11.6	12.0	28.5	24.5	3.2	19.7
	70歳～74歳	167	3.0	24.6	6.0	3.0	15.0	12.0	4.8	-	7.2	21.0	9.6	16.8	26.9	25.1	4.2	18.6
【事業内容別】	外航船（貨物船（タンカー以外））	52	5.8	1.9	5.8	3.8	7.7	7.7	1.9	-	5.8	19.2	19.2	57.7	40.4	46.2	3.8	5.8
	外航船（タンカー）	50	-	6.0	2.0	-	10.0	14.0	8.0	-	6.0	20.0	18.0	40.0	36.0	34.0	6.0	4.0
	外航船（旅客船）	40	2.5	7.5	7.5	7.5	7.5	12.5	10.0	5.0	-	25.0	20.0	37.5	30.0	37.5	7.5	10.0
	内航船（貨物船（タンカー以外））	510	2.5	10.2	6.1	1.8	12.4	15.9	5.5	1.0	6.9	22.7	15.3	23.3	28.6	33.3	4.7	12.5
	内航船（タンカー）	439	2.5	10.3	5.0	3.0	14.6	15.9	7.7	0.5	5.7	21.6	14.4	28.2	28.0	35.5	3.9	8.9
	内航船（旅客船）	434	4.1	9.4	7.1	4.4	11.8	12.9	4.1	1.2	4.8	17.1	12.2	34.6	31.1	39.9	5.3	10.8
	漁船	592	3.0	9.8	5.1	3.4	10.1	12.2	10.0	0.3	4.4	15.7	13.2	16.0	26.5	28.5	4.2	17.7
	引き船（タグボート）・押船・作業船	485	3.5	10.5	3.5	3.5	10.5	12.6	6.2	0.8	3.7	12.8	16.1	31.3	38.6	42.5	4.7	11.8
	調査船	76	1.3	10.5	5.3	5.3	14.5	11.8	2.6	2.6	3.9	15.8	14.5	32.9	40.8	48.7	5.3	9.2
	その他	71	7.0	5.6	2.8	2.8	15.5	15.5	9.9	-	5.6	16.9	16.9	38.0	39.4	26.8	2.8	9.9

【年齢区分】別にみると、

- ・「ジムなど運動できる場の紹介、あっせん」は、年齢階級が高くなるにつれて、割合は低くなる傾向がある。20歳～39歳の4区分においては、比較的高くなっている。
- ・「レジャー・観光施設等の費用補助」は、25歳～49歳の5区分で比較的高くなっている。

（図表2-6-15）

図表 2-6-16 漁船以外の船舶と漁船別 船員保険部からの必要な支援 上位 5 位

漁船以外の船舶と漁船	調査数	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
漁船以外の船舶	2086 100.0	レジャー・観光施設等の費用補助	保養所等の宿泊施設の費用補助	ジムなど運動できる場の紹介、あつせん	食事・栄養管理に関する支援	歯の状態のチェックキットの配布
		38.3%	32.3%	30.4%	18.6%	14.9%
漁船	592 100.0	レジャー・観光施設等の費用補助	保養所等の宿泊施設の費用補助	ジムなど運動できる場の紹介、あつせん	食事・栄養管理に関する支援	歯の状態のチェックキットの配布
		28.5%	26.5%	16.0%	15.7%	13.2%
その他	71 100.0	保養所等の宿泊施設の費用補助	ジムなど運動できる場の紹介、あつせん	レジャー・観光施設等の費用補助	食事・栄養管理に関する支援	歯の状態のチェックキットの配布
		39.4%	38.0%	26.8%	16.9%	16.9%

【漁船以外の船舶と漁船】別にみると、全体と同じ傾向であり大きな差はない。(図表 2-6-16)

第3章

意見・要望(自由回答)

I 健康づくりに関するご意見、ご要望

問 48. その他、健康づくりに関してご意見、ご要望などがございましたら、どのようなことでも結構ですので、ご自由にご記入ください。

船員保険事業や今回の調査について、意見・要望を自由に記入していただいたところ、559 件の被保険者から回答があった。あげられた意見・要望を分類し代表的な要望・意見を掲載した。なお、掲載している意見・要望は、ほぼ原文のままとしている。

【一般船舶 分類一覧】

NO	内容	件数
1	運動に関する支援	78
2	仕事に関連する意見	62
3	食事に関する支援	41
4	宿泊施設・保養所などに関する意見	41
5	禁煙・禁酒について	25
6	健診内容の充実	22
7	ストレス	21
8	船員不足・高齢化	13
9	保険料（保険）について	13
10	歯科について	12
11	健診場所・機関を増やして欲しい	11
12	資料等が欲しい	11
13	健診の「事前予約」による受診が難しい	7
14	病院・病気に関する意見	7
15	船舶所有者への支援	5
16	家族の健康診断について	5
17	その他	109
	総計	483

【漁船 分類一覧】

NO	内容	件数
1	運動に関する支援	8
2	食事に関する支援	6
3	健診内容の充実	5
4	資料等が欲しい	3
5	その他	54
	総計	76

1. 運動に関する支援

一般船舶

- 運動スペースがあまりない（乗船中）
- 毎日出来る、簡素な運動で、効果のある方法（70才用）
- 船内で長期間勤務すると、体重の増加（特に運動不足による）があるため、ジム等への助成金を支援してほしい。また、定期検査（歯）に関しても支援してほしい。
- 定期的にジムに通えるとありがたい
- 船内でも健康器具や運動する時間を増やしていきたい。
- スポーツジム促進の為、ジム使用時に補助してほしい
- 仮バースの頻度を多くしてウォーキングをしたい
- 限られたスペースでもできる体操、ストレッチ方法がいくつかまとめられたものがあると、健康づくりに役立てられるかもしれません。

- 健康器具の貸出しとチェック表の配布
- ジムなど運動できる場所の割引サービス
- 定期的なスポーツイベント
- 乗船中は、運動が出来ないので、休暇中にスポーツジムに通っています。船員が使える割引きなどの特典があれば良いと思います。
- 運動不足になりがちなので、トレッドミルや、フリーウエイトの設備を作れば改善されると思う。
- 船員が無料で利用できるジムが欲しいです。
- 運動器具のレンタル及び補助をしてほしい。
- 運動も労働時間に、ある程度入れるべき。その様な環境が必要。
- 入港時に運動出来る場所がほしいです
- ラジオ体操を取り組む。
- 娯楽部屋、トレーニングルーム等の設置義務を行なってほしい。
- 筋肉痛が少しでもやわらげるようマッサージチェアの配布
- 体を動かすイベントや補助をしてほしい
- 労務時間の管理をスマートウォッチでできる様な気がします。陸上なら、タイムカードなどで時間管理ができるが、PCに作業種類別で打ち込むのは、大変です。
- ジムの割引き等あれば良いな。
- GYMの費用や運動器具購入費用の補助。一年に一回、旅行等の場所で使用出来るクーポン券や商品券が欲しいです。ストレスフリーになれる！！
- 答. 問46で書いたとおり、コロナで出不精になってからスポーツジム等、区営、市営の施設が区内在住、在勤者しか登録できず、船員はどこの在勤地にも属さず、利用者登録ができません。保健師さんに相談した事がありますが、どうにもならないとわかっていました。
- 乗船期間中に運動が出来る様、船舶設備含め船主に強制出来る法整備の働きかけを行って欲しい。
- スポーツジムなどの費用補助・禁煙の補助はあるが、たばこを吸わない人にはなにもなく不公平感がある。
- 定期的な運動をした方が良い事はわかっているつもりだが、なかなか習慣化した運動ができない。せまい所でも、スキマ時間でもできる運動を紹介してほしいと思う
- ある程度以上の大きさを有する船舶に於ける、トレーニング施設（細く規程）の義務化。
- スポーツジム等の割引きサービスがあると助かります。休暇サイクルの都合で月額制のサービスは利用しにくいいため、単発やビジター利用のジム施設を安く利用できると助かります。
- 運動（ジム等）を補助してもらおう。（補助券）
- 各個人に対する、運動のメニュー一覧表等、個々に合ったメニューを考案して欲しい。
- 運動をする場所がないのでジムなどを作ってほしい！！・食事の量が多いのでバランスのよい食事。
- スポーツ施設、娯楽施設等の補助金を出して欲しい
- 普段あまり歩かないので、船にルームランナー（小型）があれば嬉しい！

- 船員はあまり運動する機会がないし設備ありません。これからは若い人のなりてがないのでもっと船内生活を良くしてほしいです。私はもうすぐ70才ですから多分船からおりと思います
がよろしく願いいたします
- ジム（スポーツジム）と、組合が、協力して、費用を負担してくれると助かる。他の健康組合では、良く見かける。割引等、旅行等、費用、給付型があると望ましい。現在補助3000円ですが、選択がすくない。どこでも出してほしい。食券、（プリペイドカード）等あれば、船員の方は、うれしいと思います。
- 船員保険でジムとかの補助金
- 乗船中に運動ができるようなパンフレットがほしい。
- 長期の船内にいても、体力維持ができるストレッチ方法などの紹介
- 基そ体力作りやストレッチ等の船内で簡単にできるトレーニング資料があればうれしい
- 運動部屋があればいいと思います。
- 船内に運動施設がほしい。ネット環境を良くしてほしい
- 船内、会社等に運動器具の設置。
- トレーニング施設があるといい
- ジムなどの割引をしてほしい。（健康維持のため）
- ジムに通う月会費を補助または全額負担してほしい。
- 船の運航スケジュール上、休息時間が安定せず、運動もなかなかできないことが多いです。簡易ストレッチ等を行います、具体的な指導マニュアル（本・DVDなど）あれば参考にしたいです。
- 寄港地で安価にジム等利用できるようにしてほしい。
- エアロバイクなど、健康器具がほしい。船のタンクの水で調理しているので、浄水器を設置してほしい！！飲み水はペットボトルを買っていて、船にのせるのは結構大変！！真剣に考えてほしいです。
- 船の大きさや居住区の制限により運動設備（自転車・歩行器・ぶら下がり器・ボート漕ぎなど）を設置するスペースを義務づけるようにならないものでしょうか？
- 乗船中に運動できる環境がほしいです。
- トレーニング室がほしい！
- 休暇中に使用できる運動施設（ジム等）の補助があれば運動したいと思う。（船上ではダンベルやランニングマシンを使っている、その習慣を続けたい。）
- 船内では、運動スペースがない為、せめて休日中に運動ができる様、ジムの紹介、あっせん、費用補助を強く望みます。
- ジム入会への補助などがあれば日頃から運動することが出来る。人の命をあずかる仕事なので、気をつかう事が多く、メンタル不調が続いているが、長期休みがとれないので、治療しにくい。サポートがほしい。
- 運動できる施設が増えるといい・それか月額補助等してもらえると、ありがたいです。
- 各県に運動できる場所の費用補助
- ダンベル、エキスパンダー、等簡単な器具をそなえつけてほしい

- 健康作りの為、機具を購入するための補助
- 腰痛の為、ヨガの運動を取り入れ体を動かしています。毎日朝、夕動かした方がよいとのこと、体を動かす為の教材がほしいです。
- 船員が使用出来るジムを作ってほしい。
- 厚かましいお願いですがマラソン大会に出場する際の金銭的補助
- 基本、自己管理ですが、船内のジムスペースがほしいです。
- 各事業所に血圧計等の健康器具を無料配布して頂きたい。(健康意識の向上)
- ジムでかかる費用が少し負担になると良いなと思います。乗船中に行けない事が多いので、一部費用負担があるだけで契約数が増えて少しは健康的になると思います。子育てしていると出費が気になるので…
- 部屋に1ヶ所運動が出来る部屋がほしい。
- トレーニング室があればいいと思います。3000t以上ですが。
- 当直中等でもできる様な簡単な運動方法をお願いします。
- 休暇中にジム等に通いやすくする為に利用料の一部免除があれば助かる
- 勤務時間が不規則で運動を習慣的に行う事が難しい。
- 食事と運動不足の解消の支援・補助・紹介。ジムなどの施設があれば行ってみたい 運動不足がストレス、パワハラにつながる。

漁船

- 家や船内でもできる簡単な運動等を教えてもらいたい。
- ジムの費用補助。
- ジムの紹介
- 船員の仲間には筋力トレーニングを漁場で行っている者もいるのでトレーニングジムの補助があれば助かると思います。
- 50過ぎてから視力の衰えが進みました。視力にかかわらず体各部の衰えを防げる様なマッサージや体操法なども紹介して欲しい。
- 港の近くに、自由に利用できるジムがあれば利用したい。
- 酒をひかえ運動すれば良いと思っているが出来てない
- いろんな健康器具の配付があれば良い。

2. 仕事に関する意見

一般船舶

- 職場の環境が（冬）さむかったり、（夏）あつかったり、体力が心配。
- 食事を各々が作って食べるので、バランスを考える時間がない！休む時間も少ないので会社に以前の様に司厨員を乗船してほしいと願っている。
- 私は司厨長をしていますが月一度でいいから完全休養日がほしいです
- 船員である以上は、陸上一般職に就いている方と同列に論ずることはできないと思います。健康は大事だが、それを維持するコストを事業者に負担させることはちょっと違うんじゃないか。厚労省も巻き込んだ議論と、労働者業種別に枠組みとモデルを考えていかなければならない時期に来ている。
- 年配の方が、健康じゃない人が多いため、その人達の仕事もしないといけないためとても大変。朝ゆっくりできる時があるが、朝早く起きる人がいるため起きざるをえなくなっている。
- 船員の労働時間の実体をもう少し把握してほしい。特に内航船員の労働時間は、ほとんどが虚偽報告です。そうしないと船主から最悪な場合はクビにされる為。
- 製鉄での仕事なので、盆、正月、休み、関係なく仕事してるので、体調のリズムが取れない。行きつけの病院も、行けない。
- 健康づくりに対しても、何より、収入の底上げが必要かと思います。荷主→オペレーター→船主→船員の流れで最下位のため、収入がなかなか上がらない。食糧金も上がらないので、物価に比例しておらず、食事に十分な予算をあてられない。
- 労働条件。特に睡眠不足。休息時間が短いので寝るが精一杯で運動どころではない。食事もお肉が多い（簡単に出来るから？）
- 根本的に、運航スケジュールが、タイトすぎて、自身の健康について取り組めるほどの、時間的な、余裕がない。
- 衛生面をもっとしっかりしてほしい・収入を安定してほしい。・休みが安定的にほしい。
- 給料・アップを望みます。給料が安いと食料品など粗悪な安い商品を買う傾向があると思います。身体に良いものはそれなりに値段がするのでそういう食品を無理なく購入できるような給料設定にしてほしいです。
- 睡眠時間を確保できるようにしてほしい。
- 荷積み、荷揚げ先は8時間労働を行っていても船員はそれに合わせる為時間が不規則。24時間中の8時間であり、日付が変わっても継続勤務である為、船員は休めない事が多い。
- 部屋や、居住区に空気清浄機を設置してください。1乾燥が多く、かぜなどうつりやすいので1船の窓を開けることが少ないので、部屋の空気がめちゃくちゃ悪いです。
- 決まった休暇及び労働時間がほしいです。
- 会社が「船員」のカテゴリーを理解していない。又、表面上の法だけを守り外面が良く乗船する船員に負担になっている。運航部以外の部所は、船舶を理解していないし、し様ともしないので、全く話が通じない。
- きっちりした休けい時間がないので欲しいです。（今はひまな時に座ったり、お昼仕事早く片付いたら、ご飯が食べる環境です。売店を閉めない限り、無理な事です…）

- 船主がどんなに気をつけてくれても、荷役のスケジュールが夜荷役、長時間荷役、直行着棧などがある限り、現実的には何も変わりません。余裕のあるスケジュールでの運航、下船予定、乗船予定の数日前告知等は義務付けて欲しい。休暇の終了15日前ぐらいからいつ乗船連絡がくるかそわそわして実質待機状態になる。事前連絡を徹底して欲しい。(メール、LINEなどで)
- もっと休日がほしい。
- 休暇が少なすぎる。
- 回りに禁煙者が多いこと。時間外労働が多いこと。
- ボーナスが少しでもほしいです。
- 1日目終了時間から2日目始業時間まで6時間しかないので睡眠時間が短いと感じています。インターバルタイムは、8時間から11時間が努力義務となっていますがそれでは会社が対応してくれない為、義務化にしてほしいです。
- 時間に余裕が無いので、休日は、体調管理で運動するよりも、寝てる方が多い。時間の余裕が作ることができれば、運動に対してのモチベーションが上がるのではないかと思います。
- 機関室内に外気を取り入れる際排気ガスを吸い込まない様、ファンの設置場所を考慮して欲しい。
- コスト削減の為、(飲料金、司厨員数)乗組員の食事の質が、以前より低下し、冷凍食品のメニューが増えました。しかし、出てくる物を食べるしかなく、個人が、バランス良いメニューを気にする事すら…この辺の(会社、事業主)考え方を変えてほしいです。
- 以前フェリーに、勤めていて、休息時間が分割されていて、非常に働きづらかった。一日最低でも10時間連続で休息できるよう、とりくんでもらいたい。
- 有給休暇のとり方が、もっとスムーズで日数も多く取れるように会社などに厳しくしてほしい。
- 週休2日は欲しい。
- 66才です。派遣社員で働いてますが上船と下船時の期間があいまいすぎる。
- もうすこし休暇がほしい！！
- 船上の電波を良くしてほしい。・雇用を増やし、給料を変えずもう2～3日休みを増やしてほしい。
- 出勤時間が毎日変動あるので疲れがたまりぎみ・3連勤 8連勤、11連勤あるとどっと疲れが残る。
- 良質な睡眠がとれるようにきちんとしたまくらと布団がほしい。日の光をあびたい(朝)
- 勤務体系が特殊な環境の中での休日は本当に大切です。船員だけにいえる話ではありませんが、荷主が荷受に要求する運航スケジュールが特にひどいことがあります。規則や法で船員の乗船中の休日を確保できるとより船員という仕事に魅力を感じれると思います。
- 労働時間が不規則なのでそれを改善してほしい。
- 当社は不規則かつ、拘束時間が長いのがネックです。

- 月に2回程～3回程仮バースを取り、自由時間があり、気分転換や散策等の時間が欲しいです。
- 休憩時間として当てがわれてもお客様対応ですぐ呼ばれるのは休憩ではなく待機と変わらないと思います。必然的に拘束時間が長時間になりますが、休憩と見なされるので実質労働時間のみになっているのが現状です。私以外にも体調を崩して辞職している方々、そのようになる前に辞める方々がいる現状を見るととても残念に思います。社労士も含めた職場環境の改善を健康保険協会の方々がしていただけたら嬉しいです。
- 乗船中も一定日数船内での休日をとれるような、荷役等のスケジュールの管理
- 船員を守る為の法整備の進行も大事ですが、船員の数が減っていった分の負担は職長になっていくにつれて増し続けています。これから船員になろうと思っている学生や、船員になったばかりの若手に海上で働くということは陸上職員のように何でもホワイトでやっていくことは難しい時もあると理解してもらえるようなセミナーをやることも必要かと思います。すぐに辞めてしまう船員の数が減って、結果現在働いている船員の仕事の負担や休日の確保ができるようになることが一番全員の健康に繋がると思います。
- 船員不足により長期乗船になっている現状で、体調不良のほかにメンタル不調も重なり船員として船に乗る事自体が辛いです。その上会社からのサポートもあまりありません。会社などにも違うと思いますが、乗船中船長を通さなくても会社に相談できるような仕組み（ライン、メール、電話）を義務付け等があったら乗船中も少しは楽になると思います。
- 労働時間のとり決めをきちんとしてもらいたい。・働く時間が長く、陸の方との差がはげしい。・ただでさえこうそくされる時間が長いのに、労働時間まで長いと体を休める時間、プライベートの時間がもてない。・今の制度では、休憩時間（連続で6時間の休息）さえ取らせれば、後の時間は、何をさせてもいいとあいまいになっている。・仮バースの時でさえ仕事をさせられるので休みに関しての取り決めをしてもらいたい。
- 整体、マッサージ、プール・ジム等の割引券の配布希望
- 労働時間が不則すぎて運動ができずらい。なんとかならないか。
- 船員→陸上勤務になった人への対応もあればいいと思う。会社によって考え方は違うと思うが、給料も下がり、特にトラブル対応（休日）による心身的ストレスが多いと感じる。休んだ様で休まらない。
- 周に1～2回十分な休みが（時間）があればいいなあと思います。
- 船員は皆さん不規則な生活をしているから、もっと、健康を考えて、仕事を、してもらいたいです。それと、給料面に対しても皆さんが安から不満がたまって病気になる事が多いと思います。
- 勤務時間が不規則かつ長時間勤務で食事もばらばら、眠れなくなってきている、ストレスでめまいではじめてる、健康づくりの予定もたたないし、余裕もないです。
- 健康診断・検診費用、健康増進のための経費、持病（鼻炎）のために内服処方…お金がかかります。健康は自己管理ですが、やはりお金がかかります。給料に上のせして欲しい。
- 荒天時の航行は止めてほしい
- 休みが欲しい

- 労災（荷役中）でケガをした乗組員を食後階段でケガをした事とし（会社の事しか考えていない部長の助言にて）普通障病となったが後に労災となった方を知っている。この様な会社なのでメンタルダウンで現在3名休んでいる。もう少し乗組員の事を考えて欲しい。
- 仮バースを定期的にとは言わないが、週に1度は設けてもらいたい。海上生活が長くなるにしたがって、ストレスの量が半端では無い。岸壁が取れないのは仕方の無いことだが、考慮していただきたい
- 拘束時間が労働時間とみなされていないため、休けい時間とされていますが、船内にいるため、リフレッシュできていない。労働時間は、残業含め、9時間程ですが、拘束は6:00~19:00前までです。健康のことや労働のことで、外部から、指導が入らないように、残業代の時間の開始時間をおそくしろと、船長からの指示もありました（実際の労働時間はわかりません）労働環境のストレスで毎月のいきおいで、退職者がでており、休みがとりづらい、通常の休みも、月に5日だった月もあった。休みがないと、精神的にきつい。家族にも心配や迷惑をかけてしまっている。会社は、話しをもつばを一度もうけたが、特に改善なしのままです…
- 内航船は不規則なスケジュールです。寝れない日などあります。タンカーの一生のテーマだと思われていますが、無理なスケジュールは組まないようにするか、週一で仮バースでなるべく取れる用にしてほしい。寝具もいいやつにしてほしい。
- 仮眠スペースを作って欲しい。
- 労働時間の短縮を求めます
- 休みがないのでそんな暇ない
- 就労時間の不規則はしょうがないが、グレー過ぎて耐えきれない時が多々あります。話では上がっていますが、実際は1日14時間労働が週に3~4日はあり、かと言ってそれ以外の2~3日が休みということではないです。このえいきょうで船員に不満がたまり、船内の空気が悪くなる事も多々あります。

3. 食事に関する支援

一般船舶

- これは会社に直接言えばいいのかもしれないが。食堂は時間外は閉まってしまう。どうしても忙しく、クレーム対応など。行けない時もある。レンジ、ポットだけでも24時間使えるようにできないのか？
- 個食で食事する様になり栄養バランスを考える上で簡易的な船員が短時間で作れる食事プラン等のパンフレットとかあると参考になるのかなと思います。
- 健康食品やサプリメントの配布等できたらとても助かります。
- 乗船期間（40日）はやめてほしい（家族に会いたいです。）船員で調理の人間を増やす改善、もしくは、事務部全員調理の資格をとらす（調理の人が足りず、休暇中にも増員等でまとまった休暇がなく家族で旅行にすら行けない。調理の人間を増やしてほしい
- 船員は、野菜、魚を食べない人が多く栄養やバランスの取れる食生活ができる環境になれるといい。

- サプリメントの使用について！
- 外国人司厨員に対する味や栄養バランス等の積極的な講習や、英語によるパンフレット作成。船上の食事の向上。
- 食事は司厨長が作る。司厨長が健康に対する意識が低いと、献立や味付けも不健康になってしまう。
- 船内での飲料水は飲料水タンクより供給されているが、簡易水質検査の結果だけでは信用ならない。浄水器を徹底して搭載してほしい、毎日体にとり込むのに不安がある。飲料水は全て自腹で購入しており、不経済。
- 日帰りの船は、食事等は、各自で持ち込むので、食料金を増額する事により、バランスの取れた食事ができると思う。・勤務時間と、労働が一致していないので、船員の補給及び労働に応じた給料の増額を、会社に訴えた方がよいと思います。
- 船員に十分な食事と休養が取れる職場環境であってほしい。船員が食費を不担しない職場環境であって欲しい
- 食品分類表を船内食堂に提示し、1食分のカロリー計算が各自で出来るよう目にうったえる体力づくりが出来ると良いです。ちなみに現在98kgマイナス20kgをDrから言われていますが、乗船中はどうしても食べる。食べてダイエットが出来る食事がしたいです。ちなみに下船すると2kg減る。
- 賄の食事をどうにかしてほしい。
- 食料金の配布希望。サプリメントも含め
- 同じメニューの食事が出される為、間食が増え健康に気をつかいたくてもつかえない。
- 船内の食事が悪すぎる。揚げ物ばかり、冷凍食品ばかり、身体に良いわけがない。
- 船で食べれる野菜多めの料理。
- 司厨員によって食事のバランスやおいしさにかかなりの差があり、ご飯がまずいと船内士気や健康が悪化します。貴協会には司厨員への栄養バランスの取れた食事作りのサポートを求めます。
- 食べ過ぎに注意！
- 出張中の1日の食費が1200円は少ない
- 食事のメニューに肉が多いし、昼、夜とメニューがかぶっている時がある。昼も夜もこってりしたものだったり偏った食事になりがちです。
- 船内の食事メニューの支援。献立の計画指導
- 食事が揚げ物が多い。人によっては味付けが濃いものしか出ない。睡眠時間が少ない。男性シフト→AM. 02:00～AM07:00なども有。夜遅くまで（PM20時～AM2時など←女性シフト）の勤務体制で寝不足
- 作業船なので体はけっこう動かすし、タバコは船員みんなやめました。健康づくりに気を付ける事は食事だけです。
- 食事に関する栄養バランスの管理。
- 船齢によって、飲料水がまずい。（検査合格していても）タンク、配管系統のスケール問題の対応してほしい。

- コレステロールが下げられる食事等の知識や相談できる場所やそういった施設の補助などがあればこうどうに出やすいかもしれません。
- 船内での運動をする人が増えて来ていると感じるが一方、飲酒やバランスの悪い食生活の人も多い。野菜ジュースや納豆、ヨーグルトを食べれば相殺されるというような知識レベルの船員が多いのが実状。小学生レベルのバランスのとれた食生活の基礎知識の定着が必要。
- 特にはないが、自分の食事を気をつける際、船から支給される食料金だけでは物価高騰もあり、とても足りないと思っている。食料金にもう少し余裕があれば、食事面での健康管理ができると思う。
- 食べる事はとても大事ですが会社から出る食費が少しすくないのでどうしても、カップ麺などを食べる時もあります。仕事が終わってから料理を作る事につかれる事もたびたびあります。
- 飲み水に、浄水機を、付けて欲しい。
- 健康食事メニューがほしい
- コンビニの弁当と家で作った手作り弁当の栄養や体への影響の違いを特集してほしい。自分の会社では、食料金から現物支給に変わってしまい、今まで家からお弁当を持ってきたが、出勤中毎日弁当の領収書を提出しなければならなくなり、昼に陸に上がれない時は、コンビニの弁当を朝買って乗船する事が多くなった。会社はコンビニ（食品添加物など）を推奨しているので健康面に不安を感じる。（日帰り船員です）
- 乗船中の食事は出されたものを食べるしかないなので、気をつけようと思っても、作る人によってどうしても油っこくなったり塩分が多くなったりして片寄ってしまう。司厨員の意識改革や栄養士の資格を持った人の起用など根本的な支援も必要ではないかと思う。
- 一定間隔での食料品の買い出し（野菜など）
- 食べ過ぎない様にするには、どのようにすればよいか。
- 乗船中の栄養バランスを知りたい。（作る側）
- 食事管理、栄養素などの勉強会
- 全体にとっても味が濃い為、血圧が高い者にとっては苦痛となる。極力塩分は控え目となる様な調理の指導が欲しい
- 勤務時間との兼ね合いもあり、昼食の時間が一定ではなく、また市販の弁当のような栄養のバランスが悪い食事が多くなってしまっている。短い時間で利用できるタニタ食堂のような施設や仕出しの弁当があればと思っています。
- 自分は食生活に注意しているが周りの同業者は食についての知識や意識が低い人が多いと感じる。健康は食からと思うので会社を含めて意識を改められるよう指導してほしい。

漁船

- 食事・栄養管理に関する支援。保養所等の宿泊施設の費用補助 レジャー・観光施設の費用補助
- 栄養の食品の支援
- 仕事上の昼食をとる時間がない時が多いので、きちんと食事をとる時間が欲しいです。
- 簡単に食べれる栄養化の高い保存食の様な物をはいふして欲しい。

4. 宿泊施設・保養所などに関する意見

一般船舶

- センボスの宿廃止大反対。サンポート三崎は重宝していた。
- 宿泊補助サービスを簡単に他の宿泊予約サービス（アプリ）と同様にしていただけると理用しやすいし、使用してみたい。
- 宿泊補助のWeb受付けのけいぞく。おねがいします。
- 疲労回復、静養のため…宿泊補助の他に交通費の補助もして頂きたい。
- 日帰りの為健康づくりに対する管理は比較的容易に実施できるが沿海区域の船舶では、取り組むのは船内では困難と感じる。積極的な仮バースを行うことで精神的な回復は自身の経験から感じれたので推奨してほしい。
- 高齢者はそんなでもないけど若い人達には、荷役待機の時、仮バースを与えてもらおうとストレス解消には一番良いと思います。
- 福利厚生充実（家族も使えるようなものがもっとあると良い。使用できる地域が限られていて使いにくい）
- 妻と旅するのが楽しみです。宿泊施設の費用補助が当日でも利用出来るとうれしいですが、手続きに日数がかかると利用出来ない方が多いので残念です。金券やクーポンなどにしてほしいです。
- 保養所もっとつくって下さい。船員保険やすくして下さい
- 仮バースを会社が積極的にとる用推進していただきたい。
- 港近くに船員優先（家族）のジム、温泉施設があると良い。若者にとって健康づくり（健診、相談）は興味が無いようなので、それに変わるもの、病気の予防として施設の利用が出来れば良いと思う。会社単位ではなく、もっと大きなくくりで取り組んで欲しい。
- 宿泊補助サービスの利用可能施設の拡大をしてほしい。
- もっと福利厚生を拡大してほしい。船員専用のクレジットもあっても良いと思う
- 宿泊施設の費用補助額をもっと多くしてほしい
- 自然に囲まれるような、保養所等有れば、ゆっくりでき、温泉があれば最高。ゆっくり、過ごせる、保養所等を、増やしてほしい。
- 各港での温泉ツアー券の無料配布。
- 宿泊補助サービス一泊3000円は、ヤフートラベルや楽天トラベルなどでも使用できるクーポンにしてほしい。
- 保養所等の宿泊施設の費用補助は利用しているので、非常に助かっています。施設の拡充は難しいと思うので、費用の上限等を上げていただければと思います。子供がいるので、公園やテーマパークの入場補助があれば更に助かります。
- 日帰り仕事で、朝が早く、夜が遅いかつたりするので、体のリズム作りをするので精一杯なので、施設などを利用する機会がないのですが、心と体に余裕が出来れば、利用させて、いただこうかなと、思いました。ありがとうございました。
- 宿泊補助を行っている場所や宿泊場所を増やして欲しい
- 保養所、宿泊施設の費用補助のつかえる場所を増やしてほしい。

- サンポートみさきには入浴でお世話になりました。乗船中に一番体調へ支障がある事はお湯に浸かれない事と考えています。寄港地に無料で入れる入浴施設がもっとあると助かります。
- 船員保険で利用できるジムや旅館などをもっと増やしてほしい。高額な保険料をとられているのになんのメリットもない。
- 福利厚生を充実させて、レジャー等をもっと気がるに行ける様にして欲しい。
- 船員（家族含む）の健康増進の為、トレーニングジム等、複合施設の利用割引の実施を要望します。以上宜しくお願い致します。
- 宿泊補助サービスの全額をもっと増やして欲しい。
- 宿泊施設の費用補助の拡充
- ＜問34＞宿泊補助サービスのある施設が増えると嬉しいです。年間を通して家に帰れない為、地域によっては1ヶ所しかない所もある。選択肢があると良いなと思います。
- 宿泊補助に楽天トラベルを入れてほしい！
- 特にはありませんが、仮バース等の取得をスムーズにしてほしい。
- フルワッチ3日連続長時間荷役はきつい。仮バースくれ
- 観光施設等の費用補助。
- 旅行（ホテル）の補助がとても使いにくい。休暇がギリギリに決まるため、予め手配が必要な今の申請方法では全く利用できない。例えば領収書があればそれを健保に送り後日補助金が入金されるような仕組みにしてほしい。休暇は旅行が楽しみでホテルはよく利用しているが補助が使えないのでいつも残念に思っている。相手の立場に立った仕組みにするべき。
- 保養所（温泉等）の利用施設が増えるといいと思います。
- 1泊3千円の補助のサービスは、どこの宿泊地ですか
- 家族旅行の時の宿泊費を補助してほしい。（1人、1泊3000円程度）年／一回
- 利用できる保養所を増やしてほしいです。
- ストレス等発散のため、宿泊施設等の費用補助があれば利用したい。
- 宿泊サービスや割引券なども嬉しいが、外食などで使えるチケットやジムに安く通えるシステムなども是非おねがいしたい。家族でいける温泉やテーマパークのサービス券などもうれしいです。
- 職場の福利厚生の充実。
- バースがとれて上陸できた時に→付近の、買い出しのためのスーパーや店のリフレッシュのための銭湯やスパリゾートの割引券が欲しい

5. 禁煙・禁酒について

一般船舶

- 酒による影響（良悪）のコラムなど見たい。タバコについては多くあるが、酒についてはあまり見ない気がする。（単純に暴飲暴食ではなく）
- 節酒したいけどついつい飲んでしまう。禁煙してほしいけど、やめる気はないらしい
- 船員室にも喫煙所を設置するのを義務づけてほしい！

- 喫煙者がいるのはいいですが、指定の場所で吸わず、居住区に匂いが自分の部屋まできていたり、禁煙者が喫煙室を掃除しないといけないのは、つらいものがあります。
- 喫煙場所を守る様、徹底してほしい。
- 陸上では、改正健康増進法により、受動喫煙対策が為されているが、船舶では、依然として、サロンや待機室での喫煙が横行している。タバコを吸わない身からすれば、煙による咳や頭痛等が起きることがあり、健康面で不安がある。早急に船舶での受動喫煙防止に取り組んで頂きたい。
- 船員保険卒煙プロジェクトに参加し禁煙成功しました。色々なサポートがあり手厚くとても良かったです。船員の喫煙率は高いのでこのプロジェクトに参加すると何か良いプレゼントなどあると参加率も上がるのではと思います。
- 2010年3月3日より約14年間禁煙しておりますが、タバコは止めて本当に良かったと、実感してます。特に狭い船内では、ギャレーの換気扇くらいしか無い為…空調機器によってタバコの煙と匂いが各部屋に届いてしまう。会社が設備投資しない限り、船内分煙は難しい課題！
- 禁酒とアルコール依存症の障害と治療の説明。
- 船員居住区の部屋を交代で使用しているが、喫煙者と禁煙者が、同じ部屋を使用するので、タバコの匂い、ヤニ、などが残り、禁煙者が我慢をして船内生活を送っている人も、少なくはない。
- 当方、平水船の為、特段陸上職員と変わらない生活を送っております。アルコールによる問題で、遅刻をしてしまう同僚がいなくはないので、アルコールに関しての意識改革につながるような取り組みがあるといいと思います。
- 古い船は、喫煙ルームがなく、分煙が困難であり、受動喫煙を防ぐことができないので、良い、うまい取り組み等をしている事例の紹介や船舶所有者への喫煙ルームの設置の推進、補助をお願いしたい。
- 船橋がCOCでの喫煙を禁止。(受動煙があるため)・共有の場所での喫煙を制限する。・上記を取り組みとして行ってほしい。(個人で言っても意見が通らない)
- 喫煙に対しての社内、船内での意識改革をしてもらう為に、良い方法がないか、相談する場所等を考えて欲しいです。
- 分煙をできるように船のかいぜん
- 船員、全員に禁煙するように、対策を取ってほしい。
- 小型鋼船では分煙がぜんぜんなされていないので設備や管理など船主やオペレーターに働きかける運動をもっとしてほしい
- たばこを吸う人が多く分煙ができていない為部屋まで臭い。
- 船内、居住区内での喫煙が多く、健康に（体に）影響を及ぼす、受動喫煙 一刻も早く対策を講じてほしい。
- 少人数運航船では食事の改善は難しい。勤務時間の不規則になるのも他力本願の会社なので難しい。飲酒、禁煙を気にする位しかできないのではと感じる。
- 棧橋に喫煙所を作るなどの分煙対策をして欲しい。

6. 健診内容の充実

一般船舶

- 健診の補助があり助かっています。無呼吸症候群の検査キット等の補助はありますか？
- 健康診断（総合）の内容の見直しを行って欲しいです。
- 20代から採血など含んだ健康診断を無償で行けるようにしてほしい。
- 健康診断のオプション検査費補助
- 人間ドックをしてもらいたい
- 脳ドックについても検診（50才以上など）を検討して頂きたいと思います
- 生活習慣病予防検査の無料あんないをもっとわかいときにやってほしい
- もっとくわしく健康診断をしてほしい。
- 日帰りドックの検査メニューにエコー検査も追加してほしいです。MRI検査も自己負担を含め安価にできる様にしてほしいです。
- 健康診断の際のオプションの費用も補助があれば助かります。
- 胃の検査でバリウム検査だけでなく胃カメラ検査の費用補助をしてほしい。バリウム検査で要再検査になった際、結局胃カメラを受ける必要があり、バリウムの体への悪影響を心配している。
- 健康診断を年2回に、検査項目をふやしてもらいたい。
- 健診でも女性用の乳がんや子宮がん検査は別費用だったり会場によって受けられない事が多い。男性が多い職種ですが5年に1度位でも受けられるようにして欲しい
- 胃カメラ大腸カメラ検診等の費用補助
- 生活習慣病項目に、有料で良いので「脳ドック」「大腸内視鏡」を追加してほしい。・返信用の封筒は、12cm×23.4cmで良いと思います。
- 人間ドック等の補助があれば良いと思う。
- 年1回の健康診断を年2～3回無料になるようにしてほしい。（希望者のみ）
- 総合検診の項目をさらに充実していただきたい。
- 人間ドック等の+αの健診の費用補助があるとより健康への意識が高まる。・休暇中のストレス解消のため、リフレッシュのため、レジャー、宿泊施設等の費用補助を求めたい。
- 脳ドックを安価で受診させてほしい。年1回の健康診断で、胃カメラか大腸カメラの選択制にしてほしい。（例 胃カメラ受診の次の年は大腸カメラなど）
- 健康診断の結果が出たら、具体的な食事制限等を、具体的にスケジュールにして指導してほしい。健診場所・機関を増やして欲しい

漁船

- 毎年、人間ドックの補助金の支援があれば良い。市の各種健診の申込書がくるが健診日が操業時の為受けられないので人間ドック等の補助金があると良い。
- 定期的な健康診断等の補助
- 健康診断の結果もう少し早くしりたい

- インフルエンザ予防接種を家族ふくめ船員保険で無料にしてほしい。(会社では本人は無料です。) 冷とう野菜の種類が今たくさんでるのでふやしてほしい。

7. ストレス

一般船舶

- 男性が多く、言葉による圧力があり、精神的ストレスが多いため、改善されるとより働きやすくなると思います。・揺れによる体の負担が大きい(頭痛、首や肩の痛み) 男性には理解されにくく辛い時があるので、会社に対してはもう少し考慮してほしいと思っています。→生理の時などは特に辛いので。
- 船内ではストレスが溜まるものです。人間関係や労働時間などで溜まったストレスを発散できる何かが欲しいですね。
- 人間関係がストレスの主な原因で、特に上司からの高圧的な態度にストレスがたまると。あくまで給料を貰っているから命令を聞いているのだということをわからせるような講習をした方がいい。
- 船というせまい環境下ではストレスがたまりやすい。ストレスフリーになるような種々の研究などしてはいいかなと思います。
- 仕事のストレス、人間関係などで健康を阻害している面が多い。
- 平水船用に船員法を作してほしい。沿海使用になっている事が多く時間外やその他のストレスが多く感じます。それからの健康だと思います。
- 1番は職場でのストレス。特に人間関係で乗船する期間が長いと苦手な人と長く乗ることになるので。・運動したいが航海中は休むことを優先し中々できない。
- 身体健康も大切ですが、船員は今でもハラスメントが見受けられます。船員全体のハラスメント改善をお願いします。
- 人間関係でストレスがたまりやすい。ストレスをためない様にするには、どうすればいいか？
- ストレスチェック等会社からの過度な管理、干渉が逆にストレスである。私生活まで管理しようとしている？今の活動はプライベート感が無くなりつつある。
- 船員の労働基準の改正により、精神面、身体面共につらい場面が多くなった。・企業側の努力がまだ必要。・全国健康保険協会の協力をお願いします。
- 近年、様々な情報(健康に関すること含め)を、インターネットを介して、チェックしている方が多い。そのような事からも、海上インターネットの整備を早急に進めるべきと考えている。インターネットが使えない時のストレスは、思っているより大きいと感じている。
- プライベート等確保のための行動(取組)があれば、ストレスは多少減る。
- 船内飲酒に関しては健康面、ハラスメントを予防し、若い人達へのメンタルケア等にもなると思うので、規制やルールを強くしても良いと思う。(あっても守らない人がいる為。)
- 喫煙と、間食のコーヒー飲料を控えて、運動を定期的にできる余裕をつくる事ができるように、ストレスをもっと減らせるといいかなと思います。
- 労働時間の改定の呼びかけを増やしてほしい。自由な時間がとれない為、健康に気を使う時間が少ない。時間によゆうがあれば、ストレスの軽減もできる。

- パワハラのない職場
- 乗船中のストレスより私生活のストレスの方が重い、そっちの方がこまっている。
- ストレスを貯めずに業務を遂行できるような取り組みがあっても良いと思う。(メンタルマネジメント・アンガーマネジメントやサポート等)(近年、女性船員が増えてきており今まで以上にコンプライアンスに重きを置きながら接し指導に当たっているが感覚等の違いから大変困難な時がある為コミュニケーションをしっかりと、お互いに尊重理解しながら職務に当たりたい)
- 休みが少なく、病気になっても病院に行く事ができません。船員が不足していて休むといやな顔をされます。ストレスがやばいです。社長の考え方が古いので苦ろうしてます。どうか、力になって下さい。退職届も出しましたが、船員不足で免許の数が足りなくなってしまうとの理由で、みとめてくれません。かなり悪質だと思います。会社つごうで、いつか身体をこわして殺されると思っています。どうかかいぜんする方法を教えてください。おねがいします。
- とにかくストレスが発散できる場所が欲しい

8. 船員不足・高齢化

一般船舶

- さまざまな希望がありますが、人員不足により実現が難しいのが、現状です。
- バブルがはじけてから30年余り、経済の停滞やコストカットによる人員削減、船主や事業主たちがタンス預金を減らしたくないという結果、労働時間が長くなり、1人1人の仕事量も増えてしまい、おかげで、人手がどんどん離れていってしまってるのではないかと思います。ただ愚痴になってしまい申し訳ありません。
- 人材不足を解消して欲しい！その解決が、自身の健康づくりにも効果があると強く思う、為、ぜひ要望したい。
- 船員の人手不足によって労働者の労働時間が長くなり休む時間が減っている。小手先の健康づくりの為施策は意味無し！少子高齢化深刻、なのに老害多数、新人の離職率をみて若者が働きやすい環境へ、それが健康のためになると考える。この先、船員の地獄が始まる
- 人員の確保で労働時間に余ゆうがほしい
- 人員が足りない事による睡眠不足→疲れ
- 船員は陸上勤務と違い、色々な条件が厳しいにもかかわらず、自分自身の健康すら、いい加減に乗船して来て、仲間に迷惑を掛けても、平気で乗船して下船する方、年令も、70～80才でも、自分で大丈夫と何の変な自信で、同じく乗船される方々、若い方に負担をおわせる何とも言えない船社会、今後が、大変だをつくづく思います。何とか変えられないでしょうか？
- 船員不足で年齢が上の方々が多く、若手育成の為の給料等のアップとかして行かないと常に一定の時間の仕事ではなく、荷物、海峡で時間も変わり、休憩時間も変わってくるので、船員の乗船人数が増えると健康的な、睡眠、ストレス解消に繋がると思う
- 船員数が少なく、休日が少なく、長期乗船が続いている。ストレスが多く、若い人がやめるのが多く感じている。

- 船員不足が常態化しており、船員1人の受け持つ作業時間や作業種類が多く、時間に追われる毎日である為。自身の体調に気を配る事が、ままならない。
- 人手不足により、休日が減ったりするから、まず人員確保をして、休日で休めるようにして欲しい。
- 船舶業界への支援を行い、労働時間の均一化又は船上休暇の確保を船主の方へ行って欲しい。・新人船員の確保に向けた取り組みも行い、一人一人の負担を減らしてほしい。
- MLCが人員不足にもかかわらず守らなければいけないルールになり管理する人間にかなりの負担。実際に働いている時間は記入できないブラックな部分

9. 保険料（保険）について

一般船舶

- 船員保険料の減料金・免税対策、対応
- 健康保険料を安くしてほしい
- 健康保険の保険料を下げて下さい。健康になる前に保険料の負担が大きすぎて精神をやられそうです。
- 船員保険料が高過ぎる。
- 特に意見、要望はありませんが、しいて言えば、保健の料金の詳細が知りたいと思います。
- 療養補償をもう少し考えて下さい。使用できる機会が少ないです。
- 揚積荷役等の作業は、やめてほしい。
- 船員保険証を見せるだけ、安くなったり申請しなくても使えるようになると利用しやすい。
- 船員保険は他保険より、手厚いと思います。
- 保険料の自己負担が多い。保険料、組合費に大変不満だ。
- 高い保険料なので、内容の改善を要望します。・下船後の通院期間の延長等。・申請、提出書類の簡素化、オンライン等。
- 様々なジャンルの費用補助が増えるとありがたい。
- 船員保険が、値上がりする可能性、のある余計な事は、しない方が良い。乗組員は、みんなそれぞれ考えている。もし、支援があるなら、医療機関での保険負担額（率）3割→5割を切実に願う。今の政治の税金値上げの波に乗らないで欲しい。・必要ない物に、無駄に、船員が納めた保険料を使わないで下さい。

10. 歯科について

一般船舶

- 特に歯の健康に対する取組みをより増やすべき。
- 医療証明で歯医者が適用除外になっている。歯医者を利用してほしい。

- 船内ブリッジ内での完全禁煙を徹底してほしい。休み中に歯の治療代は船員保険で出して頂きたい。(全額負担) 他は船員保険に何の不満ありません。いつも船員の為に、ありがとうございます。お陰様で、いつも安心して仕事に充実できます。船員保険が「あってこそ」だと感謝しています。これからも船員の為に、どうぞ宜しくお願い致します。
- 定期的な歯科健診等乗船中は不可能だが、休暇中にはわざわざ行かない様な事を、サポート等「行こうかな」と思える環境が欲しいと思っています。仮にあったとしてもそのサービスを知らない為、皆が保健代に満足出来る取り組みをお願いしたく思います。
- 乗船中、又は、休暇中に歯医者にかかる事が医療証明と認められなくなった事は、とても困ります。歯周病も糖尿病へとの関係もあるので認めてほしいです
- 4ヵ月に1回歯科へ点検に行けるように会社への指導をしてほしい！
- 定期的な歯科検診の実施。(助成)・全体の補助。・パンプスなどの補助。(立ち仕事における消耗品等)。
- 下船後の歯科受診も可能にしてほしい。
- 船員は者歯科医が無料だったので現在でも無料になればいい。(医療証明書)活用等で。
- 歯医者、無料に。以前の様に。
- 船に乗っていると病院に行く事ができない。歯医者は、1回では終わらないのでこまる。
- 歯科検診も年1回受診できるような補助があればいいと思います。

1 1. 健診場所・機関を増やして欲しい

一般船舶

- 時間外の多いタグボート船員に健康窓口を開いてほしい
- 休暇中に健康診断や保健指導の拡充をお願いします。
- 熊本市在住ですけど生活習慣病健診の実施機関を熊本市にも作って欲しい。
- 船員は、休暇中に予防接種を優先して受けられるようにしてほしい
- 船員さんは、休日が限られて、時間がないので病院での急な診療の場合優先していただけると助かります。(船員、特別そち)として対応できる(出航前等)様な環境があると助かります。(コロナの注射の時は、予約をとることすら大変でした！)
- 群馬県在住の船員です。県内に船員手帳の健康診断を受診できる医療機関がないことに困っています。(毎回健康診断の為に東京の病院まで行っています)
- 乗船中にやむなく持病の薬や健康診断等で病院に行く船員は多いと思います。しかし、土・日・祝日休診の所も多く、中々病院に行けない方が多いと見受けられるので、土日等は午前中まで見て頂ける病院があると良いと思います。(仮バースは土日にある船が多いと思う)
- 乗船中に病院など受診できる勤務体制にしてほしい
- 地域によっては、健康診断で出る、医療機関が少ない。特に地方が少ない。
- 船員手帳に記載される為に受けれる病院の数が少なすぎる。北海道函館市に住んでいるが周辺の市町合わせて2ヶ所で、次に近いのは車で1時間半かかり、だいたいその2ヶ所で受ける為、自分の休みもあり2～3ヶ月前からの予約が必要です。まだまだ受診できる所を増して下さい

- 船員保険の健康診断の案内が来ますが、地元の病院で受診出来ません。できれば受診出来る病院を増やして欲しい。

1 2. 資料等が欲しい

一般船舶

- 自分なりには健康づくりについて努力していますがマニュアルを作ってほしい。
- 保険料の支払いなどで算出することができると思うので、所属社員における健康な乗組み員の居る割合などを公表して、優良企業を表彰するなどをして、健康への意識を変えていけばよいと思う。
- 船員保険からの配布紙が家に直接届くのはありがたく、しっかり読ませてもらっています。これからは船員Dataに基づいた有意義な冊子をたのしみにしています。
- 補助金とか良い情報を提供してほしい。
- 希望者に対して、健康に関する事や支援に関する情報の載った冊子を定期郵送して欲しい。
- 症状から病気をさがせるような、手帳サイズの事典（ポケットサイズ）
- m-RNAワクチン接種後の副作用や健康被害に付いてもっと詳しく広報して欲しいです。
- 健康診断で、限界近くの値があった場合の、それに対応した改善策を教えて欲しい。
- 船舶職員の実情は、休みを取りにくい。時化ないと休みにならないなど人員の関係上や職場上急にでも健診や相談ができないことが多い。定期的や前日予約のできる医療機関を教えてほしい。
- 船員保険は、とても健康づくりに熱心になっていると思った。今後も、注意点を示したパンフレット等を送ってほしい。
- 健康や心理的なケアの方法などについての本などの紹介や人生・健康相談などを広報物などにのせてもらえればと思います。

漁船

- 高血圧、コレステロール等の食生活改善の資料があれば、気をつけられる。（くわしく）
- 食生活改善に役立つ食材・季節のこんだて等、指導と言うか、パンフレット・チラシ形式での、公報等有れば参考にしたいと思います。
- 年令に応じて、かかりやすい病気や、おこなった方がよい、健康方法などのパンフレットがほしいです。

1 3. 健診の「事前予約」による受診が難しい

一般船舶

- 予約日に仕事の都合で病院に行きづらい。
- 勤務時間（不規則）の関係で、病院の予約が取れない！

- 健康面において不安が生じてもすぐに医療機関を受診出来ず、休日を使つての受診に低抗を感じる為、先延ばしになりがちです。年一度の健診では不足を感じる為、自主検診も年々増えています。費用も含めて、支援があれば…と思います。
- 健診の予約が混んでおり取りにくい。事前に予約をしていたが休暇がずれた為再予約が困難となった。結果、一般の医療機関でしか受けることができなくなった。混雑する病院では休日が1カ月程度では、結果や手帳の記載に間に合わない。
- 検診、病院に行くことが、むずかしい。予約できない。行く時間がとれない。定期通院できない。予定がたたないため。
- 内航船等、定期的休暇が取れない場合、なかなか定期検診等に行く機会がない。
- 休暇中に健康診断を受けたくても日が合わずできない

1 4. 病院・病気に関する意見

一般船舶

- 乗船中の怪我や病気の際の療養補償を理解してない医療機関が多く周知させてほしい。
- 問4 6. で書きましたが、船舶という構成上、鉄板の上で生活します。なので扁平足になり、それをゆっくり治すのに約2年近くかかりました。その間も仕事はしていましたが、色々考え工夫が大変でしたので、気を付けて下さいと周知していただければ幸いです。
- 現代医りょうに関してあまり信頼してません。対処療法を見直すべきだと思います。
- 薬をまとめて出してくれるドクターを紹介してほしい。
- 健康診断で不具合が見つかった時の心のケアをしてほしい。
- 病院代補助、支援充実化
- 私は、休暇のたびに、かかりつけ医にて、採血してコレステロール、肝機能、及び糖の検査をしています。去年から、糖が少しでていて、薬をもらっています。年、4回、行っています。薬は乗船期間を考慮して、3ヶ月分もらっていますが、薬代が少し高く感じます。

1 5. 船舶所有者への支援

一般船舶

- 国民の健康維持と現代病予防を目的として制定された日本の法律であるが、如何せんだこの会社をとっても取組が行き届いていないと思っています。船員保険からも「健康増進」に向け働きかけて頂きたいと思っています。
- 船舶所有者からの説明がたらないと思う
- 事業者（特に中小企業）に対して船員保険のしくみについて指導と、それを船員にフィードバックするシステムの確立をしてほしい。

- 各自の健康に対する意識にもよるが船長、機長の船内環境作りに負う事で大きく変化する。船長、機長は会社役員の位置であるから船員の健康に対する責めを負うはずだが他動的な啓蒙の機会がなければ日々の業務に埋没するので、健康の価値、有難味を知らしめるためにも、継続して、プレゼン、アンケート、簡単なストレッチ方法、あらゆる事業所、船会社船舶に発信していただきたい。
- 法律による制限、SNSやコンプライアンス・ハラスメントという言葉の普及に伴い以前できていた事が気軽に行えなくなっています。改善に繋がっている事ももちろん多いですが、健康維持や円滑なコミュニケーションを行う点においては足枷になっている事も少なからずあります。国や船舶所有者に対しては、自由が効かない状況に置かれた船員に向けて設備の投資で補ってもらうよう取り図って頂きたい。

16. 家族の健康診断について

一般船舶

- 被保険者の家族（妻）が、健康診断うけるのに40歳と年齢制限が高すぎるかなと思います。（25歳から～とか35歳から～とか）
- 船員本人だけでなく、配偶者の健康診断の補助があると嬉しい。
- 船員の家族も、健康診断を受けれる費用の補助がほしい。（年齢問わず…）船の水がおいしくないし、健康にも良くはないと思うので、ウォーターサーバ推進をしてほしい。
- 家族が健康なら安心して仕事ができるので、家族の健康づくりもして欲しいです。
- 配偶者の健康診断無料を船員と同じ35才からにする。

17. その他

一般船舶

- 船員がしっかり休暇（有給）がとれる様に各会社にご指導よろしくお願いします。
- 船休日にウォーキングを1時間（10000歩）はするようにしている
- 下船した後任意継続中でも中高年検査受ければ良いと思った。
- これ迄、船会社を4社経験したが、労基法は全く遵守されていない。基本3ヶ月乗船1ヶ月休みと唱っているが、5～6ヶ月の乗船が多い。健康づくりとは関係ないが、選挙権の行使は、実際には不可能となっている。それは、人によっては、ストレスとなる。現在は、日帰り船に移った。
- 船員である以上ある程度健康を犠牲にしている。完全に健康的な生活をする事は船上ではできない。
- 1. 保養施設が少ない。2. 船員手帳に記入してもらう際、5日程度時間が必要。（すぐにももらえない病院がある）なんとかして欲しい。3. 受診できるワクが少なく希望日に受診出来ない
- タグボート勤務で毎日下船できるため、食事、運動など気をつけて生活できていると思います。
- 健康診断の結果を受け、改善に取り組もうと思います。

- 船員保険の支援より、本人の意識の問題、やる人はやるし、やらない人は支援があってもやらないと思う
- 健康づくりは、本人のやる気が一番大事。第3者が助言しても、本人にやる気が無ければ身体は変わらない。
- 約20年船員をしていますが、船員保険に支えてもらってここまで来ています。いつもありがとうございます。健康づくりのアドバイス冊子等を参考にしながら船員を続けていけるよう、頑張ります。
- 健康な人ほどなにかとくてんがつくようにしてほしい。
- 健康づくりの補助金制度の新設
- 今は72歳、身体はガタガタ、若い時(40歳代)まで、漁船員チームB S海員組合チームとか、寿司組合、住んでる街の運送会社とか製鉄所、バーテンダー協会や野球の交流試合、ルールなしのサッカー、卓球、ボーリング、声を出せば結構出来ると思うし、1回やれば、又、参加者も増えると思う。
- 色々な取組みを、なるべく分かり易く工夫をこらして下さると、日々思っています。ありがとうございます。私らも自分たちの自覚を高めてゆかねばなりませんね。
- 急な転船(転勤)があるので安心して生活を送れない。若い子達が辞職する大きな理由の1つなので改善してもらいたい。(期限、金銭面で特に)
- 罰則の無い、或いは有っても積極的に船主に対して罰則が適用されている実績の無い法律や条例が有った所で、無視する船主は多い為、「新しく〇〇〇が施行されました」となった所で、大多数の船員には響かないと思う。法改正と、罰則の強化がしっかりかみ合ってはじめて船員の健康や労働環境の改善はなされると思う。
- 栄養管理、運動量を入力記録出来るアプリが有れば、健康の自己管理がし易い。出来れば、電波がなくても使用可能なアプリが望ましい。
- 特殊な労働環境で働く船員にとって健康に生活することは難しいことだが、人並みの生活を送るために積極的に取り組むことができる活動はあると思うので引き続き船員の健康向上に関して尽力していただきたい。
- 自分の今の健康状態がわかる、検査キットの配布、アプリ、あとでチェックできれば良いと思う。山、林森、ウォーキング、など、その場所までの交通費、宿泊費の、補助があれば良いと思う。宿泊助金を、ネットの予約でも、補助してほしい。
- 個人で食事を作っているので、好きな物食べて変食する為体には良くありません。仕事のあい間に全員の食事を作る事もストレスがたまり個人となった。本来ならば、食事を作ってくれる人がいればいいですが、海の上なので、健康上行きたい。病院があっても、すぐには、いかれないまゝ大きな病気になっていても、がまんするか、気づかず、たおれるケースもあり(船上)で船員の皆さんがまんして、働いているのではないのでしょうか? 休暇な時は妻が食事に気を配ってもらっています。
- 最終的に健康づくりは、自己責任において、健康管理すべきである。
- 病院なしインターネット通信悪い所だし船員保健はたすかります。

- 外航船や、三国間航路へ乗りこむ船員保健加入者への救済やメリットが全くない。乗船中のしっぺいは会社か、その保険会社による支払い。地球の反対側の船員にもそれなりの支援や厚生を与えよ。このアンケート用紙もボールペンも2000人といない私の仲間が日本へはこんでいる。
- 小さい会社にも目を向けて下さい。
- 個人的には健康には気を遣っており、習慣的に運動をし、食事にも配慮しているが、周りには喫煙者やメタボな人はたくさん居る。その方たちにどんな改善を促しても経費の無駄である。逆に健康体であり条件を満たした人にクオカードでも配ってくれたほうが効果的だと思う。
- 会社では無理なので国及び協会などの補取金とかを求める
- 健康維持できる居住環境にしてほしい。
- 健康診断を定期的に行う。
- 理想と現実は違います。無理だと思う
- 船員保険には満足しています
- 普段から適当に動いているのでべつに思わない。
- 良い人材を船舶業界に誘導するには、お金（収入）だけでなく、我々が良い仲間と豊かな時間を送り成長できそうだと感じてもらえる業界にしていかないと、いつまでも人手不足になると思います。
- これまでこのような調査が少なかったので、とても良いと思います。・船を動かすだけではない職種もあります。・船に関わる人が幸せになることを望みます。
- 個々に健康に対しての意識が低く、病気になって初めて健康づくりに取り組む傾向です。病気になってからでは遅い場面が唯あります
- なんらかの費用補助や、休暇中の楽しみを増やしてほしい。
- 保健保険さんから定期的に意識調査して下さい
- 自分自身の健康は自分がしないと会社や病院は何もしてくれない。病院に行けばお金がかかるだけで支援もなし。元気なのが一番！
- 自家までの費用を出してほしいです。・出会いが少ないので合コンをセッティングしてほしい
- 船内という限られたスペースしかない上でどういう健康維持の仕方が必要なのかという具体案が必要だと思った。
- 小型船舶免許を取得して半年、船員保険の活動が盛んでビックリしました。いいことだと思います。
- がんを経験してから食事に気をつけたり健康に気をつけるようになりました。がんになって働けなくて船員保険があり助かりました。
- （首こり肩こり防止対策、アプリとか。
- 脂質異常をいつももらいます。（悪玉コレステロールが数値より低い）範囲内より低いといけないのでしょうか？
- 休暇中は車を使用しない様にして歩く事にしてます
- 自分は、71才です。つかってくれるだけありがたいと思います
- 船内生活で健康づくりは無理。
- 健康づくりは船員として基本事項であり勤め先が行なうものではないと考える

- しっかり意見を反映させること。保険料を下げる。インセンティブ。アンケートは匿名であるべきでないのかバーコードで管理されているのが、怖くて好きなことが記載できません。
- 保険協会主催 健康作りイベント等あれば個人や会社内サークルで参加。顔なじみがふえれば次会もこのイベントで会いたいとなる。そんなイベントがあればいい。さびしがり屋もあり、足が重い人もいると思う。
- 問46で苦労していること上位3つをえらびましたが1～8まで全てが当てはまります。
- お勤めごくろうさまです。季節柄、ご自愛くださいませ。
- 組合費用を減らして、船員保険の内容を拡げてもらいたい。
- 現時点では腰以外不安要素がないので要望はありません。今後はどうなるかわかりませんが。
- 自分の健康は自分で気をつけるべき。
- 日本は島国なのに、船乗り（海運）の認知度が低い。一般人：船乗り＝漁師、海保、海自
- 昔のように歯の治療を医療控除が使えるようにして頂きたい。陸上保険より数万円割高な船員保険のメリットを全く感じない。逆に医療控除も宿泊補助もいらないから保険料が安くないか本気で検討して頂きたい。全船員が望んでいるはず。
- 船内のコントロール室（公共の場）や多数の人々が入替わり使用する居室で平気でタバコを吸う常識の無い（全く）者が多すぎて、困ります。改正健康増進法（2020年4月1日施行）に準じて室内全て禁煙にして欲しいです。パワハラが当り前、暴行を黙認する会社は悪です。それから、メンタルヘルス（精神・心）の定期的な診察も必要です。
- 特になし！でも自分の身は自分が守らないと、思います！
- 病気は、早期発見・早期治療と思い検診は、必ず受診するし何かあったら早目に病院へ行く事を心がけている。
- 船内に簡単に設置できる喫煙スペースや、受動喫煙を防止できる道具に対する支援や、食事に不足しがちな栄養を接種できるサプリメントなどの配布などがあると良いかと思います。
- パワハラが無くならない限り心身の健康はない。会社もハラスメント対策とか程度の良い事は言ってるけど所せん形だけで老害がいなくならない限りハラスメントは無くならないし、最近はそのを見て来た若いのまでマネしてハラスメントを行っているのももうどうにもならないと思います。健康に仕事をしたくてもそういった事で悩んでいる後輩がとても可愛想です。本当どうしようもない奴らばかりであきれてます。
- 体調の維持する事とボケ防止になるとこの年になっても仕事しています
- 会社関係でなく、第三者の組織に簡単に相談出来る窓口があったらいいです。
- 会社の協力が無いと無理だと思う。
- 近年、禁煙やアルコールポリシーなど制限が厳しくなっており、喫煙者やアルコール飲酒する方にはストレスの大きい環境となっているので、喫煙者向けの電子タバコ（ニコチンやタールなしや副流煙なしなど）やアルコールフリー飲料の斡旋紹介などを会社や個人へしてみたい。・岸ペギにバスケットゴールなどがあれば乗組員の運動不足やストレスの解消につながる。
- 宿泊補助、特定健診の更なる拡充を、お願いします。
- 健康づくりは自己管理であり、他人から勧められてするものではないと思います。私は10代の頃から運動しており現在に至ります。

- 健康づくりは個々にする事で、意識をもって取り組みたいと思います。
- 船員保険のアプリは使いづらい。無駄。その費用を他にまわすべき。
- 職業柄、睡眠時間の確保が難しいので、せめて睡眠の質向上のための施策や支援に取り組んでほしい
- 私は水船（給水船）に乗船しており、毎日自宅から勤務しており、一般の会社員と同様な日常をおくってます。
- 自分の事、誰の事でもない。自分にしか、自分の事は、わからないので早めに、おかしいと思えば進んで医者に行ってみてもらわなければ！
- 自分自身73才と高齢の為、体力的に限界を感じている。
- 自分で注意して船に見合った運動方法を行なう
- 船上で具合が悪くなった時が一番心配
- 健康関連の講習会を開いてもらいたい
- ミーティング等で健康づくりの話題が出るのですが、個人に一任なので個人差が出てしまいます。
- 個人で習慣にする強い意思が必要だと思う
- 船に乗っている以上求められない。特に内航船員は。
- 正直まだ入社したばかりで過去がどういう感じかがわからない。食生活でもたべすぎてしまうことが多々あり、自制することだと思った。
- 今は船に上船していないのでなにもかんじない
- 趣味や特技が健康づくりに繋がるような支援を、たくさんしてほしい。
- 通勤船員で主に自家用車による通勤をしているが、自転車等での通勤を認めてもらえれば、運動の機会が増えると思う。
- 船内生活におけるコミュニケーションや健康管理も、船員一人一人の仕事の一環だと考えています。なぜ、健康でいる必要があるのかを問い、各々の意識が向上することで自ずと改善されていくのではないかと思います。健康でいる為の手段も大切ですが、健康でいる為の必要性を認識することも大切だと思います。
- 勤務時間が不規則な為まとまった睡眠が確保できない。医療機関にかかる時間をなかなか確保できない。
- 乗船中の寝具がもっと良いものだったらなあ、と思うことがよくあります。（会社に言うべきなのかもしれませんが）睡眠に関する支援があると嬉しいです。
- ねつきがわるい
- お湯につかってない（湯船）ので慢性的な疲労がたまる。
- 毎日の不規則な生活とストレスで健康は諦めました。
- 健康は身心共に課題であるが、心は人間関係・コンプライアンス身は食事・すい眠・運動が基本大きく関わると思う。船では独自のルールが色濃くあり、船毎に異なるので難しいところです。ただ、仕事において船の業務も会社法に則るならいくら上席の言葉や船のルールに順守するといえど（船員法など）健康を害してはならず、使用者は従事者の配慮が必要だと思う。
- 乗船中の船員が回答するのは難しいと思います。

- 船内生活で重要な疲労回復と健康維持は、睡眠にもあると思う。その為、安眠効果の高いマットレスの使用を促す活動などを取り入れてもらいたい。
- ひまん外来の項目がふえたりして、薬でもやせれるせいでがほしい。
- 食事が不満・部屋がせまい・運動スペースがない・たばこくさい・買物・散髪に行けるから良い
- そもそも、人材第一に大切に一人の人間として、向きあっていたきたい。船員の苦労は、共に！！働くと、会社もわかると思う。種子島ベースで家に帰っての休みは、無い。船員のほとんどが地元民。リフレッシュ家族でりょこう等行きたい。また、食事も、じゅんびしてほしい。島で不自由。
- 緊急時（海上での体調の悪化を初めとする病気になった時）、すぐにつけてくれる医療機関（ドクターヘリなど）が必要だと思います

漁船

- 漁船員にも、もっと支援をしてほしい。
- ライン等で便利に使える、相談窓口や手続き等を開設して手軽にできる様にしてほしい。
- 労働時間
- 年1回でも長期休暇がほしい。
- 漁業者は特にスイミン時間が少ないと思う。漁業者のかんきょうをもっと良くすれば！！
- 仕事はしないと生活が有るし、会社の為にもガンバルしかない。
- 長期休暇がほしい。休みが少ない
- 電話での健康相談（病気・ケガ等）専用ダイヤル
- 私の所は、9月からよく年の5月までの操業なので毎年6月に大阪から船員の身体検査がありますがていねいに検査していただき、その結果も、ていねいに送ってくれるのでとても、かんしゃしています。
- 宿泊補助の利用をもっと簡単にしてほしい
- 喫煙含めて船の上では治外法権な所があると思うのでその取り締まり強化
- ストレス解消が出来にくい。
- 船のブリッジ内はせまい上、他の船員がインフル、コロナ、喫煙などでとても苦になる。その対応が難しい…
- 1日の労働時間が14時間程あり、もっと減らして睡眠できる時間を作って欲しい。数年働いているが有給休暇は一切なく、福利厚生をちゃんとして欲しい。
- 仕事そのものが健康づくりにつながるので問題なし！！
- 口腔系の健康が1番の心配なので、そこら辺の補助があるとたすかる。かんれんして禁煙などのそういったこともしてほしいです。
- 船ぱくの種類により、健康に対してさまざまだと思う。種類別の対策などがわかりやすいといいと思う。
- 漁船で海上ばかりなので定期的に休みや港に入港するよう指導して欲しい
- 船員は夢がある。って事を若者に伝えて下さい。

- 色々な船の仕事もありますが我々遠洋漁業（鮪船）は陸上休暇がありません、指定病院等で健康診断を受診しようとしても、1ヶ月以上先じゃないとダメ。今年の予約は終了しました。等の理由で大きな病院で詳しい検査が出来ないし、自費で受診するにも高額すぎて受診出来ない為、受けやすい様な工夫がしてほしいです。それと、船員が病院で早く治療出来る制度も有ればうれしいです。
- 遠洋鮪漁船の日本人船員が高齢化しているのでたいへん。
- 海の上でもスマホがつながる様にしてほしい
- 保養所の宿泊費の補助ですが、ヤフートラベルや、じゃらんを利用した方が安いので補助を利用した事はありません。補助費を上げた方が良くもかもしれません。
- 禁煙プログラムを活用したいがスマホを持っていないのでなんとかしてほしい。薬だけほしい
- 受動きつえんが本当にいや。パワハラがすごい。認知のずれがすごい。自律神経がやすまらずすいみん不足。若手の仕事量が異常!!!環境改善、業務改善、円滑なコミュニケーションが取れない!パワハラ!!
- “病は万”“健康は一つ”
- 年齢的に体が動かなくなっているが継続して安定した生活を送りたい。
- 漁船に乗船している為、食事、運動の面においては栄養のバランス運動する時の場所的な問題で十分な確保はできませんが休日を含めて、本人の努力次第では補えると思います。
- 1人1人の健康に対する気持ちが大事なので1人1人の体調に気をつけて生活すればいい!
- 労働時間の改善と働き方についての改善
- 安定した休みが多くあると家族との時間も増えてうれしいです。
- 外国人実習生にはむずかしかった
- 1週間に一回は休みがほしい
- 禁煙はムリでも分煙は義務化してほしい。労働形態、休息に関して、罰則がないと会社は守らない

第 4 章 調査票

全国健康保険協会船員保険部

「船員保険（健康づくり等）に関する意識調査」

令和6年1月

ご記入にあたってのお願い

◇記入日時点の状況について、宛先のご本人様にご回答ください。

◇質問へのご回答は、あてはまる番号に○をつけていただくか、数字を記入してください。

回答が「その他」の場合は（ ）内にその内容をご記入ください。

◇回答によっては、次に答える質問が変わります。矢印や質問文の指示に従ってください。

<お問い合わせ先>

株式会社サーベイリサーチセンター「船員保険（健康づくり等）に関する意識調査」事務局

☎0120-036-310（通話料無料／月～金（祝日除く） 9～18時）

まず、あなたご自身についておたずねします。

※調査結果を統計的に分析するために必要となります。ご回答をお願いいたします。

※調査の結果は、「〇〇の意見が何%」という形で公表されますので、どなたがどのようなお答えをなさったかについて、知られることは一切ありません。ありのままお答えください。

（問1. ～問15. は、全員がお答えください）

問1. あなたの性別を教えてください。（○は1つだけ）

1. 男性

2. 女性

問2. あなたの年齢を教えてください。（○は1つだけ）

1. 15歳～19歳

7. 45歳～49歳

2. 20歳～24歳

8. 50歳～54歳

3. 25歳～29歳

9. 55歳～59歳

4. 30歳～34歳

10. 60歳～64歳

5. 35歳～39歳

11. 65歳～69歳

6. 40歳～44歳

12. 70歳～74歳

問3. あなたが現在乗船している（直近で乗船していた）船舶の種類を教えてください。（○は1つだけ）

1. 外航船（貨物船（タンカー以外））

6. 内航船（旅客船）

2. 外航船（タンカー）

7. 漁船

3. 外航船（旅客船）

8. 引き船（タグボート）・押船・作業船

4. 内航船（貨物船（タンカー以外））

9. 調査船

5. 内航船（タンカー）

10. その他（具体的に： ）

問 4. あなたが現在乗船している（直近で乗船していた）船に乗り組む船員の人数は、おおよそどれくらいですか。（○は1つだけ）

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 1人 | 5. 20~29人 |
| 2. 2~4人 | 6. 30人~49人 |
| 3. 5~9人 | 7. 50人~99人 |
| 4. 10~19人 | 8. 100人以上 |

問 5. あなたが現在乗船している（直近で乗船していた）船舶の総トン数はどれくらいですか。（○は1つだけ）

1. 20 トン未満
2. 20 トン以上～700 トン未満
3. 700 トン以上～3,000 トン未満
4. 3,000 トン以上
5. わからない

問 6. あなたが現在乗船している（直近で乗船していた）船の航行区域を教えてください。
（○は1 つだけ）

- | | |
|---------|----------|
| 1. 平水区域 | 4. 遠洋区域 |
| 2. 沿海区域 | 5. わからない |
| 3. 近海区域 | |

問7. あなたの職種を教えてください。(○は1つだけ)

- | | |
|---------|----------|
| 1. 船長 | 8. 司厨長 |
| 2. 航海士 | 9. 司厨部員 |
| 3. 甲板長 | 10. 事務部門 |
| 4. 甲板部員 | 11. 漁労長 |
| 5. 機関長 | 12. パーサー |
| 6. 機関士 | 13. その他 |
| 7. 機関部員 | (具体的に：) |

問 8. あなたが現在所属する勤め先の勤続年数について教えてください。(○は1つだけ)

1. 1ヶ月未満
2. 1ヶ月以上～3ヶ月未満
3. 3ヶ月以上～6ヶ月未満
4. 6ヶ月以上～1年未満
5. 1年以上～3年未満
6. 3年以上～5年未満
7. 5年以上～10年未満
8. 10年以上～20年未満
9. 20年以上～30年未満
10. 30年以上

問 9. あなたは、これまでに転職した（勤め先を変えた）ことがありますか。（○は 1 つだけ）

- | | |
|---------|--------------|
| 1. 1回ある | 5. 5回～9回ある |
| 2. 2回ある | 6. 10回以上ある |
| 3. 3回ある | 7. 転職したことはない |
| 4. 4回ある | |

問 10. あなたが、船員になろうと思った主な理由を教えてください。(○は3つまで)

- | | |
|---|---|
| <p>1. 船員の仕事への憧れ・興味があった</p> <p>2. 給料等収入が多いと思った</p> <p>3. まとまった休みが取れると思った</p> <p>4. 自分の技術・能力が活かせると思った</p> <p>5. 親戚・知り合いなどに船員がいて身近な職業だった</p> | <p>6. 近くに船員になるための学校があった</p> <p>7. 学校の先生からの勧め</p> <p>8. その他（具体的に： ）</p> <p>9. 特に理由はない</p> |
|---|---|

問 11. あなたが、現在所属する勤め先を選んだ主な理由を教えてください。(○は3つまで)

- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 勤め先の仕事内容に興味があった 2. 健康・働き方への配慮がされている 3. 福利厚生が良い 4. 労働時間・休日等の労働条件が良い 5. 安全や衛生が配慮されている 6. 自分の技術・能力が活かせると思った 7. 給料等収入が多い 8. 船舶や航路が希望と合致していた 9. 地元だから | <ol style="list-style-type: none"> 10. 職場の人間関係が良いと感じた 11. 会社の知名度・ネームバリュー 12. 会社の方針や将来性に希望を感じた 13. 親族・知り合いなどに船員がいて身近な職業だった 14. 前の会社（勤め先）の紹介 15. 学校の先生からの勧め 16. その他（具体的に：) 17. 特に理由はない |
|---|---|

問 12. あなたが現在所属する勤め先に対する満足度について、次の A～H について、それぞれお答えください。(○はそれぞれ 1 つ)

勤め先の満足度	とても満足	おおむね満足	やや不満	不満
A. 収入	1	2	3	4
B. 福利厚生	1	2	3	4
C. 職位または昇格の速度	1	2	3	4
D. 従業員の健康や働き方への配慮	1	2	3	4
E. 仕事のやりがい	1	2	3	4
F. 職場の人間関係	1	2	3	4
G. 労働時間・勤務体制	1	2	3	4
H. 結婚や出産、介護、育児などに関する理解度	1	2	3	4

(○は1つだけ)

- 問 14. あなたが現在乗船している時（直近で乗船していた時）の船内環境の満足度について、次の A～G のそれぞれをお答えください。（○はそれぞれ 1 つ）

問 15. 海上でのインターネットの通信・電波環境についておたずねします。
乗船している時に、携帯電話・スマートフォン・タブレット端末・パソコンなどの、インターネットを利用できる機器は使用しますか。(○は1つだけ)

- (問 15. で「1」とお答えの方へ)

1. 勤務時間
2. 休息・プライベート時間
3. その他（具体的に： ）

問 17. 海上でのインターネット接続状況についておたずねします。
乗船している時に、携帯電話・スマートフォン・タブレット端末・パソコンなどを使う場合、どのくらい電波が入りますか。(○は1つだけ)

- 問18.へお進みください

(問 18. は、全員がお答えください)

問 18. 乗船中の食事についておたずねします。船上で食事をする機会がありますか。(○は 1 つだけ)

- 1. ある
- 2. ない

問 23. へお進みください

(問 18. で「1」とお答えの方へ)

問 19. 船上での食事の準備は、どなたがされていますか。(○は 1 つだけ)

- 1. 主に、司厨員が準備し、自分で食事を作る機会はほとんどない
- 2. 主に、他の船員が準備し、自分で食事を作る機会はほとんどない
- 3. 当番・交代で準備するため、自分で食事を作る機会がある
- 4. 主に、自分で食事を準備する(持ち込み除く)
- 5. 乗船期間が短いため、乗船時に、自分で食事を持ち込んでいる
- 6. その他(具体的に:)

(問 19. をお答えの方へ)

問 20. 船上での食事は、主食・主菜・副菜を組み合わせたメニューなど、栄養バランスに配慮した食生活を送っていますか。(○は 1 つだけ)

- 1. 常に栄養バランスに配慮した食生活を送っている
- 2. どちらかといえば、送っている
- 3. どちらかといえば、送っていない
- 4. 送っていない

(問 20. をお答えの方へ)

問 21. あなたは、毎食の食事以外に、どれくらいの頻度で間食をしますか。(○は 1 つだけ)

- 1. 毎日
- 2. 週 5 ~ 6 日
- 3. 週 3 ~ 4 日
- 4. 週 1 ~ 2 日
- 5. 月に 1 ~ 3 日程度
- 6. 間食はほとんどしない

問 23. へお進みください

(問 21. で「1」~「5」とお答えの方へ)

問 22. 間食ではどんなものを食べたり飲んだりしますか。(○は 3 つまで)

- 1. 菓子類
- 2. 即席めん
- 3. パン類
- 4. ご飯類
- 5. 甘味飲料・コーヒー飲料・炭酸飲料類
- 6. その他(具体的に:)

問 23. へお進みください

(20 歳以上の方全員がお答えください。20 歳未満の方は問. 25 へお進みください。)

問 23. あなたは普段、どれくらいお酒（清酒、焼酎、ビール、洋酒など）を飲みますか。
(○は 1 つだけ)

- 1. 毎日
 - 2. 週 5 ～ 6 日
 - 3. 週 3 ～ 4 日
 - 4. 週 1 ～ 2 日
 - 5. 月に 1 ～ 3 日程度
 - 6. やめた（1 年以上やめている）
 - 7. ほとんど飲まない（飲めない）
- 問 25. へお進みください

(問 23. で「1」～「5」のいずれかをお答えの方へ)

問 24. お酒を飲む日は 1 日あたり、どれくらいの量を飲みますか。乗船中（勤務日）と休日
のそれぞれについて、お答えください。(○はそれぞれ 1 つ)

※清酒 1 合の目安

ビール中瓶 1 本（約 500ml）、焼酎 35 度（80ml）、ウイスキーダブル 1 杯（60ml）、ワイン 2 杯（240ml）

飲酒量	乗船中 (勤務日)	休日
	それぞれ 1 つずつ	
1. 1 合(180ml)未満	1	1
2. 1 合以上 2 合(360ml)未満	2	2
3. 2 合以上 3 合(540ml)未満	3	3
4. 3 合以上 4 合(720ml)未満	4	4
5. 4 合以上 5 合(900ml)未満	5	5
6. 5 合以上(900ml)以上	6	6
7. 飲まない	7	7

(問 25. は、全員がお答えください)

問 25. あなたの 1 日あたりの実際の労働時間は何時間ですか。時間外勤務が日頃からある
場合には、それも含めた実態を教えてください。(○は 1 つだけ)

- 1. 8 時間未満
- 2. 8 時間以上～10 時間未満
- 3. 10 時間以上～12 時間未満
- 4. 12 時間以上～14 時間未満
- 5. 14 時間以上

→ 問 26. へお進みください

(問 26. は、全員がお答えください)

問 26. あなたは、これまでに長時間労働や連続労働等による身体の不調のため、医療機関にかかったことはありますか。(○は1つだけ)

1. ある
2. ない

問 28. へお進みください

(問 26. で「1」とお答えの方へ)

問 27. 医療機関にかかった時、不調の原因となる(なった)部位は主にどこですか。(○は3つまで)

- | | |
|--------|----------------------------|
| 1. 手、腕 | 8. 心臓 |
| 2. 足、脚 | 9. 内臓 |
| 3. ひざ | (消化器, 呼吸器, 泌尿器, 生殖器, 内分泌器) |
| 4. 首、肩 | 10. 歯 |
| 5. 腰 | 11. 目 |
| 6. 脳 | 12. 耳 |
| 7. 血管 | 13. メンタル不調 |
| | 14. その他(具体的に:) |

(問 28. ～問 30. は、全員がお答えください)

問 28. あなたは、平均何時間くらい睡眠をとっていますか(休みの日は除く)。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 3時間未満 | 5. 6時間以上～7時間未 |
| 2. 3時間以上～4時間未満 | 6. 7時間以上～8時間未満 |
| 3. 4時間以上～5時間未満 | 7. 8時間以上～10時間未満 |
| 4. 5時間以上～6時間未満 | 8. 10時間以上 |

問 29. 乗船してから、自宅に戻って来るまでの期間は、おおよそどれくらいですか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 日帰り | 6. 1か月以上～2か月未満 |
| 2. 1～2日 | 7. 2か月以上～半年未満 |
| 3. 3日以上～1週間未満 | 8. 半年以上～1年未満 |
| 4. 1週間以上～2週間未満 | 9. 1年以上 |
| 5. 2週間以上～1か月未満 | |

問 30. 休暇についておたずねします。まとまった休暇は1回でどれくらいの期間取得できますか。(○は1つだけ)

1. 1週間未満
2. 1週間～2週間未満
3. 2週間～1か月未満
4. 1か月～2か月未満
5. 2か月～3か月未満
6. 3か月以上

(問 31. ～問 32. は、全員がお答えください)

問 31. 休暇の予定はどのくらい前から計画されていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 1 日前 | 6. 1 ～ 2 か月前程度 |
| 2. 3 日前程度 | 7. 2 ～ 3 か月前程度 |
| 3. 1 週間前程度 | 8. 半年前程度 |
| 4. 1 週間～ 2 週間前程度 | 9. 1 年前程度 |
| 5. 2 週間～ 1 か月前程度 | 10. その他 (具体的に：) |

問 32. 休暇中はどんなことをして過ごすことが多いですか。(○は3つまで)

- | | |
|--------------|------------------|
| 1. 国内の宿泊旅行 | 6. 運動、スポーツ活動 |
| 2. 海外の宿泊旅行 | 7. 外食 |
| 3. 日帰りの小旅行 | 8. 買い物・ショッピング |
| 4. ドライブ | 9. 家や近所で過ごす |
| 5. 寄港先の近くの観光 | 10. その他 (具体的に：) |
- ↓
- 問 34. へお進みください

(問 32. で「1」～「5」をお答えの方へ)

問 33. 旅行・おでかけの目的は何ですか。(○は3つまで)

1. 山・森林など緑あふれる自然観光地
2. 海辺の観光地
3. 温泉観光地
4. 東京・京都・大阪などの都市観光地
5. 寺社仏閣や名所旧跡などの歴史観光地
6. グルメ
7. 遊園地や動物園などのテーマパーク
8. 美術館や博物館巡り
9. その他 (具体的に：)

(問 34. は全員がお答えください)

問 34. 船員保険では、船員のみなさまの労働環境の特殊性等を踏まえて、疲労回復、静養、家族との団らんの場の提供を目的として、1泊3,000円の宿泊補助のサービスを行っておりますが、ご存じですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 船員保険の広報物で知っていた |) → 問 36. へお進みください |
| 2. 勤め先からの案内で知っていた | |
| 3. 旅行代理店からの案内で知っていた | |
| 4. その他 (具体的に：) | |
| 5. 知らなかった | |
- ↓

(問 34. で「1」～「4」のいずれかをお答えの方へ)

問 35. あなたは、これまでに船員保険が提供する宿泊補助のサービスを利用したことがありますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 利用したことがある | 2. 利用したことはない |
|--------------|--------------|

(問 36. は、全員がお答えください)

問 36. 令和5年4月から船員労働安全衛生規則に基づく船員の健康確保に関する制度が開始されたことに伴い、事業主の方に健康確保に関する次の取り組みが義務付けられ、船員のみなさまは健康検査結果の提出が必要となりました。こうした制度についてご存じですか。
(○は1つだけ)

<全ての船舶所有者>

船員の健康検査の結果の保存等

<常時50人以上の船員を使用する船舶所有者のみ>

産業医の選任等、ストレスチェックの義務等、長時間労働者に対する医師による面接指導等

- 1. 内容も含め、知っている
- 2. 知っているが、内容は良く理解していない
- 3. 知らない

→ 問 39. へお進みください

(問 36. で「1」または「2」をお答えの方へ)

問 37. 令和5年4月からの制度開始により、勤め先の環境に変化はありましたか。
(○は1つだけ)

- 1. 良くなったと思う
- 2. 変わらないと思う
- 3. 悪くなったと思う

→ 問 39. へお進みください

(問 37. で「1」とお答えの方へ)

問 38. 良くなったと思うものはどれですか。(○はいくつでも)

- 1. 会社への健康相談などの体制
- 2. 産業医への相談などの体制
- 3. メンタルヘルス対策などの体制
- 4. 長時間労働、過重労働の改善
- 5. その他(具体的に：)

(問 39. は、全員がお答えください)

問 39. あなたの勤め先では、船員のみなさまの健康づくり(運動・食事・禁煙・休養・メンタルヘルス対策など)に取り組んでいると感じますか。(○は1つだけ)

- 1. 積極的に取り組んでいる
- 2. 取り組んでいる
- 3. あまり取り組んでいない
- 4. 取り組んでいない

(問 40. は、全員がお答えください)

問 40. あなたは、勤め先に対して、船員のみなさまの健康づくりへの取り組みを、どれくらい求めていますか。(○は1つだけ)

1. とても望んでいる
2. 望んでいる

3. あまり望まない
4. 望まない

問 42. へお進みください

(問 40. で「1」または「2」とお答えの方へ)

問 41. 船員のみなさまの健康づくりに向けた取り組みについて、あなたが勤め先に求めるものは、次のどれですか。(○は3つまで)

- | | |
|-------------------------|-----------------------------|
| 1. 健康づくりに関する講演会、セミナーの開催 | 8. 電話やインターネットを利用した健康相談窓口の設置 |
| 2. 健康づくりのパンフレット、教材等の提供 | 9. 食事、栄養管理に関する支援 |
| 3. 保健師や管理栄養士への相談対応 | 10. ジムなど運動できる場の紹介、あっせん |
| 4. 産業医への相談対応 | 11. 保養所等の宿泊施設の費用補助 |
| 5. 健康診断や保健指導の実施機関の拡充 | 12. レジャー・観光施設等の費用補助 |
| 6. 健康器具の貸出、配付(血圧計など) | 13. 山、森林でのウォーキングイベント |
| 7. 禁煙に関する取り組みの支援 | 14. その他(具体的に:) |

(問 42. は、全員がお答えください)

問 42. 船員の健康づくりを行う船舶所有者を、船員保険が支援メニュー等を提供しサポートを行う「船員の健康づくり宣言」を令和2年9月より実施していますが、これについてご存じですか。(○は1つだけ)

1. 知っている
2. 知らない

問 44. へお進みください

(問 42. で「1」とお答えの方へ)

問 43. 勤め先にあたる船舶所有者が、「船員の健康づくり宣言」にエントリーすると、船員のみなさまが健康づくりのために、次の5つの支援メニューが無料で使うことができます。あなたは、こうした支援があることをご存じですか。(○は1つだけ)

<支援メニュー>

- A. 保健師とのオンライン面談
B. 出前健康講座(保健師等を全国に派遣し行う、またはオンラインで行う健康講座)
C. オンラインによる産業医健康面談
D. 健康づくり好事例集の船員保険からの提供
E. 健康情報冊子・チラシの船員保険からの提供

1. 知っている
2. 知らない

(問 44. ～問 47. は、全員がお答えください)

問 44. あなたは普段から健康に気をつけていますか。(○は1つだけ)

1. とても気をつけている
2. 気をつけている
3. どちらでもない
4. あまり気をつけていない
5. 気をつけていない

問 45. 健康のために心がけているのは、主にどんなことですか。(○は3つまで)

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 食生活の改善(栄養のバランス、食事時間等) | 6. 禁酒・節酒 |
| 2. 定期的な運動(週1回以上) | 7. 定期的な健康診断の受診 |
| 3. 十分な休養・睡眠 | 8. 歯磨き・歯周病の予防 |
| 4. ストレスの解消 | 9. その他(具体的に:) |
| 5. 禁煙 | 10. 特に行っていない |

問 46. 船員としてお仕事をされる際、健康の保持・増進を図る上で苦勞されているのは、主にどんなことですか。(○は3つまで)

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. 食事の苦勞が多い(野菜不足、食べ過ぎ等) | 6. 周りに喫煙者が多い |
| 2. 運動できるスペースがない | 7. 飲酒の機会が多い |
| 3. 勤務時間が不規則 | 8. 医療機関にかかる(行く)時間がない |
| 4. ストレスが多い | 9. その他(具体的に:) |
| 5. 腰痛・ひざ痛になりやすい | 10. 特に苦勞していない |

問 47. ご自身の健康づくりを考えるうえで、船員保険から、主にどのような支援があればよいと思いますか。(○は3つまで)

1. 健康づくりに関する講演会、セミナーの開催
2. 健康づくりのパンフレット、教材等の提供
3. 保健師や管理栄養士への相談対応
4. 産業医への相談対応
5. 健康診断や保健指導の実施機関の拡充
6. 健康器具の貸出、配付(血圧計など)
7. 禁煙に関する取り組みの支援
8. 講演会や勉強会への講師の派遣、紹介
9. 電話やインターネットを利用した健康相談窓口の設置
10. 食事・栄養管理に関する支援
11. 歯の状態のチェックキットの配布
12. ジムなど運動できる場の紹介、あっせん
13. 保養所等の宿泊施設の費用補助
14. レジャー・観光施設等の費用補助
15. 山、森林でのウォーキングイベント

→ 問 48. へお進みください

(問 48. は、全員がお答えください)

自由意見欄

問 48. その他、健康づくりに関してご意見、ご要望などがございましたら、どのようなことでも結構ですので、ご自由にご記入ください。

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は2月16日(金)までに、同封の返信用封筒（切手不要）でご返信ください。

船員保険事業(健康づくり)に関する意識調査
報 告 書 (被保険者健康づくり版調査)

令和6年3月

- 【調査主体】 全国健康保険協会船員保険部
〒102-8016
東京都千代田区富士見二丁目7番2号 ステージビルディング14階
電話 03-6862-3061
- 【調査機関】 株式会社サーベイリサーチセンター
〒103-0027
東京都中央区日本橋三丁目13番地5号 KDX 日本橋 313 ビル6階
電話 03-6262-7523